HITACHI
Inspire the Next

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow
メッセージ

3020-3-M83-90

前書き

■ 対象製品

- P-2955-CJ34 uCosminexus Business Process Developer 03-11 （適用 OS：Windows Server 2016，Windows Server 2019，Windows 10 x64，Windows 11）
- P-2943-CG34 uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 03-11 （適用 OS：Windows Server 2016，Windows Server 2019）
- P-2955-CG34 uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 03-11 （適用 OS：Windows Server 2016，Windows Server 2019，Windows 10 x64，Windows 11）
- P-9W43-CG31 uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 03-11 （適用 OS：Red Hat(R) Enterprise Linux(R) Server 7.1（64-bit x86_64）以降，Red Hat(R) Enterprise Linux(R) Server 8.1（64-bit x86_64）以降）

これらのプログラムプロダクトのほかにもこのマニュアルをご利用になれる場合があります。詳細は「リリースノート」でご確認ください。

本製品では日立ネットワークオブジェクトプラザトレース共通ライブラリをインストールします。

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標類

HITACHI，Cosminexus，HiRDB，uCosminexus および WorkCoordinator は，株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

AIX は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

IBM は，世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。

Linux は，Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Microsoft は，マイクロソフト 企業グループの商標です。

Oracle および Java は，オラクルおよびその関連会社の登録商標です。

Red Hat is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries.

Red Hat は，米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標です。

Red Hat Enterprise Linux is a registered trademark of Red Hat, Inc. in the United States and other countries.

Red Hat Enterprise Linux は，米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標です。

SQL Server は，マイクロソフト 企業グループの商標です。

UNIX は，The Open Group の登録商標です。
Windows は，マイクロソフト 企業グループの商標です。
Windows Server は，マイクロソフト 企業グループの商標です。
その他記載の会社名，製品名などは，それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ 発行

2022 年 4 月

■ 著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2007, 2022, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容(3020-3-M83-90)　uCosminexus Business Process Developer 03-11，uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 03-11

追加・変更内容	変更個所
Windows 11 に対応した。	－
対応する製品から Oracle Database 18c を削除した。	－
`ciwstartpi`（任意の位置から開始する）コマンドのメッセージを追加した。 KDIW23200-I～KDIW23235-E	1.1.3，5.18
次のメッセージを追加した。 KDIW00211-E，KDIW02805-W，KDIW62114-E～KDIW62118-W，KDIW63711-E	4.1，4.11，9.4，9.8

単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

OS，ブラウザ，およびデータベースに関して，新しいバージョンの追加，および古いバージョンの削除については記載していません。サポートしているバージョンの詳細については「リリースノート」でご確認ください。

はじめに

このマニュアルは，uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow で出力されるメッセージについて説明したものです。

以降，このマニュアルでは，上記のプログラムプロダクトを **CSCIW** と称します。また，CSCIW を使用した業務システム全体の総称を**ワーク管理システム**とします。

BPMN 連携機能を使用する場合の読み替えについて

BPMN 連携機能を使用する場合，ビジネスプロセスの設計には，CSCIW-Definer ではなく BPMN エディタを使用します。マニュアル内の「CSCIW-Definer」の表記を「BPMN エディタ」に置き換えてお読みください。

■ 対象読者

このマニュアルでは，CSCIW を使用して，対話型ワークフローを適用したシステムを設計，構築，または運用される方を対象としています。また，次の知識をお持ちであることを前提にしています。

- 使用している OS に関する基本的な知識
- CSCIW に関する知識
- リレーショナルデータベースの操作（SQL 文など）に関する知識

■ このマニュアルでの表記

このマニュアルで使用している表記と，対応する製品名を次に示します。

表記	製品名
AIX※	IBM AIX V7.1
Chrome	Google Chrome
Cosminexus	uCosminexus Application Server
CSCIW	uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow
Firefox	Mozilla Firefox
HiRDB	HiRDB Server Version 10
JBoss	JBoss(R)
Linux※	Red Hat(R) Enterprise Linux(R) Server 7.1（64-bit x86_64）以降
	Red Hat(R) Enterprise Linux(R) Server 8.1（64-bit x86_64）以降
ORACLE	Oracle(R) Database 19*c*

表記	製品名
WorkCoordinator Definer	WorkCoordinator Definer Version 6

注※

AIX および Linux の製品名称を特に区別する必要がない場合，UNIX と表記しています。

■ マイクロソフト製品の表記について

このマニュアルでは，マイクロソフト製品の名称を次のように表記しています。

表記		製品名
SQL Server	SQL Server 2005	Microsoft SQL Server 2005
	SQL Server 2008	Microsoft SQL Server 2008
		Microsoft SQL Server 2008 R2
SQL Server の JDBC ドライバ		Microsoft SQL Server 2005 JDBC Driver 1.1
		Microsoft SQL Server 2005 JDBC Driver 1.2
		Microsoft SQL Server JDBC Driver 2.0
		Microsoft SQL Server JDBC Driver 3.0
Windows Server	Windows Server 2016	Microsoft Windows Server 2016 Standard 日本語版
		Microsoft Windows Server 2016 Datacenter 日本語版
	Windows Server 2019	Microsoft Windows Server 2019 Standard 日本語版
		Microsoft Windows Server 2019 Datacenter 日本語版
Windows	Windows 10	Windows 10 Pro 日本語版(64 ビット版)
		Windows 10 Enterprise 日本語版(64 ビット版)
	Windows 11	Windows 11 Pro 日本語版
		Windows 11 Enterprise 日本語版

Windows Server 2016，Windows Server 2019，Windows 10，および Windows 11 を特に区別する必要がない場合，Windows と表記しています。

■ このマニュアルで使用している略語

このマニュアルで使用している英略語を次に示します。

英略語	英字での表記
BPMN	Business Process Modeling and Notation

英略語	英字での表記
EJB	Enterprise JavaBeans
GMT	Greenwich Mean Time
J2EE	Java 2 Platform, Enterprise Edition，および J2EE
JavaVM	Java Virtual Machine
JDBC	Java Database Connectivity，および JDBC
JSP	Java Server Pages，および JSP
REST	Representational State Transfer

■ このマニュアルで使用する KB（キロバイト）などの単位表記

1KB（キロバイト），1MB（メガバイト），1GB（ギガバイト），1TB（テラバイト）はそれぞれ 1,024 バイト，$1,024^2$ バイト，$1,024^3$ バイト，$1,024^4$ バイトです。

■ 関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

CSCIW 関連

- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド（3020-3-M80）
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow AP 開発ガイド（3020-3-M81）
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作ガイド（3020-3-M82）
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンド（3020-3-M84）
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ビジネスプロセス開発ガイド（3020-3-M85）
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow BPMN 連携機能　使用の手引（3020-3-M86）

Cosminexus 関連

- WorkCoordinator Version 6 システム管理者ガイド（3020-3-D28）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ システム構築・運用ガイド（3021-3-J02）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 基本・開発編（Web コンテナ）（3021-3-J05）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 基本・開発編（EJB コンテナ）（3021-3-J06）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 基本・開発編（コンテナ共通機能）（3021-3-J07）

- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 拡張編（3021-3-J08）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 運用／監視／連携編（3021-3-J10）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 保守／移行編（3021-3-J11）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ 機能解説 互換編（3021-3-J12）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ アプリケーション設定操作ガイド（3021-3-J13）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ リファレンス コマンド編（3021-3-J15）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ リファレンス 定義編（サーバ定義）（3021-3-J16）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ リファレンス 定義編（アプリケーション／リソース定義）（3021-3-J17）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ Cosminexus Reliable Messaging（3021-3-J19）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ アプリケーション開発ガイド（3021-3-J20）
- Cosminexus V11 アプリケーションサーバ メッセージ（構築／運用／開発用）（3021-3-J27）
- Cosminexus V11 BPM/ESB 基盤 サービスプラットフォーム システム構築・運用ガイド（3021-3-J45）

なお，このマニュアルでは，Cosminexus 関連のマニュアルについて，バージョン番号を省略して表記しています。

HiRDB 関連

- HiRDB Version 10 解説（3020-6-551）
- HiRDB Version 10 システム導入・設計ガイド（UNIX(R)用）（3020-6-552）
- HiRDB Version 10 システム定義（UNIX(R)用）（3020-6-554）
- HiRDB Version 10 システム運用ガイド（UNIX(R)用）（3020-6-556）
- HiRDB Version 10 コマンドリファレンス（UNIX(R)用）（3020-6-558）
- HiRDB Version 10 システム導入・設計ガイド（Windows(R)用）（3020-6-553）
- HiRDB Version 10 システム定義（Windows(R)用）（3020-6-555）
- HiRDB Version 10 システム運用ガイド（Windows(R)用）（3020-6-557）
- HiRDB Version 10 コマンドリファレンス（Windows(R)用）（3020-6-559）
- HiRDB Version 10 UAP 開発ガイド（3020-6-560）
- HiRDB Version 10 SQL リファレンス（3020-6-561）
- HiRDB Version 10 メッセージ（3020-6-562）

なお，このマニュアルでは，HiRDB 関連のマニュアルについて，バージョン番号を省略して表記しています。

その他

- VisiBroker Version 5 Borland(R) Enterprise Server VisiBroker(R) デベロッパーズガイド（3020-3-U28）

■ 適用 OS の違いによる機能相違点の表記

このマニュアルで説明する機能は，適用 OS の種類（UNIX または Windows）によって，異なる場合があります。OS によって機能差がある場合，OS 名を明記しています。また，OS によってバージョン，リビジョンが異なる場合があります。バージョン，リビジョンによって操作方法などが異なる場合はそれぞれの説明に OS 名，バージョン，およびリビジョンを明記しています。

なお，UNIX および Windows の共通の説明部分に使用している「ディレクトリ」という用語は，Windows の場合は，特に断りのないかぎり，「フォルダ」に読み替えてください。また，UNIX のパスの区切り文字として使用している「/」は，Windows の場合には，特に断りのないかぎり，「¥」に読み替えてください。

目次

前書き　2
変更内容　4
はじめに　5

1　システムの構築・運用・保守で使用するメッセージの概要　14
1.1　システムの構築・運用・保守で使用するメッセージの種類　15
1.1.1　共通のメッセージ　15
1.1.2　実行基盤のメッセージ　15
1.1.3　コマンドのメッセージ　16
1.1.4　案件運用操作のメッセージ　17
1.1.5　ビジネスプロセス管理（CSCIW-Definer）のメッセージ　17
1.1.6　BPMN 連携機能に関するメッセージ　18
1.1.7　運用管理 REST API のメッセージ　18
1.2　システムの構築・運用・保守で使用するメッセージの記述形式　19
1.2.1　記述形式　19
1.2.2　共通の注意事項　20

2　システムの監査で使用するメッセージの概要　21
2.1　システムの監査で使用するメッセージの種類　22
2.2　システムの監査で使用するメッセージの出力形式　23
2.2.1　メッセージの出力先　23
2.2.2　メッセージの出力形式　23
2.2.3　メッセージの出力項目　23
2.3　システムの監査で使用するメッセージの記述形式　28
2.3.1　記述形式　28
2.3.2　共通の注意事項　29

3　KDIW00000～KDIW00199　30
3.1　KDIW00000～KDIW00199　31

4　KDIW00200～KDIW19999　34
4.1　KDIW00200～KDIW00599　35
4.2　KDIW00600～KDIW00799　41
4.3　KDIW00800～KDIW00999　57
4.4　KDIW01400～KDIW01599　60

4.5 KDIW01600～KDIW01799 64
4.6 KDIW01800～KDIW01999 65
4.7 KDIW02000～KDIW02199 78
4.8 KDIW02200～KDIW02399 79
4.9 KDIW02400～KDIW02599 85
4.10 KDIW02600～KDIW02799 93
4.11 KDIW02800～KDIW02999 95
4.12 KDIW03000～KDIW03199 99
4.13 KDIW03200～KDIW03399 108
4.14 KDIW03400～KDIW03599 111
4.15 KDIW04200～KDIW04399 117
4.16 KDIW04400～KDIW04599 122
4.17 KDIW04600～KDIW04799 124
4.18 KDIW04800～KDIW04999 152
4.19 KDIW05000～KDIW05199 166
4.20 KDIW05200～KDIW05399 173
4.21 KDIW05400～KDIW05599 179
4.22 KDIW05600～KDIW05699 195

5 KDIW20000～KDIW29999 200
5.1 KDIW20000～KDIW20099 201
5.2 KDIW20100～KDIW20199 205
5.3 KDIW20200～KDIW20399 216
5.4 KDIW20600～KDIW20799 218
5.5 KDIW20800～KDIW20999 219
5.6 KDIW21000～KDIW21199 222
5.7 KDIW21200～KDIW21399 227
5.8 KDIW21400～KDIW21599 229
5.9 KDIW21600～KDIW21799 234
5.10 KDIW21800～KDIW21999 237
5.11 KDIW22000～KDIW22199 240
5.12 KDIW22200～KDIW22399 247
5.13 KDIW22600～KDIW22799 249
5.14 KDIW22800～KDIW22899 257
5.15 KDIW22900～KDIW22999 262
5.16 KDIW23000～KDIW23099 268
5.17 KDIW23100～KDIW23199 277
5.18 KDIW23200～KDIW23299 282

6 KDIW30000～KDIW39999 300
6.1 KDIW30000～KDIW30599 301

7 KDIW40000～KDIW49999 324
7.1 KDIW40000～KDIW40099 325
7.2 KDIW40100～KDIW40199 328
7.3 KDIW40200～KDIW40299 335
7.4 KDIW40300～KDIW40399 340
7.5 KDIW40400～KDIW40499 343
7.6 KDIW40500～KDIW40599 345
7.7 KDIW40600～KDIW40699 346

8 KDIW50000～KDIW59999 349
8.1 KDIW50000～KDIW50999 350
8.2 KDIW51000～KDIW51999 365
8.3 KDIW52000～KDIW52999 388

9 KDIW60000～KDIW69999 406
9.1 KDIW60000～KDIW60499 407
9.2 KDIW60500～KDIW60999 436
9.3 KDIW61000～KDIW61999 442
9.4 KDIW62000～KDIW62999 462
9.5 KDIW63000～KDIW63199 512
9.6 KDIW63200～KDIW63399 529
9.7 KDIW63400～KDIW63599 571
9.8 KDIW63600～KDIW63799 580

10 KDIW70000～KDIW79999 617
10.1 KDIW70000～KDIW70999 618

付録 641
付録 A 各バージョンの変更内容 642
付録 A.1 03-10 での変更内容 642
付録 A.2 03-00 での変更内容 642
付録 A.3 02-30 での変更内容 643
付録 A.4 02-20 での変更内容 643
付録 A.5 02-10 での変更内容 644
付録 A.6 02-00 での変更内容 644
付録 A.7 01-95 での変更内容 645
付録 A.8 01-70-02 での変更内容 645

付録 A.9　01-70 での変更内容　645
付録 A.10　01-60 での変更内容　645

索引　647

1 システムの構築・運用・保守で使用するメッセージの概要

この章では，CSCIW のシステムの構築・運用・保守で使用するメッセージの種類および記述形式について説明します。

1.1　システムの構築・運用・保守で使用するメッセージの種類

システムの構築・運用・保守で使用するメッセージは次に示す種類に分類されます。

- 共通のメッセージ
- 実行基盤のメッセージ
- コマンドのメッセージ
- 案件運用操作のメッセージ
- ビジネスプロセス管理（CSCIW-Definer）のメッセージ
- BPMN 連携機能に関するメッセージ

それぞれのメッセージの種類について説明します。

1.1.1　共通のメッセージ

製品内共通のメッセージを次に示します。

表 1-1　製品内共通のメッセージ

分類	メッセージ ID
製品内共通のメッセージ	KDIW00000～KDIW00199

1.1.2　実行基盤のメッセージ

実行基盤のメッセージを次に示します。

表 1-2　実行基盤のメッセージ

分類	メッセージ ID
公開インターフェースのメッセージ	KDIW00200～KDIW00599
更新系 API のメッセージ	KDIW00600～KDIW00799
参照系 API のメッセージ	KDIW00800～KDIW00999
ID 管理のメッセージ	KDIW01400～KDIW01599
リクエスト・イベントのメッセージ	KDIW01600～KDIW01799
エンジンのメッセージ	KDIW01800～KDIW01999
組み込み作業のメッセージ	KDIW02000～KDIW02199
DB アクセスのメッセージ	KDIW02200～KDIW02399

分類	メッセージ ID
ルール評価のメッセージ	KDIW02400～KDIW02599
ビジネスプロセス定義アクセスのメッセージ	KDIW02600～KDIW02799
検索処理のメッセージ	KDIW02800～KDIW02999
設定情報管理処理のメッセージ	KDIW03000～KDIW03199
初期化・終了処理のメッセージ	KDIW03200～KDIW03399
プロセス情報管理処理のメッセージ	KDIW03400～KDIW03599
トレース初期化処理のメッセージ	KDIW04200～KDIW04399
共通機能のメッセージ	KDIW04400～KDIW04599
ビジネスプロセス定義操作系 API のメッセージ	KDIW04600～KDIW04799
振り分けルール定義操作系 API のメッセージ	KDIW04800～KDIW04999
ビジネスプロセス定義運用サーバのメッセージ	KDIW05000～KDIW05199
作業アプリケーション呼び出しのメッセージ	KDIW05200～KDIW05399
定義チェックのメッセージ	KDIW05400～KDIW05599
ジョブのメッセージ	KDIW05600～KDIW05699

1.1.3　コマンドのメッセージ

コマンドのメッセージを次に示します。

表 1-3　コマンドのメッセージ

分類	メッセージ ID
コマンド共通のメッセージ	KDIW20000～KDIW20099
オプションチェックのメッセージ	KDIW20100～KDIW20199
コマンド初期化のメッセージ	KDIW20200～KDIW20399
`ciwcleanup`（プロセス情報の正常化）コマンドのメッセージ	KDIW20600～KDIW20799
`ciwdelpi`（案件の削除）コマンドのメッセージ	KDIW20800～KDIW20999
`ciweditbp`（ビジネスプロセス定義の変更）コマンドのメッセージ	KDIW21000～KDIW21199
`ciwlistsid`（システム ID 情報の表示）コマンドのメッセージ	KDIW21200～KDIW21399
`ciwmngbp`（ビジネスプロセス定義の管理）コマンドのメッセージ	KDIW21400～KDIW21599
`ciwmngcr`（振り分けルール定義の管理）コマンドのメッセージ	KDIW21600～KDIW21799
`ciwreuseid`（ID の再利用）コマンドのメッセージ	KDIW21800～KDIW21999

分類	メッセージ ID
ciwsetenv（環境の構築または削除）コマンドのメッセージ	KDIW22000～KDIW22199
ciwchgdef（条件，ルール，および作業アプリケーションの変更）コマンドのメッセージ	KDIW22600～KDIW22799
ciwmngap（アプリケーション呼び出し制御情報の管理）コマンドおよびciwmngapgrp（アプリケーション呼び出しグループの管理）コマンドのメッセージ	KDIW22800～KDIW22899
ciwchgapwork（アプリケーション呼び出し作業の状態変更）コマンドのメッセージ	KDIW22900～KDIW22999
ciwmovepi（案件乗せ替え）コマンドのメッセージ	KDIW23000～KDIW23099
ciwevaluate（再評価）コマンドのメッセージ	KDIW23100～KDIW23199
ciwstartpi（任意の位置から開始する）コマンドのメッセージ	KDIW23200～KDIW23299

1.1.4　案件運用操作のメッセージ

案件運用操作のメッセージを次に示します。

表 1-4　案件運用操作のメッセージ

分類	メッセージ ID
案件運用操作のメッセージ	KDIW30000～KDIW30599

1.1.5　ビジネスプロセス管理（CSCIW-Definer）のメッセージ

ビジネスプロセス管理（CSCIW-Definer）のメッセージを次に示します。

表 1-5　ビジネスプロセス管理（CSCIW-Definer）のメッセージ

分類	メッセージ ID
ビジネスプロセス管理共通のメッセージ	KDIW40000～KDIW40099
ビジネスプロセス定義運用クライアントのメッセージ	KDIW40100～KDIW40199
ビジネスプロセス遷移エディタのメッセージ	KDIW40200～KDIW40299
ビジネスプロセス管理の設定情報管理のメッセージ	KDIW40300～KDIW40399
登録定義一覧処理のメッセージ	KDIW40400～KDIW40499
振り分けルール定義エディタのメッセージ	KDIW40500～KDIW40599
BPMN エディタからのビジネスプロセス定義登録のメッセージ	KDIW40600～KDIW40699

1.1.6　BPMN 連携機能に関するメッセージ

BPMN 連携機能に関するメッセージを次に示します。

表 1-6　BPMN 連携機能に関するメッセージ

分類	メッセージ ID
BPMN エディタのメッセージ	KDIW60000～KDIW60499
ビジネスプロセスオペレータおよびビジネスプロセスモニタのメッセージ	KDIW60500～KDIW60999
BPMN ビジネスプロセス定義の変換に関するメッセージ	KDIW61000～KDIW61999
REST API のメッセージ	KDIW62000～KDIW62999
BPMN 連携機能共通のメッセージ	KDIW63000～KDIW63199
BPMN 連携機能の BPMN 連携ライブラリのメッセージ	KDIW63200～KDIW63399
プロセスデータのメッセージ	KDIW63400～KDIW63599
アプリケーション呼び出しサービスのメッセージ	KDIW63600～KDIW63799

1.1.7　運用管理 REST API のメッセージ

運用管理 REST API のメッセージを次に示します。

表 1-7　運用管理 REST API のメッセージ

分類	メッセージ ID
運用管理 REST API のメッセージ	KDIW70000～KDIW70999

1.2　システムの構築・運用・保守で使用するメッセージの記述形式

1.2.1　記述形式

システムの構築・運用・保守で使用するメッセージは，次に示す形式を基本として説明しています。

KDIWnnnnn-X

メッセージテキスト

可変値に関する説明

要因

メッセージの要因を説明します。

対処

ユーザが実施する対処を説明します。

特記事項

メッセージに対する特記事項を説明します。

なお，「可変値に関する説明」，「要因」，「対処」および「特記事項」は，メッセージによっては記述がない場合もあります。

次に，メッセージの記述形式にあるそれぞれの項目について説明します。

KDIW

CSCIW のメッセージであることを示します。

nnnnn

メッセージの番号を示します。

X

メッセージレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E：エラーメッセージ（Error）

このメッセージレベルが表示された場合，プログラムの終了が必要です。重度の障害が発生したことを通知するメッセージです。

I：付加情報メッセージ（Information）

プログラムの付加情報を通知するメッセージです。

W：警告メッセージ（Warning）

このメッセージレベルが表示された場合，プログラムの終了は不要です。一部の機能が使用できないなどの障害が発生したことを通知する，または警告が必要な事象が発生したことを通知するメッセージです。

メッセージテキスト

出力されるメッセージを示します。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を示します。「*xx....xx*」（*xx* は英小文字）を可変値とした場合の，可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例 1）

aa....aa：オブジェクト種別

bb....bb：コード種別

（例 2）

- *aa....aa*
  オブジェクト種別
- *bb....bb*
  コード種別

要因

メッセージが出力された要因について説明します。

対処

ユーザが実施する対処方法について説明します。

特記事項

このメッセージに対する注意事項などの特記事項を説明します。

1.2.2　共通の注意事項

- メッセージファイルまたはトレースファイルに出力されたメッセージの可変値の部分に，何も表示されていない場合は，空文字が出力されているおそれがあります。
- メッセージ中にパスワードを表す文字列が含まれる場合は，パスワードの部分は「******」で表示されます。

2 システムの監査で使用するメッセージの概要

この章では，システムの監査で使用するメッセージの種類，出力形式および記述形式について説明します。

2.1　システムの監査で使用するメッセージの種類

システムの監査で使用するメッセージの種類を次に示します。

表 2-1　システムの監査で使用するメッセージ

分類	メッセージ ID
CSCIWManagementServer のメッセージ	KDIW50000～KDIW50999
コマンドのメッセージ	KDIW51000～KDIW51999
案件運用操作のメッセージ	KDIW52000～KDIW52999

2.2　システムの監査で使用するメッセージの出力形式

システムの監査で使用するメッセージの出力先，出力形式および出力項目について説明します。

2.2.1　メッセージの出力先

メッセージは，監査ログに出力されます。CSCIW の監査ログの取得は，Cosminexus の監査ログを出力する機能を利用しています。監査ログの出力の設定については，マニュアル「Cosminexus アプリケーションサーバ 機能解説 運用／監視／連携編」の「監査ログ出力の設定」の説明を，監査ログの出力先については，マニュアル「Cosminexus アプリケーションサーバ 機能解説 運用／監視／連携編」の「監査ログの出力先」の説明をそれぞれ参照してください。

2.2.2　メッセージの出力形式

メッセージは，次の形式で出力されます。

```
CALFHM 1.0,出力項目1=値1,出力項目2=値2,出力項目3=値3,…出力項目n=値n
```

先頭の「CALFHM 1.0」は，ヘッダ情報です。CSCIW の監査で使用されるメッセージに，共通で出力されます。

メッセージの出力例を次に示します。

出力例

```
CALFHM 1.0, seqnum=1, msgid=KDIW51000-I, date=2007-11-30T16:53:10.754+09:00,
progid=Cosminexus, compid=UAP_CSCIW, pid=5052, ocp:host=host01, ctgry=ConfigurationAccess,
result=Occurrence, subj:euid=account01, obj="XXXX", op="Add", loc="null", msg="account01
executed the command (ciwsetenv -sid SID01 -f
D:¥CSCIW¥conf¥ciwsetenvInputInfo.properties)."
```

2.2.3　メッセージの出力項目

メッセージの出力項目には，すべてのメッセージで共通の項目，およびメッセージごとに固有の項目があります。それぞれの項目の意味を次に示します。

すべてのメッセージで共通の項目

すべてのメッセージで同じ意味の可変値が出力されたり，共通の文字列が出力されたりする項目が該当します。

メッセージごとに固有の項目

メッセージごとに固有の意味を持つ可変値が出力されたり，メッセージごとに出力される文字列が決まっていたりする項目が該当します。

メッセージの出力項目の詳細について，次の表に示します。

表 2-2　メッセージの出力項目

出力項目名	出力項目の意味	詳細	共通／固有
seqnum	通番	監査ログの通番が出力されます。 出力される値は，1 から 9999999999 までの整数です。	共通
msgid	メッセージ ID	メッセージ ID が出力されます。	固有
date	日付および時刻	メッセージが出力された日時が，次の形式で出力されます。 *YYYY-MM-DD*T*hh:mm:ss.sssTZD* • *YYYY*：西暦年 • *MM*：月 • *DD*：日 • T：日付と時間の区切り • *hh*：時 • *mm*：分 • *ss*：秒 • *sss*：マイクロ秒 • *TZD*：タイムゾーン※1	共通
progid	発生プログラム名	監査事象が発生したプログラムの名称が出力されます。CSCIW の場合，「Cosminexus」という文字列が出力されます。	共通
compid	発生構成ソフトウェア名	監査事象が発生した構成ソフトウェアの略称が，次の形式で出力されます。 UAP_CSCIW uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow	固有
pid	発生プロセス ID	監査事象が発生したプロセスのプロセス ID が出力されます。	共通
ocp:host	発生場所	監査事象が発生したホストの名称が出力されます。ただし，発生場所の情報が取得できなかった場合，「(null)」が出力されます。	共通
ctgry	監査事象の種別	監査事象の種別が分類されて出力されます。 監査事象の種別については，「表 7-3　監査事象の種別」を参照してください。	固有
result	監査事象の結果	監査事象の結果（成功・失敗・発生）が，次の形式で出力されます。 Success 監査事象の成功を示します。 Failure 監査事象の失敗を示します。	固有

出力項目名	出力項目の意味	詳細	共通／固有
result	監査事象の結果	Occurrence 成功および失敗の区別がない事象の発生を示します。	固有
subj:uid	サブジェクト識別情報（アカウント識別子の場合）	監査事象を発生させたものがアカウント情報に割り付けられている場合，アカウント識別子（ユーザ ID など）が出力されます。	固有
subj:euid	サブジェクト識別情報（OS のアカウントの場合）	監査事象を発生させたものが OS によって提供されるアカウント情報に割り付けられている場合，OS のアカウント※2 が出力されます。ただし，サブジェクト識別情報が取得できなかった場合，「(null)」が出力されます。	固有
obj	システム ID	監査事象が発生したシステム ID が出力されます。	固有
op	動作情報	監査事象となった操作の種別が，「"」で囲まれた次の形式で出力されます。 StartStop の場合 • Start 起動を示します。 • Stop 停止を示します。 Authentication の場合 • Login ログインを示します。 • Logout ログアウトを示します。 ConfigurationAccess の場合 • Refer 設定情報の参照を示します。 • Add 設定情報の追加を示します。 • Update 設定情報の更新を示します。 • Delete 設定情報の削除を示します。 ContentAccess の場合 • Refer 重要情報の参照を示します。 • Add 重要情報の追加を示します。 • Update 重要情報の更新を示します。 • Delete 重要情報の削除を示します。	固有

出力項目名	出力項目の意味	詳細	共通／固有
op	動作情報	Maintenance の場合 • Update 更新作業を示します。	固有
objloc	オブジェクトロケーション情報	オブジェクトロケーション情報が出力されます。	固有
to:host	リクエスト送信先ホスト	監査事象が複数のプログラム間で連携して動作するリクエストと関連する場合に，リクエストの送信先のホスト情報が出力されます。	固有
to:port	リクエスト送信先ポート番号	監査事象が複数のプログラム間で連携して動作するリクエストと関連する場合に，リクエストの送信先のポート番号が出力されます。	固有
msg	自由記述	監査事象の内容を示す文章が出力されます。	固有

（凡例）

共通：すべてのメッセージで共通の項目であることを示します。

固有：メッセージごとに固有の項目であることを示します。メッセージごとに固有の項目の詳細については，8 章以降に記載されたメッセージの説明を参照してください。

注※1

タイムゾーンは，UTC からの時差で表示されます。表示形式を次に示します。

+*hh*:*mm*：UTC から *hh* 時間 *mm* 分進んでいます。

-*hh*:*mm*：UTC から *hh* 時間 *mm* 分遅れています。

Z：UTC と同じ

（例）日本の場合：+09:00

注※2

OS のアカウントには，Windows の場合はユーザ名が，UNIX の場合は，実効ユーザ ID が出力されます。

次に，ctgry に出力される監査事象の種別について表 7-3 に示します。

表 2-3　監査事象の種別

対象	監査事象	説明
CSCIWManagementServer	StartStop	起動と停止を示す事象です。※
	Authentication	CSCIW-Definer からのログインとログアウトを示す事象です。
	ContentAccess	CSCIW-Definer で次の操作を実行したことを示す事象です。

対象		監査事象	説明
CSCIWManagementServer		ContentAccess	ビジネスプロセス定義 登録，情報取得，属性変更，削除 振り分けルール定義 登録，情報取得，属性変更，削除
コマンド	ciwchgdef	ContentAccess	定義の変更を示す事象です。
	ciwchgenv	ConfigurationAccess	コマンドの実行を示す事象です。
	ciwcleanup	ConfigurationAccess	
	ciwdelpi	ContentAccess	
	ciweditbp	ContentAccess	
	ciwexpwcodef	ContentAccess	
	ciwlistsid	ConfigurationAccess	
	ciwmngbp	ContentAccess	定義の登録，取得，属性変更または削除を示す事象です。
	ciwmngcr	ContentAccess	
	ciwreuseid	ConfigurationAccess	コマンドの実行を示す事象です。
	ciwsetenv	ConfigurationAccess	環境の構築または削除を示す事象です。
		Maintenance	環境のバージョンアップを示す事象です。
案件運用操作		StartStop	起動と停止を示す事象です。※
		Authentication	ログインとログアウトを示す事象です。
		ContentAccess	次の操作の実行を示す事象です。 案件 開始，中断，再開，強制終了，削除 業務ステップ 活性化，中断，再開，完了，強制終了 作業 活性化，中断，再開，完了，強制終了

注※

J2EE アプリケーションの開始または停止のときに，J2EE サーバから出力される監査ログで代用されます。

2.3　システムの監査で使用するメッセージの記述形式

2.3.1　記述形式

システムの監査で使用するメッセージは，次に示す形式を基本として説明します。

KDIWnnnnn-X

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
メッセージの出力項目名	メッセージの出力項目の意味	メッセージの出力内容

可変値に関する説明

オペレーションまたはコマンド
　メッセージが出力されるタイミングとなるオペレーションまたはコマンド

出力ポイント
　メッセージが出力されるタイミング

なお，「可変値に関する説明」は，メッセージによっては記述がない場合もあります。

次に，メッセージの記述形式にあるそれぞれの項目について説明します。

KDIW

CSCIW のメッセージであることを示します。

nnnnn

メッセージの番号を示します。

X

メッセージのレベルを表します。メッセージのレベルは英字 1 文字で示します。

メッセージのレベルを示す文字とその意味を次に示します。

E：エラーメッセージ（Error）
　プログラムの終了が必要となる重度の障害が発生したことを通知するメッセージです。

I：付加情報メッセージ（Information）
　プログラムの付加情報を通知するメッセージです。

メッセージの内容

メッセージに出力される項目の内容を表に示します。

ここでは，メッセージごとに固有の意味を持つ項目，または固有の値が出力される項目について説明します。すべてのメッセージで共通の意味を持つ項目，または共通の値が出力される項目については，「表 7-2　メッセージの出力項目」を参照してください。

可変値に関する説明

メッセージテキスト中の可変値に表示される情報を「*xx....xx*：表示される情報」（*xx* は英小文字）の形式で示します。可変値に関する説明の記述例を次に示します。

（例）

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

オペレーションまたはコマンド

メッセージが出力された契機となったオペレーションまたはコマンドを示します。

出力ポイント

メッセージが出力されたタイミングを示します。

2.3.2　共通の注意事項

出力されたメッセージの可変値の部分に，何も表示されていない場合は，空文字が出力されているおそれがあります。

3

KDIW00000～KDIW00199

この章では，製品内共通のメッセージとその要因，および対処方法について説明します。

3.1 KDIW00000～KDIW00199

KDIW00000-E

The specified value for the date is invalid. date-value = *aa....aa*
日付に不正な値が指定されました。日付の値 = *aa....aa*

aa....aa：ユーザが指定した日付

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定した日付が 1970/01/02 00:00:00 GMT～292278993/12/31 00:00:00 GMT の範囲外です。
- null を指定できないメソッドで，null が指定されました。

対処

有効な日付を指定し，再実行してください。

KDIW00001-E

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow is not available at the moment.
uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow は現在利用できません。

要因

CSCIW が起動されていません。

対処

CSCIW を起動してください。

- **Java アプリケーションの場合**
  CIWAdmin クラスの initializeCIWFactory メソッドを実行してください。
- **J2EE アプリケーションの場合**
  CSCIWManagementServer を起動してください。

KDIW00002-E

The specified code value is incorrect. object-kind = *aa....aa*, code-kind = *bb....bb*, code-value = *cc....cc*

指定されたコード値が誤っています。オブジェクト種別 = *aa....aa*, コード種別 = *bb....bb*, コード値 = *cc....cc*

aa....aa：オブジェクト種別※1

bb....bb：コード種別※2

cc....cc：コード値

注※1

ACTIVITY_DEFINITION：業務ステップ定義
ACTIVITY_INSTANCE：業務ステップ
CASTINGRULE_DEFINITION：振り分けルール定義
CONDITION_DEFINITION：条件定義
CREATIONRULE_DEFINITION：生成ルール定義
FLOW_DEFINITION：遷移定義
PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義
PROCESS_INSTANCE：案件
TIMERULE_DEFINITION：時間取得ルール定義
WORK_DEFINITION：作業定義
WORK_ITEM：作業
CONTROLNODE_INSTANCE：制御ノード
CONTROLNODE_INSTANCEMNG：制御ノード管理

注※2

ActivityTypeCode：業務ステップ種別
CastingRuleType：振り分けルール定義種別
ConditionTypeCode：条件種別
ControlNodeTypeCode：制御ノード種別
CreationPolicy：事前生成の有無
CreationRuleType：生成ルール種別
DestinationNodeTypeCode：遷移先ノード種別
SourceNodeTypeCode：遷移元ノード種別
StateCode：状態
TimeRuleType：時間取得ルール
WorkTypeCode：作業種別
ControlNodeType：制御ノードの種別
Data2：制御ノード管理の詳細情報２（制御ノード種別）
Data3：制御ノード管理の詳細情報３（制御ノード状態）

要因

次に示す要因が考えられます。

- fromStateCode メソッドまたは fromTypeCode メソッドによって，コード値から列挙型の定数を取得するときに，「z」または存在しないコード値を指定しています。
- ワーク管理データベース上の値に，存在しないコード値を設定しているおそれがあります。

対処

fromStateCode メソッドまたは fromTypeCode メソッドに，「z」または存在しないコード値を指定しているかどうかを確認してください。指定していた場合は有効なコード値を指定し，メソッドを再実行してください。

問題が解決しない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

4 KDIW00200～KDIW19999

この章では，実行基盤のメッセージとその要因，および対処方法について説明します。

4.1 KDIW00200～KDIW00599

KDIW00200-E

An attempt to acquire the connection-related object has failed.
コネクション関連付けオブジェクトの取得に失敗しました。

要因

javax.sql.DataSource を指定し，CIWServer オブジェクトを生成しています。

対処

対象の CIWServer オブジェクトでは，ユーザがデータベースコネクションと CIWServer オブジェクトの関連づけおよび解除を実行する必要はありません。

実行する場合は，javax.sql.DataSource を指定しないで CIWServer オブジェクトを再作成してください。

KDIW00201-E

An error occurred in the method.method-name = *aa....aa*
メソッドの実行中にエラーが発生しました。メソッド名 = *aa....aa*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

要因

指定したメソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処後にメソッドを再実行してください。

エラー情報が出力されていない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW00202-E

An error occurred in the method. method-name = *aa....aa*, user-description = *bb....bb*
メソッドの実行中にエラーが発生しました。メソッド名 = *aa....aa*, ユーザ記述子 = *bb....bb*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

bb....bb：ユーザ記述子

要因

指定したメソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処後にメソッドを再実行してください。

エラー情報が出力されていない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW00203-E

An error occurred in the method. method-name = *aa....aa*, user-description = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*

メソッドの実行中にエラーが発生しました。メソッド名 = *aa....aa*, ユーザ記述子 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

bb....bb：ユーザ記述子

cc....cc：ビジネスプロセス定義 ID

要因

ビジネスプロセス定義オブジェクトが指定されたメソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処後にメソッドを再実行してください。

エラー情報が出力されていない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW00205-E

An invalid value was specified during creation of a CIWServer object. argument = *aa....aa*, value = *bb....bb*

CIWServer オブジェクトの作成時に，不正な引数が指定されました。引数名 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：不正な引数名※1

bb....bb：不正な引数の値※2

注※1

USER_DESCRIPTION：ユーザ記述子

DATA_SOURCE：javax.sql.DataSource オブジェクト

注※2

値が表示されない場合：空文字列

要因

次に示す要因が考えられます。

- CIWServer オブジェクトを作成するときに，不正な引数が指定されました。
- ユーザ記述子について，ワーク管理データベースで使用している文字コードに変換した場合に定義よりも長い文字列が指定されました。

対処

引数の値を変更し，CIWServer オブジェクトを再作成してください。

ユーザ記述子の文字列長は，`<SYSTEMID>_PROCESS_INSTANCE` テーブルの`Creator` カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW00206-E

An error occurred in the method. method-name = *aa....aa*, user-description = *bb....bb*, process-instance-ID = *cc....cc*

メソッドの実行中にエラーが発生しました。メソッド名 = *aa....aa*, ユーザ記述子 = *bb....bb*, 案件 ID = *cc....cc*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

bb....bb：ユーザ記述子

cc....cc：案件 ID

要因

案件オブジェクトが指定されたメソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処後にメソッドを再実行してください。

エラー情報が出力されていない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW00207-E

An error occurred in the method. method-name = *aa....aa*, user-description = *bb....bb*, process-instance-ID = *cc....cc*, activity-instance-ID = *dd....dd*

メソッドの実行中にエラーが発生しました。メソッド名 = *aa....aa*, ユーザ記述子 = *bb....bb*, 案件 ID = *cc....cc*, 業務ステップ ID = *dd....dd*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

bb....bb：ユーザ記述子

cc....cc：案件 ID

dd....dd：業務ステップ ID

要因

業務ステップオブジェクトが指定されたメソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処後にメソッドを再実行してください。

エラー情報が出力されていない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW00208-E

An error occurred in the method. method-name = *aa....aa*, user-description = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, work-definition-ID = *dd....dd*

メソッドの実行中にエラーが発生しました。メソッド名 = *aa....aa*, ユーザ記述子 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*, 作業定義 ID = *dd....dd*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

bb....bb：ユーザ記述子

cc....cc：ビジネスプロセス定義 ID

dd....dd：作業定義 ID

要因

作業定義オブジェクトが指定されたメソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処後にメソッドを再実行してください。

エラー情報が出力されていない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW00209-E

An error occurred in the method. method-name = *aa....aa*, user-description = *bb....bb*, process-instance-ID = *cc....cc*, work-item-ID = *dd....dd*

メソッドの実行中にエラーが発生しました。メソッド名 = *aa....aa*, ユーザ記述子 = *bb....bb*, 案件 ID = *cc....cc*, 作業 ID = *dd....dd*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

bb....bb：ユーザ記述子

cc....cc：案件 ID

dd....dd：作業 ID

要因

作業オブジェクトが指定されたメソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処後にメソッドを再実行してください。

エラー情報が出力されていない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW00210-E

An error occurred in the method. method-name = *aa....aa*, user-description = *bb....bb*, casting-rule-ID = *cc....cc*

メソッドの実行中にエラーが発生しました。メソッド名 = *aa....aa*, ユーザ記述子 = *bb....bb*, 振り分けルール定義 ID = *cc....cc*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

bb....bb：ユーザ記述子

cc....cc：振り分けルール定義 ID

要因

振り分けルール定義のオブジェクトが指定されたメソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処後にメソッドを再実行してください。

エラー情報が出力されていない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW00211-E

An error occurred in the method. method-name = *aa....aa*, user-description = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, activity-definition-ID = *dd....dd*

メソッドの実行中にエラーが発生しました。メソッド名 = *aa....aa*, ユーザ記述子 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*, 業務ステップ定義 ID = *dd....dd*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

bb....bb：ユーザ記述子

cc....cc：ビジネスプロセス定義 ID

dd....dd：業務ステップ定義 ID

要因

業務ステップ定義オブジェクトが指定されたメソッドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処後にメソッドを再実行してください。

エラー情報が出力されていない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW00400-E

An attempt to acquire an attribute has failed. attribute-name = *aa....aa*

属性の取得に失敗しました。属性名 = *aa....aa*

aa....aa：取得しようとした属性名

要因

オブジェクトを取得するとき，取得する属性に指定していない属性を取得しようとしました。

対処

エラーが発生した属性名を，取得する属性に指定してください。そのあと，オブジェクトを取得し，属性を取得してください。

4.2 KDIW00600～KDIW00799

KDIW00600-W

This process instance does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*
この案件は存在しません。案件 ID = *aa....aa*

aa....aa：案件 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- 操作対象の案件がありません。
- 操作対象の業務ステップまたは作業が含まれる案件がありません。

対処

操作対象の案件，業務ステップまたは作業を取得し直し，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00601-W

This activity instance does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*
この業務ステップは存在しません。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

要因

操作対象の業務ステップがありません。

対処

操作対象の業務ステップを取得し直したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00602-W

This work item does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*
この作業は存在しません。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

要因

操作対象の作業がありません。

対処

操作対象の作業を取得し直し，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00603-W

A process instance cannot be entered with the specified process definition. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*, cause = *cc....cc*

指定されたビジネスプロセス定義では案件投入できません。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*, 要因 = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義のバージョン

cc....cc：エラーの要因

要因

cc....cc に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- **STATE の場合**
  指定したビジネスプロセス定義の状態が非活性です。
- **VALID_PERIOD の場合**
  指定したビジネスプロセス定義は案件投入可能期間外です。

対処

ビジネスプロセス定義の状態または案件の投入可能期間を確認し，メソッドを再実行してください。また，案件運用操作から案件を投入時にこのメッセージが出力された場合は，CSCIWManagementServer を再起動したあと，操作を再実行してください。

KDIW00604-W

The specified process instance cannot be deleted. process-instance-ID = *aa....aa*, status = *bb....bb*

指定された案件が削除できません。案件 ID = *aa....aa*, 状態 = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：状態

要因

指定した案件が「終了」状態でないため削除できません。

対処

案件を「終了」状態にしたあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00605-W

The specified status transition is not permitted on this model. process-instance-ID = *aa....aa*, current-status = *bb....bb*, specified-status = *cc....cc*

モデル上許可されない状態遷移が指定されました。案件 ID = *aa....aa*, 現在の状態 = *bb....bb*, 指定された状態 = *cc....cc*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：現在の状態

cc....cc：指定した状態

要因

モデルおよび各メソッドの仕様上，許可されていない状態遷移が指定されました。

対処

状態遷移を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00606-W

The specified status transition is not permitted on this model. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, current-status = *cc....cc*, specified-status = *dd....dd*

モデル上許可されない状態遷移が指定されました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 現在の状態 = *cc....cc*, 指定された状態 = *dd....dd*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

cc....cc：現在の状態

dd....dd：指定した状態

要因

モデルおよび各メソッドの仕様で許可されていない状態遷移が指定されました。

対処

状態遷移を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00607-W

The specified status transition is not permitted on this model. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, current-status = *cc....cc*, specified-status = *dd....dd*

モデル上許可されない状態遷移が指定されました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 現在の状態 = *cc....cc*, 指定された状態 = *dd....dd*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

cc....cc：現在の状態

dd....dd：指定した状態

要因

モデルおよび各メソッドの仕様で許可されていない状態遷移が指定されました。

対処

状態遷移を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00608-W

The attribute value for the specified process instance cannot be changed. process-instance-ID = *aa....aa*, status = *bb....bb*

指定された案件の属性値を変更することができません。案件 ID = *aa....aa*, 状態 = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：状態

要因

指定した案件が「未終了」状態でないため，属性値を変更できません。

対処

状態を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00609-W

The attribute value for the specified activity instance cannot be changed. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, status = *cc....cc*

指定された業務ステップの属性値を変更することができません。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

cc....cc：状態

要因

指定した業務ステップが「未終了」状態でないため，属性値を変更できません。

対処

状態を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00610-W

The attribute value for the specified work item cannot be changed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, status = *cc....cc*

指定された作業の属性値を変更することができません。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

cc....cc：状態

要因

指定した作業が「未終了」状態でないため，属性値を変更できません。

対処

状態を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00611-W

The status of the process instance does not match the condition. process-instance-ID = *aa....aa*, status = *bb....bb*

案件の状態が条件に合っていません。案件 ID = *aa....aa*, 状態 = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：状態

要因

次に示す要因が考えられます。

- 操作対象の案件の状態が条件に合っていません。
- 操作対象の業務ステップまたは作業が含まれる案件の状態が，条件に合っていません。

対処

案件の状態を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00612-W

The status of the activity instance does not match the condition. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, status = *cc....cc*
業務ステップの状態が条件に合っていません。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

cc....cc：状態

要因

次に示す要因が考えられます。

- 操作対象の業務ステップの状態が条件に合っていません。
- 操作対象の作業が含まれる業務ステップの状態が，条件に合っていません。

対処

業務ステップの状態を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00613-W

The status of the work item does not match the condition. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, status = *cc....cc*
作業の状態が条件に合っていません。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

cc....cc：状態

要因

操作対象の作業の状態が条件に合っていません。

対処

作業の状態を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00615-W

The type of the activity instance does not match the condition. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, type = *cc....cc*
業務ステップの種類が条件に合っていません。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 種類 = *cc....cc*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

cc....cc：種類

要因

操作対象の業務ステップの種類が条件に合っていません。

対処

業務ステップの種類を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00616-W

The type of the work item does not match the condition. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, type = *cc....cc*
作業の種類が条件に合っていません。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 種類 = *cc....cc*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

cc....cc：種類

要因

操作対象の作業の種類が条件に合っていません。

対処

作業の種類を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00620-E

An illegal value was specified for the post change status. post-change-status = *aa....aa*
変更後の状態に不正な値が指定されました。変更後の状態 = *aa....aa*

aa....aa：変更後の状態

要因

変更後の状態に null が指定されました。

対処

変更後の状態に指定した値を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00621-E

The specified attribute name is invalid. attribute-name = *aa....aa*
無効な属性名が指定されました。属性名 = *aa....aa*

aa....aa：属性名

要因

指定できない属性名が指定されました。

対処

属性名を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00622-E

The type of the specified attribute value does not match the attribute name. attribute-name = *aa....aa*, attribute-value-type = *bb....bb*
属性名と型が一致しない属性値が指定されました。属性名 = *aa....aa*, 属性値の型 = *bb....bb*

aa....aa：属性名

bb....bb：属性値の型

要因

属性値として指定した型と属性名の型が一致しません。

対処

属性名と一致した型を属性値に指定してください。

KDIW00623-W

The value for the original participant ID is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, current-participant = *cc....cc*, source-participant = *dd....dd*

変更前の作業者 ID の値が誤っています。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 現在の作業者 ID = *cc....cc*, 指定した変更前の作業者 ID = *dd....dd*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

cc....cc：現在の作業者 ID

dd....dd：指定した変更前の作業者 ID

要因

変更前の作業者 ID の値が不正です。

対処

変更前の作業者 ID に正しい値を指定したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00624-W

The activity definition name specified as the destination does not exist. activity-definition-name = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

存在しない業務ステップ定義名が遷移先に指定されました。業務ステップ定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：業務ステップ定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン

要因

ビジネスプロセス定義にない業務ステップ定義名が指定されました。

対処

正しい業務ステップ定義名を指定したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00625-W

The activity definition specified as the destination does not exist. activity-definition-name = *aa....aa*, activity-definition-ID = *bb....bb*

業務ステップが存在しない業務ステップ定義が遷移先に指定されました。業務ステップ定義名 = *aa....aa*, 業務ステップ定義 ID = *bb....bb*

aa....aa：業務ステップ定義名

bb....bb：業務ステップ定義 ID

要因

業務ステップがない業務ステップ定義が指定されました。

対処

正しい業務ステップ定義を指定したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00626-W

The activity definition specified as the destination does not exist. activity-definition-name = *aa....aa*, activity-definition-ID = *bb....bb*, process-instance-ID = *cc....cc*, activity-instance-ID = *dd....dd*, status = *ee....ee*

条件と一致しない状態の業務ステップが存在する業務ステップ定義名が遷移先に指定されました。業務ステップ定義名 = *aa....aa*, 業務ステップ定義 ID = *bb....bb*, 案件 ID = *cc....cc*, 業務ステップ ID = *dd....dd*, 状態 = *ee....ee*

aa....aa：業務ステップ定義名

bb....bb：業務ステップ定義 ID

cc....cc：案件 ID

dd....dd：業務ステップ ID

ee....ee：状態

要因

条件と一致しない業務ステップが存在する業務ステップ定義が指定されました。

対処

正しい業務ステップ定義を指定したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW00627-E

The value specified for the process instance name is invalid. process-instance-name = *aa....aa*
案件名に不正な値が指定されました。案件名 = *aa....aa*

aa....aa：案件名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- ワーク管理データベースで使用している文字コードに変換した場合に，定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定した案件名を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

案件名の文字列長は，<SYSTEMID>_PROCESS_INSTANCE テーブルのName カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW00628-E

The value specified for the reassigned source participant ID is invalid. reassigned-source-participant-ID = *aa....aa*
再割り当て元作業者 ID に不正な値が指定されました。再割り当て元作業者 ID = *aa....aa*

aa....aa：再割り当て元作業者 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- ワーク管理データベースで使用している文字コードに変換した場合に，定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定した再割り当て元作業者 ID を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

作業者 ID の文字列長は，<SYSTEMID>_ WORK_ITEM テーブルのParticipant カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW00629-E

The value specified for the reassigned destination participant ID is invalid. reassigned-destination-participant-ID = *aa....aa*

再割り当て先作業者 ID に不正な値が指定されました。再割り当て先作業者 ID = *aa....aa*

aa....aa：再割り当て先作業者 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- ワーク管理データベースで使用している文字コードに変換した場合に，定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定した再割り当て先作業者 ID を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

作業者 ID の文字列長は，<SYSTEMID>_ WORK_ITEM テーブルのParticipant カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW00630-E

The value specified for the process definition name is invalid. process-definition-name = *aa....aa*

ビジネスプロセス定義名に不正な値が指定されました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- null が指定されました。
- ワーク管理データベースで使用している文字コードに変換した場合に，定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定したビジネスプロセス定義名を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

ビジネスプロセス定義名の文字列長は，<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルのName カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW00631-E

The value specified for the activity definition name is invalid. activity-definition-name = *aa....aa*

業務ステップ定義名に不正な値が指定されました。業務ステップ定義名 = *aa....aa*

aa....aa：業務ステップ定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- null が指定されました。
- ワーク管理データベースで使用している文字コードに変換した場合に，定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定した業務ステップ定義名を確認したあと，メソッドまたは操作を再実行してください。

業務ステップ定義名の文字列長は，<SYSTEMID>_ACTIVITY_DEF テーブルのName カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW00632-E

An execution call could not be made to the ad hoc API. This API has been revoked. method-name = *aa....aa*, user-description = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*

アドホック API を実行できません。本 API は取り消されます。メソッド名 = *aa....aa*， ユーザ記述子 = *bb....bb*，ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*，ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*

aa....aa：エラーが発生したメソッド

bb....bb：ユーザ記述子

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

ビジネスプロセス定義がアドホック API を使用しない指定です。

対処

このビジネスプロセス定義ではアドホック API を実行できません。CSCIW-Definer のビジネスプロセス定義プロパティ画面の「アドホック API を使用する」にチェックを入れたビジネスプロセス定義を使用してください。

KDIW00633-W

There is no activity definition for this activity definition ID. activity-definition-ID = *aa....aa*
業務ステップ定義 ID に対応する業務ステップ定義が存在しません。業務ステップ定義 ID = *aa....aa*

aa....aa：業務ステップ定義 ID

要因

対象となる案件のビジネスプロセス定義内に存在しない業務ステップ定義の ID です。

対処

指定した業務ステップ定義の ID を確認してください。
対象となる案件のビジネスプロセス定義内に存在する業務ステップ定義の ID を指定してください。

KDIW00634-E

The value specified for the activity instance name is invalid. activity-instance-name = *aa....aa*
業務ステップの名称に不正な値が指定されました。業務ステップの名称= *aa....aa*

aa....aa：業務ステップの名称

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- ワーク管理データベースで使用している文字コードに変換した場合に定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定した業務ステップの名称を確認してください。

業務ステップの名称の文字列長は，<SYSTEMID>_ACTIVITY_INSTANCE テーブルのName カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW00635-E

The value specified for the activity definition ID is invalid. activity-definition-ID = *aa....aa*
業務ステップ定義 ID に不正な値が指定されました。業務ステップ定義 ID = *aa....aa*

aa....aa：業務ステップ定義 ID

要因

業務ステップ定義 ID に null が指定されました。

対処

指定した業務ステップ定義 ID を確認してください。

対象となる案件のビジネスプロセス定義内に存在する業務ステップ定義の ID を指定してください。

KDIW00636-E

The value specified for the activity instance ID is invalid. activity-instance-ID = *aa....aa*
業務ステップ ID に不正な値が指定されました。業務ステップ ID = *aa....aa*

aa....aa：業務ステップ ID

要因

業務ステップ ID に null が指定されました。

対処

指定した業務ステップ ID を確認してください。

遷移先の業務ステップ ID を指定してください。遷移先の業務ステップは「初期」状態である必要があります。

KDIW00637-E

No allocatable work items exist.
割り当て可能な作業が存在しません。

要因

割り当て可能な作業が存在しませんでした。

対処

指定したフィルター条件を確認してください。

フィルター条件に合致し，かつ「実行開始可能」状態の作業が存在する状態で再実行してください。

KDIW00638-E

The specified argument is invalid.
指定された引数が不正です。

要因

指定された引数が null または空文字です。

対処

正しい引数を指定してメソッドを再実行してください。

4.3 KDIW00800～KDIW00999

KDIW00800-E

The ID specified in the first argument is incorrect. ID = *aa....aa*
第一引数の ID に誤った値が指定されています。ID = *aa....aa*

aa....aa：ID

要因

第 1 引数に不正な値が指定されています。
次に示す要因が考えられます。

- ワーク管理データベースにない値が，第 1 引数の ID に指定されています。
- ID に値が指定されていません。

対処

ID に正しい値を指定したあと，メソッドを再実行してください。

KDIW00801-E

The ID specified in the second argument is incorrect. ID = *aa....aa*
第二引数の ID に誤った値が指定されています。ID = *aa....aa*

aa....aa：ID

要因

第 2 引数に不正な値が指定されています。
次に示す要因が考えられます。

- ワーク管理データベースにない値が，第 2 引数の ID に指定されています。
- ID に値が指定されていません。

対処

ID に正しい値を指定したあと，メソッドを再実行してください。

KDIW00803-E

The specified offset value is outside the valid range. offset-value = *aa....aa*

オフセット値に範囲外の値が指定されました。オフセット値 ＝*aa....aa*

aa....aa：オフセット値

要因

オフセット値に 0 より小さい値が指定されました。

対処

オフセット値に 0 以上の値を指定したあと，メソッドを再実行してください。

KDIW00804-E

The specified max count is outside the valid range. max-count ＝*aa....aa*
最大取得数に範囲外の値が指定されました。最大取得数 ＝*aa....aa*

aa....aa：最大取得数

要因

最大取得数に-1 より小さい値が指定されました。

対処

最大取得数に-1 以上の値を指定したあと，メソッドを再実行してください。
すべてを取得する場合は，-1 を指定してください。

KDIW00805-E

The specified attribute name is incorrect. attribute-name ＝*aa....aa*
誤った属性名が指定されました。属性名 ＝*aa....aa*

aa....aa：属性名

要因

各メソッドに不正な属性名が指定されました。

対処

各メソッドに正しい属性名を指定したあと，メソッドを再実行してください。

KDIW00806-E

The specified object used for acquiring the number of items is invalid.

指定された件数取得対象が不正です。

要因

引数の件数取得対象に null が指定されました。

対処

メソッドに対応した件数取得対象を指定したあと，メソッドを再実行してください。

4.4 KDIW01400～KDIW01599

KDIW01400-E

There are no IDs that can be used for the target table. type = *aa....aa*
対象のテーブルに対して採番可能な ID が存在しません。ID 種別 = *aa....aa*

aa....aa：ID 種別

要因

採番できる ID がありません。

対処

`ciwreuseid`（ID の再利用）コマンドで ID を回復してください。回復できない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW01401-E

An attempt to terminate ID management has failed. notification-ID = *aa....aa*, type = *bb....bb*
ID 管理の終了処理に失敗しました。通知 ID = *aa....aa*, ID 種別 = *bb....bb*

aa....aa：通知 ID

bb....bb：ID 種別

要因

終了処理中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照したあと，対処してください。

KDIW01402-I

The number of usable IDs is low. type = *aa....aa*
採番可能な ID が少なくなりました。ID 種別 = *aa....aa*

aa....aa：ID 種別

要因

採番できる ID が警告値（100,000,000）以下になりました。

対処

`ciwreuseid`（ID の再利用）コマンドで ID を回復してください。

KDIW01403-E

An attempt to access the ID management EJB has failed. cause = *aa....aa*
ID 管理 EJB へのアクセスに失敗しました。要因コード = *aa....aa*

aa....aa：エラーの要因コード（ENV または SYS）

要因

ID 管理 EJB へのアクセスに失敗しました。

なお，*aa....aa* に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- **ENV の場合**
  環境設定の問題です。
- **SYS の場合**
  EJB コンテナレベルの問題です。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ENV の場合**
  CSCIWManagementServer が正しく起動しているかどうかを確認してください。
- **SYS の場合**
  Cosminexus のログに従って対処してください。

KDIW01404-E

Invalid ID management data was detected. details = (*aa....aa*)
ID 管理データの不正が検出されました。詳細 = (*aa....aa*)

aa....aa：詳細（保守情報）

要因

不正な ID 管理データが検出されました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW01405-I

The ID management transaction will be retried. *aa....aa/bb....bb*
ID 管理トランザクションを再試行します。*aa....aa/bb....bb*

aa....aa：再試行回数

bb....bb：最大再試行回数

要因

ID 管理トランザクションを実行中に一時的なエラーが発生したため，ID 管理トランザクションを再試行します。

対処

必要ありません。

KDIW01406-E

The maximum retry count (*aa....aa*) of the ID management transaction was exceeded.
ID 管理トランザクションの最大再試行回数(*aa....aa*)を超過しました。

aa....aa：最大再試行回数

要因

ID 管理トランザクションの最大再試行回数を超えたため，ID 管理トランザクションの再試行を中止しました。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW01407-E

The cached ID is inconsistent with ID management data. details = (*aa....aa*)
キャッシュされた ID と ID 管理データが矛盾しています。詳細 = (*aa....aa*)

aa....aa：詳細（保守情報）

要因

キャッシュされた ID と ID 管理データが矛盾しています。

次に示す要因が考えられます。

- DBMS との通信障害が発生しました。
- ID 管理データが破壊されているおそれがあります。

対処

CSCIWManagementServer を再起動してください。再起動後も同様のメッセージが出力される場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

4.5 KDIW01600～KDIW01799

KDIW01600-W

The specified status transition is not permitted on this model. current-status = *aa....aa*, specified-status = *bb....bb*

モデル上許可されない状態遷移が指定されました。変更前の状態 = *aa....aa*, 変更しようとした状態 = *bb....bb*

aa....aa：変更前の状態

bb....bb：変更後の状態

要因

モデルおよび各メソッドに許可されない状態遷移が指定されました。

対処

状態遷移を確認したあと，メソッドを再実行してください。

KDIW01601-W

The specified status has already been applied. status = *aa....aa*

既に指定された状態に遷移しています。状態 = *aa....aa*

aa....aa：状態

要因

すでに指定した状態に遷移しています。

対処

必要ありません。

KDIW01810-E

The maximum evaluation count of the activity instance was exceeded. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, process-definition-name = *dd....dd*, process-definition-version = *ee....ee*, activity-definition-ID = *ff....ff*, activity-definition-name = *gg....gg*, evaluation-count = *hh....hh*

業務ステップの評価回数が上限を超過しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義名 = *dd....dd*, ビジネスプロセス定義バージョン = *ee....ee*, 業務ステップ定義 ID = *ff....ff*, 業務ステップ定義名 = *gg....gg*, 評価回数 = *hh....hh*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義 ID

dd....dd：ビジネスプロセス定義名

ee....ee：ビジネスプロセス定義のバージョン

ff....ff：業務ステップ定義 ID

gg....gg：業務ステップ定義名

hh....hh：評価回数

要因

次に示す要因が考えられます。

- 業務ステップの評価処理が，上限回数を超えて実行されました。
- 業務ステップ内の作業の生成および完了が繰り返されて，無限ループになっているおそれがあります。

対処

作業の生成および完了が繰り返されていないかどうか確認してください。

次に示す対処をしてください。

- ビジネスプロセス定義およびデータ条件を見直し，エラーの要因を取り除いたあとで，再実行してください。
- 業務プログラムおよび業務データを見直し，エラーの要因を取り除いたあとで，再実行してください。

なお，ビジネスプロセス定義を更新または新しいバージョンで登録した場合は，案件を再投入してください。

KDIW01811-E

The flow transition exceeded the maximum frequency count. process-instance-ID = *aa....aa*, process-definition-ID = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*, node-definition-ID = *ee....ee*, node-definition-name = *ff....ff*, frequency = *gg....gg*

フロー遷移が巡回回数制限を超過しました。案件 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*, ノード定義 ID = *ee....ee*, ノード定義名 = *ff....ff*, 巡回回数 = *gg....gg*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

ee....ee：ノード定義 ID

ff....ff：ノード定義名

gg....gg：巡回回数

要因

案件が，同一ルートの設定回数を超えて通過しました。無限ループになっているおそれがあります。

対処

ビジネスプロセス定義または業務プログラムを見直し，同一ルートを繰り返し通過しないようにしてください。

ビジネスプロセス定義を変更するか，`ciweditbp`（ビジネスプロセス定義の変更）コマンドを使用してデータ条件を変更し，処理を再実行してください。

なお，ビジネスプロセス定義を更新または新しいバージョンで登録した場合は，案件を再投入してください。

また，設定回数を変更する場合は，`ciwchgenv`（システム共通環境情報の変更）コマンドを使用し，「同一ルート通過エラー回数（ErrorPassingCount）」を設定し直してください。

KDIW01820-E

An error occurred while processing the transition. process-instance-ID = *aa....aa*, process-definition-ID = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*

遷移処理中にエラーが発生しました。案件 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

要因

エンジンでの遷移処理実行中にエラーが発生したため，遷移処理を続行できません。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW01831-E

The definition of the arrow for the target node is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, process-definition-ID = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*, node-definition-ID = *ee....ee*, node-definition-name = *ff....ff*, node-type = *gg....gg*, number-of-input-arrow = *hh....hh*

対象となるノードへのアローの定義が不正です。案件 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*, ノード定義 ID = *ee....ee*, ノード定義名 = *ff....ff*, ノードタイプ = *gg....gg*, 入力アロー数 = *hh....hh*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

ee....ee：ノード定義 ID

ff....ff：ノード定義名

gg....gg：ノードタイプ

hh....hh：入力アロー数

要因

次に示す要因が考えられます。

- 対象となるノードへの遷移が定義されていません。
- 対象となるノードへの遷移が不正に定義されています。

対処

ビジネスプロセス定義を見直してください。ビジネスプロセス定義を正しく定義したあと，必要に応じて案件を再投入してください。

特記事項

ノードへのアローがない場合，または複数を定義できないノードに対して複数のアロー入力が定義されている場合に，このメッセージが表示されます。

KDIW01832-E

A transition from the specified source node to the destination node is not permitted. process-instance-ID = *aa....aa*, process-definition-ID = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*, source-node-definition-ID = *ee....ee*, source-node-definition-name = *ff....ff*, source-node-type = *gg....gg*, destination-node-definition-ID = *hh....hh*, destination-node-definition-name = *ii....ii*, destination-node-type = *jj....jj*

指定された遷移元ノードから遷移先ノードの遷移は許可されていません。案件 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*, 遷移元ノード定義 ID = *ee....ee*, 遷移元ノード定義名 = *ff....ff*, 遷移元ノードタイプ = *gg....gg*, 遷移先ノード定義 ID = *hh....hh*, 遷移先ノード定義名 = *ii....ii*, 遷移先ノードタイプ = *jj....jj*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

ee....ee：遷移元ノード定義 ID

ff....ff：遷移元ノード定義名

gg....gg：遷移元ノードタイプ

hh....hh：遷移先ノード定義 ID

ii....ii：遷移先ノード定義名

jj....jj：遷移先ノードタイプ

要因

指定した遷移元ノードから遷移先ノードへのフロー遷移は許可されていません。

対処

ビジネスプロセス定義を見直してください。ビジネスプロセス定義を正しく定義したあと，必要に応じて案件を再投入してください。

KDIW01833-E

The definition of the arrow from the target node is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, process-definition-ID = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*, node-definition-ID = *ee....ee*, node-definition-name = *ff....ff*, node-type = *gg....gg*, number-of-output-arrow = *hh....hh*

対象となるノードからのアローの定義が不正です。案件 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*, ノード定義 ID = *ee....ee*, ノード定義名 = *ff....ff*, ノードタイプ = *gg....gg*, 出力アロー数 = *hh....hh*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

ee....ee：ノード定義 ID

ff....ff：ノード定義名

gg....gg：ノードタイプ

hh....hh：出力アロー数

要因

次に示す要因が考えられます。

- 対象となるノードから遷移が定義されていません。
- 対象となるノードから遷移が不正に定義されています。

対処

ビジネスプロセス定義を見直してください。ビジネスプロセス定義を正しく定義したあと，必要に応じて案件を再投入してください。

KDIW01834-E

The default destination arrow is not defined in the XOR-Split node. process-instance-ID = *aa....aa*, process-definition-ID = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*, control-node-definition-ID = *ee....ee*, control-node-definition-name = *ff....ff*

分岐ノードにデフォルト遷移先が定義されていません。案件 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*, 制御ノード定義 ID = *ee....ee*, 制御ノード定義名 = *ff....ff*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

ee....ee：制御ノード定義 ID

ff....ff：制御ノード定義名

要因

分岐ノードにデフォルト遷移先が定義されていません。

BPMN 連携機能の使用時は，次に示す要因が考えられます。

- デフォルト遷移先が定義されていない分岐ノードで，分岐条件が 1 つも成立しませんでした。
- 開始（タイプなし）が定義されていないビジネスプロセス定義に対して，`CIWBPMNLib` クラスの `createAndStartPI` メソッドで案件を投入しました。

対処

ビジネスプロセス定義を見直してください。ビジネスプロセス定義を正しく定義したあと，必要に応じて案件を再投入してください。

BPMN 連携機能の使用時は，次に示す対処をしてください。

- 分岐条件が必ず 1 つは成立するようにしてから，再度案件の投入や遷移を実施してください。
- 開始（タイプなし）が定義されているビジネスプロセス定義に対して，API を発行してください。
- 開始（タイプなし）が定義されていないビジネスプロセス定義に対しては，`CIWBPMNLib` クラスの `startMessage` メソッドで案件を投入してください。

KDIW01835-E

The XOR-Split condition is not defined in the arrow from the XOR-Split node. process-instance-ID = *aa....aa*, process-definition-ID = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*,

process-definition-version = *dd....dd*, flow-definition-ID = *ee....ee*, source-node-definition-ID = *ff....ff*, source-node-type = *gg....gg*, destination-node-definition-ID = *hh....hh*, destination-node-type = *ii....ii*

分岐ノードからのアローに分岐条件が定義されていません。案件 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*, フロー定義 ID = *ee....ee*, 遷移元定義 ID = *ff....ff*, 遷移元定義タイプ = *gg....gg*, 遷移先定義 ID = *hh....hh*, 遷移先定義タイプ = *ii....ii*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

ee....ee：フロー定義 ID

ff....ff：遷移元定義 ID

gg....gg：遷移元定義タイプ

hh....hh：遷移先定義 ID

ii....ii：遷移先定義タイプ

要因

分岐ノードからアローに，分岐条件が定義されていません。

対処

ビジネスプロセス定義を見直してください。デフォルト遷移先に指定されているアロー以外は，必ず分岐条件を定義してください。ビジネスプロセス定義を正しく定義したあと，必要に応じて案件を再投入してください。

KDIW01851-W

The status of the process instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, request = *bb....bb*, user-ID = *cc....cc*, status = *dd....dd*

案件の状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, リクエスト = *bb....bb*, ユーザ ID = *cc....cc*, 状態 = *dd....dd*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：リクエスト

cc....cc：ユーザ ID

dd....dd：状態

要因

案件へのリクエスト処理で，案件の状態が発行時と処理時との間に遷移しました。したがって，リクエストは無視します。

対処

必要ありません。

特記事項

リクエストの非同期（バックグランド）処理で，タイミングによってはリクエストの発行時と処理時との間に，案件の状態が遷移する場合があります。

KDIW01852-W

The status of the activity instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, request = *cc....cc*, user-ID = *dd....dd*, status = *ee....ee*

業務ステップの状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, リクエスト = *cc....cc*, ユーザ ID = *dd....dd*, 状態 = *ee....ee*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

cc....cc：リクエスト

dd....dd：ユーザ ID

ee....ee：状態

要因

業務ステップへのリクエスト処理で，業務ステップの状態が発行時と処理時との間に遷移しました。したがって，リクエストは無視します。

対処

必要ありません。

特記事項

リクエストの非同期（バックグランド）処理で，タイミングによってはリクエストの発行時と処理時との間に，案件の状態が遷移する場合があります。

KDIW01853-W

The status of the work item is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, request = *cc....cc*, user-ID = *dd....dd*, status = *ee....ee*

作業の状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, リクエスト = *cc....cc*, ユーザ ID = *dd....dd*, 状態 = *ee....ee*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

cc....cc：リクエスト

dd....dd：ユーザ ID

ee....ee：状態

要因

作業へのリクエスト処理で，作業の状態が発行時と処理時との間に遷移しました。したがって，リクエストは無視します。

対処

必要ありません。

特記事項

リクエストの非同期（バックグランド）処理で，タイミングによってはリクエストの発行時と処理時との間に，案件の状態が遷移する場合があります。

KDIW01854-W

The status of the process instance that includes the activity instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, request = *cc....cc*, user-ID = *dd....dd*, status = *ee....ee*

業務ステップを含む案件の状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, リクエスト = *cc....cc*, ユーザ ID = *dd....dd*, 状態 = *ee....ee*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

cc....cc：リクエスト

dd....dd：ユーザ ID

ee....ee：状態

要因

業務ステップへのリクエスト処理で，案件の状態が発行時と処理時との間に遷移しました。したがって，リクエストは無視します。

対処

必要ありません。

特記事項

リクエストの非同期（バックグランド）処理で，タイミングによってはリクエストの発行時と処理時との間に，案件の状態が遷移する場合があります。

KDIW01855-W

The status of the activity instance that includes the work item is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*, request = *dd....dd*, user-ID = *ee....ee*, status = *ff....ff*

作業を含む業務ステップの状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*, リクエスト = *dd....dd*, ユーザ ID = *ee....ee*, 状態 = *ff....ff*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

cc....cc：作業 ID

dd....dd：リクエスト

ee....ee：ユーザ ID

ff....ff：状態

要因

作業へのリクエスト処理で，作業を含む業務ステップの状態が発行時と処理時との間に遷移しました。したがって，リクエストは無視します。

対処

必要ありません。

特記事項

リクエストの非同期（バックグランド）処理で，タイミングによってはリクエストの発行時と処理時との間に，案件の状態が遷移する場合があります。

KDIW01856-W

The status of the destination activity instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, destination-activity-instance-ID = *bb....bb*, status = *cc....cc*

遷移先の業務ステップの状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 遷移先業務ステップ ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：遷移先業務ステップ ID

cc....cc：状態

要因

アドホックな遷移制御リクエスト（引き戻しまたは差し戻しを含む）の処理で，指定された遷移先（戻し先）業務ステップの状態が，発行時と処理時との間に遷移しました。したがって，リクエストは無視されます。

対処

必要ありません。

特記事項

アドホックな遷移制御リクエスト（引き戻しまたは差し戻しを含む）の非同期（バックグランド）処理で，タイミングによってはリクエストの発行時と処理時との間に指定された遷移先業務ステップの状態が遷移する場合があります。

KDIW01857-W

The status of the source activity instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, source-activity-instance-ID = *bb....bb*, request = *cc....cc*, user-ID = *dd....dd*, status = *ee....ee*

遷移元の業務ステップの状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 遷移元業務ステップ ID = *bb....bb*, リクエスト = *cc....cc*, ユーザ ID = *dd....dd*, 状態 = *ee....ee*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：遷移元業務ステップ ID

cc....cc：リクエスト

dd....dd：ユーザ ID

ee....ee：状態

要因

アドホックな遷移制御リクエスト（引き戻しまたは差し戻しを含む）の処理で，指定された遷移元（戻し元）業務ステップの状態が発行時と処理時との間に遷移しました。したがって，リクエストは無視します。

対処

必要ありません。

特記事項

アドホックな遷移制御リクエスト（引き戻しまたは差し戻しを含む）の非同期（バックグランド）処理で，タイミングによってはリクエストの発行時と処理時との間に指定された遷移先業務ステップの状態が遷移する場合があります。

KDIW01880-W

There is no process instance for the ID. process-instance-ID = *aa....aa*, request = *bb....bb*, user-ID = *cc....cc*

ID に対応する案件が存在しません。案件 ID = *aa....aa*, リクエスト = *bb....bb*, ユーザ ID = *cc....cc*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：リクエスト

cc....cc：ユーザ ID

要因

案件へのリクエスト処理で，案件 ID に対応する案件が，発行時と処理時との間に削除されているおそれがあります。したがって，リクエストは無視します。

対処

必要ありません。

KDIW01881-W

There is no activity instance for the activity instance ID. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, request = *cc....cc*, user-ID = *dd....dd*

業務ステップ ID に対応する業務ステップが存在しません。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, リクエスト = *cc....cc*, ユーザ ID = *dd....dd*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

cc....cc：リクエスト

dd....dd：ユーザ ID

要因

業務ステップへのリクエスト処理で，業務ステップを含む案件が，発行時と処理時との間に削除されているおそれがあります。したがって，リクエストは無視します。

対処

必要ありません。

KDIW01882-W

There is no work item for the work item ID. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, request = *cc....cc*, user-ID = *dd....dd*

作業 ID に対応する作業が存在しません。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, リクエスト = *cc....cc*, ユーザ ID = *dd....dd*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

cc....cc：リクエスト

dd....dd：ユーザ ID

要因

作業へのリクエスト処理で，作業を含む案件が，発行時と処理時との間に削除されているおそれがあります。したがって，リクエストは無視します。

対処

必要ありません。

4.7 KDIW02000～KDIW02199

KDIW02000-E

The specified work item type is not a built-in work item. work-item-type = *aa....aa*
指定された作業種別は，組み込み作業のものではありません。作業種別 = *aa....aa*

aa....aa：作業種別

要因

未サポートの組み込み作業種別が指定されました。

対処

作業種別を見直してください。

KDIW02001-E

An error occurred while evaluating the built-in work item rule. process-instance-ID = *aa....aa*, process-definition-ID = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*
組み込み作業のルール評価処理中にエラーが発生しました。案件 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

要因

ビジネスプロセス定義が不正です。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

4.8 KDIW02200～KDIW02399

KDIW02200-E

An error occurred while accessing the database. SQL-code = *aa....aa*, SQL-state = *bb....bb*, details = *cc....cc*

データベースアクセス実行中にエラーが発生しました。SQL コード = *aa....aa*, SQLState = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：SQL コード

bb....bb：SQLState

cc....cc：DBMS のエラーメッセージ

要因

データベースアクセスで SQL 例外が発生しました。

対処

DBMS のエラーメッセージ，システムログおよび DBMS 関連のエラー情報を参照し，対処してください。また，このメッセージのあとに出力されたメッセージも参照してください。

PostgreSQL で，メッセージに「getNextException を呼んで原因を見て下さい。」が出力された場合は，SQLState の値および PostgreSQL のログを参照し，対処してください。

KDIW02201-W

A temporary error occurred while accessing the database. SQL-code = *aa....aa*, SQL-state = *bb....bb*, details = *cc....cc*

データベースアクセス実行中に一時的なエラーが発生しました。SQL コード = *aa....aa*, SQLState = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：SQL コード

bb....bb：SQLState

cc....cc：DBMS のエラーメッセージ

要因

データベースアクセスで SQL 例外が発生しました。

対処

DBMS のエラーメッセージ，システムログおよび DBMS 関連のエラー情報を参照し，対処をしてください。また，このメッセージのあとに出力されたメッセージも参照してください。

PostgreSQL で，メッセージに「getNextException を呼んで原因を見て下さい。」が出力された場合は，SQLState の値および PostgreSQL のログを参照し，対処してください。

KDIW02204-E

The specified connection is invalid.
指定されたコネクションは不正です。

要因

CIWConnectionCoordinator クラスの attachDatabaseConnection メソッドの引数に指定したコネクションが null です。

対処

CIWConnectionCoordinator クラスの attachDatabaseConnection メソッドの引数に，適切な（null 以外の値）コネクションを指定してください。

KDIW02205-E

The auto-commit mode of the specified connection is invalid.
指定されたコネクションの自動コミットモードが不正です。

要因

次に示す要因が考えられます。

- user transaction を使用している場合
  user transaction を開始していません。
- user transaction を使用していない場合
  コネクションの自動コミットモードが有効になっているコネクションを，CIWConnectionCoordinator クラスの attachDatabaseConnection メソッドの引数に指定しました。

対処

次に示す対処をしてください。

- user transaction を使用している場合

user transaction を開始（UserTransaction クラスの begin メソッドの呼び出し）したあと，CIWConnectionCoordinator クラスの attachDatabaseConnection メソッドを呼び出してください。

- user transaction を使用していない場合

  コネクションの自動コミットモードを無効に（Connection クラスの setAutoCommit メソッドに false を指定）したあと，CIWConnectionCoordinator クラスの attachDatabaseConnection メソッドを呼び出してください。

KDIW02206-E

No connection has been set.

コネクションが設定されていません。

要因

CIWConnectionCoordinator クラスの attachDatabaseConnection メソッドを呼び出す前に，ほかのメソッドを呼び出しました。

対処

CIWConnectionCoordinator クラスの attachDatabaseConnection メソッドでコネクションを設定したあと，メソッド発行を実行してください。

KDIW02207-E

An attempt to resolve the user transaction has failed.

user transaction の解決に失敗しました。

要因

user transaction の名前の解決に失敗しました。

対処

CSCIWManagementServer が正しく起動されているかどうかを確認してください。

KDIW02208-E

An error occurred during operation of the user transaction. operation = *aa....aa*, details = *bb....bb*

user transaction の操作中にエラーが発生しました。操作 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：エラーが発生した操作

bb....bb：詳細情報

要因

user transaction の操作中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照し，トランザクションマネージャのエラーの要因を取り除いてください。

KDIW02209-E

The specified data source is invalid.
指定されたデータソースは不正です。

要因

CIWFactory クラスの createCIWServer メソッドの引数に指定したデータソースが null です。

対処

CIWFactory クラスの createCIWServer メソッドの引数に，適切な（null 以外の値）データソースを指定してください。

KDIW02210-E

The connection acquired from the data source is invalid.
データソースから取得したコネクションが不正です。

要因

CIWFactory クラスの createCIWServer メソッドの引数に指定したデータソースから取得したコネクションが null です。

対処

CIWFactory クラスの createCIWServer メソッドの引数に指定したデータソースの getConnection の実装が null を返さないかどうか見直してください。

KDIW02211-W

An error occurred while accessing the database, but processing will continue. SQL-code = *aa....aa*, SQL-state = *bb....bb*, details = *cc....cc*

データベースアクセス実行中にエラーが発生しましたが，処理を続行します。SQL コード = *aa....aa*, SQLState = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：SQL コード

bb....bb：SQLState

cc....cc：DBMS のエラーメッセージ

要因

データベースアクセスで SQL 例外が発生しました。ただし，この例外は無視して引き続き処理を続行します。

対処

DBMS のエラーメッセージ，システムログおよび DBMS 関連のエラー情報を参照し，対処してください。

PostgreSQL で，メッセージに「getNextException を呼んで原因を見て下さい。」が出力された場合は，SQLState の値および PostgreSQL のログを参照し，対処してください。

KDIW02212-W

An error occurred during operation of the user transaction, but processing will continue. operation = *aa....aa*, details = *bb....bb*

user transaction の操作中にエラーが発生しましたが，処理を続行します。操作 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：エラーが発生した操作

bb....bb：詳細情報

要因

user transaction の操作中にエラーが発生しました。ただし，この例外は無視して引き続き処理を続行します。

対処

詳細情報を参照し，トランザクションマネージャのエラーの要因を取り除いてください。

KDIW02213-E

An attempt to load the JDBC driver class has failed. The specified class was not found. classname = *aa....aa*

JDBC ドライバクラスのロードに失敗しました。指定されたクラスが見つかりません。クラス名 = *aa....aa*

aa....aa：指定したクラス名

要因

指定した JDBC ドライバのクラスが見つかりません。

対処

環境構築用ファイルの SystemDBDriverName またはシステム設定プロパティファイルの SystemDBDriverName に設定したクラス名が正しいかどうか，または設定したクラスがクラスパス中に含まれているかどうかを確認してください。

KDIW02214-E

The specified database type is not supported. database-type = *aa....aa*
指定されたデータベース種別は未サポートです。データベース種別 = *aa....aa*

aa....aa：指定したデータベース種別

要因

未サポートのデータベース種別が指定されました。実行環境が不正の場合があります。

対処

`ciwsetenv`（環境の構築または削除）コマンドで環境を削除し，環境を再設定したあとで，再実行してください。

4.9 KDIW02400～KDIW02599

KDIW02400-E

The definition could not be acquired. casting-rule = *aa....aa*
定義が取得できませんでした。振り分けルール名 = *aa....aa*

aa....aa：振り分けルール名

要因

指定された定義の取得に失敗しました。
次に示す要因が考えられます。

- 存在しない振り分けルール名が指定されました。
- 「非活性」状態の振り分けルール名が指定されました。
- 有効期間外で現在使用できない振り分けルール名が指定されました。

対処

振り分けルール定義を確認してください。

KDIW02401-E

The definition for condition or rule evaluations is incorrect. rule-type = *aa....aa*
条件評価定義またはルール評価定義が誤っています。ルールタイプ = *aa....aa*

aa....aa：ルールタイプ

要因

指定したルールに不正があります。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW02402-E

The casting rule definition is incorrect. rule-type = *aa....aa*, casting-rule-ID = *bb....bb*, casting-rule-name = *cc....cc*, casting-rule-version = *dd....dd*

振り分けルール定義が誤っています。ルールタイプ＝*aa....aa*, 振り分けルール定義 ID＝*bb....bb*, 振り分けルール名＝*cc....cc*, 振り分けルール定義のバージョン＝*dd....dd*

aa....aa：ルールタイプ

bb....bb：振り分けルール定義 ID

cc....cc：振り分けルール定義名

dd....dd：振り分けルール定義のバージョン

要因

指定したルールに不正があります。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW02403-E

An error occurred during the evaluation. details＝*aa....aa*, rule-ID＝*bb....bb*, rule-name＝*cc....cc*
評価に失敗しました。詳細＝*aa....aa*, ルール ID＝*bb....bb*, ルール名＝*cc....cc*

aa....aa：詳細情報

bb....bb：ルール ID

cc....cc：ルール名

要因

指定したルールの評価に失敗しました。

なお，*aa....aa* に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- **Not Found の場合**
  評価結果が 0 件です。
- **Null Value 場合**
  評価結果の値が null です。
- **Invalid Value の場合**
  評価結果の値が不正です。
  ・時間取得ルールの場合
  時刻値のフォーマットが不正です。
- **Invalid LimitRange 場合**

評価結果の範囲が不正です。

・生成ルールの場合

作業名の長さが制限範囲外です。

・時間取得ルールの場合

日時が有効範囲外です。

- Invalid built-in variable の場合

  組み込み変数の指定が不正です。

- SQL Failure 場合

  SQL 例外が発生しました。

- Other Reason 場合

  上記以外のエラーが発生しました。

対処

業務プログラムまたは，指定したルール評価定義が正しいか確認してください。なお，詳細情報が「Invalid built-in variable」，「SQL Failure」または「Other Reason」の場合は，このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW02404-E

An error occurred during the evaluation. details = *aa....aa*, casting-rule-ID = *bb....bb*, casting-rule-name = *cc....cc*, casting-rule-version = *dd....dd*

振り分けルールの評価に失敗しました。詳細 = *aa....aa*, 振り分けルール定義 ID = *bb....bb*, 振り分けルール名 = *cc....cc*, 振り分けルール定義のバージョン = *dd....dd*

aa....aa：詳細情報

bb....bb：振り分けルール定義 ID

cc....cc：振り分けルール名

dd....dd：振り分けルール定義のバージョン

要因

指定した振り分けルール定義の評価が失敗しました。

なお，*aa....aa* に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- Not Found の場合

  評価結果が 0 件です。

- Null Value の場合

  評価結果の値が null です。

- Invalid LimitRange の場合
  作業者の長さが制限範囲外です。
- Invalid built-in variable の場合
  組み込み変数の指定が不正です。
- SQL Failure の場合
  SQL 例外が発生しました。
- Other Reason の場合
  上記以外のエラーが発生しました。

対処

業務プログラムまたは指定した振り分けルール定義の評価定義を確認してください。なお，詳細情報が「Invalid built-in variable」，「SQL Failure」または「Other Reason」の場合は，このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW02405-E

The specified evaluation method is unsupported. rule-type = *aa....aa*, rule-ID = *bb....bb*, rule-name = *cc....cc*
未サポートの評価方法が指定されました。ルールタイプ = *aa....aa*, ルール ID = *bb....bb*, ルール名 = *cc....cc*

aa....aa：ルールタイプ

bb....bb：ルール ID

cc....cc：ルール名

要因

不正なルールタイプがあります。

対処

ルール評価定義を確認してください。

KDIW02406-E

The specified evaluation method is unsupported. rule-type = *aa....aa*, casting-rule-ID = *bb....bb*, casting-rule-name = *cc....cc*, casting-rule-version = *dd....dd*
未サポートの評価方法が指定されました。ルールタイプ = *aa....aa*, 振り分けルール定義 ID = *bb....bb*, 振り分けルール名 = *cc....cc*, 振り分けルール定義のバージョン = *dd....dd*

aa....aa：ルールタイプ

bb....bb：振り分けルール定義 ID

cc....cc：振り分けルール名

dd....dd：振り分けルール定義のバージョン

要因

不正なルールタイプがあります。

対処

振り分けルール定義を確認してください。

KDIW02407-E

The definition for condition or rule evaluations is incorrect. rule-ID = *aa....aa*, rule-name = *bb....bb*

条件評価定義またはルール評価定義が誤っています。ルール ID = *aa....aa*, ルール名 = *bb....bb*

aa....aa：ルール ID

bb....bb：ルール名

要因

指定したルールに不正があります。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW02408-E

A syntax error occurred in the evaluation condition. details = *aa....aa*

評価条件の構文エラーが発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：エラー発生要因

要因

条件評価定義またはルール評価定義の評価条件で，構文エラーが発生しました。なお，*aa....aa* に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- Invalid Escape の場合

  エスケープ処理が不正です。

- Invalid built-in variable の場合
  組み込み変数の指定が不正です。

対処

指定した条件評価定義またはルール評価定義を確認してください。

KDIW02409-E

The specification of the built-in variable is invalid. details = *aa....aa*
組み込み変数の指定が不正です。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：エラー発生要因

要因

条件評価定義またはルール評価定義の評価条件で，使用できない組み込み変数が指定されました。
なお，*aa....aa* に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- Not AIName の場合
  @AIName が指定されました。
- Not WIName の場合
  @WIName が指定されました。
- Not ADefName の場合
  @ADefName が指定されました。
- Not WDefName の場合
  @WDefName が指定されました。
- Not CNDefName の場合
  @CNDefName が指定されました。
- Not AIStartDate の場合
  @AIStartDate が指定されました。
- Not AIDeadline の場合
  @AIDeadline が指定されました。
- Not AIPriority の場合
  @AIPriority が指定されました。
- Not WICreationDate の場合
  @WICreationDate が指定されました。
- Not WIStartDate の場合
  @WIStartDate が指定されました。

- Not WIDeadline の場合
  @WIDeadline が指定されました。
- Not WIPriority の場合
  @WIPriority が指定されました。
- Not WIParticipant の場合
  @WIParticipant が指定されました。

対処

指定した条件評価定義またはルール評価定義に対応する組み込み変数を指定してください。

KDIW02500-E

An attempt to instantiate the specified Java class has failed. rule-ID = *aa....aa*, rule-name = *bb....bb*, Java-class-name = *cc....cc*, details = *dd....dd*

指定された Java クラスのインスタンス化に失敗しました。ルール ID = *aa....aa*, ルール名 = *bb....bb*, Java クラス名 = *cc....cc*, 詳細例外情報 = *dd....dd*

aa....aa：ルール ID

bb....bb：条件評価定義名またはルール評価定義名

cc....cc：Java クラス名

dd....dd：詳細情報

要因

条件評価定義またはルール評価定義の評価条件で，Java クラスのインスタンス化に失敗しました。次に示す要因が考えられます。

- 指定した Java クラスが J2EE アプリケーション，コンテナ拡張ライブラリ，または Java アプリケーションのクラスパスに存在しません。
- 指定した Java クラスが CSCIW が規定するインタフェースを実装していません。
- 指定した Java クラスが abstract クラスで定義されています。
- 指定した Java クラスに引数なし public コンストラクタが定義されていません。
- 指定した Java クラスに引数ありコンストラクタが定義され，デフォルトコンストラクタが引数なし public コンストラクタ以外になっています。

対処

指定された条件評価定義，またはルール評価定義に対応する Java オブジェクトの内容および Java クラス名を見直してください。

KDIW02502-E

CIWUserException occurred at a Java object evaluation. rule-ID = *aa....aa*, rule-name = *bb....bb*, CIWUserException message = *cc....cc*

Java オブジェクトの評価で CIWUserException が発生しました。ルール ID = *aa....aa*, ルール名 = *bb....bb*, CIWUserException エラーメッセージ = *cc....cc*

aa....aa：ルール ID

bb....bb：条件評価定義名またはルール評価定義名

cc....cc：CIWUserException エラーメッセージ

要因

条件評価定義またはルール評価定義の評価条件で，CIWUserException が発生しました。

対処

CIWUserException のエラーメッセージを基に対処してください。

KDIW02503-E

An unknown exception occurred at a Java object evaluation. rule-ID = *aa....aa*, rule-name = *bb....bb*, details = *cc....cc*

Java オブジェクトの評価で CIWUserException 以外の予期しない例外が発生しました。ルール ID = *aa....aa*, ルール名 = *bb....bb*, 詳細例外情報 = *cc....cc*

aa....aa：ルール ID

bb....bb：条件評価定義名またはルール評価定義名

cc....cc：詳細情報

要因

条件評価定義またはルール評価定義の評価条件で，予期しない例外が発生しました。

対処

指定された条件評価定義またはルール評価定義に対応する Java オブジェクトの内容を見直してください。

4.10 KDIW02600～KDIW02799

KDIW02600-W

An attempt to acquire the process definition object has failed. process-definition-ID = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義オブジェクトの取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

要因

存在しないビジネスプロセス定義オブジェクトを取得しようとしました。

対処

正しいビジネスプロセス定義 ID を指定するか，ビジネスプロセス定義を登録してください。

KDIW02601-W

An attempt to acquire the process definition ID has failed. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*, details = *cc....cc*
ビジネスプロセス定義 ID の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義のバージョン※

cc....cc：エラー発生要因

注※

指定していない場合：null

要因

ビジネスプロセス定義 ID の取得に失敗しました。

なお，*cc....cc* に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- Not Exist の場合
  指定したビジネスプロセス定義名称，（指定した場合はビジネスプロセス定義のバージョン）のビジネスプロセス定義が存在しません。
- Not Valid Period の場合
  指定したビジネスプロセス定義が案件投入可能期間外です。

- Not Active の場合
  指定したビジネスプロセス定義の状態が活性ではありません。
- Not Valid Period or Active の場合
  指定したビジネスプロセス定義が案件投入可能期間外，または状態が活性ではありません。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW02602-W

An attempt to acquire the process definition object has failed. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*
ビジネスプロセス定義オブジェクトの取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義名※1

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン※2

注※1

取得時のデータベースアクセスでエラーが発生した場合：null

注※2

取得時のデータベースアクセスでエラーが発生した場合：null

要因

ビジネスプロセス定義オブジェクトの取得処理に失敗しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

4.11 KDIW02800～KDIW02999

KDIW02800-W

The specified process instance ID is incorrect. process-instance-ID = *aa....aa*
案件 ID に誤った値が指定されています。案件 ID = *aa....aa*

aa....aa：案件 ID

要因

対象の案件がありません。
次に示す要因が考えられます。

- ワーク管理データベースから削除された案件 ID が指定されました。
- ID に値が指定されていません。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ワーク管理データベースから削除された案件 ID が指定された場合**
  ワーク管理データベースにある案件 ID を指定してください。
- **ID に値が指定されていない場合**
  ID に値が指定されているかどうかを確認してください。

KDIW02801-W

The specified process instance ID or activity instance ID is incorrect. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*
案件 ID または業務ステップ ID に誤った値が指定されています。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：業務ステップ ID

要因

対象の案件または業務ステップがありません。
次に示す要因が考えられます。

- 削除された案件 ID または業務ステップ ID が指定されています。

- ID に値が指定されていません。

対処

次に示す対処をしてください。

- **削除された案件 ID または業務ステップ ID が指定されている場合**

  案件または業務ステップがあるかどうかを確認し，存在する案件 ID または業務ステップ ID を指定してください。

- **ID に値が指定されていない場合**

  ID に値が指定されているかどうかを確認してください。

KDIW02802-W

The specified process instance ID or work item ID is incorrect. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*

案件 ID または作業 ID に誤った値が指定されています。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

要因

対象の案件または作業がありません。

次に示す要因が考えられます。

- 削除された案件 ID または作業 ID が指定されています。
- ID に値が指定されていません。

対処

次に示す対処をしてください。

- **削除された案件 ID または作業 ID が指定されている場合**

  案件または作業があるかどうかを確認し，存在する案件 ID または作業 ID を指定してください。

- **ID に値が指定されていない場合**

  ID に値が指定されているかどうかを確認してください。

KDIW02803-W

The specified process definition ID is incorrect. process-definition-ID = *aa....aa*

ビジネスプロセス定義 ID に誤った値が指定されています。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

要因

対象のビジネスプロセス定義がありません。

次に示す要因が考えられます。

- 削除されたビジネスプロセス定義 ID が指定されています。
- ID に値が指定されていません。

対処

次に示す対処をしてください。

- **削除されたビジネスプロセス定義 ID が指定されている場合**
  ビジネスプロセス定義 ID があるかどうかを確認し，存在するビジネスプロセス定義 ID を指定してください。
- **ID に値が指定されていない場合**
  ID に値が指定されているかどうかを確認してください。

KDIW02804-W

The specified process definition ID or work definition ID is incorrect. process-definition-ID = *aa....aa*, work-definition-ID = *bb....bb*

ビジネスプロセス定義 ID または作業定義 ID に誤った値が指定されています。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 作業定義 ID = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：作業定義 ID

要因

対象のビジネスプロセス定義または作業定義がありません。

次に示す要因が考えられます。

- 削除されたビジネスプロセス定義 ID または作業定義 ID が指定されています。
- ID に値が指定されていません。

対処

次に示す対処をしてください。

- **削除されたビジネスプロセス定義 ID または作業定義 ID が指定されている場合**
  ビジネスプロセス定義 ID または作業定義 ID があるかどうかを確認し，存在するビジネスプロセス定義 ID または作業定義 ID を指定してください。
- **ID に値が指定されていない場合**

ID に値が指定されているかどうかを確認してください。

KDIW02805-W

The specified process definition ID or activity definition ID is incorrect. process-definition-ID = *aa....aa*, activity-definition-ID = *bb....bb*

ビジネスプロセス定義 ID または業務ステップ定義 ID に誤った値が指定されています。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 業務ステップ定義 ID = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：業務ステップ定義 ID

要因

対象のビジネスプロセス定義または業務ステップ定義がありません。

次に示す要因が考えられます。

- 削除されたビジネスプロセス定義 ID または業務ステップ定義 ID が指定されています。
- ID に値が指定されていません。

対処

次に示す対処をしてください。

- **削除されたビジネスプロセス定義 ID または業務ステップ定義 ID が指定されている場合**

  ビジネスプロセス定義 ID または業務ステップ定義 ID があるかどうかを確認し，存在するビジネスプロセス定義 ID または業務ステップ定義 ID を指定してください。

- **ID に値が指定されていない場合**

  ID に値が指定されているかどうかを確認してください。

4.12 KDIW03000～KDIW03199

KDIW03000-E

The value of the environment variable CSCIW_HOME cannot be referenced.
環境変数 CSCIW_HOME の値が参照できません。

要因

環境変数 CSCIW_HOME が定義されていません。

対処

環境変数 CSCIW_HOME を定義したあと，再実行してください。

KDIW03001-E

The value specified for the environment variable *aa....aa* is invalid. value = *bb....bb*
環境変数 *aa....aa* に指定した値が有効な値ではありません。値 = *bb....bb*

aa....aa：環境変数名

bb....bb：環境変数指定値

要因

環境変数の指定値が不正です。
次に示す要因が考えられます。

- 指定値が使用できるディレクトリではありません。
- 指定値が絶対パスではありません。

対処

指定の環境変数の設定値から要因を取り除いたあと，再実行してください。

KDIW03002-E

An attempt to load the setup property file has failed. details = *aa....aa*
セットアッププロパティファイルの読み込みに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細

要因

セットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）の読み込みに失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いたあと，再実行してください。

KDIW03003-E

A required property key has not been set. property-key = *aa....aa*
必須指定のプロパティキーが指定されていません。プロパティキー = *aa....aa*

aa....aa：プロパティキー

要因

プロパティキーが指定されていません。

対処

エラーとなったプロパティキーを指定してください。

プロパティキーを指定していても継続して同様のエラーになる場合は，環境変数 CSCIW_CONF_DIR の定義を確認してください。意図したセットアッププロパティファイルを参照しているかどうか確認し，再実行してください。

KDIW03004-E

The content of the specified property key is invalid. property-key = *aa....aa*, value = *bb....bb*
指定されているプロパティキーの内容が不正です。プロパティキー = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：指定値

要因

プロパティキーに指定した値が不正です。

対処

セットアッププロパティファイルのプロパティキーに指定できる値をマニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド」で確認し，正しい値を指定してください。

新規インストール後は，セットアッププロパティファイルを編集する必要があります。ファイルが編集済みでも継続して同様のエラーになる場合は，環境変数 CSCIW_CONF_DIR の定義を確認してください。意図したセットアッププロパティファイルを参照しているかどうか確認し，再実行してください。

KDIW03005-E

An attempt to load the user settings information from the work management database has failed. cause = *aa....aa*

ワーク管理データベース上のユーザ設定情報の読み込みに失敗しました。要因 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの要因コード（DBMS または INFO）

要因

aa....aa に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- **エラーの要因コードが DBMS の場合**

  ワーク管理データベースのアクセスに失敗しました。データベースの接続情報に誤りがあるおそれがあります。コンテナ構成で，ワーク管理データベース構築用 SQL スクリプトファイルを実行してワーク管理データベースを構築している場合は，セットアッププロパティファイルまたはワーク管理データベースに誤りがあるおそれがあります。

- **エラーの要因コードが INFO の場合**

  ワーク管理データベースの情報が不正です。コンテナ構成で，ワーク管理データベース構築用 SQL スクリプトファイルを実行してワーク管理データベースを構築している場合は，ワーク管理データベース構築用 SQL スクリプトファイルの内容が不正です。

対処

次に示す対処をしてください。

- **DBMS の場合**

  このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，データベースの接続情報を見直してください。コンテナ構成で，ワーク管理データベース構築用 SQL スクリプトファイルを実行してワーク管理データベースを構築している場合は，セットアッププロパティファイルまたはワーク管理用データベース構築用 SQL スクリプトファイルの内容を確認してください。必要に応じて，ワーク管理データベース構築用 SQL スクリプトファイルを再実行してください。

- **INFO の場合**

  `ciwsetenv`（環境の構築または削除）コマンドで環境を削除したあと，環境を再構築してください。コンテナ構成で，ワーク管理データベース構築用 SQL スクリプトファイルを実行してワーク管理データベースを構築している場合は，ワーク管理データベース構築用 SQL スクリプトファイルの内容を確認し，ワーク管理データベース構築用 SQL スクリプトファイルを再実行してください。

KDIW03007-E

The system is not set to the system ID environment specified in the setup property file. system-ID = *aa....aa*

セットアッププロパティファイルに指定されたシステム ID の環境がシステムに設定されていません。システム ID = *aa....aa*

aa....aa：システム ID

要因

セットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定したシステム ID の環境がシステムに設定されていません。

対処

`ciwsetenv`（環境の構築または削除）コマンドを使用して指定したシステム ID の環境をシステムに構築したあと，再実行してください。

KDIW03008-E

The specified system ID and the system ID of the execution environment do not match. specified-system-ID = *aa....aa*, execution-environment-system-ID = *bb....bb*

指定されたシステム ID と実行環境のシステム ID が異なります。指定されたシステム ID = *aa....aa*，実行環境のシステム ID = *bb....bb*

aa....aa：指定したシステム ID

bb....bb：実行環境のシステム ID

要因

指定したシステム ID と実行環境のシステム ID が異なります。

対処

環境変数 CSCIW_HOME または CSCIW_CONF_DIR の設定をもとに，実行環境で使用しているセットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定されているシステム ID を確認し，再実行してください。

KDIW03009-E

The uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow version does not match the work management database version. system-ID = *aa....aa*, system-version = *bb....bb*, database-version = *cc....cc*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow とワーク管理データベースのバージョンが不一致です。システム ID = *aa....aa*, システムバージョン = *bb....bb*, データベースバージョン = *cc....cc*

aa....aa：システム ID

bb....bb：CSCIW のシステムバージョン（製品バージョン）

cc....cc：データベースバージョン

要因

CSCIW のシステムバージョンとワーク管理データベースのバージョンが一致していません。

対処

CSCIW のシステムバージョンとワーク管理データベースのバージョンを確認してください。確認後，次に示す対処をしてください。

- **CSCIW のシステムバージョンがワーク管理データベースのバージョンより新しい場合**
  実行環境をバージョンアップしてください。
- **CSCIW のシステムバージョンがワーク管理データベースのバージョンより古い場合**
  新しいバージョンの CSCIW を上書きインストールしてください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW03010-E

An attempt to acquire system information has failed. details = *aa....aa*
システム情報の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細

要因

システム情報の取得に失敗しました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW03011-E

An attempt to perform encryption processing has failed. system-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*
暗号化処理が失敗しました。システム ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：システム ID

bb....bb：詳細

要因

暗号化処理が失敗しました。

対処

次に示す対処をしてください。

- **システム ID が報告されている場合**

  システム設定プロパティファイルが破損している，または不正に編集されたおそれがあります。システム設定プロパティファイルのバックアップが残っている場合は，リストアしてシステム設定プロパティファイルを元に戻したあと，再実行してください。

  再び障害が発生した場合は，システム設定プロパティファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

- **システム ID に出力されていない場合**

  システム設定プロパティファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW03012-E

An attempt to open a lock file has failed. details = *aa....aa*
ロックファイルのオープンに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細

要因

ロックファイルのオープンに失敗しました。

対処

詳細を参照し，エラーの要因を取り除いたあと，再実行してください。

再実行後も同様のエラーが発生する場合は，CSCIW を上書きで再インストールしてください。

KDIW03013-E

An attempt to access a lock file has failed. details = *aa....aa*
ロックファイルの操作中にエラーが発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細

要因

ロックファイルの操作中にエラーが発生しました。

対処

詳細を参照し，障害を取り除いたあと，再実行してください。

KDIW03014-E

An attempt to read the system settings property file has failed. details = *aa....aa*
システム設定プロパティファイルの読み込みに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細

要因

システム設定プロパティファイル（csciwsystem.properties）の読み込みに失敗しました。

対処

詳細を参照し，障害を取り除いたあと，再実行してください。
システム設定プロパティファイルがない場合，または再実行後に同様のエラーが発生する場合は，CSCIW を上書きで再インストールしてください。

KDIW03015-E

An attempt to write the system settings property file has failed. details = *aa....aa*
システム設定プロパティファイルの書き込みに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細

要因

システム設定プロパティファイル（csciwsystem.properties）の書き込みに失敗しました。

対処

詳細を参照し，障害を取り除いたあと，再実行してください。
システム設定プロパティファイルがない場合，または再実行後に同様のエラーが発生する場合は，CSCIW を上書きで再インストールしてください。

KDIW03016-E

Another process is using the system settings property file.
他のプロセスがシステム設定プロパティファイルを使用中です。

要因

ほかのプロセスがシステム設定プロパティファイル（csciwsystem.properties）を使用中のため処理を中断しました。

対処

実行中の CSCIW プロセスまたはコマンドを確認し，要因を取り除いたあと，再実行してください。

KDIW03017-E

The value specified for environment variable CSCIW_HOME is not a correct installation directory. value = *aa....aa*

環境変数 CSCIW_HOME に指定した値は正しいインストールディレクトリではありません。値 = *aa....aa*

aa....aa：環境変数 CSCIW_HOME 指定値

要因

環境変数 CSCIW_HOME に指定したディレクトリが正しくありません。

対処

CSCIW の正しいインストールディレクトリを確認し，CSCIW_HOME 環境変数を再設定したあと，再実行してください。再実行後も同様のエラーが発生する場合は，CSCIW を上書きで再インストールしてください。

KDIW03018-E

The versions of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow and the work management database do not match. system-ID = *aa....aa*, system-version = *bb....bb*, setup-version = *cc....cc*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow とワーク管理データベースのバージョンが不一致です。システム ID = *aa....aa*, システムバージョン = *bb....bb*, セットアップバージョン = *cc....cc*

aa....aa：システム ID

bb....bb：CSCIW のシステムバージョン（製品バージョン）

cc....cc：セットアップバージョン

要因

CSCIW のシステムバージョンとセットアップした実行環境のバージョンが一致していません。

対処

CSCIW のシステムバージョンとセットアップした実行環境のバージョンを確認してください。CSCIW のシステムバージョンが，セットアップした実行環境のバージョンより新しい場合は，実行環境をバージョンアップしてください。

再び障害が発生した場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW03019-E

The value of the environment variable *aa....aa* cannot be referenced.

環境変数 *aa....aa* の値が参照できません。

aa....aa：環境変数名

要因

環境変数名に示された環境変数が未定義です。

対処

環境変数を定義して再実行してください。

4.13 KDIW03200～KDIW03399

KDIW03200-I

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow has started.
uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow が起動しました。

要因

CSCIW が起動しました。

対処

必要ありません。

KDIW03201-I

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow has stopped.
uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow が停止しました。

要因

CSCIW が停止しました。

対処

必要ありません。

KDIW03202-E

An attempt to start uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow has failed.
uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の起動に失敗しました。

要因

CSCIW の起動に失敗しました。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW03203-E

An attempt to start uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow, and to cleanly stop some of the components that had already started, has failed.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の起動に失敗し，正常な停止に失敗した既起動コンポーネントがあります。

要因

CSCIW の起動に失敗しました。すでに起動しているコンポーネントの停止を試みましたが，正常な停止に失敗したコンポーネントがあるため，関連リソースが残っているおそれがあります。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW03204-W

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow has stopped, but an attempt to cleanly stop some of the components has failed.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow は停止しましたが，正常な停止に失敗したコンポーネントがあります。

要因

CSCIW は停止しましたが，正常な停止に失敗したコンポーネントがあるため，関連リソースが残っているおそれがあります。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW03205-E

The specified DataSource object argument in the start method of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow was null.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の初期化メソッドに指定された DataSource オブジェクト引数が null でした。

要因

CIWAdmin クラスの initializeCIWFactory メソッド（CSCIW の初期化メソッド）に指定した DataSource オブジェクト引数が null です。

対処

CIWAdmin クラスの initializeCIWFactory メソッドの，DataSource オブジェクト引数に null を指定しないように，業務プログラムを修正してください。

KDIW03206-E

An attempt to acquire the system DataSource object of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow has failed.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のシステム DataSource オブジェクトの取得に失敗しました。

要因

CSCIW のシステム DataSource オブジェクトの取得に失敗しました。

対処

CSCIWManagementServer が正しく起動しているか確認してください。

KDIW03207-E

The versions of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer and the system do not match. system-version = *aa....aa*, CSCIWManagementServer-version = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer とシステムバージョンが矛盾しています。システムバージョン = *aa....aa*, CSCIWManagementServer のバージョン = *bb....bb*

aa....aa：CSCIW のシステムバージョン（製品バージョン）

bb....bb：CSCIWManagementServer のバージョン

要因

CSCIW のシステムバージョンと CSCIWManagementServer のバージョンが一致していません。

対処

CSCIW のシステムバージョンに一致した CSCIWManagementServer を配備して，J2EE サーバを再起動してください。

4.14 KDIW03400～KDIW03599

KDIW03401-E

Invalid data was found in the process information. details = *aa....aa*
プロセス情報内に不正なデータが見つかりました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：不正なデータの詳細

要因

プロセス情報の中に不正なデータがあります。

なお，*aa....aa* に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- status is invalid. status=XXX の場合
  プロセス状態の情報が不正です。
- type is invalid. type=XXX の場合
  プロセス種別の情報が不正です。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW03402-E

An attempt to acquire the IP address failed because SocketException occurred. details = *aa....aa*
SocketException が発生したため，IP アドレスの取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

IP アドレス取得時に SocketException が発生しました。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW03404-E

No valid IP address was found.

有効な IP アドレスが見つかりませんでした。

要因

マシン内に有効な IP アドレスが見つかりません。

対処

CSCIW プロセスまたはコマンドを実行するマシンに有効な IP アドレスが設定されているかどうかを確認してください。

KDIW03405-E

A process that cannot be executed at the same time as this process is being executed. system-ID = *aa....aa*, name = *bb....bb*, lock-ID = *cc....cc*, IP-address = *dd....dd*

同時に実行することができないプロセスが実行中です。システム ID = *aa....aa*, 名前 = *bb....bb*, ロック ID = *cc....cc*, IP アドレス = *dd....dd*

aa....aa：システム ID

bb....bb：名前※

cc....cc：ロック ID

dd....dd：IP アドレス

注※

CSCIW プロセスの場合：Library

コマンドプロセスの場合：コマンド名

要因

CSCIW プロセスまたはコマンドの起動に失敗しました。

次に示す要因が考えられます。

- 同時に実行できないプロセスが実行中です。
- 同時に実行できないプロセスが起動したあと，異常終了しました。

対処

次に示す対処をしてください。

- **CSCIW プロセスまたはコマンドが起動中の場合**

  同時に実行できないプロセスを終了したあと，再実行してください。

- **プロセスが異常終了した場合**

  `ciwcleanup`（プロセス情報の正常化）コマンドを実行し，異常終了したプロセスの情報を破棄したあと，再実行してください。

KDIW03406-E

An exception occurred during ID management cleanup processing.
ID 管理のクリーンアップ処理中に例外が発生しました。

要因

ID 管理のクリーンアップ処理中に例外が発生しました。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW03407-E

An SQL exception occurred while the process was starting.
プロセス起動中に SQL 例外が発生しました。

要因

SQL 例外が発生しました。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW03408-E

An SQL exception occurred while the process status was being modified. status = *aa....aa*
プロセス状態更新中に SQL 例外が発生しました。状態 = *aa....aa*

aa....aa：更新しようとした状態

要因

SQL 例外が発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW03409-W

An exception occurred while the process status was being modified, but processing will continue. status = *aa....aa*

プロセス状態更新中に例外が発生しましたが，処理を続行します。状態 = *aa....aa*

aa....aa：更新しようとした状態

要因

例外が発生しました。ただし，処理を続行します。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW03410-E

Information for the currently executing process does not exist. notification-ID = *aa....aa*, status = *bb....bb*

現在実行中のプロセス情報が存在しません。通知 ID = *aa....aa*, 状態 = *bb....bb*

aa....aa：通知 ID

bb....bb：状態

要因

JDBC ドライバや DB Connector で，DABroker が使用されています。

対処

DABroker を使用しないでください。

KDIW03504-E

A uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow process or command that cannot be executed at the same time as this process is being executed. system-ID = *aa....aa*

同時実行できない uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のプロセスまたはコマンドが実行中です。システム ID = *aa....aa*

aa....aa：システム ID

要因

同時に実行できない CSCIW のプロセスまたはコマンドが実行中です。

対処

同時に実行できない CSCIW のプロセスまたはコマンドの実行が完了後，再実行してください。

KDIW03505-E

An attempt to open the lock file has failed. system-ID = *aa....aa*, file-name = *bb....bb*, details = *cc....cc*
ロックファイルのオープンに失敗しました。システム ID = *aa....aa*, ファイル名 = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：システム ID

bb....bb：ファイル名

cc....cc：詳細情報

要因

ロックファイルのオープンに失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いて，再実行してください。再実行後も同様のエラーが発生する場合や，アクセス権限がない場合は，`ciwsetenv`（環境の構築または削除）コマンドで環境を削除したあと，環境を再構築してください。それでもエラーが発生する場合は，CSCIW を上書きで再インストールしてください。

KDIW03506-E

An attempt to access the lock file has failed. system-ID = *aa....aa*, processing = *bb....bb*, details = *cc....cc*
ロックファイルの操作中にエラーが発生しました。システム ID = *aa....aa*, 処理 = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：システム ID

bb....bb：ロックファイルアクセスに失敗した際の処理

cc....cc：詳細

要因

ロックファイルの操作中にエラーが発生しました。

対処

詳細を参照し，エラーの要因を取り除き，再実行してください。

KDIW03507-W

An attempt to delete the lock file has failed. system-ID = *aa....aa*, file-name = *bb....bb*
ロックファイルの削除に失敗しました。システム ID = *aa....aa*, ファイル名 = *bb....bb*

aa....aa：システム ID

bb....bb：ファイル名

要因

ロックファイルの削除に失敗しました。

対処

ファイル名に示されるロックファイルを手動で削除してください。

4.15 KDIW04200～KDIW04399

KDIW04200-W

An attempt to initialize the trace file has failed.
トレースファイルの初期化処理に失敗しました。

要因

トレースファイルのパス名に不正があります。

対処

セットアッププロパティファイルに指定したパス名を見直してください。また，指定したパス名がディレクトリかどうかも確認してください。

KDIW04201-W

An attempt to initialize the message file has failed.
メッセージファイルの初期化処理に失敗しました。

要因

メッセージファイルのパス名に不正があります。

対処

セットアッププロパティファイルに指定したパス名を見直してください。また，指定したパス名がディレクトリかどうかも確認してください。

KDIW04202-W

An attempt to start trace output has failed. cause = *aa....aa*
トレース出力の開始に失敗しました。要因 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの要因

要因

トレース出力を開始できません。次の要因が考えられます。

1. アクセス権がないため，トレースファイルの作成，またはアクセスに失敗しました。
2. ファイルがロックされているため，トレースファイルのアクセスに失敗しました。

3. CIWAdmin クラスの次のメソッドを 1 つのプロセスで複数回呼び出しています。
   - initializeCIWFactory メソッド
   - finalizeCIWFactory メソッド

対処

- **1.の場合**
  次の内容を見直してください。
  - 業務プログラム，または J2EE サーバを実行するユーザの権限
  - トレースファイルの出力先，またはトレースファイルのアクセス権
- **2.の場合**
  ロックを解除してください。
- **3.の場合**
  マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow AP 開発ガイド」の，次についての説明を参考に業務プログラムを修正してください。
  - CSCIW の初期化
  - CSCIW の終了
  - CIWAdmin（CSCIW の初期化・終了処理をするクラス）

問題が解決しない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04203-W

An attempt to start message output has failed. cause = *aa....aa*
メッセージ出力の開始に失敗しました。要因 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの要因

要因

メッセージ出力を開始できません。次の要因が考えられます。

1. アクセス権がないため，メッセージファイルの作成，またはアクセスに失敗しました。
2. ファイルがロックされているため，メッセージファイルのアクセスに失敗しました。
3. CIWAdmin クラスの次のメソッドを 1 つのプロセスで複数回呼び出しています。
   - initializeCIWFactory メソッド
   - finalizeCIWFactory メソッド

対処

- **1.の場合**

  次の内容を見直してください。

  - 業務プログラム，またはJ2EEサーバを実行するユーザの権限
  - メッセージファイルの出力先，またはメッセージファイルのアクセス権

- **2.の場合**

  ロックを解除してください。

- **3.の場合**

  マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow AP開発ガイド」の，次についての説明を参考に業務プログラムを修正してください。

  - CSCIWの初期化
  - CSCIWの終了
  - CIWAdmin（CSCIWの初期化・終了処理をするクラス）

問題が解決しない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04205-W

An attempt to delete the trace file has failed. cause = *aa....aa*
トレースファイルの削除に失敗しました。要因 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの要因

要因

古いトレースファイルの削除に失敗しました。次の要因が考えられます。

1. アクセス権がないため，古いトレースファイルを削除できませんでした。
2. ファイルがロックされているため，古いトレースファイルを削除できませんでした。
3. CIWAdminクラスの次のメソッドを1つのプロセスで複数回呼び出しています。
   - initializeCIWFactoryメソッド
   - finalizeCIWFactoryメソッド

対処

- **1.の場合**

  次の内容を見直してください。

  - 業務プログラム，またはJ2EEサーバを実行するユーザの権限

- トレースファイルの出力先，またはトレースファイルのアクセス権

- **2.の場合**

  ロックを解除してください。

- **3.の場合**

  マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow AP 開発ガイド」の，次についての説明を参考に業務プログラムを修正してください。

  - CSCIW の初期化
  - CSCIW の終了
  - CIWAdmin（CSCIW の初期化・終了処理をするクラス）

問題が解決しない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04206-W

An attempt to delete the message file has failed. cause = *aa....aa*
メッセージファイルの削除に失敗しました。要因 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの要因

要因

古いメッセージファイルの削除に失敗しました。次の要因が考えられます。

1. アクセス権がないため，古いメッセージファイルを削除できませんでした。
2. ファイルがロックされているため，古いメッセージファイルを削除できませんでした。
3. CIWAdmin クラスの次のメソッドを 1 つのプロセスで複数回呼び出しています。
   - initializeCIWFactory メソッド
   - finalizeCIWFactory メソッド

対処

- **1.の場合**

  次の内容を見直してください。

  - 業務プログラム，または J2EE サーバを実行するユーザの権限
  - メッセージファイルの出力先，またはメッセージファイルのアクセス権

- **2.の場合**

  ロックを解除してください。

- **3.の場合**

マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow AP 開発ガイド」の，次についての説明を参考に業務プログラムを修正してください。

- CSCIW の初期化
- CSCIW の終了
- CIWAdmin（CSCIW の初期化・終了処理をするクラス）

問題が解決しない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04207-W

An error occurred in the audit log, but processing will continue. cause = *aa....aa*
監査ログでエラーが発生しましたが，処理を続行します。要因 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの要因

要因

監査ログでエラーが発生しました。

対処

エラーの要因を参照し，エラーの要因を取り除いてください。

4.16 KDIW04400～KDIW04599

KDIW04400-E

An attempt to acquire database column information has failed.
データベースのカラム情報の取得に失敗しました。

要因

データベースアクセス処理でエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW04401-E

The specified character encoding is not supported. character-encoding = *aa....aa*
指定された文字コードはサポートしていません。文字コード = *aa....aa*

aa....aa：文字コード名

要因

CSCIW で対応していない文字コードで文字列をバイト変換したため，処理に失敗しました。

対処

設定情報を見直してください。

KDIW04402-E

An exception occurred during internal processing. details = *aa....aa*
内部処理中にエラーが発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの詳細

要因

予期しない例外が発生しました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04403-E

An attempt to load the specified Java class has failed. Java-class-name = *aa....aa*
指定された Java クラスのロードに失敗しました。Java クラス名 = *aa....aa*

aa....aa：指定された Java クラス名

要因

指定された Java クラスがクラスパスに含まれていません。

対処

次に示す設定情報を確認してください。

- 指定した Java クラスがクラスパスに含まれていること。
- 正しい Java クラス名が指定されていること。

4.17 KDIW04600～KDIW04799

KDIW04600-W

The status has already changed to the specified status. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, status = *dd....dd*
すでに指定された状態に遷移しています。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 状態 = *dd....dd*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン

dd....dd：状態

要因

すでに指定した状態に遷移しています。

対処

必要ありません。

KDIW04601-W

A process definition that has the same name and version already exists. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*
同一名・同一バージョンのビジネスプロセス定義が既に存在します。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン

要因

同じ名称およびバージョンのビジネスプロセス定義がすでに存在します。

対処

ビジネスプロセス定義を確認し，再実行してください。

KDIW04602-W

An active process definition cannot be deleted. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

活性状態のビジネスプロセス定義は削除できません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン

要因

指定したビジネスプロセス定義は「活性」状態のため削除できません。

対処

指定したビジネスプロセス定義を「非活性」状態にしてから，再実行してください。

KDIW04603-W

The date range is incorrect. process-instance-creation-period-start = *aa....aa* (*bb....bb*), process-instance-creation-period-end = *cc....cc* (*dd....dd*)

日付の範囲に誤りがあります。案件投入可能開始日 = *aa....aa* (*bb....bb*), 案件投入可能終了日 = *cc....cc* (*dd....dd*)

aa....aa：案件投入可能開始日

bb....bb：案件投入可能開始日を示す秒

cc....cc：案件投入可能終了日

dd....dd：案件投入可能終了日を示す秒

要因

ビジネスプロセス定義の案件投入可能期間を，不正な範囲に設定しています。

対処

日付の値を見直してください。

KDIW04604-W

The process definition containing a process instance cannot be deleted. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

案件が存在するビジネスプロセス定義は削除できません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン

要因

指定したビジネスプロセス定義を使用している案件が存在するため，ビジネスプロセス定義を削除できません。

対処

このビジネスプロセス定義を使用している案件をすべて削除し，再実行してください。

KDIW04605-W

An attempt to delete an existing process definition has failed. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

既存のビジネスプロセス定義の削除が出来ませんでした。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン

要因

すでに存在するビジネスプロセス定義は削除できません。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW04610-E

An attempt to parse the definition has failed. details = *aa....aa*

定義の解析に失敗しました。詳細 ＝*aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 不正な形式のビジネスプロセス定義があります。
- 不正な文字列を含むビジネスプロセス定義があります。
- WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョン，または CSCIW-Definer 以外で作成したビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **不正な形式のビジネスプロセス定義がある場合**

  CSCIW で利用できない機能が定義されているおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを再作成してください。

- **不正な文字列を含むビジネスプロセス定義がある場合**

  CSCIW で使用できない文字列が入力されているおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを再作成してください。入力可能な文字列については，マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ビジネスプロセス開発ガイド」の「設定項目で入力できる文字」を参照してください。

- **WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョン，または CSCIW-Definer 以外で作成したビジネスプロセス定義がある場合**

  指定したビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で保存または再作成してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04611-E

A required element does not exist.

DOCTYPE 宣言または XMI のルート要素が存在しませんでした。

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- DOCTYPE 宣言または XMI のルート要素がないビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **DOCTYPE 宣言または XMI のルート要素がないビジネスプロセス定義がある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04612-E

A required element does not exist. element-name = *aa....aa*
必須の要素が存在しませんでした。要素名 = *aa....aa*

aa....aa：要素名

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 必要な要素がないビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **必要な要素がないビジネスプロセス定義がある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04613-E

A required attribute does not exist. element-name = *aa....aa*, attribute-name = *bb....bb*
必須の属性が存在しませんでした。要素名 = *aa....aa*, 属性名 = *bb....bb*

aa....aa：要素名

bb....bb：属性名

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 必要な属性がないビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **必要な属性がないビジネスプロセス定義ある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルをCSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04614-E

The specified element name is invalid. element-name = *aa....aa*
不正な要素名が定義に含まれていました。不正な要素名 = *aa....aa*

aa....aa：要素名

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 不正な要素名が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **不正な要素名が存在するビジネスプロセス定義がある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルをCSCIW-Definerで再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04615-E

The specified attribute value is invalid. element-name = *aa....aa*, attribute-name = *bb....bb*, attribute-value = *cc....cc*

不正な属性値が定義に含まれていました。要素名 = *aa....aa*, 属性名 = *bb....bb*, 不正な属性値 = *cc....cc*

aa....aa：要素名

bb....bb：属性名

cc....cc：不正な属性値

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 不正な属性値が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **不正な属性値が存在するビジネスプロセス定義がある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルをCSCIW-Definerで再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04616-E

The specified element name is invalid. xmi-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*
不正な要素名が定義に含まれていました。XMI 属性 ID = *aa....aa*, 不正な要素名 = *bb....bb*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：不正な要素名

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 不正な要素名が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **不正な要素名が存在するビジネスプロセス定義がある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04617-E

The specified element value is invalid. xmi-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*, element-value = *cc....cc*
不正な要素値が定義に含まれていました。XMI 属性 ID = *aa....aa*, 要素名 = *bb....bb*, 不正な要素値 = *cc....cc*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：要素名

cc....cc：不正な要素値

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。

- 不正な要素値が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **不正な要素値が存在するビジネスプロセス定義がある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルをCSCIW-Definerで再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04618-E

The specified attribute value is invalid. xmi-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*, attribute-value = *cc....cc*

不正な属性値が定義に含まれていました。XMI属性ID = *aa....aa*, 要素名 = *bb....bb*, 不正な属性値 = *cc....cc*

aa....aa：XMI属性ID

bb....bb：要素名

cc....cc：不正な属性値

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 不正な属性値が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **不正な属性値が存在するビジネスプロセス定義がある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルをCSCIW-Definerで再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04619-E

The specified xmi-id is invalid. xmi-id = *aa....aa*
不正な XMI 属性 ID が定義に含まれていました。XMI 属性 ID = *aa....aa*

aa....aa：XMI 属性 ID

要因

不正な XMI 属性 ID が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04620-E

The specified definition-ID is invalid. xmi-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*, definition-ID = *cc....cc*
不正な定義 ID が定義に含まれていました。XMI 属性 ID = *aa....aa*, 要素名 = *bb....bb*, 不正な定義 ID = *cc....cc*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：要素名

cc....cc：不正な定義 ID

要因

不正な定義 ID が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04621-E

The specified xmi-id already exists. xmi-id = *aa....aa*
定義にある XMI 属性 ID が重複していました。XMI 属性 ID = *aa....aa*

aa....aa：XMI 属性 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- 重複した XMI 属性 ID が存在するビジネスプロセス定義があります。
- 不正な方法で作成したビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **重複した XMI 属性 ID が存在するビジネスプロセス定義がある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。
- **不正な方法で作成したビジネスプロセス定義がある場合**
  適切な方法でビジネスプロセス定義ファイルを作成してください。ビジネスプロセス定義ファイルの作成方法については，マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow AP 開発ガイド」を参照してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04622-E

The specified definition-ID already exists. definition-ID = *aa....aa*, definition-type = *bb....bb*
定義にある定義 ID が重複していました。定義 ID = *aa....aa*, 定義種別 = *bb....bb*

aa....aa：定義 ID

bb....bb：定義種別※

注※

ACTIVITY_DEFINITION：業務ステップ定義
WORK_ DEFINITION：作業定義
CONTROLNODE_DEFINITION：制御ノード定義
FLOW_DEFINITION：遷移定義
HIERARCHY_DEFINITION：階層定義

CONDITION_DEFINITION：条件定義

TIMERULE_DEFINITION：時間取得ルール定義

CREATIONRULE_DEFINITION：生成ルール定義

APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義

要因

次に示す要因が考えられます。

- 重複した定義 ID が存在するビジネスプロセス定義があります。
- 不正な方法で作成したビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **重複した定義 ID が存在するビジネスプロセス定義がある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

- **不正な方法で作成したビジネスプロセス定義がある場合**

  適切な方法でビジネスプロセス定義ファイルを作成してください。ビジネスプロセス定義ファイルの作成方法については，マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow AP 開発ガイド」を参照してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04623-E

The specified xmi-idref does not exist. xmi-idref = *aa....aa*

指定した XMI 属性 ID が存在しませんでした。XMI 属性 ID = *aa....aa*

aa....aa：XMI 属性 ID

要因

指定した XMI 属性 ID がないビジネスプロセス定義があります。

対処

ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04624-E

The specified parameter is invalid. xmi-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*, element-value = *cc....cc*

不正な要素値が定義内に含まれていました。XMI 属性 ID = *aa....aa*, 要素名 = *bb....bb*, 要素値 = *cc....cc*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：要素名

cc....cc：要素値

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 不正な要素の値が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **不正な要素の値が存在するビジネスプロセス定義がある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04625-E

The specified parameter in the control-node-definition is invalid. xmi-id = *aa....aa*, details = *bb....bb*

制御ノード定義のパラメータが不正です。XMI 属性 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：詳細

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 制御ノード定義に不正なパラメーターが存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **制御ノード定義に不正なパラメーターが存在するビジネスプロセス定義がある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルをCSCIW-Definerで再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04626-E

The specified parameter in the flow-definition is invalid. xmi-id = *aa....aa*, details = *bb....bb*
遷移定義のパラメータが不正です。XMI属性ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：XMI属性ID

bb....bb：詳細

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 遷移定義に不正なパラメーターが存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **遷移定義に不正なパラメーターが存在するビジネスプロセス定義がある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルをCSCIW-Definerで再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04627-E

The specified parameter in the draw-definition is invalid. xmi-id = *aa....aa*, icon-number = *bb....bb*

描画定義のアイコン番号が不正です。XMI 属性 ID = *aa....aa*, アイコン番号 = *bb....bb*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：アイコン番号

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 描画定義に不正なアイコン番号が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **描画定義に不正なアイコン番号が存在するビジネスプロセス定義がある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04628-E

The specified element is not supported. definition-type = *aa....aa*, xmi-id = *bb....bb*, element-name = *cc....cc*

未サポートの定義種別が存在しました。定義種別 = *aa....aa*, XMI 属性 ID = *bb....bb*, 要素名 = *cc....cc*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：XMI 属性 ID

cc....cc：要素名

注※

PARALLEL_ACTIVITY_WORK_DEFINITION：並列業務ステップ作業定義

TIME_WORK_DEFINITION：計時作業定義
ACTIVITY_ADVANCE_START_WORK_DEFINITION：先手通知作業定義
LOGICAL_DATA_ITEM_DEFINITION：論理データ項目定義
PROCESS_DATA_DEFINITION：プロセスデータ定義
EXTERNAL_INFORMATION_DEFINITION：外部情報定義
LINK_DEFINITION：リレーション定義
PLUGIN_ATTRIBUTE_DEFINITION：プラグイン属性定義

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 対応していない定義種別が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **対応していない定義種別が存在するビジネスプロセス定義がある場合**
  CSCIW で対応していない定義種別を指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04630-E

The specified period is invalid. process-instance-creation-period-start = *aa....aa* (*bb....bb*), process-instance-creation-period-end = *cc....cc* (*dd....dd*)
指定した案件投入可能期間が不正です。案件投入可能開始日 = *aa....aa* (*bb....bb*), 案件投入可能終了日 = *cc....cc* (*dd....dd*)

aa....aa：案件投入可能開始日

bb....bb：案件投入可能開始日を示す秒

cc....cc：案件投入可能終了日

dd....dd：案件投入可能終了日を示す秒

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 案件投入可能期間が不正なビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **案件投入可能期間が不正なビジネスプロセス定義がある場合**

  案件投入可能期間に不正な値が設定されているおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて適切な案件投入可能期間を設定したビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04631-E

The number of the specified polygonal lines in the flow-definition exceeds the maximum.
number-of-polygonal-lines = *aa....aa*
遷移定義における折れ線の数が規定値を超えています。遷移定義における折れ線の数 = *aa....aa*

aa....aa：遷移定義での折れ線の数

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 規定値を超える数の折れ線を持つ遷移定義が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **規定値を超える数の折れ線を持つ遷移定義が存在するビジネスプロセス定義がある場合**

  規定値を超える数の折れ線を持つ遷移定義を設定しているおそれがあります。

ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，CSCIW-Definer で遷移定義の折れ線の数に適切な数（9,999 個以下）を指定してください。そのあとに，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04632-E

The specified element does not have a required value. element-name = *aa....aa*
要素に必須の値が存在しませんでした。要素名 = *aa....aa*

aa....aa：要素名

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 必要な要素値がないビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**
  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。
- **必要な要素値がないビジネスプロセス定義がある場合**
  ビジネスプロセス定義に必要な要素値がないおそれがあります。ビジネスプロセス定義定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04633-E

The specified element does not have a required child element. xmi-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*
要素に必須の子要素が存在しませんでした。XMI 属性 ID = *aa....aa*, 要素名 = *bb....bb*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：要素名

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 要素に必要な子要素がないビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **要素に必要な子要素がないビジネスプロセス定義がある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイルの内容を確認し，必要に応じてビジネスプロセス定義ファイルをCSCIW-Definerで再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04634-E

The script version of the definition is not supported. script-version = *aa....aa*
定義のスクリプトバージョンが未サポートだったため定義の解析に失敗しました。スクリプトバージョン = *aa....aa*

aa....aa：スクリプトバージョン

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- WorkCoordinator Definer Version 6より前のバージョンで作成されたビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **WorkCoordinator Definer Version 6より前のバージョンで作成されたビジネスプロセス定義がある場合**

指定したビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で保存または再作成してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04635-E

The xmi metamodel version of the definition is not supported. xmi-metamodel-version = *aa....aa*

定義の XMI メタモデルのバージョンが未サポートだったため定義の解析に失敗しました。XMI メタモデルバージョン = *aa....aa*

aa....aa：XMI メタモデルのバージョン

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョンで作成されたビジネスプロセス定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **ビジネスプロセス定義ではないデータがある場合**

  ビジネスプロセス定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。ビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- **WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョンで作成されたビジネスプロセス定義がある場合**

  指定したビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で保存または再作成してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04636-E

The script version of the definition does not match the xmi metamodel version. script-version = *aa....aa*, xmi-metamodel-version = *bb....bb*

定義のスクリプトバージョンが XMI メタモデルのバージョンと一致していません。スクリプトバージョン = *aa....aa*, XMI メタモデルバージョン = *bb....bb*

aa....aa：スクリプトバージョン

bb....bb：XMI メタモデルのバージョン

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- ビジネスプロセス定義のスクリプトバージョンと XMI メタモデルのバージョンが一致していません。

対処

CSCIW-Definer で作成したビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04637-E

The specified process definition is invalid. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*

指定したビジネスプロセス定義が不正です。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 不正なパラメーターまたは要素を含むビジネスプロセス定義があります。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW04638-E

"@False" is not specified for the creation condition of the workitem definition. xmi-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*, definition-name = *cc....cc*

作業定義の発生条件に「@False」を指定することは出来ません。XMI 属性 ID = *aa....aa*, 要素名 = *bb....bb*, 定義名 = *cc....cc*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：要素名

cc....cc：定義名

要因

一般作業定義，または並列作業定義の発生条件に「@False」が指定されています。

対処

ビジネスプロセス定義ファイルを CSCIW-Definer で保存または再作成したあと，使用してください。再び障害が発生した場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04639-E

No child work definitions are defined in the parallel work definition. xmi-id = *aa....aa*, parallel-work-definition-name = *bb....bb*

並列作業定義に子作業が定義されていません。XMI 属性 ID = *aa....aa*, 並列作業定義名 = *bb....bb*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：並列作業定義名

要因

このメッセージに表示された並列作業定義中に子作業が定義されていません。

対処

このメッセージに表示された並列作業定義に子作業を定義してください。

KDIW04640-W

The ad hoc request of the specified process definition was changed to unused.

指定されたビジネスプロセス定義のアドホック要求を未使用に変更しました。

要因

WorkCoordinator Definer Version 3 または Version 6 より前のバージョンか，CSCIW-Definer 以外で作成したビジネスプロセス定義が読み込まれ，「アドホック要求を利用する」が指定されていました。

対処

CSCIW でアドホック API を利用する場合は，CSCIW-Definer のビジネスプロセス定義プロパティ画面で「アドホック API を使用する」のチェックを入れてから，ビジネスプロセス定義を再登録してください。

KDIW04641-W

Unsupported conditions and creation rules were changed to RDB search during registration.
登録時に未サポートの条件・生成ルールを RDB 検索に変更しました。

要因

CSCIW で未サポートとなっている WorkCoordinator の条件・生成ルールを，RDB 検索を使用したルールに変更しました。

対処

必要ありません。

KDIW04642-W

Unsupported work definitions were changed to normal work definitions during registration.
登録時に未サポートの作業定義を一般作業定義に変更しました。

要因

CSCIW で未サポートとなっている WorkCoordinator の計時作業定義および先手通知作業定義を，一般作業定義に変更しました。

対処

必要ありません。

KDIW04700-W

The specified process definition does not exist. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*
指定されたビジネスプロセス定義が存在しません。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義のバージョン

要因

指定したビジネスプロセス定義が取得できません。

対処

ワーク管理データベースに存在するビジネスプロセス定義名およびビジネスプロセス定義のバージョンを指定するか，適切なビジネスプロセス定義を登録してください。

KDIW04701-W

The specified process definition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*
指定されたビジネスプロセス定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

要因

指定したビジネスプロセス定義が取得できません。

対処

ワーク管理データベースに指定したビジネスプロセス定義が存在するか確認してください。

ビジネスプロセス定義 ID は，案件運用操作で確認することができます。

`ciweditbp` コマンド実行時に発生した場合は，ビジネスプロセス定義の取得および変更をし直してください。

KDIW04702-E

The process definition data is invalid. process-definition-ID = *aa....aa*, definition-type = *bb....bb*, definition-ID = *cc....cc*, detail-code = *dd....dd*
ビジネスプロセス定義のデータが不正です。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 定義種別 = *bb....bb*, 定義 ID = *cc....cc*, 詳細コード = *dd....dd*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：定義種別※1

cc....cc：定義種別に指定した定義の ID

dd....dd：詳細コード※2

注※1

PROCESS_ DEFINITION：ビジネスプロセス定義
ACTIVITY_ DEFINITION：業務ステップ定義
WORK_ DEFINITION：作業定義
PARALLEL_WORK_ DEFINITION：並列作業定義

FLOW_DEFINITION：遷移定義

APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義

注※2

DeadlineRuleID：処理期限ルール

CreationConditionID：発生条件

CompletionConditionID：完了条件

SourceNodeID：遷移元ノード

DestinationNodeID：遷移先ノード

FlowConditionID：遷移条件

CreationRuleID：生成ルール

ChildWorkDefID：並列作業の子作業定義

ApplicationID：作業アプリケーション

要因

ワーク管理データベースのビジネスプロセス定義の状態が不正です。

対処

不正な定義を削除し，再登録してください。回復できない場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04703-E

An illegal value is specified in the process definition. process-definition-ID = *aa....aa*, definition-type = *bb....bb*, detail-code = *cc....cc*, value = *dd....dd*

ビジネスプロセス定義に不正な値が指定されています。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 定義種別 = *bb....bb*, 詳細コード = *cc....cc*, 値 = *dd....dd*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：定義種別※1

cc....cc：詳細コード※2

dd....dd：値

注※1

PROCESS_ DEFINITION：ビジネスプロセス定義

ACTIVITY_ DEFINITION：業務ステップ定義

WORK_ DEFINITION：作業定義

CONTROLNODE_ DEFINITION：制御ノード定義

FLOW_ DEFINITION：遷移定義
CONDITION_ DEFINITION：条件定義
CREATIONRULE_ DEFINITION：生成ルール定義
TIMERULE_ DEFINITION：時間取得ルール定義
APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義

注※2

StateCode：ビジネスプロセス定義の状態
AdhocOperationTypeCode：Adhoc 操作対応フラグ
CreationPolicy：事前生成の有無
WorkTypeCode：作業の種別
ReEvalFlag：再評価指定フラグ
ControlNodeTypeCode：制御ノードの種別
SourceNodeTypeCode：遷移元ノードの種別
DestinationNodeTypeCode：遷移先ノードの種別
ConditionTypeCode：条件定義の種別
NotFlagTypeCode：NOT 指定フラグ
CreationRuleType：生成ルール定義の種別
TimeRuleType：時間取得ルール定義の種別
ApplicationTypeCode：作業アプリケーションの種別

要因

ワーク管理データベースのビジネスプロセス定義の状態が不正です。

対処

不正な定義を削除し，再登録してください。回復できない場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04704-E

An unsupported value is specified in the process definition. process-definition-ID = *aa....aa*, definition-type = *bb....bb*, detail-code = *cc....cc*, value = *dd....dd*
ビジネスプロセス定義に未サポート値が指定されています。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 定義種別 = *bb....bb*, 詳細コード = *cc....cc*, 値 = *dd....dd*

aa....aa：ビジネスプロセス定義 ID

bb....bb：定義種別※1

cc....cc：詳細コード※2

dd....dd：値

注※1

CONDITION_ DEFINITION：条件定義

CREATIONRULE_ DEFINITION：生成ルール定義

TIMERULE_ DEFINITION：時間取得ルール定義

APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義

注※2

ConditionTypeCode：条件定義の種別

CreationRuleType：生成ルール定義の種別

TimeRuleType：時間取得ルール定義の種別

ApplicationTypeCode：作業アプリケーションの種別

要因

ワーク管理データベースに対応していないビジネスプロセスが定義されています。

対処

不正な定義を削除し，再登録してください。回復できない場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04705-E

An unsupported value is specified in the process definition. xmi-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*, element-value = *cc....cc*

ビジネスプロセス定義に未サポート値が指定されています。XMI 属性 ID = *aa....aa*, 要素名 = *bb....bb*, 要素値 = *cc....cc*

aa....aa：XMI 属性 ID

bb....bb：要素名※1

cc....cc：要素値※2

注※1

BPDefinition.BpCondition.Type：条件定義の種別

BPDefinition.BpCreationRule.Type：生成ルール定義の種別

BPDefinition.BpTimeRule.Type：時間取得ルール定義の種別

BPDefinition.BpApplication.Type：作業アプリケーションの種別

注※2

SQL：RDB 検索

OBJECT：分散オブジェクト

PROCESSDATA：プロセスデータ

USER：ユーザ起動

EXE：実行形式ファイル

OTM：OTM オブジェクト

要因

対応していない要素の値を持つ定義があります。

対処

定義を再作成したあと，不正な定義を削除し，再登録してください。回復できない場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04706-W

The BPMN definition file does not exist. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが存在しません。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*,ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定されたビジネスプロセス定義名およびビジネスプロセス定義バージョンに対応する BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが，ワーク管理データベースに存在しません。

対処

ビジネスプロセス定義名およびビジネスプロセス定義バージョンが正しいかどうか確認してください。ワーク管理データベースに BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを登録していない場合は，登録してください。

4.18 KDIW04800～KDIW04999

KDIW04800-W

The status has already changed to the specified status. casting-rule-ID = *aa....aa*, casting-rule-name = *bb....bb*, casting-rule-version = *cc....cc*, status = *dd....dd*

すでに指定された状態に遷移しています。振り分けルール定義 ID = *aa....aa*, 振り分けルール名 = *bb....bb*, 振り分けルール定義のバージョン = *cc....cc*, 状態 = *dd....dd*

aa....aa：振り分けルール定義 ID

bb....bb：振り分けルール名

cc....cc：振り分けルール定義のバージョン

dd....dd：状態

要因

すでに指定した状態に遷移しています。

対処

必要ありません。

KDIW04801-W

The specified casting rule definition already exists. casting-rule-ID = *aa....aa*, casting-rule-name = *bb....bb*, casting-rule-version = *cc....cc*

同一名・同一バージョンの振り分けルール定義がすでに存在します。振り分けルール定義 ID = *aa....aa*, 振り分けルール名 = *bb....bb*, 振り分けルール定義のバージョン = *cc....cc*

aa....aa：振り分けルール定義 ID

bb....bb：振り分けルール名

cc....cc：振り分けルール定義のバージョン

要因

同じ名称およびバージョンの振り分けルール定義がすでに存在します。

対処

すでに存在している振り分けルール定義を確認してください。不要な場合は，`-force` オプションを指定して振り分けルール定義を上書き登録してください。

KDIW04802-W

The casting rule definition of the active state cannot be deleted. casting-rule-ID = *aa....aa*, casting-rule-name = *bb....bb*, casting-rule-version = *cc....cc*

活性状態の振り分けルール定義は削除できません。振り分けルール定義 ID = *aa....aa*, 振り分けルール名 = *bb....bb*, 振り分けルール定義のバージョン = *cc....cc*

aa....aa：振り分けルール定義 ID

bb....bb：振り分けルール名

cc....cc：振り分けルール定義のバージョン

要因

指定した振り分けルール定義が「活性化」状態のため削除できません。

対処

指定した振り分けルール定義の状態を非活性にし，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW04803-W

The target casting rule definition was not found. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*

操作対象の振り分けルール定義がありませんでした。振り分けルール名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義のバージョン = *bb....bb*

aa....aa：振り分けルール名

bb....bb：振り分けルール定義のバージョン

要因

指定した条件に一致する振り分けルール定義がありません。

対処

条件を確認し，メソッドまたは操作を再実行してください。

KDIW04804-E

The specified code value is incorrect. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*, code-kind = *cc....cc*, code-value = *dd....dd*

指定されたコード値が誤っています。振り分けルール名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義のバージョン = *bb....bb*, コード種別 = *cc....cc*, コード値 = *dd....dd*

aa....aa：振り分けルール名

bb....bb：振り分けルール定義のバージョン

cc....cc：コード種別

dd....dd：コード値

要因

対応していない種別の振り分けルール定義が指定されました。

対処

振り分けルール定義を見直してください。

KDIW04805-E

The casting rule definition is corrupted. casting-rule-ID = *aa....aa*, casting-rule-name = *bb....bb*, casting-rule-version = *cc....cc*, rule-type = *dd....dd*

振り分けルール定義が破壊されています。振り分けルール定義 ID = *aa....aa*, 振り分けルール名 = *bb....bb*, 振り分けルール定義のバージョン = *cc....cc*, 振り分けルール種別 = *dd....dd*

aa....aa：振り分けルール定義 ID

bb....bb：振り分けルール名

cc....cc：振り分けルール定義のバージョン

dd....dd：振り分けルール定義種別

要因

ワーク管理データベースに登録した振り分けルール定義が破壊されています。

対処

破壊されている定義を削除し，再登録してください。回復できない場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04807-E

An attempt to parse the casting rule definition has failed. details = *aa....aa*

振り分けルール定義の解析に失敗しました。詳細 ＝*aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 不正な形式の振り分けルール定義があります。
- 不正な文字列を含む振り分けルール定義があります。
- WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョン，または CSCIW-Definer 以外で作成した振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **不正な形式の振り分けルール定義がある場合**

  CSCIW で利用できない機能が定義されているおそれがあります。振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを再作成してください。

- **不正な文字列を含む振り分けルール定義がある場合**

  CSCIW で使用できない文字列が入力されているおそれがあります。振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを再作成してください。入力可能な文字列については，マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ビジネスプロセス開発ガイド」の「設定項目で入力できる文字」を参照してください。

- **WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョン，または CSCIW-Definer 以外で作成した振り分けルール定義がある場合**

  指定した振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で保存または再作成してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04808-E

A required element does not exist in the casting rule definition.

振り分けルール定義内に DOCTYPE 宣言または XMI のルート要素が存在しません。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- DOCTYPE 宣言または XMI のルート要素がない振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **DOCTYPE 宣言または XMI のルート要素がない振り分けルール定義がある場合**

  振り分けルール定義に必要な DOCTYPE 宣言または XMI のルート要素がないおそれがあります。振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04809-E

A required element value does not exist in the casting rule definition. element-name = *aa....aa*
振り分けルール定義に必須の要素値が存在しません。要素名 = *aa....aa*

aa....aa：要素名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 必要な要素値がない振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **必要な要素値がない振り分けルール定義がある場合**

  振り分けルール定義に必要な要素値がないおそれがあります。振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04810-E

A required attribute value does not exist in the casting rule definition. element-name = *aa....aa*, attribute-name = *bb....bb*

振り分けルール定義に必須の属性値が存在しません。要素名 = *aa....aa*, 属性名 = *bb....bb*

aa....aa：要素値

bb....bb：属性名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 必要な属性がない振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **必要な属性がない振り分けルール定義がある場合**

  振り分けルール定義に必要な属性がないおそれがあります。振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04811-E

The element value in the casting rule definition is invalid. element-name = *aa...aa*, element-value = *bb....bb*

不正な要素値が振り分けルール定義に含まれています。要素名 = *aa....aa*, 不正な要素値 = *bb....bb*

aa....aa：要素名

bb....bb：不正な要素値

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。

- 不正な要素値が存在する振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **不正な要素値が存在する振り分けルール定義がある場合**

  不正な要素値を含んでいるおそれがあります。振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04812-E

The attribute value in the casting rule definition is invalid. element-name = *aa....aa*, attribute-name = *bb....bb*, attribute-value = *cc....cc*

不正な属性値が振り分けルール定義に含まれています。要素名 = *aa....aa*, 属性名 = *bb....bb*, 不正な属性値 = *cc....cc*

aa....aa：要素名

bb....bb：属性名

cc....cc：不正な要素値

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 不正な属性値が存在する振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **不正な属性値が存在する振り分けルール定義がある場合**

不正な属性値を含んでいるおそれがあります。振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04813-E

The code value in the casting rule definition is incorrect. code-kind = *aa....aa*, code-value = *bb....bb*

振り分けルール定義に指定されたコード値が誤っています。コード種別 = *aa....aa*, コード値 = *bb....bb*

aa....aa：コード種別※

bb....bb：コード値

注※

StateCode：振り分けルール定義の状態

CastingRuleType：振り分けルール定義の種別

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 対応していない種別が指定されている振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **対応していない種別が指定されている振り分けルール定義がある場合**

  CSCIW で対応していない種別を指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04814-W

The date range is incorrect. valid-from-date = *aa....aa* (*bb....bb*), valid-to-date = *cc....cc* (*dd....dd*)

日付の範囲に誤りがあります。有効期間開始日 = *aa....aa* (*bb....bb*), 有効期間終了日 = *cc....cc* (*dd....dd*)

aa....aa：有効期間開始日

bb....bb：有効期間開始日を示す秒

cc....cc：有効期間終了日

dd....dd：有効期間終了日を示す秒

要因

振り分けルールの有効期間を不正な範囲に設定しています。

対処

日付の値を見直してください。

KDIW04816-E

The value in the casting rule definition is invalid. casting-rule-ID = *aa....aa*, detail-code = *bb....bb*, value = *cc....cc*

振り分けルール定義に不正な値が指定されています。振り分けルール定義 ID = *aa....aa*, 詳細コード = *bb....bb*, 値 = *cc....cc*

aa....aa：振り分けルール定義 ID

bb....bb：詳細コード※

cc....cc：値

注※

StateCode：振り分けルール定義の状態

CastingRuleType：振り分けルール定義の種別

要因

ワーク管理データベースの振り分けルール定義に指定した値が，対応していないまたは不正です。

対処

不正な定義を削除し，再登録してください。回復できない場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04817-E

The format of the casting rule definition is invalid. element-name = *aa....aa*
振り分けルール定義の形式が不正です。要素名 = *aa....aa*

aa....aa：要素名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 要素が設定できない不正な振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**
  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。
- **要素が設定できない不正な振り分けルール定義がある場合**
  振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04818-E

The format of the casting rule definition is invalid. element-name = *aa....aa*, attribute-name = *bb....bb*
振り分けルール定義の形式が不正です。要素名 = *aa....aa*, 属性名 = *bb....bb*

aa....aa：要素名

bb....bb：属性名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 属性が設定できない不正な振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **属性が設定できない不正な振り分けルール定義がある場合**

  振り分けルール定義ファイルの内容を確認し，必要に応じて振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04819-E

The specified date range is invalid. valid-from-date = *aa....aa* (*bb....bb*), valid-to-date = *cc....cc* (*dd....dd*)

指定した日付の範囲が不正です。有効期間開始日 = *aa....aa* (*bb....bb*), 有効期間終了日 = *cc....cc* (*dd....dd*)

aa....aa：有効期間開始日

bb....bb：有効期間開始日を示す秒

cc....cc：有効期間終了日

dd....dd：有効期間終了日を示す秒

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 振り分けルール定義の有効期間が不正な振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **振り分けルール定義の有効期間が不正な振り分けルール定義がある場合**

振り分けルール定義の有効期間に不正な値が設定されているおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを確認し，必要に応じて適切な有効期間を設定した振り分けルール定義ファイルをCSCIW-Definerで再作成してください。そのあとに，再実行してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04820-E

The script version of the casting rule definition file is not supported. script-version = *aa....aa*
振り分けルール定義のスクリプトバージョンが未サポートだったため定義の解析に失敗しました。スクリプトバージョン = *aa....aa*

aa....aa：スクリプトバージョン

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- WorkCoordinator Definer Version 6より前のバージョン，またはCSCIW-Definer以外で作成した振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**
  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。
- **WorkCoordinator Definer Version 6より前のバージョン，またはCSCIW-Definer以外で作成した振り分けルール定義がある場合**
  指定した振り分けルール定義ファイルをCSCIW-Definerで保存または再作成したあとに使用してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04821-E

The xmi metamodel version of the casting rule definition is not supported. xmi-metamodel-version = *aa....aa*

振り分けルール定義の XMI メタモデルのバージョンが未サポートだったため定義の解析に失敗しました。XMI メタモデルバージョン ＝*aa....aa*

aa....aa：XMI メタモデルのバージョン

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョン，または CSCIW-Definer 以外で作成した振り分けルール定義があります。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義ではないデータがある場合**

  振り分けルール定義ファイル以外のファイルを指定したおそれがあります。振り分けルール定義ファイルを指定してください。

- **WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョン，または CSCIW-Definer 以外で作成した振り分けルール定義がある場合**

  指定した振り分けルール定義ファイルを CSCIW-Definer で保存または再作成したあとに使用してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04822-E

The script version of the casting rule definition does not match the XMI metamodel version. script-version ＝*aa....aa*, xmi-metamodel-version ＝*bb....bb*

振り分けルール定義のスクリプトバージョンが XMI メタモデルのバージョンと一致していません。スクリプトバージョン ＝*aa....aa*, XMI メタモデルバージョン ＝*bb....bb*

aa....aa：スクリプトバージョン

bb....bb：XMI メタモデルのバージョン

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 振り分けルール定義のスクリプトバージョンと XMI メタモデルのバージョンが一致していません。

対処

CSCIW-Definer で作成した振り分けルール定義ファイルを指定してください。

再び障害が発生した場合は，使用した振り分けルール定義ファイル，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW04823-E

The specified casting rule definition is invalid. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*

指定した振り分けルール定義が不正です。振り分けルール名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義のバージョン = *bb....bb*

aa....aa：振り分けルール名

bb....bb：振り分けルール定義のバージョン

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 不正なパラメーターまたは要素を含む振り分けルール定義があります。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

4.19 KDIW05000～KDIW05199

KDIW05000-E

The versions of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow and uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in do not match. system-ID = *aa....aa*, system-version = *bb....bb*, plug-in-version = *cc....cc*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow と uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in のバージョンが不一致です。システム ID = *aa....aa*, uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のバージョン = *bb....bb*, uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in のバージョン = *cc....cc*

aa....aa：システム ID

bb....bb：CSCIWManagementServer のバージョン

cc....cc：CSCIW-Definer のバージョン

要因

CSCIW-Definer のバージョンが CSCIWManagementServer のバージョンに一致していません。

対処

CSCIWManagementServer のバージョンに一致した CSCIW-Definer を使用してください。

KDIW05001-W

Authentication has failed. details = *aa....aa*

認証に失敗しました。詳細情報 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報※

注※

Invalid User or Password：ユーザ ID またはパスワードが正しくない

Invalid Role：指定したユーザに`csciwdef` ロールが設定されていない

Invalid Length UserID：ユーザ ID の文字列長が正しくない

Not Found Server：J2EE サーバが見つからない

Other：J2EE サーバへのログインに失敗した

要因

詳細情報に表示される内容によって，認証に失敗しました。

対処

次に示す対処をしてください。

- Invalid User or Password の場合
  正しいユーザ ID またはパスワードを指定してください。
- Invalid Role の場合
  指定したユーザにcsciwdef ロールを設定してください。
- Invalid Length UserID の場合
  ユーザ ID の文字列長が，<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルのAuthor カラムで定義したバイト数以内のユーザでログインし，操作を再実行してください。
- Not Found Server の場合
  メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。
- Other の場合
  メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW05002-E

The name of the author of the process definition is invalid. author = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義の作成者の名前が不正です。作成者 = *aa....aa*

aa....aa：作成者

要因

ビジネスプロセス定義の作成者として不正な名前のユーザが，ビジネスプロセス定義の登録処理を実行しました。

対処

ユーザ ID の文字列長が，<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルのAuthor カラムで定義したバイト数以内のユーザでログインし，操作を再実行してください。

KDIW05003-E

The name of the author of the casting rule definition is invalid. author = *aa....aa*
振り分けルール定義の作成者の名前が不正です。作成者 = *aa....aa*

aa....aa：作成者

要因

振り分けルール定義の作成者として不正な名前のユーザが，振り分けルール定義の登録処理を実行しました。

対処

ユーザ ID の文字列長が，<SYSTEMID>_CASTINGRULE_DEF テーブルのAuthor カラムで定義したバイト数以内のユーザでログインし，操作を再実行してください。

KDIW05004-E

An attempt to modify an attribute of the casting rule definition has failed. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*

振り分けルール定義の属性を変更できません。振り分けルール名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義のバージョン = *bb....bb*

aa....aa：振り分けルール名

bb....bb：振り分けルール定義のバージョン

要因

属性の値を変更する振り分けルール定義の状態が不正です。

次に示す要因が考えられます。

- 指定された振り分けルール定義がビジネスプロセス定義で使用されています。
- ほかのバージョンで使用できる振り分けルール定義がありません。

対処

別バージョンの振り分けルール定義を活性状態で登録し，操作を再実行してください。

KDIW05005-E

The name of the responsible of the process definition is invalid. responsible = *aa....aa*

ビジネスプロセス定義管理者名が不正です。管理者 = *aa....aa*

aa....aa：管理者名

要因

ビジネスプロセス定義の管理者名が不正です。

対処

管理者名の文字列長は，<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルのResponsible カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW05006-E

The name of the responsible of the casting rule definition is invalid. responsible = *aa....aa*
振り分けルール定義管理者名が不正です。管理者 = *aa....aa*

aa....aa：管理者名

要因

振り分けルール定義の管理者名が不正です。

対処

管理者名の文字列長は，<SYSTEMID>_CASTINGRULE_DEF テーブルのResponsible カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW05007-E

The description of the process definition is invalid. description = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義の説明が不正です。説明 = *aa....aa*

aa....aa：説明

要因

ビジネスプロセス定義の説明が不正です。

対処

説明は，<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルのDescription カラムで定義したバイト数以内で入力してください。

KDIW05008-E

The description of the casting rule definition is invalid. description = *aa....aa*
振り分けルール定義の説明が不正です。説明 = *aa....aa*

aa....aa：説明

要因

振り分けルール定義の説明が不正です。

対処

説明は，<SYSTEMID>_ CASTINGRULE _DEF テーブルのDescription カラムで定義したバイト数以内で入力してください。

KDIW05009-E

An exception occurred while processing the definition operation. details = *aa....aa*
定義操作の処理中に例外が発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

定義操作の処理中に例外が発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW05010-E

The script versions of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow and uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in do not match. system-ID = *aa....aa*, system-version = *bb....bb*, system-script-version = *cc....cc*, system-model-version = *dd....dd*, plug-in-version = *ee....ee*, plug-in-script-version = *ff....ff*, plug-in-model-version = *gg....gg*
uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow と uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in のスクリプトバージョンが不一致です。システム ID = *aa....aa*, uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のバージョン = *bb....bb*, uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のスクリプトバージョン = *cc....cc*, uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のモデルバージョン = *dd....dd*, uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in のバージョン = *ee....ee*, uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in のスクリプトバージョン = *ff....ff*, uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in のモデルバージョン = *gg....gg*

aa....aa：システム ID

bb....bb：CSCIWManagementServer のバージョン

cc....cc：CSCIWManagementServer のスクリプトバージョン

dd....dd：CSCIWManagementServer のモデルバージョン

ee....ee：CSCIW-Definer のバージョン

ff....ff：CSCIW-Definer のスクリプトバージョン

gg....gg：CSCIW-Definer のモデルバージョン

要因

uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in のスクリプトバージョンが CSCIW のスクリプトバージョンと一致していません。

対処

CSCIW のスクリプトバージョンに合わせた uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in を使用してください。

KDIW05011-E

Invalid data was received. details = *aa....aa*
不正なデータを受信しました。詳細情報 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

CSCIWManagementServer は不正なデータを受信しました。

対処

CSCIW-Definer を使用して CSCIWManagementServer に接続してください。

KDIW05012-E

The size of the specified BPMN definition file exceeds the maximum size. file-size = *aa....aa*, maximum-size = *bb....bb*
指定した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが規定値を超えています。ファイルサイズ = *aa....aa*, 最大サイズ = *bb....bb*

aa....aa：ファイルサイズ（バイト）

bb....bb：規定された最大サイズ（バイト）

要因

指定した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが次のどちらかを超えました。

- 4 メガバイト（4,194,304 バイト）
- <SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF テーブルのBpmnProcessDef カラムの最大サイズ

または，最大サイズに「-1」が出力された場合，<SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF テーブルが作成されていないおそれがあります。

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが規定値を超えた場合は，-bpmnf オプションを指定しないでciwmngbp コマンドを実行して，ビジネスプロセス定義を登録してください。

<SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF テーブルが作成されていない場合は，SQL スクリプトファイルを実行してテーブルを作成したあと，ビジネスプロセス定義の登録を実行してください。

4.20 KDIW05200～KDIW05399

KDIW05200-E

An attempt to acquire JMSUseFlag has failed. details = *aa....aa*
JMSUseFlag の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

JMSUseFlag の取得に失敗しました。CSCIWManagementServer がバージョンアップされていないおそれがあります。

対処

CSCIWManagementServer が正しく組み込まれているか確認してください。
01-60 以降のバージョンの CSCIWManagementServer を組み込んでください。

KDIW05201-E

An attempt to acquire QueueConnectionFactory has failed. details = *aa....aa*
QueueConnectionFactory の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

QueueConnectionFactory の取得に失敗しました。

対処

CSCIWManagementServer が正しく組み込まれているか確認してください。
CSCIWManagementServer のアプリケーション属性を見直してください。

KDIW05202-E

The function for calling the JMS cannot be used. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, process-definition-name = *dd....dd*, process-definition-version = *ee....ee*, work-definition-ID = *ff....ff*, work-definition-name = *gg....gg*, work-application-ID = *hh....hh*, work-application-name = *ii....ii*, details = *jj....jj*

JMS 呼び出し機能を使用することはできません。案件 ID ＝*aa....aa*, 作業 ID ＝*bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID ＝*cc....cc*, ビジネスプロセス定義名 ＝*dd....dd*, ビジネスプロセス定義バージョン ＝*ee....ee*, 作業定義 ID ＝*ff....ff*, 作業定義名 ＝*gg....gg*, 作業アプリケーション定義 ID ＝*hh....hh*, 作業アプリケーション定義名 ＝*ii....ii*, 詳細情報 ＝*jj....jj*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義 ID

dd....dd：ビジネスプロセス定義名

ee....ee：ビジネスプロセス定義バージョン

ff....ff：作業定義 ID

gg....gg：作業定義名

hh....hh：作業アプリケーション定義 ID

ii....ii：作業アプリケーション定義名

jj....jj：詳細情報※

注※

NOT_J2EE：J2EE アプリケーションではありません。

QUEUECONNECTIONFACTORY_NULL：QueueConnectionFactory が null

要因

次に示す要因が考えられます。

- **NOT_J2EE の場合**

  業務プログラムが J2EE アプリケーションとして作成されていません。

- **QUEUECONNECTIONFACTORY_NULL の場合**

  CSCIWManagementServer のアプリケーション属性が不正，または CSCIWManagementServer が起動されていません。

対処

次に示す対処をしてください。

- **NOT_J2EE の場合**

  JMS 呼び出しをする作業アプリケーション定義を持つビジネスプロセス定義に対して案件操作をするような業務プログラムを J2EE アプリケーションとして作成してください。

- **QUEUECONNECTIONFACTORY_NULL の場合**

CSCIWManagementServer が起動しているか確認してください。起動している場合，CSCIWManagementServer の JMS 呼出しの設定が「使用する」になっているか確認してください。

KDIW05203-E

An error occurred while the JMS was being accessed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, process-definition-name = *dd....dd*, process-definition-version = *ee....ee*, work-definition-ID = *ff....ff*, work-definition-name = *gg....gg*, work-application-ID = *hh....hh*, work-application-name = *ii....ii*, details = *jj....jj*

JMS アクセスでエラーが発生しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義名 = *dd....dd*, ビジネスプロセス定義バージョン = *ee....ee*, 作業定義 ID = *ff....ff*, 作業定義名 = *gg....gg*, 作業アプリケーション定義 ID = *hh....hh*, 作業アプリケーション定義名 = *ii....ii*, 詳細情報 = *jj....jj*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：作業 ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義 ID

dd....dd：ビジネスプロセス定義名

ee....ee：ビジネスプロセス定義バージョン

ff....ff：作業定義 ID

gg....gg：作業定義名

hh....hh：作業アプリケーション定義 ID

ii....ii：作業アプリケーション定義名

jj....jj：詳細情報※

要因

JMS アクセスで JMS 例外が発生しました。

対処

詳細情報に出力される JMS のエラーメッセージを参照し，対処してください。

JMS のエラーメッセージの対処については，マニュアル「Cosminexus アプリケーションサーバ メッセージ （構築／運用／開発用）」を参照してください。

KDIW05300-E

An attempt to instantiate the specified Java class has failed. work-definition-name = *aa....aa*, work-application-ID = *bb....bb*, work-application-name = *cc....cc*, Java-class-name = *dd....dd*, details = *ee....ee*

指定された Java クラスのインスタンス化に失敗しました。作業定義名 = *aa....aa*, 作業アプリケーション定義 ID = *bb....bb*, 作業アプリケーション定義名 = *cc....cc*, Java クラス名 = *dd....dd*, 詳細例外情報 = *ee....ee*

aa....aa：作業定義名

bb....bb：作業アプリケーション定義 ID

cc....cc：作業アプリケーション定義名

dd....dd：Java クラス名

ee....ee：詳細情報

要因

Java オブジェクト呼び出しの作業アプリケーション定義で，Java クラスのインスタンス化に失敗しました。次に示す要因が考えられます。

- 指定した Java クラスが J2EE アプリケーション，コンテナ拡張ライブラリ，または Java アプリケーションのクラスパスに存在しません。
- 指定した Java クラスが CSCIW が規定するインタフェースを実装していません。
- 指定した Java クラスが abstract クラスで定義されています。
- 指定した Java クラスに引数なし public コンストラクタが定義されていません。
- 指定した Java クラスに引数ありコンストラクタが定義され，デフォルトコンストラクタが引数なし public コンストラクタ以外になっています。

対処

指定された作業アプリケーション定義に対応する Java オブジェクトの内容および Java クラス名を見直してください。

KDIW05301-E

CIWUserException occurred at Java object execution. work-definition-name = *aa....aa*, work-application-ID = *bb....bb*, work-application-name = *cc....cc*, CIWUserException message = *dd....dd*

Java オブジェクトの実行で CIWUserException が発生しました。作業定義名 = *aa....aa*, 作業アプリケーション定義 ID = *bb....bb*, 作業アプリケーション定義名 = *cc....cc*, CIWUserException エラーメッセージ = *dd....dd*

aa....aa：作業定義名

bb....bb：作業アプリケーション定義 ID

cc....cc：作業アプリケーション定義名

dd....dd：CIWUserException エラーメッセージ

要因

作業アプリケーションの実行で，CIWUserException が発生しました。

対処

CIWUserException のエラーメッセージを基に対処してください。

KDIW05302-E

An unknown exception occurred at a Java object evaluation. work-definition-name = *aa....aa*, work-application-ID = *bb....bb*, work-application-name = *cc....cc*, details = *dd....dd*
Java オブジェクトの実行で CIWUserException 以外の予期しない例外が発生しました。作業定義名 = *aa....aa*, 作業アプリケーション定義 ID = *bb....bb*, 作業アプリケーション定義名 = *cc....cc*, 詳細例外情報 = *dd....dd*

aa....aa：作業定義名

bb....bb：作業アプリケーション定義 ID

cc....cc：作業アプリケーション定義名

dd....dd：詳細情報

要因

作業アプリケーションの実行で，予期しない例外が発生しました。

対処

指定された作業アプリケーション定義に対応する Java オブジェクトの内容を見直してください。

KDIW05303-E

The return value of a Java object is incorrect. work-definition-name = *aa....aa*, work-application-ID = *bb....bb*, work-application-name = *cc....cc*, return value = *dd....dd*

Java オブジェクトの戻り値に規定外の値が設定されました。作業定義名 = *aa....aa*, 作業アプリケーション定義 ID = *bb....bb*, 作業アプリケーション定義名 = *cc....cc*, 戻り値 = *dd....dd*

aa....aa：作業定義名

bb....bb：作業アプリケーション定義 ID

cc....cc：作業アプリケーション定義名

dd....dd：戻り値

要因

作業アプリケーションの戻り値に null が指定されています。

対処

指定された作業アプリケーション定義に対応する Java オブジェクトの内容を見直してください。

4.21 KDIW05400～KDIW05599

KDIW05400-W

This definition is not used in the process definition. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*
ビジネスプロセス定義で使用されていません。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：定義名

注※

CREATION_RULE_DEFINITION：生成ルール定義
TIME_RULE_DEFINITION：時間取得ルール定義
CONDITION_DEFINITION：条件定義
APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義

要因

このメッセージに示された定義が，対象のビジネスプロセス定義内で使用されていません。

対処

次に示すどちらかの対処をしてください。

- このメッセージに示された定義を，操作対象のビジネスプロセス定義内で使用してください。
- このメッセージに示された定義を削除してください。

KDIW05401-E

No activity definitions or hierarchy definitions are defined. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*
業務ステップ定義，または階層定義が定義されていません。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：定義名

注※

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義
HIERARCHY_DEFINITION：階層定義

要因

このメッセージに示された定義の中に，業務ステップ定義または階層定義のどちらも定義されていません。

対処

このメッセージに示された定義の中に，業務ステップ定義または階層定義を定義してください。

KDIW05402-E

No child work definitions are defined. parallel-work-definition-name = *aa....aa*, activity-definition-name = *bb....bb*

並列作業定義に子作業が定義されていません。並列作業定義名 = *aa....aa*, 業務ステップ定義名 = *bb....bb*

aa....aa：並列作業定義名

bb....bb：該当する並列作業定義が含まれる業務ステップ定義名

要因

このメッセージに示された並列作業定義の中に子作業が定義されていません。

対処

このメッセージに示された並列作業定義に子作業を定義してください。

KDIW05403-E

No work definitions are defined the activity definition. activity-definition-name = *aa....aa*

業務ステップ定義に作業が定義されていません。業務ステップ定義名 = *aa....aa*

aa....aa：業務ステップ定義名

要因

このメッセージに示された業務ステップ定義に作業が定義されていません。

対処

このメッセージに示された業務ステップ定義に作業を定義してください。

KDIW05404-E

The process definition or the hierarchy definition that a source-node is not defined is exists. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*

ソースノードが定義されていないビジネスプロセス定義，または階層定義があります。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：定義名

注※

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義

HIERARCHY_DEFINITION：階層定義

要因

このメッセージに示された定義中にソースノードが定義されていません。

対処

このメッセージに示された定義中にソースノードを定義してください。

KDIW05405-E

The process definition or the hierarchy definition that a sink-node is not defined is exists. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*

シンクノードが定義されていないビジネスプロセス定義，または階層定義があります。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：定義名

注※

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義

HIERARCHY_DEFINITION：階層定義

要因

このメッセージに示された定義中にシンクノードが定義されていません。

対処

このメッセージに示された定義中にシンクノードを定義してください。

KDIW05406-E

A transition to node is not defined. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*
ノードへの遷移が定義されていません。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：定義名

注※

ACTIVITIY_DEFINITION：業務ステップ定義
HIERARCHY_DEFINITION：階層定義
XOR-SPLIT_NODE_DEFINITION：分岐ノード定義
AND-SPLIT_ NODE_DEFINITION：分業ノード定義
AND-JOIN_NODE_DEFINITION：待合ノード定義
OR-JOIN_NODE_DEFINITION：先着ノード定義
SINK_NODE_DEFINITION：シンクノード定義

要因

このメッセージに示されたノードへの遷移が定義されていません。

対処

このメッセージに示されたノードへの遷移を定義してください

KDIW05407-E

A transition from a node is not defined. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*
ノードからの遷移が定義されていません。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：定義名

注※

ACTIVITIY_DEFINITION：業務ステップ定義
HIERARCHY_DEFINITION：階層定義
XOR-SPLIT_NODE_DEFINITION：分岐ノード定義
AND-SPLIT_ NODE_DEFINITION：分業ノード定義
AND-JOIN_NODE_DEFINITION：待合ノード定義
OR-JOIN_NODE_DEFINITION：先着ノード定義
SOURCE_NODE_DEFINITION：ソースノード定義

要因

次に示す要因が考えられます。

- このメッセージに示されたノードからの遷移が定義されていません。
- このメッセージに示されたノードからシンクノードへの遷移定義が存在する場合，このノードが含まれる階層定義からの遷移定義が存在しません。

対処

次に示す対処をしてください。

- このメッセージに示されたノードからの遷移を定義してください。
- このメッセージに示されたノードが含まれる階層定義からの遷移を定義してください。

KDIW05408-E

A default destination XOR-Split is not specified at the XOR-Split node. XOR-Split-name = *aa....aa*
分岐ノードにデフォルト遷移先が指定されていません。分岐ノード名 = *aa....aa*

aa....aa：分岐ノード名

要因

このメッセージに示された分岐ノードにデフォルト遷移先が指定されていません。

対処

このメッセージに示された分岐ノードにデフォルト遷移先を指定してください。

KDIW05409-E

A condition is not specified at the transition from the XOR-Split node. XOR-Split-name = *aa....aa*, destination-name = *bb....bb*
分岐ノードからの遷移に分岐条件が指定されていません。分岐ノード名 = *aa....aa*, 遷移先名 = *bb....bb*

aa....aa：分岐ノード名

bb....bb：遷移先名

要因

このメッセージに示された分岐ノードに分岐条件が指定されていません。

対処

このメッセージに示された分岐ノードからのアローに分岐条件を指定してください。

KDIW05410-E

A creation rule is not specified in the parallel work definition. parallel-work-definition-name = *aa....aa*, activity-definition-name = *bb....bb*

並列作業定義に生成ルールが指定されていません。並列作業定義名 = *aa....aa*, 業務ステップ定義名 = *bb....bb*

aa....aa：並列作業定義名

bb....bb：該当する並列作業定義が含まれる業務ステップ定義名

要因

このメッセージに示された並列作業定義に生成ルールが指定されていません。

対処

このメッセージに示された並列作業定義に生成ルールを指定してください。

KDIW05411-E

A casting rule is not specified in the normal work definition. normal-work-definition-name = *aa....aa*, activity-definition-name = *bb....bb*

一般作業定義に振り分けルール定義が指定されていません。一般作業定義名 = *aa....aa*, 業務ステップ定義名 = *bb....bb*

aa....aa：一般作業定義名

bb....bb：該当する一般作業定義が含まれる業務ステップ定義名

要因

このメッセージに示された一般作業定義に振り分けルール名または作業アプリケーション定義名が指定されていません。

対処

このメッセージに示された一般作業定義に，振り分けルール名と作業アプリケーション定義名のどちらか 1 つ，または振り分けルール名と作業アプリケーション定義名の両方を指定してください。

KDIW05412-E

Invalid routes exist in the process definition or the hierarchy definition. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*

ビジネスプロセス定義，または階層定義中に不正な経路があります。定義種別 ＝ *aa....aa*, 定義名 ＝ *bb....bb*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：定義名

注※

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義

HIERARCHY_DEFINITION：階層定義

要因

このメッセージに示された定義中に，不正な経路があります。

次に示す要因が考えられます。

- ソースノードからシンクノードへ到達できない経路があります。
- ソースノードからシンクノードへ到達する経路中に，通過することのないノードがあります。

対処

このメッセージに示された定義の経路，またはノードを見直してください。

KDIW05413-E

An invalid control node is specified as the destination of transition from a source-node.
definition-type ＝ *aa....aa*
ソースノードからの遷移先として指定できない制御ノード定義が指定されました。定義種別 ＝ *aa....aa*

aa....aa：遷移先の定義種別※

注※

AND-JOIN_NODE_DEFINITION：待合ノード定義

OR-JOIN_NODE_DEFINITION：先着ノード定義（後続停止あり）

要因

ソースノードの遷移先として使用できない制御ノード定義が指定されました。

対処

ソースノードの遷移先として使用できる定義を指定してください。

KDIW05414-E

The lengths in bytes of the attribute value is exceeds the maximum allowed size. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*, attribute-name = *cc....cc*, attribute-value = *dd....dd*, maximum-size = *ee....ee*, XMI-ID = *ff....ff*

属性値のバイト長が最大値を超えています。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*, 属性名 = *cc....cc*, 属性値 = *dd....dd*, 最大値 = *ee....ee*, XMI 属性 ID = *ff....ff*

aa....aa：定義種別※1

bb....bb：定義名

cc....cc：属性名※2

dd....dd：属性値

ee....ee：*dd....dd* に示された属性値のバイト長最大値

ff....ff：XMI 属性 ID（保守情報）

注※1

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義
ACTIVITY_DEFINITION：業務ステップ定義
NORMAL_WORK_DEFINITION：一般作業定義
PARALLEL_WORK_DEFINITION：並列作業定義
XOR-SPLIT_NODE_DEFINITION：分岐ノード定義
AND-SPLIT_ NODE_DEFINITION：分業ノード定義
AND-JOIN_NODE_DEFINITION：待合ノード定義
OR-JOIN_NODE_DEFINITION：先着ノード定義
CONDITION_DEFINITION：条件定義
APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義
CREATION_RULE_DEFINITION：生成ルール定義
TIME_RULE_DEFINITION：時間取得ルール定義
HIERARCHY_DEFINITION：階層定義
FLOW_DEFINITION：遷移定義
CASTING_RULE_DEFINITION：振り分けルール定義

注※2

NAME：定義名
DEADLINE_RULE：処理期限ルール名
RESPONSIBLE：管理者
DESCRIPTION：説明

COMPLETION_CONDITION：完了条件名
CREATION_CONDITION：発生条件名
APPLICATION：作業アプリケーション定義名
CASTING_RULE：振り分けルール名
CREATION_RULE：生成ルール名
CHILD_WORK：子作業定義名
DB_ID：DB 識別子
SQL：SQL 文
EX_PARAMETER：補助定数パラメタ
JAVA_CLASS_NAME：Java クラス名
REF_ID：ref 識別子

要因

このメッセージに示された属性値に指定した文字列が，バイト長の最大値を超えています。

このメッセージに示された属性名が REF_ID（ref 識別子）で，かつその属性値のバイト長最大値に「0」が出力された場合，<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルが作成されていないおそれがあります。

対処

このメッセージに示された属性値に，最大値以下のバイト長の文字列を指定してください。

このメッセージに示された属性名が REF_ID（ref 識別子）で，かつ<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルが作成されていない場合は，SQL スクリプトファイルを実行してテーブルを作成したあと，「<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルのLockName カラムサイズ - 7（バイト）」以下の長さの文字列を指定してください。

KDIW05415-E

This definition is invalid. definition-type = *aa....aa*, cause = *bb....bb*, XMI-ID = *cc....cc*
定義が不正です。定義種別 = *aa....aa*, 要因 = *bb....bb*, XMI 属性 ID = *cc....cc*

aa....aa：定義種別※1

bb....bb：要因（保守情報）※2

cc....cc：XMI 属性 ID（保守情報）

注※1
PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義
ACTIVITY_DEFINITION：業務ステップ定義
NORMAL_WORK_DEFINITION：一般作業定義
PARALLEL_WORK_DEFINITION：並列作業定義

XOR-SPLIT_NODE_DEFINITION：分岐ノード定義
AND-SPLIT_ NODE_DEFINITION：分業ノード定義
AND-JOIN_NODE_DEFINITION：待合ノード定義
OR-JOIN_NODE_DEFINITION：先着ノード定義
CONDITION_DEFINITION：条件定義
APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義
CREATION_RULE_DEFINITION：生成ルール定義
TIME_RULE_DEFINITION：時間取得ルール定義
HIERARCHY_DEFINITION：階層定義
FLOW_DEFINITION：遷移定義
CASTING_RULE_DEFINITION：振り分けルール定義

注※2

NO_FLOW：ノード間に遷移定義が存在しない
INVALID_SOURCE_NODE：ソースノードが正しくない
INVALID_SINK_NODE：シンクノードが正しくない
SOURCE_OVERLAP：遷移元が重複している
DESTINATION_OVERLAP：遷移先が重複している
INVALID_FLOW：遷移定義が正しくない
INVALID_DATE：指定した日付が正しくない
VALUE_OVERLAP：属性値が重複している
INVALID_PRIORITY：分岐条件の優先度が正しくない
DIRECT_FLOW_BETWEEN_SOURCE_AND_SINK：ソースノードとシンクノードが直接に遷移している
INVALID_CREATION_CONDITION：指定した発生条件が不正

要因

次に示す要因が考えられます。

- CSCIW-Definer 以外のエディタでビジネスプロセス定義を作成，保存しました。
- ビジネスプロセス定義ファイルが破損しています。

対処

CSCIW-Definer で編集したビジネスプロセス定義を使用してください。

KDIW05416-E

The definition specified for the attribute value do not exist. definition-type = *aa....aa*, attribute-name = *bb....bb*, definition-name = *cc....cc*

属性値に指定された定義はビジネスプロセス定義中に存在しません。定義種別 = *aa....aa*, 属性名 = *bb....bb*, 定義名 = *cc....cc*

aa....aa：定義種別※1

bb....bb：属性名※2

cc....cc：定義名※3

注※1

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義
ACTIVITY_DEFINITION：業務ステップ定義
NORMAL_WORK_DEFINITION：一般作業定義
PARALLEL_WORK_DEFINITION：並列作業定義
XOR-SPLIT_NODE_DEFINITION：分岐ノード定義

注※2

DEADLINE_RULE：処理期限ルール名
COMPLETION_CONDITION：完了条件名
CREATION_CONDITION：発生条件名
APPLICATION：作業アプリケーション定義名
CREATION_RULE：生成ルール名
XOR-SPLIT_CONDITION：分岐条件名

注※3

属性値に指定した定義名

要因

このメッセージに示された属性に指定した定義名は，対象となるビジネスプロセス定義中に在りません。

対処

対象となるビジネスプロセス定義中に存在している定義名を，このメッセージに示された属性に指定してください。

KDIW05417-E

An invalid control node is specified as the source from which to a sink-node. definition-type = *aa....aa*
シンクノードへの遷移元として指定できない制御ノード定義が指定されました。定義種別 = *aa....aa*

aa....aa：遷移元の定義種別※

注※

AND-SPLIT_NODE_DEFINITION：分業ノード定義

要因

シンクノードの遷移元として使用できない制御ノード定義が指定されました。

対処

シンクノードの遷移元として使用できる定義を指定してください。

KDIW05418-I

The check of this definition has ended. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*, number-of-error = *cc....cc*, number-of-warning = *dd....dd*

定義チェックが終了しました。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*, エラー件数 = *cc....cc*, 警告件数 = *dd....dd*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：定義名

cc....cc：エラー件数

dd....dd：警告件数

注※

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義

CASTING_RULE_DEFINITION：振り分けルール定義

要因

定義チェックが終了しました。

対処

必要ありません。

KDIW05419-E

The specified value for the attribute is invalid. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*, attribute-name = *cc....cc*, attribute-value = *dd....dd*

属性に指定された値が不正です。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*, 属性名 = *cc....cc*, 属性値 = *dd....dd*

aa....aa：定義種別※1

bb....bb：定義名

cc....cc：属性名※2

dd....dd：属性値

注※1

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義
ACTIVITY_DEFINITION：業務ステップ定義
NORMAL_WORK_DEFINITION：一般作業定義
PARALLEL_WORK_DEFINITION：並列作業定義
XOR-SPLIT_NODE_DEFINITION：分岐ノード定義
AND-SPLIT_ NODE_DEFINITION：分業ノード定義
AND-JOIN_NODE_DEFINITION：待合ノード定義
OR-JOIN_NODE_DEFINITION：先着ノード定義
CONDITION_DEFINITION：条件定義
APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義
CREATION_RULE_DEFINITION：生成ルール定義
TIME_RULE_DEFINITION：時間取得ルール定義
HIERARCHY_DEFINITION：階層定義
FLOW_DEFINITION：遷移定義
CASTING_RULE_DEFINITION：振り分けルール定義

注※2

NAME：定義名
VERSION：バージョン
DEADLINE_RULE：処理期限ルール名
RESPONSIBLE：管理者
DESCRIPTION：説明
COMPLETION_CONDITION：完了条件名
CREATION_CONDITION：発生条件名
APPLICATION：作業アプリケーション定義名
CASTING_RULE：振り分けルール名
CREATION_RULE：生成ルール名
CHILD_WORK：子作業定義名
SOURCE：遷移定義の遷移元
DESTINATION：遷移定義の遷移先
FLOW_CONDITION_NAME：遷移条件名
DB_ID：DB 識別子

PRIORITY：分岐条件の優先度
SQL：SQL 文
NUMDAYS：相対日数
EX_PARAMETER：補助定数パラメタ
JAVA_CLASS_NAME：Java クラス名
REF_ID：ref 識別子

要因

このメッセージに表示された属性に，不正な値が指定されました。

対処

このメッセージに表示された属性に，有効な値を指定してください。

KDIW05420-E

No attribute value is specified. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*, attribute-name = *cc....cc*
属性値が指定されていません。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*, 属性名 = *cc....cc*

aa....aa：定義種別※1

bb....bb：定義名

cc....cc：属性名※2

注※1

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義
ACTIVITY_DEFINITION：業務ステップ定義
NORMAL_WORK_DEFINITION：一般作業定義
PARALLEL_WORK_DEFINITION：並列作業定義
XOR-SPLIT_NODE_DEFINITION：分岐ノード定義
AND-SPLIT_ NODE_DEFINITION：分業ノード定義
AND-JOIN_NODE_DEFINITION：待合ノード定義
OR-JOIN_NODE_DEFINITION：先着ノード定義
CONDITION_DEFINITION：条件定義
APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義
CREATION_RULE_DEFINITION：生成ルール定義
TIME_RULE_DEFINITION：時間取得ルール定義
HIERARCHY_DEFINITION：階層定義
FLOW_DEFINITION：遷移定義

CASTING_RULE_DEFINITION：振り分けルール定義

注※2

NAME：定義名

VERSION：バージョン

SOURCE：遷移定義の遷移元

DESTINATION：遷移定義の遷移先

DB_ID：DB 識別子

SQL：SQL 文

NUMDAYS：相対日数

JAVA_CLASS_NAME：Java クラス名

REF_ID：ref 識別子

要因

このメッセージに表示された属性に，値が指定されていません。

対処

このメッセージに表示された属性に，値を指定してください。

KDIW05421-E

The date specified for the period is invalid. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*, start-date = *cc....cc*, end-date = *dd....dd*

期間に指定された日付が不正です。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*, 開始日 = *cc....cc*, 終了日 = *dd....dd*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：定義名

cc....cc：開始日

dd....dd：終了日

注※

PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義

CASTING_RULE_DEFINITION：振り分けルール定義

要因

期間を示す属性に不正な値が指定されました。

対処

aa....aa に表示される内容によって，次に示す対処をしてください。

- PROCESS_DEFINITION の場合
  案件投入可能開始日および案件投入可能終了日の属性に，正しい日付を入力してください。
- CASTING_RULE_DEFINITION の場合
  有効期間開始日および有効期間終了日の属性に正しい日付を入力してください。

KDIW05422-E

The attribute value has not been changed from its default value. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*, attribute-name = *cc....cc*, attribute-value = *dd....dd*
属性値がデフォルト値から変更されていません。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*, 属性名 = *cc....cc*, 属性値 = *dd....dd*

aa....aa：定義種別※1

bb....bb：定義名

cc....cc：属性名※2

dd....dd：属性値

注※1
CONDITION_DEFINITION：条件定義
APPLICATION_DEFINITION：作業アプリケーション定義
CREATION_RULE_DEFINITION：生成ルール定義
CASTING_RULE_DEFINITION：振り分けルール定義

注※2
SQL：SQL 文
JAVA_CLASS_NAME：Java クラス名
REF_ID：ref 識別子

要因

このメッセージに表示された属性値の文字列が変更されていません。
新規作成時から入力されている値は使用できません。

対処

このメッセージに示された属性値を変更してください。

4.22 KDIW05600～KDIW05699

KDIW05600-E

An error occurred during the execution of a job. job-id = *aa....aa*, function-name = *bb....bb*
ジョブの実行中にエラーが発生しました。ジョブ ID = *aa....aa*, ファンクション名 = *bb....bb*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：ファンクション名

要因

ジョブの実行中にエラーが発生しました。

対処

次に示す情報などを参照して，原因を取り除いてジョブを再実行してください。

- このメッセージの前後に出力されているメッセージ
- CSCIW のログ

KDIW05601-E

An attempt to connect to the database to update a job record failed. job-id = *aa....aa*, JNDI-name = *bb....bb*, details = *cc....cc*
ジョブレコードの更新中にデータベース接続に失敗しました。ジョブ ID = *aa....aa*, JNDI 名 = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：ルックアップに使用した JNDI 名

cc....cc：エラーメッセージ

要因

次に示す要因が考えられます。

- ネーミングサービスが開始していません。
- データソースの JNDI 名のルックアップに失敗しました。

対処

ネーミングサービスが開始していることを確認してください。

ルックアップに使用したJNDI名とデータソースのルックアップ名が一致していることを確認してください。

KDIW05602-E

An error occurred in the attempt to access the database to update a job record. job-id = *aa....aa*, details = *bb....bb*

ジョブレコード更新のためのデータベースアクセス実行中にエラーが発生しました。ジョブID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ジョブID

bb....bb：詳細

要因

次に示す要因が考えられます。

- データベースアクセスでSQL例外が発生しました。
- user transactionのタイムアウト時間の設定に失敗しました。

対処

このメッセージより前に出力されているエラー情報を参照し，原因を取り除いてジョブを再実行してください。

KDIW05603-E

Execution of the job succeeded, but an attempt to update the job record failed. job-id = *aa....aa*, function-name = *bb....bb*, details = *cc....cc*

ジョブの実行には成功しましたが、ジョブレコードの更新に失敗しました。ジョブID = *aa....aa*, ファンクション名 = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ジョブID

bb....bb：ファンクション名

cc....cc：エラーメッセージ

要因

次に示す要因が考えられます。

- データベースアクセスでSQL例外が発生しました。
- ジョブレコードが削除されました。

対処

このメッセージより前に出力されているエラー情報を参照し，原因を取り除いてジョブを再実行してください。

KDIW05604-E

The specified DB Connection is invalid. DB Connection = *aa....aa*
指定された DB コネクションが不正です。DB コネクション = *aa....aa*

aa....aa：DB コネクション

要因

ジョブの API のメソッド引数に指定した DB コネクションが null です。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW05605-E

An attempt to initialize the job thread controller failed. JNDI-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ジョブのスレッド管理の初期化に失敗しました。JNDI 名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ルックアップに使用した JNDI 名

bb....bb：エラーメッセージ

要因

次に示す要因が考えられます。

- ネーミングサービスが開始していません。
- WorkManager の JNDI 名のルックアップに失敗しました。

対処

ネーミングサービスが開始していることを確認してください。

Cosminexus を使用している場合，web.xml に記載した WorkManager のルックアップ名と，ルックアップに使用した JNDI 名が一致していることを確認してください。

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform を使用している場合，ManagedExecutorService の JNDI 名と，ルックアップに使用した JNDI 名が一致していることを確認してください。

KDIW05606-E

The specified value is invalid. parameter-name = *aa....aa*, value = *bb....bb*
指定された値が不正です。パラメタ名 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：パラメタ名

bb....bb：値

要因

ジョブレコードを操作するために案件運用操作か運用管理 REST API に指定した値が不正です。
運用管理 REST API の操作の場合，次の要因が考えられます。

- パラメタ名が「offset」の場合，クエリパラメタに指定された`offset`の値が 0 未満
- パラメタ名が「maxcount」の場合，クエリパラメタに指定された`maxcount`の値が-1 未満

対処

クエリパラメタに正しい値を指定して，案件運用操作か運用管理 REST API の操作を再実行してください。

KDIW05607-W

The specified job record does not exist. job-id = *aa....aa*
指定されたジョブレコードが存在しません。ジョブ ID = *aa....aa*

aa....aa：ジョブ ID

要因

ジョブの API に指定されたジョブ ID を持つジョブレコードが存在しません。

対処

正しいジョブ ID を指定して API を再実行してください。

KDIW05608-I

Execution of the job was initiated. job-id = *aa....aa*, function-name = *bb....bb*
ジョブの実行が開始しました。ジョブ ID = *aa....aa*, ファンクション名 = *bb....bb*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：ファンクション名

要因

ジョブの実行が開始しました。

対処

必要ありません。

KDIW05609-I

Execution of the job was ended. job-id = *aa....aa*, function-name = *bb....bb*
ジョブの実行が終了しました。ジョブ ID = *aa....aa*, ファンクション名 = *bb....bb*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：ファンクション名

要因

ジョブの実行が終了しました。

対処

必要ありません。

5

KDIW20000～KDIW29999

この章では，コマンドのメッセージとその要因，および対処方法について説明します。

5.1 KDIW20000～KDIW20099

KDIW20000-I

The command has ended. command = *aa....aa*
コマンドが終了しました。コマンド = *aa....aa*

aa....aa：コマンド名

要因

次に示す要因が考えられます。

- コマンドが正常に終了しました。
- 警告が出ている状態で，コマンドが終了しました。

対処

警告がある場合は，このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

詳細はメッセージファイルを参照してください。ただし，メッセージファイル出力開始処理より前のメッセージについては，標準出力だけ出力されるため，メッセージファイルに出力されません。

KDIW20001-E

An attempt to execute the command has failed. command = *aa....aa*
コマンドの実行に失敗しました。コマンド = *aa....aa*

aa....aa：コマンド名

要因

コマンドの実行に失敗しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージ，または標準エラー出力に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

詳細はメッセージファイルを参照してください。なお，メッセージファイルの出力開始処理より前のメッセージについては，標準出力だけ出力されるため，メッセージファイルに出力されません。また，java.lang.Error 発生時は，標準エラー出力だけに JavaVM のメッセージが出力されます。

出力されたメッセージで対処できない場合は，メッセージファイル，トレースファイルおよび標準エラー出力に出力されたメッセージを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW20002-E

An unexpected exception occurred. exception = *aa....aa*
予期しない例外が発生しました。例外 = *aa....aa*

aa....aa：例外名

要因

予期しない例外が発生しました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW20003-E

The name of the author of the process definition is invalid. author = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義の作成者の名前が不正です。作成者 = *aa....aa*

aa....aa：ビジネスプロセス定義の作成者名

要因

ビジネスプロセス定義の作成者として不正な名前のユーザが，ビジネスプロセス定義の登録処理を実行しました。

対処

ユーザ名の文字列長が，`<SYSTEMID>_PROCESS_DEF` テーブルの`Author` カラムで定義したバイト数以内のユーザでコマンドを再実行してください。

KDIW20004-E

An attempt to load the command setting file has failed. path = *aa....aa*
コマンド用環境設定ファイルの読み込みに失敗しました。パス = *aa....aa*

aa....aa：読み込みパス

要因

コマンド用環境設定ファイルがありません。
コマンド用環境設定ファイル名を次に示します。

- Windows の場合
  csciwcmdconf.bat

- UNIX の場合

  csciwcmdconf

対処

環境変数 CSCIW_CONF_DIR に不正な値を設定しているおそれがあります。環境変数の値を確認し，正しく設定してください。それでも問題が解決しない場合は，次に示す対処をしてください。

- 環境変数 CSCIW_CONF_DIR を設定していない場合

  CSCIW_HOME に指定したディレクトリ下の conf ディレクトリに，コマンド用環境設定ファイルを格納してください。

- 環境変数 CSCIW_CONF_DIR を設定している場合

  CSCIW_CONF_DIR に指定したディレクトリに，コマンド用環境設定ファイルを格納してください。

KDIW20005-E

The COSMINEXUS_HOME directory cannot be referenced.
COSMINEXUS_HOME ディレクトリが参照できません。

要因

環境変数 COSMINEXUS_HOME が定義されていないか，または誤りがあります。

対処

環境変数 COSMINEXUS_HOME を正しく定義し，コマンドを再実行してください。

KDIW20006-E

The command cannot be executed because you do not have administrator privileges.
管理者特権がないため，コマンドを実行できません。

要因

管理者特権がないため，コマンドを実行できません。

対処

管理者として実行したコマンドプロンプト上で，コマンドを再実行してください。

KDIW20007-E

An error occurred while the permissions were being checked.

権限の判定中にエラーが発生しました。

要因

権限の判定中にエラーが発生しました。

対処

メモリが不足しているおそれがあります。空きメモリを増やしたあと，コマンドを再実行してください。空きメモリを増やしても問題が解決しない場合は，サポートサービスに連絡してください。

KDIW20008-W

The process definition with warning was specified. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*
警告があるのビジネスプロセス定義が指定されました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定したビジネスプロセス定義に警告が出ています。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW20010-E

The JAVA_HOME directory cannot be referenced.
JAVA_HOME ディレクトリが参照できません。

要因

環境変数 JAVA_HOME が定義されていないか，または誤りがあります。

対処

環境変数 JAVA_HOME を正しく定義し，コマンドを再実行してください。

5.2 KDIW20100～KDIW20199

KDIW20100-E

A required option is not specified. option = *aa....aa*
必須のオプションが指定されていません。オプション = *aa....aa*

aa....aa：オプション

要因

必要なオプションが指定されていません。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20101-E

An option value is not specified. option = *aa....aa*
オプション値が指定されていません。オプション = *aa....aa*

aa....aa：オプション

要因

オプション引数が指定されていません。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20102-E

The specified option does not have an option value. option = *aa....aa*
指定されたオプションは，オプション値を持ちません。オプション = *aa....aa*

aa....aa：オプション

要因

指定したオプションには，オプション引数を指定できません。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20103-E

Multiple option values cannot be specified in the option. option ＝*aa....aa*
指定されたオプションは，複数のオプション値を指定できません。オプション ＝*aa....aa*

aa....aa：オプション

要因

指定したオプションには，複数のオプション引数を指定できません。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20104-E

The same option is specified more than once. option ＝*aa....aa*
同じオプションが複数回指定されています。オプション ＝*aa....aa*

aa....aa：オプション

要因

同じオプションが複数回指定されています。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20105-E

The specified option does not exist in the command. option ＝*aa....aa*
コマンドに存在しないオプションが，指定されました。オプション ＝*aa....aa*

aa....aa：オプション

要因

コマンドで指定できないオプションが指定されました。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20106-E

The specified options cannot be specified simultaneously. options = *aa....aa*
指定されたオプションは，同時に指定できません。オプション = *aa....aa*

aa....aa：オプション

要因

同時に指定できないオプションが指定されました。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20107-E

A prerequisite option for an option is not specified. option = *aa....aa*, prerequisite-option = *bb....bb*
指定されたオプションの，前提オプションが指定されていません。オプション = *aa....aa*, 前提オプション = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：前提オプション

要因

指定したオプションの前提オプションが指定されていません。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20108-E

One or more required options are not specified. options = *aa....aa*
1 つ以上の指定が必要なオプションが，指定されていません。オプション = *aa....aa*

aa....aa：1 つ以上の指定が必要なオプション

要因

1 つ以上の指定が必要なオプションが指定されていません。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20109-E

An execution environment of the specified system ID is not set up. system-ID = *aa....aa*
指定されたシステム ID の実行環境がシステムに設定されていません。システム ID = *aa....aa*

aa....aa：指定したシステム ID

要因

指定したシステム ID の CSCIW の実行環境が，コマンドを実行したマシンにありません。

対処

システム ID が正しいかどうかを見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20110-E

The specified option value is invalid. option = *aa....aa*, option-value = *bb....bb*
指定されたオプション値が不正です。オプション = *aa....aa*, オプション値 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：オプション引数

要因

指定したオプション引数が不正です。
次に示す要因が考えられます。

- 不正な文字を指定しています。
- 有効範囲外の数値を指定しています。
- 不正な日付を指定しています。
- 指定した文字コードが，Java で対応されているエンコーディングの正準名ではありません。

対処

オプション引数を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20111-E

The process definition name specified in the option value is invalid. option = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*

オプション値に指定されたビジネスプロセス定義名が不正です。オプション = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正なビジネスプロセス定義名

要因

指定したビジネスプロセス定義名のバイト数は，指定できるビジネスプロセス定義名の最大バイト数を超えています。

対処

コマンドのオプション引数として指定したビジネスプロセス定義名の文字列長が，<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルのName カラムで定義したバイト数以内であることを確認し，コマンドを再実行してください。

KDIW20112-E

The process instance name specified in the option value is invalid. option = *aa....aa*, process-instance-name = *bb....bb*

オプション値に指定された案件名が不正です。オプション = *aa....aa*, 案件名 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正な案件名

要因

指定した案件名のバイト数は，指定できる案件名の最大バイト数を超えています。

対処

コマンドのオプション引数として指定した案件名の文字列長が，<SYSTEMID>_PROCESS_INSTANCE テーブルのName カラムで定義したバイト数以内であることを確認し，コマンドを再実行してください。

KDIW20113-E

An invalid value is specified. value = *aa....aa*

不正な値が指定されました。値 = *aa....aa*

aa....aa：不正なオプション引数

要因

どのオプションにも属さないオプション引数が指定されています。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20114-E

The name of the definition responsible specified as the option value is invalid. option = *aa....aa*, definition-responsible-name = *bb....bb*

オプション値として指定された定義管理者名が不正です。オプション = *aa....aa*, 定義管理者名 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正な定義管理者名

要因

指定した定義管理者名のバイト数は，指定できる定義管理者名の最大バイト数を超えています。

対処

指定した定義管理者名の文字列長が，次に示すカラムで定義したバイト数以内であることを確認し，コマンドを再実行してください。

- **ビジネスプロセス定義の場合**

  `<SYSTEMID>_PROCESS_DEF` テーブルの`Responsible` カラム

- **振り分けルール定義の場合**

  `<SYSTEMID>_CASTINGRULE_DEF` テーブルの`Responsible` カラム

KDIW20115-E

An option that cannot be specified is specified. option = *aa....aa*

不要なオプションが指定されました。オプション = *aa....aa*

aa....aa：オプション

要因

不要なオプションが指定されています。

対処

コマンドの形式を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20116-E

The command format of the specified options cannot be identified.
指定されたオプションは，コマンドの形式を特定できません。

要因

次に示す要因が考えられます。

- 必要なオプションが指定されていないため，コマンドの形式を特定できません。
- オプションファイルにコマンド共通のオプションが指定されています。

対処

コマンドの形式またはオプションファイルを見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20117-E

The specified option value of casting rule definition name is invalid. option = *aa....aa*, casting-rule-definition-name = *bb....bb*
オプション値に指定された振り分けルール名が不正です。オプション = *aa....aa*, 振り分けルール名 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正な振り分けルール名

要因

指定した振り分けルール名のバイト数は，指定できる振り分けルール名の最大バイト数を超えています。

対処

コマンドのオプション引数として指定した振り分けルール名の文字列長が，<SYSTEMID>_CASTINGRULE_DEF テーブルのName カラムで定義したバイト数以内であることを確認し，コマンドを再実行してください。

KDIW20118-E

The condition name specified in the option value is invalid. option = *aa....aa*, condition-name = *bb....bb*

オプション値に指定された条件名が不正です。オプション = *aa....aa*, 条件名 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正な条件名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された条件名のバイト数が，指定できる値の最大値を超えています。
- 指定できない条件名（@True または@False）が指定されています。

対処

次に示す対処をしてください。

- コマンド引数として指定した条件名の文字列の長さが，<SYSTEMID>_CONDITION_DEF テーブルのName カラムで定義したバイト数以内であることを確認したあと，コマンドを再実行してください。
- 指定できる条件名を指定したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW20119-E

The creation rule name specified in the option value is invalid. option = *aa....aa*, creation-rule-name = *bb....bb*

オプション値に指定された生成ルール名が不正です。オプション = *aa....aa*, 生成ルール名 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正な生成ルール名

要因

指定された生成ルール名のバイト数が，指定できる値の最大値を超えています。

対処

コマンド引数として指定した生成ルール名の文字列の長さが，<SYSTEMID>_CREATIONRULE_DEF テーブルのName カラムで定義したバイト数以内であることを確認したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW20120-E

The work application name specified in the option value is invalid. option = *aa....aa*, work-application-name = *bb....bb*

オプション値に指定された作業アプリケーション定義名が不正です。オプション = *aa....aa*, 作業アプリケーション定義名 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正な作業アプリケーション定義名

要因

指定された作業アプリケーション定義名のバイト数が，指定できる値の最大値を超えています。

対処

コマンド引数として指定した作業アプリケーション定義名の文字列の長さが，<SYSTEMID>_APPLICATION_DEF テーブルのName カラムで定義したバイト数以内であることを確認したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW20121-E

The Java class name specified in the option value is invalid. option = *aa....aa*, Java-class-name = *bb....bb*

オプション値に指定された Java クラス名が不正です。オプション = *aa....aa*, Java クラス名 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正な Java クラス名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された Java クラス名のバイト数が，指定できる値の最大値を超えています。
- Java クラス名に 0 バイトの文字列が指定されています。
- Java クラス名に Java 識別子として使用できない文字が指定されています。

対処

次に示す対処をしてください。

- コマンド引数として指定した Java クラス名の文字列の長さが，次に示すテーブルのClassName カラムで定義したバイト数以内であることを確認したあと，コマンドを再実行してください。
  - **・条件の場合**

    <SYSTEMID>_CONDITION_JAVA_DEF
  - **・生成ルールの場合**

<SYSTEMID>_CREATIONRULE_JAVA_DEF

・作業アプリケーションの場合

<SYSTEMID>_APPLICATION_JAVA_DEF

- コマンド引数として指定した Java クラス名の文字列の長さが，1 バイト以上であることを確認したあと，コマンドを再実行してください。
- コマンド引数として指定した Java クラス名に Java 識別子として使用できない文字列が含まれていないことを確認したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW20124-E

The ref-identifier specified in the option value is invalid. option = *aa....aa*, ref-identifier = *bb....bb*

オプション値に指定された ref 識別子が不正です。オプション = *aa....aa*, ref 識別子 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正な ref 識別子

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された ref 識別子のバイト数が，指定できる値の最大値を超えています。
- ref 識別子に使用できない文字が指定されています。
- <SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルが作成されていないおそれがあります。

対処

次に示す対処をしてください。

- コマンド引数として指定した ref 識別子の文字列の長さが，「<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルのLockName カラムサイズ - 7（バイト）」以内であることを確認したあと，コマンドを再実行してください。
- コマンド引数として指定した ref 識別子に使用できない文字列が含まれていないことを確認したあと，コマンドを再実行してください。
- <SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルが作成されていない場合は，SQL スクリプトファイルを実行してテーブルを作成したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW20170-E

An attempt to read the option file has failed. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*

オプションファイルの読み込みに失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

要因

オプションファイルの読み込みエラーが発生しました。

次に示す要因が考えられます。

- 指定したファイルパスのファイルがありません。
- 指定したファイルパスが，ディレクトリを指定しています。
- 指定したファイルパスのファイルに，アクセス権が設定されていません。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

KDIW20171-E

The content of the option file is invalid. file-name = *aa....aa*

オプションファイルの内容が不正です。ファイル名 = *aa....aa*

aa....aa：オプションファイル名

要因

次に示す要因が考えられます。

- データを囲む「"」（半角ダブルクォーテーション）の，始めまたは終わりのどちらかが欠けています。
- データとして「"」（半角ダブルクォーテーション）を使用する場合に，「"」（半角ダブルクォーテーション）を重ねていません。

対処

オプションファイルの内容を見直し，対処してください。

5.3 KDIW20200～KDIW20399

KDIW20200-I

Initialization of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow command has ended.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンド初期化処理が完了しました。

要因

CSCIW コマンドの初期化処理が完了しました。

対処

必要ありません。

KDIW20201-I

Processing to end the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow command has ended.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンド終了処理が完了しました。

要因

CSCIW コマンドの終了処理が完了しました。

対処

必要ありません。

KDIW20202-E

An attempt to initialize the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow command has failed.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンドの初期化処理に失敗しました。

要因

CSCIW コマンドの初期化処理に失敗しました。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW20203-E

Initialization of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow command, as well as the end processing for some components, has failed.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンドの初期化処理に失敗し，正常な終了処理に失敗したコンポーネントがあります。

要因

CSCIW の初期化処理に失敗し，初期化済みのコンポーネントの終了処理を試みました。しかし，正常な終了処理に失敗したコンポーネントがあるため，関連リソースが残っているおそれがあります。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW20204-W

Processing to end the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow command has ended, but an attempt to perform the end processing for some components has failed.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンドは終了しましたが，終了処理に失敗したコンポーネントがあります。

要因

CSCIW コマンドは終了しましたが，終了処理に失敗したコンポーネントがあるため，関連リソースが残っているおそれがあります。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

5.4 KDIW20600～KDIW20799

KDIW20600-E

The specified IP address is not valid. value = *aa....aa*, details = *bb....bb*
指定された IP アドレスが不正です。値 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：指定した値

bb....bb：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定した IP アドレスの形式が不正です。
- 指定したホスト名が解決できません。

対処

指定した IP アドレスを確認し，正しい IP アドレスを指定してください。

5.5 KDIW20800～KDIW20999

KDIW20800-I

The number of deleted process instances = *aa....aa*
案件削除件数 = *aa....aa*

aa....aa：案件削除件数

要因

削除した案件件数を表示します。

対処

必要ありません。

KDIW20801-W

The process instance to be deleted could not be found.
削除対象の案件がありませんでした。

要因

指定した条件に一致する削除対象の案件はありません。

対処

条件を見直し，必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDIW20802-W

The process definition to be deleted could not be found.
削除対象のビジネスプロセス定義がありませんでした。

要因

指定した条件に一致する削除対象のビジネスプロセス定義はありません。

対処

条件を見直し，必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDIW20803-E

The process instance ID in the file is invalid. file-name = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb....bb*
ファイル内の案件 ID が不正でした。ファイル名 = *aa....aa*, 案件 ID = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID リスト指定ファイル

bb....bb：案件 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- 案件 ID に数値以外の値を指定しています。
- 案件 ID に指定できない数値を指定しています。

対処

案件 ID リスト指定ファイルを見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20804-E

An attempt to read a process instance ID file has failed. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
案件 ID リスト指定ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

要因

案件 ID リスト指定ファイルの読み込みエラーが発生しました。
次に示す要因が考えられます。

- 指定したファイルパスのファイルがありません。
- 指定したファイルパスが，ディレクトリを指定しています。
- 指定したファイルパスのファイルに，アクセス権が設定されていません。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

KDIW20805-E

The elapsed day specified in the option value is invalid. option = *aa....aa*, elapsed-day = *bb....bb*

オプション値に指定された経過日数が不正です。オプション = *aa....aa*, 経過日数 = *bb....bb*

aa....aa：オプション

bb....bb：不正な経過日数

要因

指定した経過日数によって算出された案件開始日時または案件終了日時が，1970/01/02 00:00:00 GMT～292278993/12/31 00:00:00 GMT の範囲外です。

対処

指定した経過日数を見直し，コマンドを再実行してください。

KDIW20806-I

The number of deleted child process instances = *aa....aa*

子案件の削除件数 = *aa....aa*

aa....aa：子案件の削除件数

要因

削除した子案件件数を表示します。

対処

必要ありません。

5.6 KDIW21000～KDIW21199

KDIW21000-E

A process definition that cannot be processed normally is specified. cause = *aa....aa*, details = *bb....bb*

正常に処理ができないビジネスプロセス定義が指定されました。要因 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：エラーの要因コード※

bb....bb：詳細情報（保守情報）

注※

Illegal Modification：不正なビジネスプロセス定義の変更

Illegal Business Process：不正なビジネスプロセス定義

Business Process not Exist：ビジネスプロセス定義が存在しない

Incomplete Business Process：不完全なビジネスプロセス定義

要因

次に示す要因が考えられます。なお，*aa....aa* には次に示す要因が表示されます。

- Illegal Modification の場合
  許可されていないビジネスプロセス定義を変更しました。
- Illegal Business Process の場合
  新規に作成したビジネスプロセス定義，またはほかのシステムから取得したビジネスプロセス定義を指定しました。
- Business Process not Exist の場合
  変更対象となるビジネスプロセス定義がワーク管理データベースにありません。
- Incomplete Business Process の場合
  不完全なビジネスプロセス定義を指定しました。

対処

次に示す対処をしてください。

- Illegal Modification の場合
  ビジネスプロセス定義の変更内容を見直してください。エラーの詳細は，コマンドメッセージファイルに出力されます。
- Illegal Business Process の場合
  変更するビジネスプロセス定義が登録されているシステムからビジネスプロセス定義を取得し，定義を変更してください。

- Business Process not Exist の場合

  ciwmngbp（ビジネスプロセス定義の管理）コマンドを使用して変更したビジネスプロセス定義を新規に登録してください。

- Incomplete Business Process の場合

  CSCIW-Definer でビジネスプロセス定義のチェックを実施し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW21001-E

An attempt to read or write the file has failed. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ファイルの読み込みや書き込みに失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

要因

ファイルの入力エラーまたは出力エラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

KDIW21002-E

The attribute value cannot be changed. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*, attribute-name = *cc....cc*, pre-attribute-value = *dd....dd*, post-attribute-value = *ee....ee*
その属性値は，変更できません。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*, 属性名 = *cc....cc*, 編集前の属性値 = *dd....dd*, 編集後の属性値 = *ee....ee*

aa....aa：定義種別※1

bb....bb：定義名

cc....cc：属性名※2

dd....dd：編集前の属性値

ee....ee：編集後の属性値

注※1

ACTIVITY_DEFINITION：業務ステップ定義
CONDITION_DEFINITION：条件定義

CONTROLNODE_DEFINITION：制御ノード定義
CREATIONRULE_DEFINITION：生成ルール定義
FLOW_DEFINITION：遷移定義
PROCESS_DEFINITION：ビジネスプロセス定義
HIERARCHY_DEFINITION：階層定義
TIMERULE_DEFINITION：時間取得ルール定義

注※2

CREATION_POLICY：事前生成の有無
TYPE：タイプ
OPTION：オプション（先着ノードの後続停止オプション）
SOURCE_NODE_NAME：遷移元の定義名（遷移定義の遷移元定義）
DESTINATION_NODE_NAME：遷移先の定義名（遷移定義の遷移先定義）
DESTINATION_NODE_TYPE：遷移先の定義種別（遷移定義の遷移先定義の種別）
NAME：定義名
VERSION：バージョン
ADHOC：アドホック要求の有無

要因

`ciweditbp`（ビジネスプロセス定義の変更）コマンドでは許可されていない属性を編集したビジネスプロセス定義を指定しました。

対処

編集できる属性を確認し，ビジネスプロセス定義を再編集してください。

特記事項

- **TYPE の属性値**
  SQL：RDB 検索
  DATE：相対時間
  SOURCE：ソースノード
  SINK：シンクノード
  ANDSPLIT：分業ノード
  XORSPLIT：分岐ノード
  ANDJOIN：待合ノード
  ORJOIN：先着ノード
- **OPTION の属性値**
  1：後続停止オプションあり
  2：後続停止オプションなし

KDIW21003-E

The definition cannot be added or deleted. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*, operation = *cc....cc*, details = *dd....dd*

その定義は，追加または削除ができません。定義種別 = *aa....aa*, 定義名 = *bb....bb*, 操作 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

aa....aa：定義種別※1

bb....bb：定義名

cc....cc：操作※2

dd....dd：詳細情報（保守情報）

注※1

ACTIVITY_DEFINITION：業務ステップ定義

CONTROLNODE_DEFINITION：制御ノード定義

FLOW_DEFINITION：遷移定義

WORK_DEFINITION：作業定義

注※2

ADD：追加

DELETE：削除

要因

`ciweditbp`（ビジネスプロセス定義の変更）コマンドでは許可されていない操作を実行したビジネスプロセス定義を指定しました。

対処

編集できる定義および操作を確認し，ビジネスプロセス定義を再編集してください。

KDIW21004-E

The specified file already exists. file-name = *aa....aa*

指定したファイルは，すでに存在します。ファイル名 = *aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

すでに存在するファイル名が指定しました。

対処

ファイルおよびディレクトリにない名称を指定してください。

KDIW21005-W

The specified process definition was not update. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*

指定されたビジネスプロセス定義は，変更されませんでした。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義のバージョン

要因

変更個所がないビジネスプロセス定義を指定しました。

対処

必要ありません。

5.7 KDIW21200～KDIW21399

KDIW21200-E

The value of data acquired from the work management database is invalid. data-type = *aa....aa*
ワーク管理データベースから取得したデータの値が不正です。データ種別 = *aa....aa*

aa....aa：データ種別※

注※

Name：プロセスの機能名
State：プロセスの状態
LockID：ロック ID
IP：IP アドレス

要因

ワーク管理データベースに格納されているプロセス情報に不正なデータが格納されています。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW21201-W

An attempt to acquire the data has failed for failure of the work management database access, but processing will continue. system-ID = *aa....aa*
ワーク管理データベースへのアクセスに失敗したため，プロセス情報を取得できませんでしたが，処理を続行します。システム ID = *aa....aa*

aa....aa：システム ID

要因

ワーク管理データベースへのアクセスに失敗したため，プロセス情報を取得できません。ただし，処理を続行します。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処したあと，再実行してください。

KDIW21202-W

An attempt to acquire the data has failed because of the work management database is not running, but processing will continue. system-ID = *aa....aa*

ワーク管理データベースが起動していないため，プロセス情報を取得できませんでしたが，処理を続行します。システム ID = *aa....aa*

aa....aa：システム ID

要因

ワーク管理データベースが起動していないため，プロセス情報を取得できません。ただし，処理を続行します。

対処

ワーク管理データベースが起動しているかどうかを確認してください。起動している場合は，このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処したあと，再実行してください。

5.8 KDIW21400～KDIW21599

KDIW21400-E

An attempt to access a process definition file has failed. file-name = *aa....aa*, access-type = *bb....bb*, details = *cc....cc*

ビジネスプロセス定義ファイルのアクセス処理に失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, アクセス種別 = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アクセス種別

cc....cc：詳細情報

要因

ビジネスプロセス定義ファイルの入力エラーまたは出力エラーが発生しました。

対処

アクセスに失敗したビジネスプロセス定義ファイルの状態を確認し，コマンドを再実行してください。

KDIW21401-E

The value specified in the process instance creation period is invalid. process-instance-creation-period-start = *aa....aa*, process-instance-creation-period-end = *bb....bb*

オプション値として指定された案件投入可能期間が不正です。案件投入可能開始日 = *aa....aa*, 案件投入可能終了日 = *bb....bb*

aa....aa：案件投入可能開始日

bb....bb：案件投入可能終了日

要因

案件投入可能開始日または案件投入可能終了日に不正な値が指定されました。

対処

指定した案件投入可能開始日または案件投入可能終了日を確認し，コマンドを再実行してください。

KDIW21402-E

The file used for registering process definition is invalid. file-name = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義登録を行なうためのファイルが不正です。ファイル名 = *aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

WorkCoordinator Definer で新規に作成したビジネスプロセス定義ファイルを，`-nonumber` オプションをコマンドオプションに設定し，登録しました。

対処

`ciwexpwcodef` コマンドで WorkCoordinator の実行環境から抽出したビジネスプロセス定義ファイルを`-bpf` オプションに指定してコマンドを再実行してください。また，WorkCoordinator Definer で新規に作成したビジネスプロセス定義ファイルを登録する場合は，`-nonumber` オプションを指定しないでコマンドを再実行してください。

KDIW21403-E

A process definition file that cannot be processed normally is specified. file-name = *aa....aa*
正常に処理ができないビジネスプロセス定義ファイルが指定されました。ファイル名 = *aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

完全フロー定義かどうかを確認していないビジネスプロセス定義ファイルを登録しました。

対処

CSCIW-Definer でビジネスプロセス定義のチェックを実施し，エラーがないビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

KDIW21404-E

The specified process definition file already exists. file-name = *aa....aa*
指定したビジネスプロセス定義ファイルは，既に存在します。ファイル名 = *aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

すでに存在するビジネスプロセス定義ファイルを指定しました。

対処

ビジネスプロセス定義ファイルにない名称を指定し，コマンドを再実行してください。または，`-force` オプションを指定し，コマンドを再実行してください。

KDIW21405-E

An attempt to access a BPMN definition file failed. file-name = *aa....aa*, access-type = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのアクセス処理に失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, アクセス種別 = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アクセス種別

cc....cc：詳細情報

要因

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの入出力エラーが発生しました。

対処

アクセスに失敗した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの状態を確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW21407-E

The specified process definition does not exist. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*

指定されたビジネスプロセス定義が存在しません。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルに対応するビジネスプロセス定義が存在しません。

対処

ワーク管理データベースに，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルに対応するビジネスプロセス定義が存在するか確認してください。

KDIW21408-E

The specified BPMN definition file already exists. file-name = *aa....aa*
指定した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルは，既に存在します。ファイル名 = *aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

すでに存在する BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを指定しました。

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを変更するか，存在しない名称を指定して，コマンドを再実行してください。または，`-force` オプションを指定してコマンドを再実行してください。

KDIW21410-E

The size of the specified BPMN definition file exceeds the maximum size. file = *aa....aa*, file-size = *bb....bb*, maximum-size = *cc....cc*
指定した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが規定値を超えています。ファイル名 = *aa....aa*, ファイルサイズ = *bb....bb*, 最大サイズ = *cc....cc*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：ファイルサイズ（バイト）

cc....cc：規定された最大サイズ（バイト）

要因

指定した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが次のどちらかを超えました。

- 4 メガバイト（4,194,304 バイト）
- `<SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF` テーブルの`BpmnProcessDef` カラムの最大サイズ

対処

`-bpmnf` オプションを指定しないで`ciwmngbp` コマンドを実行して，ビジネスプロセス定義を登録してください。

KDIW21411-E

The reference of BPMN definition table has failed.
BPMN ビジネスプロセス定義テーブルの参照に失敗しました。

要因

<SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF テーブルが見つかりません。

<SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF テーブルが作成されていない，またはテーブル名が間違っているおそれがあります。

対処

<SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF テーブルが存在しない場合は，SQL スクリプトファイルを実行してテーブルを作成したあと，ciwmngbp コマンドを実行してください。

5.9 KDIW21600～KDIW21799

KDIW21600-E

An attempt to access a casting rule definition file has failed. file-name = *aa....aa*, access-type = *bb....bb*, details = *cc....cc*

振り分けルール定義ファイルのアクセス処理に失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, アクセス種別 = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：アクセス種別

cc....cc：詳細情報

要因

振り分けルール定義ファイルの入力エラーまたは出力エラーが発生しました。

対処

アクセスに失敗した振り分けルール定義ファイルの状態を確認し，コマンドを再実行してください。

KDIW21601-E

The status of the casting rule definition used to change the attribute value is invalid. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*

属性の値を変更する振り分けルール定義の状態が不正です。振り分けルール名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義のバージョン = *bb....bb*

aa....aa：振り分けルール名

bb....bb：振り分けルール定義のバージョン

要因

属性値を変更する振り分けルール定義の状態が不正です。

次に示す要因が考えられます。

- 指定した振り分けルール定義がビジネスプロセス定義で使用されています。
- ほかのバージョンの振り分けルール定義に使用できるものがありません。

対処

別バージョンの振り分けルール定義を活性状態に変更，または-forceオプションを指定したあとで，コマンドを再実行してください。

KDIW21602-E

The name of the author of the casting rule definition is invalid. author = *aa....aa*

振り分けルール定義の作成者の名前が不正です。作成者 = *aa....aa*

aa....aa：振り分けルール定義の作成者名

要因

振り分けルール定義の作成者として不正な名前のユーザが，振り分けルール定義の登録処理を実行しました。

対処

ユーザ名の文字列長が，<SYSTEMID>_CASTINGRULE_DEFテーブルのAuthorカラムで定義したバイト数以内のユーザでコマンドを再実行してください。

KDIW21603-E

The value specified in the valid period is invalid. valid-from-date = *aa....aa*, valid-to-date = *bb....bb*

オプション値として指定された有効期間が不正です。有効期間開始日 = *aa....aa*, 有効期間終了日 = *bb....bb*

aa....aa：有効期間開始日

bb....bb：有効期間終了日

要因

有効期間開始日または有効期間終了日に不正な値が指定されました。

対処

指定した有効期間開始日または有効期間終了日の内容を確認し，コマンドを再実行してください。

KDIW21604-E

The specified casting rule definition file already exists. file-name = *aa....aa*

指定した振り分けルール定義ファイルは，既に存在します。ファイル名 ＝ *aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

すでに存在する振り分けルール定義ファイルを指定しました。

対処

振り分けルール定義ファイルにない名称を指定し，コマンドを再実行してください。または，`-force` オプションを指定し，コマンドを再実行してください。

5.10 KDIW21800～KDIW21999

KDIW21800-W

No IDs could be recovered. type = *aa....aa*
ID を回復できませんでした。ID 種別 = *aa....aa*

aa....aa：ID 種別※

注※

PROCESS_INSTANCE：案件（PI）
ACTIVITY_INSTANCE：業務ステップ（AI）
WORK_ITEM：作業（WI）
CONTROLNODE_INSTANCE：制御ノード（CI）

要因

回復できる ID がありません。

対処

不要な案件を削除し，連続した使用済み ID を作成してから，コマンドを再実行してください。

KDIW21801-I

An ID(s) was recovered successfully. type = *aa....aa*, number-of-recovered-IDs = *bb....bb*, number-of-available-IDs= *cc....cc*
ID を回復しました。ID 種別 = *aa....aa*, 回復 ID 数 = *bb....bb*, 空き ID 数 = *cc....cc*

aa....aa：ID 種別※

bb....bb：回復 ID 数

cc....cc：空き ID 数

注※

PROCESS_INSTANCE：案件（PI）
ACTIVITY_INSTANCE：業務ステップ（AI）
WORK_ITEM：作業（WI）
CONTROLNODE_INSTANCE：制御ノード（CI）

要因

ID を回復しました。

空き ID が指定した ID 合計回復数以上のため，ID を回復する必要はありませんでした。

対処

必要ありません。

KDIW21802-I

The ID range was recovered successfully. type = *aa....aa*, minimum = *bb....bb*, maximum = *cc....cc*
この範囲の ID を回復しました。ID 種別 = *aa....aa*, 最小値 = *bb....bb*, 最大値 = *cc....cc*

aa....aa：ID 種別※

bb....bb：回復した範囲の最小値

cc....cc：回復した範囲の最大値

注※

PROCESS_INSTANCE：案件（PI）
ACTIVITY_INSTANCE：業務ステップ（AI）
WORK_ITEM：作業（WI）
CONTROLNODE_INSTANCE：制御ノード（CI）

要因

最小値から最大値までの範囲の ID を回復しました。

対処

必要ありません。

KDIW21803-W

Some or all of the specified number of IDs could not be recovered. type = *aa....aa*, number-of-specified-IDs = *bb....bb*, number-of-available-IDs = *cc....cc*
指定された ID 数まで回復できませんでした。ID 種別 = *aa....aa*, 指定した ID 数 = *bb....bb*, 空き ID 数 = *cc....cc*

aa....aa：ID 種別※

bb....bb：指定した ID 数

cc....cc：空き ID 数

注※

PROCESS_INSTANCE：案件（PI）

ACTIVITY_INSTANCE：業務ステップ（AI）

WORK_ITEM：作業（WI）

CONTROLNODE_INSTANCE：制御ノード（CI）

要因

案件が存在しているため，指定した空き ID 数まで回復できません。

対処

不要な案件を削除し，連続した使用済み ID を作成してから，コマンドを再実行してください。

KDIW21804-E

Invalid ID management data was detected. details = (*aa....aa*)

ID 管理データの不正が検出されました。詳細 = (*aa....aa*)

aa....aa：詳細（保守情報）

要因

ID 管理データの不正が検出されました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

特記事項

未使用 ID レコードの不正

“State = ?, TargetID = ?, record-count = ?"

5.11 KDIW22000～KDIW22199

KDIW22000-E

The uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow environment is already configured. system-ID = *aa....aa*

既に uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 環境が構築されています。システム ID = *aa....aa*

aa....aa：システム ID

要因

すでに CSCIW 環境が構築されています。

対処

新たに環境を構築したい場合は，このコマンドで環境を削除するか，または構築済みのシステム ID と別のシステム ID を指定してください。

KDIW22001-E

The environment has not been changed.

環境が移行されていません。

要因

環境の移行作業が未完了の状態です。

対処

環境を移行したあと，コマンドを再実行してください。

なお，環境の移行とは，WorkCoordinator から CSCIW 環境への移行のことです。

KDIW22002-E

The uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow version does not match the work management database version. system-version = *aa....aa*, work-management-database-version = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow とワーク管理データベースのバージョンが矛盾しています。システムバージョン = *aa....aa*, ワーク管理データベースバージョン = *bb....bb*

aa....aa：CSCIW のシステムバージョン（製品バージョン）

bb....bb：ワーク管理データベースのバージョン

要因

`ciwsetenv`（環境の構築または削除）コマンド実行時に，CSCIW のシステムバージョンとワーク管理データベースのバージョンが一致していません。

対処

CSCIW のシステムバージョンとワーク管理データベースのバージョンを確認してください。確認後，次に示すどちらかの対処をしてください。

- **CSCIW のシステムバージョンがワーク管理データベースバージョンより新しい場合**
  実行環境をバージョンアップしてください。
- **CSCIW のシステムバージョンがワーク管理データベースバージョンより古い場合**
  新しいバージョンの CSCIW を上書きインストールしてください。

それでも問題が解決しない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW22003-E

An attempt to read the specified environment configuration file has failed. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
指定された環境構築用ファイルの読込みに失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：環境構築用ファイル名

bb....bb：詳細情報

要因

指定した環境構築用ファイルがありません。

対処

ファイル名を正しく指定し，コマンドを再実行してください。

KDIW22004-E

A necessary item is not defined in the environment configuration file. property-key = *aa....aa*
環境構築用ファイルに必須項目が定義されていません。プロパティキー = *aa....aa*

aa....aa：プロパティキー

要因

環境構築用ファイルに必要な項目が定義されていません。

対処

プロパティキーに入力ミスがないかどうかを確認し，正しいプロパティキーを指定してください。

KDIW22005-E

A mistake was found in the content of the environment configuration file. property-key = *aa....aa*, value = *bb....bb*

環境構築用ファイルの内容に誤りがあります。プロパティキー = *aa....aa*, 指定値 = *bb....bb*

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：指定値

要因

環境構築用ファイルの指定値が不正です。

対処

正しい値を指定してください。

KDIW22006-E

An attempt to access the work management database has failed during the environment configuration. cause = *aa....aa*

環境構築時，ワーク管理データベースのアクセスに失敗しました。要因 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの要因コード

要因

aa....aa に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- CONNECT の場合

  ワーク管理データベースの接続に失敗しました。

  環境構築用ファイルに指定したデータベースの接続情報に誤りがあるか，接続先のデータベースに問題があります。

- TABLE の場合

  ワーク管理データベースにテーブルが正しく構築されていないおそれがあります。また，環境構築用ファイルの情報とワーク管理データベースの情報も一致していないおそれがあります。

対処

次に示す対処をしてください。

- CONNECT の場合

  環境構築ファイルの内容が正しいか確認してください。

  問題がない場合は，このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，接続先のデータベースに問題がないかどうかを確認してください。

- TABLE の場合

  このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，ワーク管理データベースに問題がないかどうかを確認してください。

KDIW22007-E

The specified value differs the value of the work management database. property-key = *aa....aa*, property-value = *bb....bb*, db-value = *cc....cc*

ワーク管理データベース上の値と異なる値が指定されました。プロパティキー = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*, ワーク管理データベースの値 = *cc....cc*

aa....aa：環境構築ファイルのプロパティキー

bb....bb：指定した値

cc....cc：ワーク管理データベースの値

要因

指定したシステム ID の情報がワーク管理データベース上にすでに存在し，環境構築ファイルで指定した値と異なります。

対処

次に示す対処をしてください。

- 追加セットアップの場合

  環境構築用ファイルの指定に問題がないかどうかを確認してください。

- 新規に環境を構築する場合

  ワーク管理データベースを再作成したあと，このコマンドを再実行してください。

KDIW22008-E

The uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow environment has not been configured. system-ID = *aa....aa*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 環境が構築されていません。システム ID = *aa....aa*

aa....aa：システム ID

要因

指定したシステム ID は，CSCIW の実行環境が構築されていません。

対処

`-f` オプションを指定して，`ciwsetenv`（環境の構築または削除）コマンドを再実行してください。

KDIW22009-E

The versions of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow and the work management database format do not match. system-version = *aa....aa*, work-management-database-format-version = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow とワーク管理データベースの形式のバージョンが矛盾しています。システムバージョン = *aa....aa*, ワーク管理データベースのテーブルバージョン = *bb....bb*

aa....aa：CSCIW のシステムバージョン（製品バージョン）

bb....bb：ワーク管理データベースのテーブルバージョン

要因

テーブルをバージョンアップするための SQL スクリプトファイルが実行されていないため，CSCIW のシステムバージョンとワーク管理データベースのテーブルバージョンが一致していません。

対処

テーブルをバージョンアップするための SQL スクリプトファイルを実行してください。そのあとに，コマンドを再実行してください。

KDIW22010-E

The current version of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow does not match the version it had when it was set up. system-version = *aa....aa*, work-management-database-version = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow と環境構築時のバージョンが矛盾しています。システムバージョン = *aa....aa*, 環境構築時のバージョン = *bb....bb*

aa....aa：CSCIW のシステムバージョン（製品バージョン）

bb....bb：環境構築時のバージョン

要因

CSCIW のシステムバージョンと環境構築時のバージョンが一致していません。

対処

CSCIW のシステムバージョンと環境構築時のバージョンを確認してください。確認後，次に示すどちらかの対処をしてください。

- **CSCIW のシステムバージョンが環境構築時のバージョンより新しい場合**
  実行環境をバージョンアップしてください。
- **CSCIW のシステムバージョンが環境構築時のバージョンより古い場合**
  新しいバージョンの CSCIW を上書きインストールしてください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW22011-E

The version of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow environment has already been upgraded. system-ID = *aa....aa*

既に uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 環境はバージョンアップされています。システム ID = *aa....aa*

aa....aa：システム ID

要因

指定したシステム ID の実行環境は，すでにバージョンアップされています。

対処

指定したシステム ID に誤りがないか確認してください。

KDIW22012-E

The specified value differs the value of the system setting property. property-key = *aa....aa*, property-value = *bb....bb*, system-setting-property-value = *cc....cc*

システム設定プロパティの値と異なる値が指定されました。プロパティキー = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*, システム設定プロパティの値 = *cc....cc*

aa....aa：環境構築ファイルのプロパティの値

bb....bb：指定した値

cc....cc：システム設定プロパティの値

要因

構築済み環境のシステム設定プロパティの値と，環境構築ファイルで指定した値が異なります。

対処

環境をバージョンアップする場合に指定した環境構築ファイルに問題がないかを確認してください。

5.12 KDIW22200～KDIW22399

KDIW22200-E

The specified output directory does not exist. directory-name = *aa....aa*
指定された出力ディレクトリが存在しません。ディレクトリ名 = *aa....aa*

aa....aa：出力ディレクトリ名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定した定義ファイル出力ディレクトリがありません。
- 出力ディレクトリ名としてファイル名が指定されています。

対処

正しいディレクトリ名を指定し，コマンドを再実行してください。

KDIW22201-E

An error occurred during a definition file operation. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
定義ファイルの操作中にエラーが発生しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細情報 = *bb....bb*

aa....aa：定義ファイル名

bb....bb：詳細情報

要因

定義ファイルの操作中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照して対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW22202-E

An error occurred while WorkCoordinator was being accessed. exception-type = *aa....aa*, exception-name = *bb....bb*
WorkCoordinator へのアクセス中にエラーが発生しました。例外種別 = *aa....aa*, 例外名 = *bb....bb*

aa....aa：例外種別※

bb....bb：例外名

注※

System：CORBA のシステム例外

User：WorkCoordinator の例外または CORBA のユーザ例外

要因

WorkCoordinator へのアクセス中にエラーが発生しました。

対処

次に示すどちらかの対処をしてください。

- **例外種別が User で，かつ例外名が WorkCoordinator の例外名の場合**

  WorkCoordinator Server のメッセージを参照し，対処してください。WorkCoordinator Server のメッセージの対処方法については，マニュアル「WorkCoordinator Version 6 システム管理者ガイド」を参照してください。

- **上記以外の場合**

  マニュアル「VisiBroker Version 5 Borland(R) Enterprise Server VisiBroker(R) デベロッパーズガイド」を参照し，対処してください。

上記の対処を実施後，再び障害が発生した場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW22203-E

An attempt to log in to WorkCoordinator failed.
WorkCoordinator へのログインに失敗しました。

要因

WorkCoordinator へのログインに失敗しました。

対処

正しいユーザ名およびパスワードを指定し，コマンドを再実行してください。

5.13 KDIW22600～KDIW22799

KDIW22600-W

The specified process definition was not found. process-definition-name = *aa....aa*
指定されたビジネスプロセス定義がありませんでした。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

要因

指定されたビジネスプロセス定義がありませんでした。

対処

ビジネスプロセス定義名を確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22601-W

The specified process definition was not found. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*
指定されたビジネスプロセス定義がありませんでした。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定されたビジネスプロセス定義がありませんでした。

対処

ビジネスプロセス定義名およびビジネスプロセス定義バージョンを確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22602-E

An attempt to read the SQL statement coding file has failed. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
SQL 文記述ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

要因

SQL 文記述ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

対処

読み込みに失敗した SQL 文記述ファイルの状態を確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22603-E

An attempt to read a parameter coding file has failed. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
補助定数パラメタ記述ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

要因

補助定数パラメタ記述ファイルの読み込みでエラーが発生しました。

対処

読み込みに失敗した補助定数パラメタ記述ファイルの状態を確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22604-W

The target condition name is missing. condition-name = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*
操作対象の条件名がありませんでした。条件名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：条件名

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定された条件名がありませんでした。

対処

条件名を確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22605-W

The target creation rule name is missing. creation-rule-name = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

操作対象の生成ルール名がありませんでした。生成ルール名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：生成ルール名

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定された生成ルール名がありませんでした。

対処

生成ルール名を確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22606-W

The target work application name is missing. work-application-name = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

操作対象の作業アプリケーション定義名がありませんでした。作業アプリケーション定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：作業アプリケーション定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定された作業アプリケーション定義名がありませんでした。

対処

作業アプリケーション定義名を確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22607-W

A different condition type was specified. condition-type = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, condition-name = *dd....dd*

異なる条件種別が指定されました。条件種別 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 条件名 = *dd....dd*

aa....aa：条件種別※

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

dd....dd：条件名

注※

SQL：RDB 検索

Java：Java オブジェクト呼び出し

要因

指定されたオプションと条件種別が一致しませんでした。

対処

指定したオプションを確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22608-W

A different creation rule type was specified. creation-rule-type = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, creation-rule-name = *dd....dd*

異なる生成ルール種別が指定されました。生成ルール種別 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 生成ルール名 = *dd....dd*

aa....aa：生成ルール種別※

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

dd....dd：生成ルール名

注※

SQL：RDB 検索

Java：Java オブジェクト呼び出し

要因

指定されたオプションと生成ルール種別が一致しませんでした。

対処

指定したオプションを確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22609-W

A different work application type was specified. work-application-type = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, work-application-name = *dd....dd*

異なる作業アプリケーション定義種別が指定されました。作業アプリケーション定義種別 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 作業アプリケーション定義名 = *dd....dd*

aa....aa：作業アプリケーション定義種別※

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

dd....dd：作業アプリケーション定義名

注※

Java：Java オブジェクト呼び出し

REST：REST アプリケーション呼び出し

要因

指定されたオプションと作業アプリケーション定義種別が一致しませんでした。

対処

指定したオプションを確認して，コマンドを再実行してください。

KDIW22610-I

The condition was modified successfully. condition-name = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

条件の変更に成功しました。条件名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：条件名

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

条件の変更に成功しました。

対処

必要ありません。

KDIW22611-I

The creation rule was modified successfully. creation-rule-name = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

生成ルールの変更に成功しました。生成ルール名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：生成ルール名

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

生成ルールの変更に成功しました。

対処

必要ありません。

KDIW22612-I

The work application was modified successfully. work-application-name = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

作業アプリケーション定義の変更に成功しました。作業アプリケーション定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：作業アプリケーション定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

作業アプリケーション定義の変更に成功しました。

対処

必要ありません。

KDIW22614-E

The content of the SQL statement coding file is invalid. file-name = *aa....aa*
SQL 文記述ファイルの内容が不正です。ファイル名 = *aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

次に示す要因が考えられます。

- SQL 文記述ファイルで指定された SQL 文のバイト数が，指定できる値の最大値を超えています。
- SQL 文記述ファイルで指定された SQL 文が 0 バイトの文字列です。

対処

次に示す対処をしてください。

- SQL 文記述ファイルで指定した SQL 文の文字列の長さが，次に示すテーブルの`Content` カラムで定義したバイト数以内であることを確認したあと，コマンドを再実行してください。
  - **・条件の場合**
    `<SYSTEMID>_CONDITION_SQL_DEF`
  - **・生成ルールの場合**
    `<SYSTEMID>_CREATIONRULE_SQL_DEF`
- SQL 文記述ファイルで指定した SQL 文の文字列の長さが，1 バイト以上であることを確認したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW22615-E

The content of the parameter coding file is invalid. file-name = *aa....aa*
補助定数パラメタ記述ファイルの内容が不正です。ファイル名 = *aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

補助定数パラメタ記述ファイルで指定された補助定数パラメタのバイト数が，指定できる値の最大値を超えています。

対処

補助定数パラメタ記述ファイルで指定した補助定数パラメタの文字列の長さが，次に示すテーブルのカラムで定義したバイト数以内であることを確認したあと，コマンドを再実行してください。

- **条件の場合**
  テーブル名：`<SYSTEMID>_CONDITION_JAVA_DEF`

カラム名：ExParameter

- 生成ルールの場合

  テーブル名：<SYSTEMID>_CREATIONRULE_JAVA_DEF

  カラム名：ExParameter

- 作業アプリケーション定義の場合

  テーブル名：<SYSTEMID>_APPLICATION_DEF

  カラム名：ApplicationParam

5.14 KDIW22800～KDIW22899

KDIW22800-I

The number of updated application-call definitions = *aa....aa*
アプリケーション呼び出し制御情報の更新数 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  更新件数

要因

アプリケーション呼び出し制御情報が更新されました。

KDIW22801-I

The number of updated application-call group definitions = *aa....aa*
アプリケーション呼び出しグループ定義の更新数 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  更新件数

要因

アプリケーション呼び出しグループ定義が更新されました。

KDIW22802-I

The command has deleted the record. ref-identifier = *aa....aa*
コマンドはレコードを削除しました。ref 識別子 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  種別ごとの接頭辞を付与した ref 識別子

要因

コマンドは対象のレコードを削除しました。

KDIW22803-I

The command has updated the record. ref-identifier = *aa....aa*
コマンドはレコードを更新しました。ref 識別子 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  種別ごとの接頭辞を付与した ref 識別子

要因

コマンドは対象のレコードを更新しました。

KDIW22804-I

The command has inserted the record. ref-identifier = *aa....aa*
コマンドはレコードを挿入しました。ref 識別子 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  種別ごとの接頭辞を付与した ref 識別子

要因

コマンドは対象のレコードを挿入しました。

KDIW22805-I

The record has already been deleted. ref-identifier = *aa....aa*
レコードはすでに削除されています。ref 識別子 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  種別ごとの接頭辞を付与した ref 識別子

要因

コマンドを実行しましたが，レコードはすでに削除されているか，存在しませんでした。

KDIW22806-E

An attempt to read from the file has failed. file = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ファイル
- *bb....bb*
  詳細情報

要因

ファイルの読み込みエラーが発生しました。

次に示す要因が考えられます。

- 指定したファイルパスのファイルがありません。
- ファイルではなく，ディレクトリが指定されています。
- 指定したファイルパスのファイルに，アクセス権が設定されていません。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

KDIW22807-E

An error occurred while the parameters were being checked. line = *aa....aa*, value = *bb....bb*
パラメータのチェック中にエラーが発生しました。行 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  該当行
- *bb....bb*
  値

要因

パラメタの判定中にエラーが発生しました。

次に示す要因が考えられます。

- 項目数が，アプリケーション呼び出し制御情報ファイルフォーマット，またはアプリケーション呼び出しグループ定義ファイルフォーマットに従っていません。

対処

該当行の値を修正してください。

KDIW22808-E

The column size is invalid. table = *aa....aa*, column = *bb....bb*
カラムのサイズが不正です。テーブル = *aa....aa*, 列 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  テーブル名
- *bb....bb*
  列名

要因

<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルのLockName カラムの列長が 7 バイト以下です。

対処

テーブルの定義を見直してください。

KDIW22809-E

An error occurred while the parameters were being checked. line = *aa....aa*, parameter key = *bb....bb*, value= *cc....cc*
パラメータのチェック中にエラーが発生しました。行 = *aa....aa*, パラメータキー = *bb....bb*, 値 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  該当行
- *bb....bb*
  パラメタキー
- *cc....cc*
  値

要因

パラメタの判定中にエラーが発生しました。

次に示す要因が考えられます。

- 更新オプションに U または D 以外の文字列を指定しています。
- 種別に指定できる文字列以外の文字列を指定しています。
- ref 識別子，グループ名，または所属グループに，長さ「<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルのLockName カラムサイズ−7（バイト)」より長い文字列を指定しています。

- 同じ ref 識別子が，アプリケーション呼び出し制御情報またはアプリケーション呼び出しグループに登録されています。
- 実行間隔，リトライ間隔，リトライ回数，最大作業件数，障害復旧間隔に範囲外の値を指定しています。

対処

該当行のパラメタキーの値を修正してください。

5.15 KDIW22900～KDIW22999

KDIW22900-I

The result of changing the statuses of work items is as follows: number of successful work items = *aa....aa*, number of skipped work items = *bb....bb*
作業状態変更の実行結果。成功した作業件数 = *aa....aa*, スキップした作業件数 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  成功作業件数
- *bb....bb*
  スキップ作業件数

要因

作業状態を変更した作業件数を実行結果として表示します。

特記事項

スキップとは，作業が状態変更済みだったため，作業状態を変更しなかったことを指します。

KDIW22901-I

Number of work items whose statuses were changed = *aa....aa*
作業状態変更件数 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  作業状態変更件数

要因

作業状態を変更した作業件数を表示します。

KDIW22902-W

A warning was issued during the processing to change the statuses of work items. number-of-warning = *aa....aa*
作業状態変更で警告が発生しました。警告件数 = *aa....aa*

- *aa....aa*

警告件数

要因

入力ファイルに指定された作業が不正だったため，警告件数分の作業状態を変更しませんでした。

次に示す要因が考えられます。

- タイマーイベントの作業を実行済（EXECUTED）に状態変更しようとしました。
- 作業が存在しませんでした。
- 状態変更ができない作業の状態でした。
- 入力ファイルのフォーマットが不正でした。
- アプリケーション呼び出しサービスの呼び出し対象ではない作業者 ID が設定された作業でした。

対処

コマンドのメッセージファイルを確認し，必要に応じて入力ファイルを修正してから，コマンドを再実行してください。

KDIW22903-E

An exception occurred during the processing to change the statuses of work items. line = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb...bb*, work-item-ID = *cc....cc*, details = *dd....dd*
作業の状態を変更する際に例外が発生しました。行 = *aa....aa*, 案件 ID = *bb...bb*, 作業 ID = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  該当行
- *bb....bb*
  案件 ID
- *cc....cc*
  作業 ID
- *dd....dd*
  詳細

要因

予期しない例外が発生しました。

対処

詳細に出力されているメッセージに従って，対処してください。

KDIW22904-I

The status has already changed to the specified status. line = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*

すでに指定された状態に状態変更しています。行 = *aa....aa*, 案件 ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*

- *aa....aa*
  該当行
- *bb....bb*
  案件 ID
- *cc....cc*
  作業 ID

要因

作業が指定された状態に状態変更済みだったので，処理をスキップしました。

対処

意図した動作ではない場合，入力ファイルおよび作業を見直してください。

KDIW22905-W

The status of the timer-event work item cannot be changed to "Executed". line = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*

タイマーイベントの作業は実行済に状態変更できません。行 = *aa....aa*, 案件 ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*

- *aa....aa*
  該当行
- *bb....bb*
  案件 ID
- *cc....cc*
  作業 ID

要因

タイマーイベントの作業を実行済に状態変更しようとしました。

対処

意図した動作ではない場合，入力ファイルおよび作業を見直してください。

KDIW22906-W

The specified work item does not exist. line = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*
指定された作業が存在しません。行 = *aa....aa*, 案件 ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*

- *aa....aa*
  該当行
- *bb....bb*
  案件 ID
- *cc....cc*
  作業 ID

要因

入力ファイルに指定された作業が存在しませんでした。

対処

意図した動作ではない場合，入力ファイルおよび作業を見直してください。

KDIW22907-W

The specified work item cannot be changed, because its status is invalid. line = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*
指定された作業が状態変更できない状態です。行 = *aa....aa*, 案件 ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*

- *aa....aa*
  該当行
- *bb....bb*
  案件 ID
- *cc....cc*
  作業 ID

要因

入力ファイルに指定された作業が状態変更できない状態でした。

対処

意図した動作ではない場合，入力ファイルおよび作業を見直してください。

KDIW22908-W

The content of the specified input file is invalid. line = *aa....aa*, value = *bb....bb*
指定されている入力ファイルの行内容が不正です。行 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  該当行
- *bb....bb*
  該当行の内容

要因

処理をした入力ファイルの行内容が不正でした。

対処

意図した動作ではない場合，入力ファイルを見直してください。また，必要に応じて再実行してください。

KDIW22909-W

The specified work item cannot be changed, because the work-item participant ID is invalid. line = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*
作業がアプリケーション呼び出しサービスの呼び出し対象ではない作業者 ID です。行 = *aa....aa*, 案件 ID =*bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*

- *aa....aa*
  該当行
- *bb....bb*
  案件 ID
- *cc....cc*
  作業 ID

要因

入力ファイルに指定された作業が状態変更できない作業者 ID でした。

対処

意図した動作ではない場合，入力ファイルを見直してください。また，必要に応じて再実行してください。

KDIW22910-E

An attempt to read from the file has failed. file = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ファイル
- *bb....bb*
  詳細情報

要因

作業状態変更の入力用ファイルの読み込みエラーが発生しました。

次に示す要因が考えられます。

- 指定したファイルパスのファイルがありません。
- ファイルではなく，ディレクトリが指定されています。
- 指定したファイルパスのファイルに，アクセス権が設定されていません。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

5.16 KDIW23000～KDIW23099

KDIW23000-I

One or more process instances were moved successfully. process-instance-ID = *aa....aa*
案件の乗せ替えに成功しました。案件 ID = *aa....aa*

aa....aa：案件 ID

要因

案件の乗せ替えに成功しました。

対処

必要ありません。

KDIW23001-I

The results of moving the process instances are as follows. number of successful process instances = *aa....aa*
案件乗せ替えの実行結果。成功件数 = *aa....aa*

aa....aa：成功件数

要因

案件乗せ替えに成功した案件の件数を実行結果として表示します。

対処

必要ありません。

KDIW23002-I

Number of process instances moved = *aa....aa*
案件乗せ替え件数 = *aa....aa*

aa....aa：案件乗せ替え件数

要因

案件の乗せ替えを試みた件数を表示します。

特記事項

案件の乗せ替えに成功した件数と失敗した件数の合計件数が表示されます。

対処

必要ありません。

KDIW23003-W

A warning was issued during the processing to move process instances. number-of-warning = *aa....aa*
案件乗せ替えで警告が発生しました。警告件数 = *aa....aa*

aa....aa：警告件数

要因

次のどちらかの要因が考えられます。

- 乗せ替え対象の案件が存在しません。
- 案件 ID リスト指定ファイルに指定された案件が不正だったため，案件乗せ替えを実施しませんでした。次の要因が考えられます。
  - 指定した案件 ID の案件が存在しません。
  - 指定した案件 ID の案件が，指定したビジネスプロセス定義の案件ではありません。
  - 指定した案件 ID の案件の状態が「実行中」ではありません。
  - 同じ案件 ID を複数回指定しています。

対処

コマンドのメッセージファイルを確認し，必要に応じて案件 ID リスト指定ファイルの修正や乗せ替え元のビジネスプロセス定義の指定を変更して，コマンドを再実行してください。

KDIW23004-E

An error occurred during the processing to move process instances. details = *aa....aa*
案件乗せ替えで例外が発生しました。詳細情報 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

案件乗せ替えの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW23005-W

The specified process instance does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*
指定された案件が存在しません。案件 ID = *aa....aa*

aa....aa：案件 ID

要因

案件 ID リスト指定ファイルに指定された案件 ID の案件は存在しませんでした。

対処

案件 ID リスト指定ファイルの内容を確認してから，必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDIW23006-W

The specified process instance is not a process instance of the source business process definition. process-instance-ID = *aa....aa*
指定された案件は乗せ替え元のビジネスプロセス定義の案件ではありません。案件 ID = *aa....aa*

aa....aa：案件 ID

要因

案件 ID リスト指定ファイルに指定された案件は乗せ替え元のビジネスプロセス定義の案件ではありません。

対処

案件 ID リスト指定ファイルの内容を確認してから，必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDIW23007-W

The specified process instance cannot be moved, because its status is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*
指定された案件は乗せ替えできない状態です。案件 ID = *aa....aa*

aa....aa：案件 ID

要因

指定された案件 ID の案件の状態が「実行中」ではありません。

対処

案件 ID リスト指定ファイルの内容と乗せ替える案件の状態を確認してから，必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDIW23008-E

The moving information file contains one or more invalid parameters. line = *aa....aa*, value = *bb....bb*, details = *cc....cc*

乗せ替え情報ファイルに不正な値が指定されています。行 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*, 詳細情報 = *cc....cc*

aa....aa：行

bb....bb：値

cc....cc：詳細情報

要因

乗せ替え情報ファイルに不正な値が指定されています。詳細情報に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- UNSPECIFIED の場合
  乗せ替え元業務ステップ定義名，または乗せ替え先業務ステップ定義名の指定がありません。
- SOURCE_ACTIVITY_DEF_UNSPECIFIED の場合
  乗せ替え元業務ステップ定義名の指定がありません。
- DEST_ACTIVITY_DEF_UNSPECIFIED の場合
  乗せ替え先業務ステップ定義名の指定がありません。
- SOURCE_ACTIVITY_DEF_LENGTH の場合
  乗せ替え元業務ステップ定義名の文字列長がテーブル定義の範囲外です。
- DEST_ACTIVITY_DEF_LENGTH の場合
  乗せ替え先業務ステップ定義名の文字列長がテーブル定義の範囲外です。
- SOURCE_WORK_DEF_LENGTH の場合
  乗せ替え元作業定義名の文字列長がテーブル定義の範囲外です。
- SOURCE_WORK_DEF_DUPLICATION の場合
  乗せ替え元作業定義名の指定が重複しています。
- CONTRADICITION の場合
  乗せ替え元作業定義が指定されている行と指定されていない行の両方があります。

対処

乗せ替え情報ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23009-E

The specified parameters are invalid in the process instance ID list file. line = *aa....aa*, value = *bb....bb*

案件 ID リスト指定ファイルに不正な値が指定されています。行 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：行

bb....bb：値

要因

案件 ID リスト指定ファイルに不正な値が指定されています。

対処

案件 ID リスト指定ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23011-E

The specified activity definition does not exist. line = *aa....aa*, activity-definition-name = *bb....bb*

指定された業務ステップ定義名の業務ステップ定義が存在しません。行 = *aa....aa*, 業務ステップ定義名 = *bb....bb*

aa....aa：行

bb....bb：業務ステップ定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 乗せ替え情報ファイルに指定された乗せ替え元業務ステップ定義名，または乗せ替え先業務ステップ定義が存在しません。
- サポートされていない BPMN 要素から変換された業務ステップ定義名が乗せ替え情報ファイルに指定されています。
- サブプロセス（マルチインスタンス）内の BPMN 要素から変換された業務ステップ定義名が乗せ替え情報ファイルに指定されています。

対処

乗せ替え情報ファイルの内容を確認してから，コマンドを再実行してください。

KDIW23012-E

The specified work definition does not exist. line = *aa....aa*, work-definition-name = *bb....bb*
指定された作業定義名の作業定義が存在しません。行 = *aa....aa*, 作業定義名 = *bb....bb*

aa....aa：行

bb....bb：作業定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 乗せ替え情報ファイルに指定された乗せ替え元作業定義名の作業定義が存在しません。
- 乗せ替え情報ファイルに指定された乗せ替え元作業定義名が乗せ替え元業務ステップ定義に属していません。

対処

乗せ替え情報ファイルの内容を確認してから，コマンドを再実行してください。

KDIW23013-E

An attempt to move a process instance failed because of an error. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*
エラーが発生したため，案件の乗せ替えに失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細情報 = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：詳細情報

要因

処理を継続できないエラーが発生したため，案件の乗せ替え処理に失敗しました。

対処

詳細情報に出力されているエラーメッセージを参照し，対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW23014-E

The specified activity definition is an invalid BPMN element. line = *aa....aa*, activity-definition-name = *bb....bb*, details = *cc....cc*

指定された乗せ替え先業務ステップ定義名は不正な BPMN 要素です。行 = *aa....aa*, 業務ステップ定義名 = *bb....bb*, 詳細情報 = *cc....cc*

aa....aa：行

bb....bb：業務ステップ定義名

cc....cc：詳細情報

要因

サポートされていない BPMN 要素から変換された業務ステップ定義名を乗せ替え情報ファイルに指定しました。

詳細情報に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- UNSUPPORT_ELEMENT の場合
  BPMN 要素の種別が非サポートです。
- UNSUPPORT_POSITION_SUBPROCESS_BOUNDARY_TIMER の場合
  BPMN 要素の定義位置（境界タイマーが設定されたサブプロセス内の定義）が非サポートです。
- UNSUPPORT_POSITION_ADHOC_SUBPROCESS の場合
  BPMN 要素の定義位置（アドホックサブプロセス内の定義）が非サポートです。

対処

乗せ替え情報ファイルの内容を確認してから，コマンドを再実行してください。

KDIW23015-E

The specified process definition does not exist. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*

指定されたビジネスプロセス定義が存在しません。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

オプション引数に指定したビジネスプロセス定義名のビジネスプロセス定義が存在しません。

対処

オプション引数に指定した内容を確認してから，コマンドを再実行してください。

KDIW23016-E

An attempt to access a file has failed. file-path = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ファイルのアクセス処理に失敗しました。ファイルパス = *aa....aa*, 詳細情報 = *bb....bb*

aa....aa：ファイルパス，またはディレクトリパス

bb....bb：詳細情報

要因

ファイルアクセスの例外が発生しました。

対処

アクセスに失敗したファイルパスが入出力可能であることを確認してください。

KDIW23017-W

The process instance to be moved could not be found.
乗せ替え対象となる案件がありませんでした。

要因

乗せ替え対象となる案件が 1 件も存在しません。

対処

条件を見直し，必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDIW23019-E

The same process definition is specified. -bbpn = *aa....aa*, -bbpv = *bb....bb*, -abpn= *cc....cc*, -abpv= *dd....dd*
同じビジネスプロセス定義名とバージョンが指定されました。-bbpn = *aa....aa*, -bbpv = *bb....bb*, -abpn= *cc....cc*, -abpv= *dd....dd*

aa....aa：`-bbpn` オプションの指定値

bb....bb：`-bbpv` オプションの指定値

cc....cc：-abpn オプションの指定値

dd....dd：-abpv オプションの指定値

要因

-bbpn，-bbpv オプションで指定したビジネスプロセス定義と，-abpn，-abpv に指定したビジネスプロセス定義が同一です。

対処

指定したビジネスプロセス定義を確認してから，コマンドを再実行してください。

5.17 KDIW23100～KDIW23199

KDIW23100-I

One or more process instances were evaluated successfully. process-instance-ID = *aa....aa*
案件の再評価に成功しました。案件 ID = *aa....aa*

aa....aa：案件 ID

要因

案件の再評価に成功しました。

対処

必要ありません。

KDIW23101-I

The results of evaluating the process instances are as follows. number of successful process instances = *aa....aa*
案件再評価の実行結果。成功件数 = *aa....aa*

aa....aa：成功件数

要因

案件を再評価した案件件数を実行結果として表示します。

対処

必要ありません。

KDIW23102-I

Number of process instances evaluated = *aa....aa*
案件再評価件数 = *aa....aa*

aa....aa：案件再評価件数

要因

案件の再評価を試みた件数を表示します。

対処

必要ありません。

KDIW23103-W

A warning was issued during the processing to evaluate the process instance. number-of-warning = *aa....aa*

案件再評価で警告が発生しました。警告件数 = *aa....aa*

aa....aa：警告件数

要因

警告件数分の案件再評価を実施しませんでした。次の要因が考えられます。

- 案件 ID リスト指定ファイルに再評価の対象となる案件が存在しません。
- オプション引数に指定したビジネスプロセス定義に再評価の対象となる案件が存在しません。
- 案件 ID リスト指定ファイルに指定した案件 ID の案件に再評価の対象となる業務ステップが存在しません。
- オプション引数に指定したビジネスプロセス定義に再評価の対象となる業務ステップが存在しません。

対処

コマンドのメッセージファイルを確認して，必要に応じて案件 ID リスト指定ファイルを修正してから，再実行してください。

KDIW23104-E

An error occurred in the evaluate the process instance. details = *aa....aa*

案件再評価で例外が発生しました。詳細情報 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

案件再評価の実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW23105-W

The specified process instance does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*
指定された案件が存在しません。案件 ID = *aa....aa*

aa....aa：案件 ID

要因

案件 ID リスト指定ファイルに指定された案件 ID の案件が見つかりませんでした。次の要因が考えられます。

- 指定された案件 ID の案件が存在しません。
- 指定された案件 ID の案件の状態が「実行中」ではありません。

対処

案件 ID リスト指定ファイルの内容を確認してから，必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDIW23106-W

There are no activities to evaluate for the specified process instance. process-instance-ID = *aa....aa*
指定された案件 ID の案件に評価する業務ステップが存在しません。案件 ID = *aa....aa*

aa....aa：案件 ID

要因

案件 ID リスト指定ファイルに指定された案件 ID に再評価する業務ステップが存在しません。

対処

案件 ID リスト指定ファイルの内容と指定した案件を確認してから，必要に応じてコマンドを再実行してください。

KDIW23107-E

An attempt to evaluate the specified process instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*
指定された案件 ID の案件の再評価に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細情報 = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：詳細情報

要因

案件の再評価中に例外が発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW23108-E

The specified parameters are invalid in the process instance ID list file. line = *aa....aa*, value = *bb....bb*

案件 ID リスト指定ファイルに不正な値が指定されています。行 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：行

bb....bb：値

要因

案件 ID リスト指定ファイルに不正な値が指定されています。

対処

案件 ID リスト指定ファイルの内容を確認してから，コマンドを再実行してください。

KDIW23109-E

An attempt to evaluating process instance failed because an error occurred. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

エラーが発生したため，案件の再評価に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細情報 = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：詳細情報

要因

処理を継続できないエラーが発生したため，案件の再評価に失敗しました。

対処

詳細情報に出力されているエラーメッセージを参照し，対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW23110-E

The specified process definition does not exist. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*
指定されたビジネスプロセス定義が存在しません。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

オプション引数に指定したビジネスプロセス定義が存在しません。

対処

オプション引数に指定した内容を確認してから，コマンドを再実行してください。

KDIW23111-E

An attempt to access a file has failed. file-path = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ファイルのアクセス処理に失敗しました。ファイルパス = *aa....aa*, 詳細情報 = *bb....bb*

aa....aa：ファイルパス，またはディレクトリパス

bb....bb：詳細情報

要因

ファイルアクセスの例外が発生しました。

対処

アクセスに失敗したファイルパスが入出力可能であることを確認してください。

KDIW23112-W

The process instance to be evaluate could not be found.
再評価対象となる案件がありませんでした。

要因

再評価対象となる案件が存在しません。

対処

条件を見直し，必要に応じてコマンドを再実行してください。

5.18 KDIW23200～KDIW23299

KDIW23200-I

A process instance started successfully. process-instance-ID = *aa....aa*, process-instance-name = *bb....bb*

案件投入に成功しました。案件 ID = *aa....aa*, 案件名 = *bb....bb*

aa....aa：作成した案件の案件 ID

bb....bb：案件名

要因

任意の位置から案件の開始に成功しました。

KDIW23201-I

The results of starting the process instances are as follows. number of successful process instances = *aa....aa*

案件投入の実行結果。成功件数 = *aa....aa*

aa....aa：成功件数

要因

案件投入をした案件件数を実行結果として表示します。

KDIW23202-I

Number of process instances started = *aa....aa*

案件投入件数 = *aa....aa*

aa....aa：案件投入件数

要因

案件投入をした案件件数を経過情報として表示します。

KDIW23203-E

An error occurred during the start of the process instance. details = *aa....aa*
案件投入で例外が発生しました。詳細情報 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

案件投入コマンドの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW23204-E

A process instance failed to start. line = *aa....aa*, process-instance-name = *bb....bb*, details = *cc....cc*
案件投入に失敗しました。行 = *aa....aa*, 案件名 = *bb....bb*, 詳細情報 = *cc....cc*

aa....aa：案件開始情報ファイルの行番号

bb....bb：案件名

cc....cc：詳細情報

要因

データベースの更新に失敗しました。

対処

詳細情報に出力されているエラーメッセージを参照し，対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW23205-E

An attempt to read the specified process-instance-info-file has failed. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
指定された案件開始情報ファイルの読込みに失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ファイルパス

bb....bb：詳細情報

要因

ファイルの読み込みエラーが発生しました。

次に示す要因が考えられます。

- 指定したファイルパスのファイルがありません。
- ファイルではなく，ディレクトリが指定されています。
- 指定したファイルパスのファイルに，アクセス権が設定されていません。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

KDIW23206-E

The number of items specified in the process-instance-info-file is invalid. line = *aa....aa*
案件開始情報ファイルに指定された項目数が不正です。行 = *aa....aa*

aa....aa：案件開始情報ファイルの行番号

要因

案件開始情報ファイルに指定された項目数が 5 未満です。

「業務ステップ定義名:状態」の指定が 1 つ以上必要です。

対処

案件開始情報ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23207-E

The value in the process-instance-info-file is invalid. line = *aa....aa*, column = *bb....bb*, value = *cc....cc*
案件開始情報ファイルに不正な値が指定されています。行 = *aa....aa*, カラム = *bb....bb*, 値 = *cc....cc*

aa....aa：案件開始情報ファイルの行番号

bb....bb：項目を示す文字列

PROCESS_INSTANCE_NAME：案件名

DEADLINE：案件の処理期限

PRIORITY：案件の優先度

CREATOR：案件の投入者

ACTIVITY_DATA：業務ステップの一覧

ACTIVITY_DEFINITION_NAME：業務ステップ定義名

STATE_CODE：状態

cc....cc：指定された値

要因

案件開始情報ファイルに不正な値が指定されています。

対処

案件開始情報ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

BPMN 連携機能を使用する場合で，カラムが STATE_CODE のときは，BPMN 要素の種別に対して指定できる業務ステップの状態を見直してください。

KDIW23208-I

Process-instance processing was successful. child-process-instance-ID = *aa....aa*, child-process-instance-name = *bb....bb*, parent-process-instance-ID = *cc....cc*, parent-activity-instance-ID = *dd....dd*, parent-work-item-ID = *ee....ee*, root-process-instance-ID = *ff....ff*

案件処理に成功しました。子案件 ID = *aa....aa*, 子案件名 = *bb....bb*, 親案件 ID = *cc....cc*, 親業務ステップ ID = *dd....dd*, 親作業 ID = *ee....ee*, ルート案件 ID = *ff....ff*

aa....aa：子案件 ID

bb....bb：子案件名

cc....cc：親案件 ID

dd....dd：親業務ステップ ID

ee....ee：親作業 ID

ff....ff：ルート案件 ID

要因

親案件と子案件の関連づけに成功しました。

KDIW23209-I

The results of process-instance processing are as follows. number of successful processing = *aa....aa*

案件処理の実行結果。成功件数 = *aa....aa*

aa....aa：成功件数

要因

親案件と子案件の関連づけをした件数を実行結果として表示します。

KDIW23210-I

Number of process instances processed = *aa....aa*
案件処理件数 = *aa....aa*

aa....aa：処理件数

要因

親案件と子案件の関連づけをした件数を経過情報として表示します。

KDIW23211-E

An error occurred in the process-instance processing. details = *aa....aa*
案件処理で例外が発生しました。詳細情報 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

親案件と子案件の関連づけの実行中にエラーが発生しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW23212-E

Process-instance processing failed. line = *aa....aa*, child process-instance-name = *bb....bb*, details = *cc....cc*
案件処理に失敗しました。行 = *aa....aa*, 子案件名 = *bb....bb*, 詳細情報 = *cc....cc*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：案件名

cc....cc：詳細情報

要因

データベースの更新に失敗しました。

対処

詳細情報に出力されているエラーメッセージを参照し，対処したあと，コマンドを再実行してください。

KDIW23213-E

An attempt to read the specified process-instance-relation-file has failed. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*

指定されたコールアクティビティ関連付けファイルの読込みに失敗しました。ファイル名 =*aa....aa*，詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ファイルパス

bb....bb：詳細情報

要因

ファイルの読み込みエラーが発生しました。

次に示す要因が考えられます。

- 指定したファイルパスのファイルがありません。
- ファイルではなく，ディレクトリが指定されています。
- 指定したファイルパスのファイルに，アクセス権が設定されていません。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

KDIW23214-E

A required item is not specified in the process-instance-relation-file. line = *aa....aa*, column = *bb....bb*

コールアクティビティ関連付けファイルに必須項目が指定されていません。行 = *aa....aa*, カラム = *bb....bb*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：項目を示す文字列

CHILD_PROCESS_DEFINITION_NAME：子案件のビジネスプロセス定義名

CHILD_PROCESS_DEFINITION_VERSION：子案件のビジネスプロセス定義バージョン

PARENT：親案件
ROOT：ルート案件

要因

次に示す要因が考えられます。

- コールアクティビティ関連づけファイルに子案件の情報が指定されていません。
- 親案件の情報が一部指定されていません。
- ルート案件の情報が一部指定されていません。
- 親案件が省略されているのに，ルート案件を指定しています。

対処

コールアクティビティ関連づけファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23215-E

The value in the process-instance-relation-file is invalid. line = *aa....aa*, column = *bb....bb*, value = *cc....cc*
コールアクティビティ関連付けファイルに不正な値が指定されています。行 = *aa....aa*, カラム = *bb....bb*, 値 = *cc....cc*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：項目を示す文字列
CHILD_PROCESS_INSTANCE_NAME：子案件の案件名
PARENT_PROCESS_INSTANCE_NAME：親案件の案件名
ROOT_PROCESS_INSTANCE_NAME：ルート案件の案件名
CHILD_PROCESS_DEFINITION_VERSION：子案件のビジネスプロセス定義バージョン
PARENT_PROCESS_DEFINITION_VERSION：親案件のビジネスプロセス定義バージョン
ROOT_PROCESS_DEFINITION_VERSION：ルート案件のビジネスプロセス定義バージョン

cc....cc：指定された値

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに不正な値が指定されています。

対処

コールアクティビティ関連づけファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23216-E

The same activity definition name is specified in one line in the process-instance-info-file. line = *aa....aa*, value = *bb....bb*

案件開始情報ファイルの 1 行の中に同じ業務ステップ定義名が指定されています。行 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：案件開始情報ファイルの行番号

bb....bb：指定された値

要因

案件開始情報ファイルに業務ステップ定義名が重複しています。

対処

案件開始情報ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23217-E

In the process-instance-info-file, the running status is not specified for the activity-instance state. line = *aa....aa*

案件開始情報ファイルの業務ステップの状態に実行中が指定されていません。行 = *aa....aa*

aa....aa：案件開始情報ファイルの行番号

要因

案件開始情報ファイルの業務ステップの状態に，「d」が 1 つも指定されていません。

対処

案件開始情報ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23218-E

The specified activity definition does not exist in the process-instance-info-file. line = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, activity-definition-name = *dd....dd*

案件開始情報ファイルに指定された業務ステップ定義が存在しません。行 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 業務ステップ定義名 = *dd....dd*

aa....aa：案件開始情報ファイルの行番号

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

dd....dd：業務ステップ定義名

要因

案件開始情報ファイルに指定した業務ステップ定義が存在しません。

対処

案件開始情報ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23219-E

In the process-instance-info-file, the specified activity definition is an invalid type of BPMN element. line = *aa....aa*, value = *bb....bb*, BPMNElementType = *cc....cc*

案件開始情報ファイルに指定された業務ステップ定義は不正な BPMN 要素の種別です。行 = *aa....aa*, 業務ステップ定義名 = *bb....bb*, BPMN 要素の種別 = *cc....cc*

aa....aa：案件開始情報ファイルの行番号

bb....bb：業務ステップ定義名

cc....cc：BPMN 要素の種別を示す文字列

USER_TASK：ユーザタスク（マルチインスタンス）
SERVICE_TASK：サービスタスク（マルチインスタンス）
BUSINESS_RULE_TASK：ビジネスルールタスク（マルチインスタンス）
CALL_ACTIVITY：コールアクティビティ（マルチインスタンス）
MESSAGE_BOUNDARY_INTERRUPT：境界中断（メッセージ）
MESSAGE_BOUNDARY_NONINTERRUPT：境界非中断（メッセージ）
MESSAGE_SUBSTART_INTERRUPT：イベント・サブプロセス中断開始（メッセージ）
MESSAGE_SUBSTART_NONINTERRUPT：イベント・サブプロセス非中断開始（メッセージ）
MESSAGE_TOPSTART：開始（メッセージ）
TIMER_BOUNDARY_INTERRUPT：境界中断（タイマー）
TIMER_BOUNDARY_NONINTERRUPT：境界非中断（タイマー）
TIMER_CATCH：キャッチ（タイマー）
TIMER_SUBSTART_INTERRUPT：イベント・サブプロセス中断開始（タイマー）
TIMER_SUBSTART_NONINTERRUPT：イベント・サブプロセス非中断開始（タイマー）
TIMER_TOPSTART：開始（タイマー）
ADHOC_SUBPROCESS：アドホック・サブプロセス

UNDEFINED：強制終了，スロー（メッセージ），終了（エラー），境界中断（エラー），イベント・サブプロセス中断開始（エラー），サブプロセス（マルチインスタンス），サブプロセス（マルチインスタンス）内の BPMN 要素，または未定義の BPMN 要素（該当する種類の判別はできません）

要因

次の要因が考えられます。

1. 案件開始情報ファイルに指定した業務ステップ定義は，指定できない BPMN 要素から変換された業務ステップ定義です。
2. BPMN 連携機能を使用する設定（BpmnMode=true）の環境で，CSCIW-Definer で作成したビジネスプロセス定義を指定しました。

対処

- 1.の場合

  案件開始情報ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

- 2.の場合

  CSCIW-Definer で作成したビジネスプロセス定義を使用する場合は，環境変数 CSCIW_HOME または CSCIW_CONF_DIR の設定を基に，実行環境で使用しているセットアッププロパティファイル（`csciwsetup.properties`）に指定されている`BpmnMode` の設定値を確認してから，再実行してください。

KDIW23220-E

In the process-instance-info-file, the specified activity definition is in an invalid position for the definition of an BPMN element. line = *aa....aa*, value = *bb....bb*, Position = *cc....cc*

案件開始情報ファイルに指定された業務ステップ定義は不正な BPMN 要素の定義位置です。行 = *aa....aa*, 業務ステップ定義名 = *bb....bb*, 定義位置 = *cc....cc*

aa....aa：案件開始情報ファイルの行番号

bb....bb：業務ステップ定義名

cc....cc：定義位置を示す文字列

UNSUPPORT_POSITION_SUBPROCESS_BOUNDARY_TIMER：境界中断（タイマー），または境界非中断（タイマー）が設定されたサブプロセス内の定義

UNSUPPORT_POSITION_ADHOC_SUBPROCESS：アドホックサブプロセス内の定義

要因

案件開始情報ファイルに指定した業務ステップ定義は，指定できない定義位置にある BPMN 要素から変換された業務ステップ定義です。

対処

案件開始情報ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23221-E

The same process instance is specified in one line in the process-instance-relation-file. line = *aa....aa*

コールアクティビティ関連付けファイルの 1 行の中に同一の案件が指定されています。行 = *aa....aa*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに案件名，ビジネスプロセス定義名，およびビジネスプロセス定義バージョンの組み合わせが 1 行の中で重複しています。

対処

コールアクティビティ関連づけファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23222-E

The specified process definition does not exist in the process-instance-relation-file. line = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

コールアクティビティ関連付けファイルに指定されたビジネスプロセス定義が存在しません。行 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに指定したビジネスプロセス定義名，およびビジネスプロセス定義バージョンに該当するビジネスプロセス定義が，ワーク管理データベース上に存在しません。

対処

コールアクティビティ関連づけファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23223-E

The specified process instance does not exist in the process-instance-relation-file. line = *aa....aa*, process-instance-name = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*, process-definition-id = *ee....ee*

コールアクティビティ関連付けファイルに指定された案件が存在しません。行 = *aa....aa*, 案件名 =*bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*, ビジネスプロセス定義 ID = *ee....ee*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：案件名

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義バージョン

ee....ee：ビジネスプロセス定義 ID

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに指定した案件が存在しません。

対処

`ciwstartpi` コマンドの形式 1 を実行していない場合は，先に形式 1 を実行して案件を投入してください。

コールアクティビティ関連づけファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23224-E

There are multiple the specified process instance in the process-instance-relation-file. line = *aa....aa*, process-instance-name = *bb....bb*, process-definition-name = *cc....cc*, process-definition-version = *dd....dd*, process-definition-id = *ee....ee*

コールアクティビティ関連付けファイルに指定された案件が複数存在します。行 = *aa....aa*, 案件名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義名 = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義バージョン = *dd....dd*, ビジネスプロセス定義 ID = *ee....ee*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：案件名

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義バージョン

ee....ee：ビジネスプロセス定義 ID

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに指定した案件が複数存在します。

対処

コールアクティビティ関連づけファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

1 つのビジネスプロセス定義で同じ案件名が複数にならないように，`ciwdelpi` コマンドなどで案件を削除してください。

KDIW23225-E

The specified activity definition does not exist in the process-instance-relation-file. line = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, activity-definition-name = *dd....dd*

コールアクティビティ関連付けファイルに指定された業務ステップ定義が存在しません。行 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 業務ステップ定義名 = *dd....dd*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

dd....dd：業務ステップ定義名

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに指定した業務ステップ定義が存在しません。

対処

コールアクティビティ関連づけファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23226-E

The work-definition with call-activity does not exist in the activity definition specified in the process-instance-relation-file. line =*aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, activity-definition-name = *dd....dd*

コールアクティビティ関連付けファイルに指定された業務ステップ定義にコールアクティビティの作業が存在しません。行 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 業務ステップ定義名 = *dd....dd*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義バージョン

dd....dd：業務ステップ定義名

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに指定した業務ステップ定義がコールアクティビティから変換された業務ステップ定義ではありません。

対処

コールアクティビティ関連づけファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23227-E

The work-item of the activity-definition specified in the process-instance-relation-file does not exist. line = *aa....aa*, process-instance-name = *bb....bb*, process-instance-id = *cc....cc*, activity-definition-name = *dd....dd*

コールアクティビティ関連付けファイルに指定された作業が存在しません。行 = *aa....aa*, 案件名 = *bb....bb*, 案件 ID = *cc....cc*, 業務ステップ定義名 = *dd....dd*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：案件名

cc....cc：案件 ID

dd....dd：業務ステップ定義名

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに指定した業務ステップ定義の作業が存在しません。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW23228-E

There are multiple the work-item of the activity-definition specified in the process-instance-relation-file. line = *aa....aa*, process-instance-name = *bb....bb*, process-instance-id = *cc....cc*, activity-definition-name = *dd....dd*

コールアクティビティ関連付けファイルに指定された作業が複数存在します。行 = *aa....aa*, 案件名 = *bb....bb*, 案件 ID = *cc....cc*, 業務ステップ定義名 = *dd....dd*

aa....aa：コールアクティビティ関連づけファイルの行番号

bb....bb：案件名

cc....cc：案件 ID

dd....dd：業務ステップ定義名

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに指定した業務ステップ定義の作業（インスタンス）が複数存在します。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW23229-W

No valid line exists in the process-instance-info-file.
案件開始情報ファイルに有効な行が存在しません。

要因

案件開始情報ファイルに有効な行がありません。

対処

案件開始情報ファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23230-W

No valid line exists in the process-instance-relation-file.
コールアクティビティ関連付けファイルに有効な行が存在しません。

要因

コールアクティビティ関連づけファイルに有効な行がありません。

対処

コールアクティビティ関連づけファイルの内容を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW23231-E

An attempt to access a result-output-file has failed. file-path = *aa....aa*, details = *bb....bb*

実行結果出力ファイルのアクセス処理に失敗しました。ファイルパス＝*aa....aa*，詳細情報＝*bb....bb*

aa....aa：ファイルパス，またはディレクトリパス

bb....bb：詳細情報

要因

ファイルアクセスの例外が発生しました。

対処

アクセスに失敗したファイルパスに，実行結果を出力できることを確認してください。

KDIW23232-E

The system is set not to use the BPMN cooperation function.
BPMN 連携機能を使用しない設定になっています。

要因

セットアッププロパティファイル（`csciwsetup.properties`）に指定された`BpmnMode`が`false`になっています。

対処

環境変数 CSCIW_HOME または CSCIW_CONF_DIR の設定を基に，実行環境で使用しているセットアッププロパティファイル（`csciwsetup.properties`）に指定されている`BpmnMode`の設定値を確認してから，再実行してください。

KDIW23233-E

The specified process definition does not exist. process-definition-name＝*aa....aa*，process-definition-version＝*bb....bb*
指定されたビジネスプロセス定義が存在しません。ビジネスプロセス定義名＝*aa....aa*，ビジネスプロセス定義バージョン＝*bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定したビジネスプロセス定義名，ビジネスプロセス定義バージョンに該当するビジネスプロセス定義が，ワーク管理データベース上に存在しません。

対処

オプション引数に指定した内容を確認してから，コマンドを再実行してください。

KDIW23234-E

The specified root-process-instance ID differs from the root-process-instance ID in the work management database. child-process-instance-ID = *aa....aa*, parent-process-instance-ID = *bb....bb*, root-process-instance-ID = *cc....cc*, DB child-process-instance-ID = *dd....dd*, DB parent-process-instance-ID = *ee....ee*, DB root-process-instance-ID = *ff....ff*

ワーク管理データベース上のルート案件 ID と異なるルート案件 ID が指定されました。子案件 ID = *aa....aa*, 親案件 ID = *bb....bb*, ルート案件 ID = *cc....cc*, DB の子案件 ID = *dd....dd*, DB の親案件 ID = *ee....ee*, DB のルート案件 ID = *ff....ff*

aa....aa：指定された子案件 ID

bb....bb：指定された親案件 ID

cc....cc：指定されたルート案件 ID

dd....dd：ワーク管理データベースに登録済みの子案件 ID

ee....ee：ワーク管理データベースに登録済みの親案件 ID

ff....ff：ワーク管理データベースに登録済みのルート案件 ID

要因

次のどれかの要因が考えられます。

- 指定された子案件 ID のルート案件 ID として異なる値が登録されている。
- 指定された親案件 ID のルート案件 ID として異なる値が登録されている。
- 指定されたルート案件 ID が，異なるルート案件 ID の子案件や親案件として登録されている。

対処

`ciwstartpi` コマンドの形式 1 で案件を開始した際の実行結果出力ファイルを参照して，このメッセージに出力された案件 ID に対応した案件名を調査してください。

今回登録するコールアクティビティ関連づけファイル，および登録済みのコールアクティビティ関連づけファイルを参照して，調査結果の案件名のルート案件を見直してください。

指定するルート案件の情報を修正してから，再実行してください。

KDIW23235-E

The specified call activity record already exists. child-process-instance-ID = *aa....aa*, DB child-process-instance-ID = *bb....bb*, parent-process-instance-ID = *cc....cc*, parent-activity-instance-ID = *dd....dd*, parent-work-item-ID = *ee....ee*

指定されたコールアクティビティのレコードが既に存在します。子案件 ID = *aa....aa*, DB の子案件 ID = *bb....bb*, 親案件 ID = *cc....cc*, 親業務ステップ ID = *dd....dd*, 親作業 ID = *ee....ee*

aa....aa：指定された子案件 ID

bb....bb：ワーク管理データベースに登録済みの子案件 ID

cc....cc：親案件 ID

dd....dd：親業務ステップ ID

ee....ee：親作業 ID

要因

指定されたコールアクティビティは別の子案件と関連づけられています。

対処

`ciwstartpi` コマンドの形式 1 で案件を開始した際の実行結果出力ファイルを参照して，このメッセージに出力された案件 ID に対応した案件名を調査してください。

今回登録するコールアクティビティ関連づけファイル，および登録済みのコールアクティビティ関連づけファイルを参照して，調査結果の案件名の親案件の情報を見直してください。

指定する子案件および親案件の情報を修正してから，再実行してください。

6

KDIW30000～KDIW39999

この章では，案件運用操作のメッセージとその要因，および対処方法について説明します。

6.1 KDIW30000～KDIW30599

KDIW30000-I

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator has started.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作が起動しました。

要因

案件運用操作が起動しました。

対策

必要ありません。

KDIW30001-I

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator has stopped.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作が停止しました。

要因

案件運用操作が停止しました。

対策

必要ありません。

KDIW30200-E

An attempt to acquire a list failed because an error occurred during execution of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow API. list-type = *aa....aa*, details = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中にエラーが発生したため一覧の取得に失敗しました。リスト種別 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：取得を試みた一覧の種別

bb....bb：詳細情報

要因

CSCIW の API 実行中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報に出力されている CSCIW のエラーメッセージを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30201-E

An attempt to acquire information failed because an error occurred during execution of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow API. information-type = *aa....aa*, details = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中にエラーが発生したため情報の取得に失敗しました。情報種別 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：取得を試みた情報の種別

bb....bb：詳細情報

要因

CSCIW の API 実行中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報に出力されている CSCIW のエラーメッセージを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30202-E

An attempt to perform an operation failed because an error occurred during execution of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow API. operation-type = *aa....aa*, details = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中にエラーが発生したため操作に失敗しました。操作種別 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：操作の種別

bb....bb：詳細情報

要因

CSCIW の API 実行中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報に出力されている CSCIW のエラーメッセージを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30203-W

An attempt to perform operations for some process instances failed because some temporary errors occurred during execution of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow API.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中に一時的なエラーが発生したため，操作の実行に失敗した案件があります。

要因

CSCIW の API 実行中に一時的なエラーが発生しました。

対処

CSCIW のメッセージファイルに出力されているエラーメッセージを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30204-W

An attempt to perform operations for some activities failed because some temporary errors occurred during execution of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow API.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中に一時的なエラーが発生したため，操作の実行に失敗した業務ステップがあります。

要因

CSCIW の API 実行中に一時的なエラーが発生しました。

対処

CSCIW のメッセージファイルに出力されているエラーメッセージを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30205-W

An attempt to perform operations for some work items failed because some temporary errors occurred during execution of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow API.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中に一時的なエラーが発生したため，操作の実行に失敗した作業があります。

要因

CSCIW の API 実行中に一時的なエラーが発生しました。

対処

CSCIW のメッセージファイルに出力されているエラーメッセージを参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30206-W

Some specified parameters are invalid.
指定されたパラメータの中に不正なパラメータがあります。

要因

指定したパラメーターに幾つかの不正があります。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW30207-W

The format or value of the specified date is invalid. value = *aa....aa*
指定された日付のフォーマットまたは値が不正です。値 = *aa....aa*

aa....aa：日付の値

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定した日付の値の形式が不正です。
  ブラウザの言語モードが日本語の場合
  指定した値が「YYYY/MM/DD」の形式になっていません。
  ブラウザの言語モードが日本語以外の場合
  指定した値が「MM/DD/YYYY」の形式になっていません。
- 指定した値が日付として正しくありません。

対処

日付として正しい形式および値を指定してください。

KDIW30208-W

The size of the specified value exceeds the maximum. value = *aa....aa*, maximum-size = *bb....bb*

値のサイズが規定値を超えています。値 = *aa....aa*, 最大サイズ = *bb....bb*

aa....aa：指定値

bb....bb：最大サイズ（バイト）

要因

指定した値のサイズがバイト換算でシステムの規定値を超えました。

対処

規定値の最大サイズ以下の値を指定してください。

KDIW30209-W

The specified value is not a numeric value. value = *aa....aa*

値が数値ではありません。値 = *aa....aa*

aa....aa：指定値

要因

指定した値が数値ではありません。

対処

数値を指定してください。

KDIW30210-W

The specified date is outside the valid range. value = *aa....aa*. Specify a date from 1970/01/02 00:00:00 to 292278993/12/31 00:00:00 in GMT.

許可される範囲外の日時が指定されています。値 = *aa....aa*。GMT 換算で 1970/01/02 00:00:00～292278993/12/31 00:00:00 までの値を指定してください。

aa....aa：指定値

要因

指定した日時が GMT 換算で 1970/01/02 00:00:00～292278993/12/31 00:00:00 の範囲外です。

対処

GMT 換算で 1970/01/02 00:00:00～292278993/12/31 00:00:00 の範囲内で値を指定してください。

KDIW30211-W

The specified number is outside the valid range. value = *aa....aa*. Specify a number from -2147483648 to 2147483647.

許可される範囲外の数値が指定されています。値 = *aa....aa*。-2147483648～2147483647 までの値を指定してください。

aa....aa：値

要因

指定した数値が-2147483648～2147483647 の範囲外です。

対処

-2147483648～2147483647 の範囲内で値を指定してください。

KDIW30212-W

The upper value is lower than the lower value. lower-value = *aa....aa*, upper-value = *bb....bb*

上限が下限より小さい値に指定されています。下限値 = *aa....aa*, 上限値 = *bb....bb*

aa....aa：下限値

bb....bb：上限値

要因

上限に下限より小さい値が指定されています。

対処

上限に下限より大きい値を指定してください。

KDIW30213-E

An error occurred in the process instance administrator. details = *aa....aa*

案件運用操作内部で例外が発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

案件運用操作内部で例外が発生しました。

対処

いったん web ブラウザを閉じ，再ログインしてください。再ログインしたあとも同様のエラーが発生する場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW30214-E

An attempt to display an error page has failed. details = *aa....aa*
エラーページの表示に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

エラーページへのフォワードに失敗しました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW30215-E

The request parameter is invalid. request-key = *aa....aa*, value = *bb....bb*
リクエストパラメータが不正です。リクエストキー = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：パラメーターのキー

bb....bb：パラメーターの値

要因

不正なパラメーターが指定されました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW30216-E

An attempt to acquire the CIWServer has failed. details = *aa....aa*

CIWServer の取得に失敗しました。詳細 ＝*aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

CIWServer の取得に失敗しました。
次に示す要因が考えられます。

- CSCIW の API 実行中にエラーが発生しました。
- コネクションの取得中に SQL 例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30217-E

An attempt to perform commit processing has failed. details ＝*aa....aa*
コミットに失敗しました。詳細 ＝*aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

コミットに失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30218-W

An attempt to perform rollback processing failed, but processing will continue. details ＝ *aa....aa*
ロールバックに失敗しました。ただし，処理は続行します。詳細 ＝*aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

ロールバックに失敗しました。ただし，そのあとの処理は続行します。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30219-W

An attempt to close the connection has failed. details = *aa....aa*
コネクションのクローズに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

コネクションのクローズに失敗しました。ただし，そのあとの処理は続行します。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30220-E

An attempt to acquire the DataSource has failed. details = *aa....aa*
DataSource の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

DataSource の取得に失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30221-E

An attempt to initialize the servlet has failed. details = *aa....aa*
サーブレットの初期化に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

案件運用操作の初期化に失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いてください。

KDIW30222-E

An error occurred during forward processing to the JSP. path = *aa....aa*, details = *bb....bb*
JSP へのフォワード処理中にエラーが発生しました。パス = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：フォワード先パス

bb....bb：詳細情報

要因

JSP へのフォワード処理中にエラーが発生しました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW30223-E

An attempt to initialize a trace has failed.
トレースの初期化に失敗しました。

要因

トレースの初期化に失敗しました。CSCIW（CSCIWManagementServer）が起動していない場合があります。

対処

CSCIW（CSCIWManagementServer）が起動していない場合は，起動したあとに案件運用操作を起動してください。CSCIW（CSCIWManagementServer）を起動したあともこのメッセージが出力される場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW30224-E

An attempt to acquire a property has failed.
プロパティの取得に失敗しました。

要因

プロパティの取得に失敗しました。CSCIW（CSCIWManagementServer）が起動していない場合があります。

対処

CSCIW（CSCIWManagementServer）が起動していない場合は，起動したあとに案件運用操作を起動してください。CSCIW（CSCIWManagementServer）を起動したあともこのメッセージが出力される場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW30225-E

An attempt to acquire the necessary request parameter has failed.
必要なリクエストパラメータが取得できませんでした。

要因

不正な URL へアクセスしたおそれがあります。

対処

正しいログイン画面から再ログインしてください。

KDIW30226-E

An attempt to encode the request parameter has failed. details = *aa....aa*
リクエストパラメータのエンコードに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

リクエストパラメーターのエンコードに失敗しました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW30227-E

An attempt to begin UserTransaction has failed. details = *aa....aa*
トランザクションの開始に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

トランザクションの開始に失敗しました。

対処

詳細情報に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

KDIW30228-E

The versions of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator and the system do not match. system-version = *aa....aa*, CSCIW-Process-Instance-Administrator-version = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作とシステムバージョンが矛盾しています。システムバージョン = *aa....aa*, CSCIW 案件運用操作のバージョン = *bb....bb*

aa....aa：CSCIW のシステムバージョン（製品バージョン）

bb....bb：案件運用操作のバージョン

要因

案件運用操作のバージョンが CSCIW のシステムバージョンに一致していません。

対処

CSCIW のシステムバージョンに一致した案件運用操作を使用してください。

KDIW30229-W

The number of elapsed days is invalid. elapsed-day = *aa....aa*

経過日数が不正です。経過日数 = *aa....aa*

aa....aa：不正な経過日数

要因

指定した経過日数によって算出された案件終了日時が，1970/01/02 00:00:00 GMT～292278993/12/31 00:00:00 GMT の範囲外でした。

対処

指定した経過日数によって算出された案件終了日時が 1970/01/02 00:00:00 GMT～292278993/12/31 00:00:00 GMT の範囲内となるように，経過日数を指定してください。

KDIW30230-W

The process-data is invalid. process-data key = *aa....aa*, details = *bb....bb*

プロセスデータが不正です。プロセスデータキー名 ＝*aa....aa*, 詳細 ＝*bb....bb*

aa....aa：プロセスデータキー名

bb....bb：詳細例外情報

要因

指定したプロセスデータが不正です。

対処

詳細例外情報に従って対処し，正しいプロセスデータを指定してください。

KDIW30231-E

The name of the author of the process definition is invalid. author ＝*aa....aa*
ビジネスプロセス定義の作成者の名前が不正です。作成者 ＝*aa....aa*

aa....aa：作成者

要因

案件運用操作にログインしているユーザのユーザ名のバイト数が，<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルのAuthor カラムで定義したバイト数を超えているため，ビジネスプロセス定義の登録処理に失敗しました。

対処

<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルのAuthor カラムで定義したバイト数以内のユーザ名でログインして，再実行してください。

KDIW30232-E

The name of the author of the casting rule definition is invalid. author ＝*aa....aa*
振り分けルール定義の作成者の名前が不正です。作成者 ＝*aa....aa*

aa....aa：作成者

要因

案件運用操作にログインしているユーザのユーザ名のバイト数が，<SYSTEMID>_CASTINGRULE_DEF テーブルのAuthor カラムで定義したバイト数を超えているため，振り分けルール定義の登録処理に失敗しました。

対処

<SYSTEMID>_CASTINGRULE_DEF テーブルのAuthor カラムで定義したバイト数以内のユーザ名でログインして，再実行してください。

KDIW30233-E

The name of the creator of the job is invalid. creator = *aa....aa*

ジョブ投入者の名前が不正です。投入者 = *aa....aa*

aa....aa：投入者

要因

案件運用操作にログインしているユーザのユーザ名のバイト数が，<SYSTEMID>_ASYNC_JOB テーブルの Creator カラムで定義したバイト数を超えているため，ジョブの投入に失敗しました。

対処

<SYSTEMID>_ASYNC_JOB テーブルのCreator カラムで定義したバイト数以内のユーザ名でログインして，再実行してください。

KDIW30234-E

A process definition file that cannot be processed normally is specified.

正常に処理ができないビジネスプロセス定義ファイルが指定されました。

要因

- BPMN 連携機能を使用する場合

  ciwtransbpmn コマンドを使用して変換していないビジネスプロセス定義ファイルが指定されました。

- BPMN 連携機能を使用しない場合

  CSCIW-Definer によるビジネスプロセス定義のチェックで，エラーがあるビジネスプロセス定義ファイルが指定されました。

対処

- BPMN 連携機能を使用する場合

  ciwtransbpmn コマンドで変換したビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- BPMN 連携機能を使用しない場合

  CSCIW-Definer でビジネスプロセス定義のチェックを実施し，エラーがないビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

KDIW30235-W

A process definition that has a warning was registered. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*

警告があるビジネスプロセス定義が登録されました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定されたビジネスプロセス定義に警告があります。

対処

CSCIW のメッセージファイルに出力されたメッセージを参照して対処してください。

CSCIW-Definer でビジネスプロセス定義を作成し，警告がないビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

KDIW30236-E

An exception occurred while processing the definition operation. details = *aa....aa*

定義操作の処理中に例外が発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

定義操作の処理中に例外が発生しました。

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージファイルを参照して対処してください。

KDIW30237-E

An exception occurred during the execution of the job operation. details = *aa....aa*

ジョブの操作中に例外が発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

ジョブの操作中に例外が発生しました。

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージファイルを参照して対処してください。

KDIW30238-W

An attempt to perform operations on one or more jobs failed, because a temporary error occurred.

ジョブの操作中に一時的なエラーが発生したため，操作に失敗したジョブがあります。

要因

ジョブの操作中に一時的なエラーが発生しました。

対処

CSCIW のメッセージファイルに出力されているエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW30239-E

An attempt to acquire a list failed, because an error occurred during the execution of the job operation. function-name = *aa....aa* details = *bb....bb*

ジョブの操作中にエラーが発生したため一覧の取得に失敗しました。ファンクション名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ファンクション名

bb....bb：詳細例外情報

要因

ジョブの操作中にエラーが発生しました。

対処

詳細例外情報に出力されている CSCIW のエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW30240-W

An attempt to perform operations on one or more definitions failed, because a temporary error occurred.

定義操作の実行中に一時的なエラーが発生したため，操作に失敗した定義があります。

要因

定義操作の実行中に一時的なエラーが発生しました。

対処

CSCIW のメッセージファイルに出力されているエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW30241-E

An attempt to create a job failed, because processing to stop uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator is in progress.

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作が停止処理中のため，ジョブの投入に失敗しました。

要因

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作の停止処理が実行中のため，ジョブの投入に失敗しました。

対処

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作を起動して再実行してください。

KDIW30242-E

An attempt to modify an attribute of the casting rule definition has failed. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*

振り分けルール定義の属性を変更できません。振り分けルール名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義のバージョン = *bb....bb*

aa....aa：振り分けルール名

bb....bb：振り分けルール定義のバージョン

要因

属性の値を変更する振り分けルール定義の状態が不正です。

次に示す要因が考えられます。

- 指定した振り分けルール定義がビジネスプロセス定義で使用されています。
- ほかのバージョンの振り分けルール定義で使用できるものがありません。

対処

ほかのバージョンの振り分けルール定義を活性状態で登録してから，操作を再実行してください。

KDIW30243-E

The size of the specified BPMN definition file exceeds the maximum size. file-size = *aa....aa*, maximum-size = *bb....bb*

指定した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが規定値を超えています。ファイルサイズ = *aa....aa*, 最大サイズ = *bb....bb*

aa....aa：ファイルサイズ（バイト）

bb....bb：規定された最大サイズ（バイト）

要因

指定した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが次のどちらかを超えました。

- 4 メガバイト（4,194,304 バイト）
- `<SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF` テーブルの`BpmnProcessDef` カラムの最大サイズ

または，最大サイズに「-1」が出力された場合，`<SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF` テーブルが作成されていないおそれがあります。

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが規定値を超えた場合は，`-bpmnf` オプションを指定しないで`ciwmngbp` コマンドを実行して，ビジネスプロセス定義を登録してください。

`<SYSTEMID>_BPMN_PROCESS_DEF` テーブルが作成されていない場合は，SQL スクリプトファイルを実行してテーブルを作成したあと，ビジネスプロセス定義の登録を実行してください。

KDIW30244-W

The specified combination of the type and the ref-identifier already exists in the application-call control information. type = *aa....aa*, ref-identifier = *bb....bb*

指定された種別と ref 識別子の組み合わせは，アプリケーション呼び出し制御情報にすでに存在します。種別 = *aa....aa*, ref 識別子 = *bb....bb*

aa....aa：種別の値※

bb....bb：ref 識別子の値

注※

ope：オペレーション

msg：メッセージイベント

err：エラーイベント

tim：タイマーイベント

grp：グループ

要因

アプリケーション呼び出し制御情報一覧画面，またはアプリケーション呼び出しグループ定義一覧画面で，登録情報の行に指定した種別と ref 識別子の組み合わせが，すでに `<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO` テーブルに存在します。

対処

既存の情報に変わって，該当の種別と ref 識別子の組み合わせを登録したい場合は次のように対処してください。

- **アプリケーション呼び出し制御情報一覧画面の場合**

  登録情報の行で新規追加はしないで，アプリケーション呼び出し制御情報一覧の該当行を編集して，アプリケーション呼び出し制御情報上書き保存を実行してください。

- **アプリケーション呼び出しグループ定義一覧画面の場合**

  アプリケーション呼び出し制御情報一覧の該当行の「削除」にチェックを付けて，アプリケーション呼び出し制御情報上書き保存を実行して，該当行を削除してください。そのあとで，アプリケーション呼び出しグループ定義上書き保存を実行してください。

KDIW30245-W

The specified combination of the type and the ref-identifier already exists in the application-call group definitions. type = *aa....aa*, ref-identifier = *bb....bb*

指定された種別と ref 識別子の組み合わせは，アプリケーション呼び出しグループ定義にすでに存在します。種別 = *aa....aa*, ref 識別子 = *bb....bb*

aa....aa：種別の値※

bb....bb：ref 識別子の値

注※

ope：オペレーション

msg：メッセージイベント

err：エラーイベント

要因

アプリケーション呼び出し制御情報一覧画面，またはアプリケーション呼び出しグループ定義一覧画面で，登録情報の行に指定した種別と ref 識別子の組み合わせが，すでに<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_GROUP テーブルに存在します。

対処

既存の情報に変わって，該当の種別と ref 識別子の組み合わせを登録したい場合は次のように対処してください。

- **アプリケーション呼び出し制御情報一覧画面の場合**

  アプリケーション呼び出しグループ定義一覧の該当行の「削除」にチェックを付けて，アプリケーション呼び出しグループ定義上書き保存を実行して，該当行を削除してください。そのあとで，アプリケーション呼び出し制御情報上書き保存を実行してください。

- **アプリケーション呼び出しグループ定義一覧画面の場合**

  アプリケーション呼び出しグループ定義一覧の登録情報の行には該当情報を追加しないで，既存の行を編集して，アプリケーション呼び出しグループ定義上書き保存を実行してください。

KDIW30246-E

An error occurred during execution of the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow command. command-name = *aa....aa*, return-code = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンドの実行中にエラーが発生しました。コマンド名 = *aa....aa*, 戻り値 = *bb....bb*

aa....aa：コマンド名

bb....bb：コマンドの戻り値

要因

CSCIW のコマンドの実行が，正常に完了しませんでした。

対処

コマンド名，戻り値および CSCIW のエラーメッセージを参照して対処してください。

コマンド名，戻り値については，マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow コマンド」を参照してください。

KDIW30247-E

An error occurred while accessing the database. details = *aa....aa*

データベースアクセス実行中にエラーが発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

データベースアクセスでエラーが発生しました。

対処

CSCIW のメッセージファイルに出力されているエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW30248-E

The table definition is invalid. table = *aa....aa*, column = *bb....bb*
テーブル定義が不正です。テーブル = *aa....aa*, 列 = *bb....bb*

aa....aa：テーブル名

bb....bb：列名

要因

データベースにテーブルが存在しないか，または<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルの LockName カラムの列長が 7 バイト以下です。

対処

テーブル定義を見直してください。

KDIW30249-E

Settings are configured so that the application-call service will not be used.
アプリケーション呼び出しサービスを使用しない設定になっています。

要因

セットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定された次の内容がfalse になっています。

- BpmnMode
- UseApplicationCallService

対処

- BPMN 連携機能を使用する場合
  アプリケーション呼び出しサービスを使用するときは，環境変数CSCIW_HOME またはCSCIW_CONF_DIR の設定を基に，実行環境で使用しているセットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定されているBpmnMode の設定値を確認してから，再実行してください。

- BPMN 連携機能を使用しない場合

  アプリケーション呼び出しサービスを使用するときは，環境変数CSCIW_HOME またはCSCIW_CONF_DIR の設定を基に，実行環境で使用しているセットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定されているUseApplicationCallService の設定値を確認してから，再実行してください。

KDIW30250-W

An attempt to change one or more of the application-call service definitions failed because a temporary error occurred.

アプリケーション呼び出しサービスの定義変更中に一時的なエラーが発生したため，変更に失敗した定義があります。

要因

アプリケーション呼び出しサービスの定義変更の実行中に一時的なエラーが発生しました。

対処

CSCIW のメッセージファイルに出力されているエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW30251-W

The specified combination of the type and the ref-identifier does not exist in the application-call control information. type = *aa....aa*, ref-identifier = *bb....bb*

指定された種別と ref 識別子の組み合わせは，アプリケーション呼び出し制御情報に存在しませんでした。種別 = *aa....aa*, ref 識別子 = *bb....bb*

aa....aa：種別の値※

bb....bb：ref 識別子の値

注※

ope：オペレーション

msg：メッセージイベント

err：エラーイベント

tim：タイマーイベント

grp：グループ

要因

アプリケーション呼び出し制御情報一覧画面で，更新または削除しようとした種別と ref 識別子の組み合わせが，<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_INFO テーブルに存在しませんでした。

対処

アプリケーション呼び出し制御情報一覧画面を再表示し，最新の情報を確認してください。必要に応じてアプリケーション呼び出し制御情報を変更して上書き保存してください。

KDIW30252-W

The specified combination of the type and the ref-identifier does not exist in the application-call group definitions. type = *aa....aa*, ref-identifier = *bb....bb*

指定された種別と ref 識別子の組み合わせは，アプリケーション呼び出しグループ定義に存在しませんでした。種別 = *aa....aa*, ref 識別子 = *bb....bb*

aa....aa：種別の値※

bb....bb：ref 識別子の値

注※

ope：オペレーション

msg：メッセージイベント

err：エラーイベント

要因

アプリケーション呼び出しグループ定義一覧画面で，更新または削除しようとした種別と ref 識別子の組み合わせが，`<SYSTEMID>_APPLICATION_LOCK_GROUP` テーブルに存在しませんでした。

対処

アプリケーション呼び出しグループ定義一覧画面を再表示し，最新の情報を確認してください。必要に応じてアプリケーション呼び出しグループ定義を変更して上書き保存してください。

KDIW30253-W

The event awaiting the reception of the message does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*, messageRef = *bb....bb*

メッセージの受信を待っているイベントが存在しません。案件 ID = *aa....aa*, messageRef = *bb....bb*

aa....aa：案件 ID

bb....bb：messageRef

対処

指定された案件 ID と messageRef を確認してから，操作を再度実行してください。

7

KDIW40000～KDIW49999

この章では，ビジネスプロセス管理（CSCIW-Definer）のメッセージとその要因，および対処方法について説明します。

7.1 KDIW40000～KDIW40099

KDIW40000-E

An exception occurred. details = *aa....aa*
例外が発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

例外が発生しました。

対処

このメッセージの前に別のメッセージが出力されている場合は，そのメッセージを参照して対処してください。出力されていない場合は，詳細情報を参照して対処してください。

対処できないときは，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存してサポートサービスに連絡してください。

KDIW40001-E

An attempt to read from or write to the file has failed. file name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ファイルの入出力エラーが発生しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：詳細情報

要因

ファイルの入力エラーまたは出力エラーが発生しました。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

KDIW40002-E

An attempt to refresh the Navigator-View has failed. details = *aa....aa*
ナビゲータービューのリフレッシュに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

ナビゲータービューのリフレッシュに失敗しました。

対処

手動でリフレッシュを行ってください。

KDIW40003-E

An attempt to save the definition file has failed. details = *aa....aa*
定義ファイルの保存に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

定義ファイルの保存に失敗しました。

対処

定義ファイルを再保存または別名保存してください。

KDIW40004-E

An attempt to call the extended object has failed. details = *aa....aa*
拡張オブジェクトの呼び出しに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

拡張オブジェクトの呼び出しに失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。
それでも問題が解決しない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW40005-E

The definition cannot be saved because it is invalid.
定義にエラーがあるため，保存できませんでした。

要因

定義が不正です。

対処

このメッセージの前に出力されているメッセージを参照し，エラーの原因を取り除いてください。そのあと，定義を再保存してください。

KDIW40006-E

The definition cannot be opened because it is invalid.
定義にエラーがあるため，開くことができませんでした。

要因

定義の内容にエラーがあります。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW40007-E

The class on the extension point is not implementing CIWSQLDialogExtension interface. class name = *aa....aa*
拡張ポイントのクラスが CIWSQLDialogExtension インタフェースを実装していません。クラス名 = *aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

jp.co.Hitachi.soft.csciw.definer.extend.CIWSQLDialogExtension インタフェースを実装していないクラスを拡張ポイントに指定しています。

対処

該当するクラス名を実装しているプラグインを Eclipse から削除し，該当するクラスに jp.co.Hitachi.soft.csciw.definer.extend.CIWSQLDialogExtension インタフェースを実装したあと，再度プラグインをインストールしてください。

7.2 KDIW40100～KDIW40199

KDIW40100-W

Authentication has failed. The specified user ID or password is invalid. J2EE-server-name = *aa....aa*, user-ID = *bb....bb*

認証に失敗しました。ユーザ ID またはパスワードが不正です。J2EE サーバ名 = *aa....aa*, ユーザ ID = *bb....bb*

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：ユーザ ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- ユーザ ID またはパスワードに誤りがあります。
- ユーザ ID の長さが不正です。

対処

正しいユーザ ID またはパスワードを指定し，操作を再実行してください。

ユーザ ID の文字列長は，<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルのAuthor カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW40101-W

Authentication has failed. The specified user does not have permission to log in. J2EE-server-name = *aa....aa*, user-ID = *bb....bb*

認証に失敗しました。指定されたユーザには権限がありません。J2EE サーバ名 = *aa....aa*, ユーザ ID = *bb....bb*

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：ユーザ ID

要因

指定したユーザに「csciwdef」ロールが設定されていません。

対処

指定したユーザにcsciwdef ロールを設定してください。

KDIW40102-E

The uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in cannot connect to the uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer. J2EE-server-name = *aa....aa*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer へ接続できません。J2EE サーバ名 = *aa....aa*

aa....aa：J2EE サーバ名

要因

CSCIW-Definer のバージョンと CSCIWManagementServer のバージョンが一致していません。

対処

CSCIWManagementServer のバージョンに一致した CSCIW-Definer を使用してください。

KDIW40103-E

An attempt to acquire the home interface has failed. J2EE-server-name = *aa....aa*, host-name = *bb....bb*, port = *cc....cc*, interface-name = *dd....dd*, details = *ee....ee*

ホームインタフェースの取得に失敗しました。J2EE サーバ名 = *aa....aa*, ホスト名 = *bb....bb*, ポート番号 = *cc....cc*, インタフェース名 = *dd....dd*, 詳細情報 = *ee....ee*

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：ネーミングサービスのホスト名

cc....cc：ネーミングサービスのポート番号

dd....dd：EJB のインタフェース名（保守情報）

ee....ee：詳細情報

要因

ホームインタフェースのルックアップに失敗しました。

次に示す要因が考えられます。

- 接続先の情報に誤りがあります。
- 接続先の J2EE サーバが起動していません。
- CSCIWManagementServer が開始していません。
- ネーミングサービスが開始していません。
- eclipse.ini に「`-Xbootclasspath`」が記述されていません。

- CSCIWManagementServer のバージョンが CSCIW-Definer のバージョンと異なります。

対処

接続先の情報が正しいか見直してください。接続先の情報が正しい場合は，次のことを確認してください。

- J2EE サーバおよびネーミングサービスが起動していること
- CSCIWManagementServer が開始していること
- eclipse.ini に「`-Xbootclasspath`」が記述されていること
- CSCIWManagementServer と CSCIW-Definer のバージョンの組み合わせが正しいこと

eclipse.ini の編集については，マニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ビジネスプロセス開発ガイド」の「CSCIW-Definer として使用するための設定」を参照してください。

KDIW40104-E

An exception occurred in uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow. details = *aa....aa*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 内で例外が発生しました。詳細情報 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

CSCIW 内で例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

KDIW40105-W

A temporary exception occurred in uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow. details = *aa....aa*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 内で一時的な例外が発生しました。詳細情報 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

CSCIW 内で例外が発生しました。

対処

詳細情報を参照し，対処してください。

KDIW40106-E

A communication error occurred while uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer was being accessed. J2EE-server-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer へのアクセス中に通信エラーが発生しました。J2EE サーバ名 = *aa....aa*, 詳細情報 = *bb....bb*

aa....aa：J2EE サーバ名

bb....bb：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- CSCIWManagementServer へのアクセスで通信エラーが発生しました。
- uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in のバージョンと CSCIWManagementServer のバージョンが一致していません。
- 01-60 より前のバージョンの CSCIW に接続しようとしました。

対処

再ログインし，操作を再実行してください。それでも同様のエラーが発生する場合は，詳細情報を参照し，対処してください。

また，あわせて次の内容を確認してください。

- J2EE サーバが起動しているか，または CSCIWManagementServer が開始しているか。
- CSCIWManagementServer と uCosminexus Interactive Workflow Development Plug-in のバージョンの組み合わせが正しいか。

KDIW40107-W

You are not logged in.

ログインされていません。

要因

ログアウトされました。

対処

再ログインし，操作を実行してください。

KDIW40108-W

Authentication has failed. The specified user ID or password is invalid. host-name = *aa....aa*, port = *bb....bb*, user-ID = *cc....cc*

認証に失敗しました。ユーザ ID またはパスワードが不正です。ホスト名 = *aa....aa*, ポート番号 = *bb....bb*, ユーザ ID = *cc....cc*

aa....aa：アプリケーションサーバのホスト名

bb....bb：アプリケーションサーバの HTTP 受付ポート番号

cc....cc：ユーザ ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- ユーザ ID またはパスワードに誤りがあります。
- ユーザ ID の長さが不正です。

対処

正しいユーザ ID またはパスワードを指定し，操作を再実行してください。

ユーザ ID の文字列長は，`<SYSTEMID>_PROCESS_DEF` テーブルの`Author` カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW40109-W

Authentication has failed. The specified user does not have permission to log in. host-name = *aa....aa*, port = *bb....bb*, user-ID = *cc....cc*

認証に失敗しました。指定されたユーザには権限がありません。ホスト名 = *aa....aa*, ポート番号 = *bb....bb*, ユーザ ID = *cc....cc*

aa....aa：アプリケーションサーバのホスト名

bb....bb：アプリケーションサーバの HTTP 受付ポート番号

cc....cc：ユーザ ID

要因

指定したユーザにcsciwdef ロールが設定されていません。

対処

指定したユーザにcsciwdef ロールを設定してください。

KDIW40110-E

The CSCIW-Definer cannot connect to uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer. host-name = *aa....aa*, port = *bb....bb* http-status-code = *cc....cc*, details = *dd....dd*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer へ接続できません。ホスト名 = *aa....aa*, ポート番号 = *bb....bb*, HTTP ステータスコード = *cc....cc*, 詳細情報 = *dd....dd*

aa....aa：アプリケーションサーバのホスト名

bb....bb：アプリケーションサーバの HTTP 受付ポート番号

cc....cc：HTTP レスポンスのステータスコード

dd....dd：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- CSCIWManagementServer へのアクセスでエラーが発生しました。
- CSCIW-Definer のバージョンと CSCIWManagementServer のバージョンが一致していません。
- 02-20 より前のバージョンの CSCIW に接続しようとしました。

対処

再ログインし，操作を再実行してください。それでも同様のエラーが発生する場合は，HTTP レスポンスのステータスコード，および詳細情報を参照し，対処してください。

また，あわせて次の内容を確認してください。

- アプリケーションサーバが起動しているか，または CSCIWManagementServer が開始しているか。
- CSCIWManagementServer と CSCIW-Definer のバージョンの組み合わせが正しいか。

特記事項

詳細情報に「Invalid Response」が出力された場合は，HTTP レスポンスのステータスコードを基に対処してください。

KDIW40111-E

A communication error occurred while uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer was being accessed. host-name = *aa....aa*, port = *bb....bb*, details = *cc....cc*

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer へのアクセス中に通信エラーが発生しました。ホスト名 = *aa....aa*, ポート番号 = *bb....bb*, 詳細情報 = *cc....cc*

aa....aa：アプリケーションサーバのホスト名

bb....bb：アプリケーションサーバの HTTP 受付ポート番号

cc....cc：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- CSCIWManagementServer へのアクセスで通信エラーが発生しました。
- CSCIW-Definer のバージョンと CSCIWManagementServer のバージョンが一致していません。
- 02-20 より前のバージョンの CSCIW に接続しようとしました。

対処

再ログインし，操作を再実行してください。それでも同様のエラーが発生する場合は，詳細情報を参照し，対処してください。

また，あわせて次の内容を確認してください。

- 接続先の設定が正しいか。
- アプリケーションサーバが起動しているか，または CSCIWManagementServer が開始しているか。
- CSCIWManagementServer と CSCIW-Definer のバージョンの組み合わせが正しいか。

KDIW40112-E

Invalid data was received. details = *aa....aa*

不正なデータを受信しました。詳細情報 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

CSCIWManagementServer から不正なデータを受信しました。

対処

接続先の設定が正しいか確認してください。

7.3 KDIW40200～KDIW40299

KDIW40202-E

An attempt to parse the process definition has failed. details = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義の解析に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 不正な形式のビジネスプロセス定義があります。
- 不正な文字列を含むビジネスプロセス定義があります。
- WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョン，または CSCIW-Definer 以外で作成したビジネスプロセス定義があります。

対処

Eclipse を再起動し，定義の読み込みを再実行してください。
それでも問題が解決しない場合は，使用したビジネスプロセス定義ファイル，出力されたメッセージファイル，およびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW40203-W

An unsupported definition type was ignored. definition-type = *aa....aa*, xmi-id = *bb....bb*
未サポートの定義種別は無視されました。定義種別 = *aa....aa*, XMI 属性 ID = *bb....bb*

aa....aa：定義種別※

bb....bb：XMI 属性 ID

注※

PARALLEL_ACTIVITY_WORK_DEFINITION：並列業務ステップ作業定義
TIME_WORK_DEFINITION：計時作業定義
ACTIVITY_ADVANCE_START_WORK_DEFINITION：先手通知作業定義
LOGICAL_DATA_ITEM_DEFINITION：論理データ項目定義
PROCESS_DATA_DEFINITION：プロセスデータ定義
EXTERNAL_INFORMATION_DEFINITION：外部情報定義

LINK_DEFINITION：リレーション定義

PLUGIN_ATTRIBUTE_DEFINITION：プラグイン属性定義

要因

次に示す要因が考えられます。

- ビジネスプロセス定義ではないデータがあります。
- 未サポートの定義種別が存在するビジネスプロセス定義があります。

対処

対処の必要はありません。処理は続行されます。

KDIW40204-W

An unsupported value in the process definition was ignored. element-name = *aa....aa*, xmi-id = *bb....bb*

ビジネスプロセス定義内の未サポート値は無視されました。要素名 = *aa....aa*, XMI 属性 ID = *bb....bb*

aa....aa：要素名※

bb....bb：XMI 属性 ID

注※

BPDefinition.BpCondition.Type：条件定義の種別

BPDefinition.BpCreationRule.Type：生成ルール定義の種別

BPDefinition.BpTimeRule.Type：時間取得ルール定義の種別

BPDefinition.BpApplication.Type：作業アプリケーション定義の種別

要因

未サポートの要素の値が存在する定義があります。

対処

対処の必要はありません。処理は続行されます。

KDIW40205-W

A property value was deleted, because the definition which was referenced by the property value does not exist. definition-type = *aa....aa*, definition-name = *bb....bb*, property-name = *cc....cc*, property-value = *dd....dd*

定義のプロパティで指定している参照先定義が存在していないため，そのプロパティに設定していたプロパティ値を削除しました。定義種別 ＝*aa....aa*, 定義名 ＝*bb....bb*, プロパティ名 ＝*cc....cc*, 削除したプロパティ値 ＝*dd....dd*

aa....aa：定義種別

bb....bb：定義名

cc....cc：プロパティ名

dd....dd：削除したプロパティ値

要因

参照先の定義が存在しない要素を持つ定義があります。

対処

対処の必要はありません。処理は続行されます。

KDIW40206-E

An exception occurred during internal processing. details ＝*aa....aa*
内部処理中にエラーが発生しました。詳細 ＝*aa....aa*

aa....aa：エラーの詳細

要因

予期しない例外が発生しました。

対処

使用したビジネスプロセス定義ファイル，出力されたメッセージファイル，およびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW40207-W

A property value was deleted because the property value was unsupported value. definition-type ＝*aa....aa*, definition-name ＝*bb....bb*, property-name ＝*cc....cc*, property-value ＝*dd....dd*
サポートしていないプロパティ値を定義に指定しているため，そのプロパティ値を定義から削除しました。定義種別 ＝*aa....aa*, 定義名 ＝*bb....bb*, プロパティ名 ＝*cc....cc*, 削除したプロパティ値 ＝*dd....dd*

aa....aa：定義種別

bb....bb：定義名

cc....cc：プロパティ名

dd....dd：削除したプロパティ値

要因

参照先が存在しない要素を持つ定義があります。

対処

対処の必要はありません。処理は続行されます。

KDIW40208-W

The child work definition has been added to the parallel work definition. parallel-work-definition-name = *aa....aa*, child-work-definition-name = *bb....bb*

子作業定義を持たない並列作業定義に対して新規の子作業定義を追加しました。並列作業定義名 = *aa....aa*, 子作業定義名 = *bb....bb*

aa....aa：追加した子作業定義を保持する並列作業定義名

bb....bb：追加した子作業定義名

要因

子作業定義を持たない並列作業定義があります。

対処

対処の必要はありません。処理は続行されます。

KDIW40209-W

The ad hoc request of the specified process definition was changed to unused. process-definition-name = *aa....aa*

指定されたビジネスプロセス定義のアドホック要求を未使用に変更しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

要因

WorkCoordinator Definer Version 3 または Version 6 より前のバージョンか，CSCIW-Definer 以外で作成したビジネスプロセス定義が読み込まれ，「アドホック要求を利用する」が指定されていました。

対処

CSCIW でアドホック API を利用する場合は，CSCIW-Definer のビジネスプロセス定義プロパティ画面で「アドホック API を使用する」のチェックを入れてください。

7.4 KDIW40300～KDIW40399

KDIW40300-E

An attempt to read the property file has failed. details = *aa....aa*
プロパティファイルの読み込みに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの詳細

要因

プロパティファイルの読み込みに失敗しました。

対処

エラーの詳細を参照し，障害を取り除いて操作を再実行してください。それでも問題が解決しない場合は，インストールをし直してください。

KDIW40301-E

The contents of the csciw definer property file are invalid. property-key = *aa....aa*, value = *bb....bb*
ビジネスプロセス管理プロパティファイルの内容が不正です。プロパティキー = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：指定値

要因

ビジネスプロセス管理プロパティファイルのプロパティキーに指定した値に誤りがあります。

対処

ビジネスプロセス管理プロパティファイルのプロパティキーに指定できる値をマニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド」で確認し，正しい値を指定してください。そのあと，Eclipse を再起動してください。

特記事項

このメッセージが出力されると，java.lang.ClassNotFoundException が発生したと表示され，ビジネスプロセス管理の機能が実行できないことがあります。この場合は対処の内容に従ってください。

KDIW40302-E

A property key in the class name settings property file is invalid. property-key = *aa....aa*
クラス名設定プロパティファイルのプロパティキーが不正です。プロパティキー = *aa....aa*

aa....aa：プロパティキー

要因

クラス名設定プロパティファイルのプロパティキーに誤りがあります。

対処

クラス名設定プロパティファイルに指定できるプロパティキーをマニュアル「uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow システム構築・運用ガイド」で確認し，正しいキーを指定してください。そのあと，Eclipse を再起動してください。

KDIW40303-E

The contents of the class name settings property file are invalid. property-key = *aa....aa*, value = *bb....bb*
クラス名設定プロパティファイルの内容が不正です。プロパティキー = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：指定値

要因

次に示す要因が考えられます。

- クラス名設定プロパティファイルのプロパティキーに指定した値が，指定できる値の最大値を超えています。
- クラス名設定プロパティファイルのプロパティキーに指定した値が長さ 0 の文字列です。
- クラス名設定プロパティファイルのプロパティキーに指定した値に Java 識別子として使用できない文字が指定されています。

対処

次に示す対処をしてください。

- 次に示すテーブルの`ClassName` カラムで定義した最大バイト数を確認し，クラス名設定プロパティファイルのプロパティキーに指定した値が，確認した値以下になるようにしてください。そのあと，Eclipse を再起動してください。
  - **・条件の場合**

    `<SYSTEMID>_CONDITION_JAVA_DEF`
  - **・生成ルールの場合**

<SYSTEMID>_CREATIONRULE_JAVA_DEF

・作業アプリケーションの場合

<SYSTEMID>_APPLICATION_JAVA_DEF

・振り分けルールの場合

<SYSTEMID>_CASTINGRULE_JAVA_DEF

- クラス名設定プロパティファイルのプロパティキーに指定した値が，1 バイト以上であることを確認してください。そのあと，Eclipse を再起動してください。
- クラス名設定プロパティファイルのプロパティキーに指定した Java クラス名に Java 識別子として使用できない文字列が含まれていないことを確認してください。そのあと，Eclipse を再起動してください。

KDIW40304-E

The value of the specified property key is invalid. property-key = *aa....aa*, value = *bb....bb*
指定されているプロパティキーの値が不正です。プロパティキー = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：プロパティキー

bb....bb：指定された値

対処

csciwrestclient.properties で指定したプロパティを修正してください。そのあと，Eclipse を再起動してください。

7.5 KDIW40400～KDIW40499

KDIW40400-E

Registration of a definition has failed because the definition is invalid.
定義にエラーがあるため，登録できませんでした。

要因

定義の内容にエラーがあります。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，エラーの原因を取り除いてください。そのあと，定義を再登録してください。

KDIW40401-I

The definition has been registered successfully.
定義の登録に成功しました。

要因

ビジネスプロセス定義，または振り分けルール定義の登録が成功しました。

対処

必要ありません。

KDIW40402-I

The definition has been modified successfully.
定義の属性変更に成功しました。

要因

ビジネスプロセス定義，または振り分けルール定義の属性変更が成功しました。

対処

必要ありません。

KDIW40403-I

The definition has been deleted successfully.
定義の削除に成功しました。

要因

ビジネスプロセス定義，または振り分けルール定義の削除が成功しました。

対処

必要ありません。

KDIW40404-W

No available casting rule definition was found. activity-definition-name = *aa....aa*, work-definition-name = *bb....bb*, casting-rule-name = *cc....cc*
使用可能な振り分けルール定義がありません。業務ステップ定義名 = *aa....aa*, 作業定義名 = *bb....bb*, 振り分けルール名 = *cc....cc*

aa....aa：業務ステップ定義名

bb....bb：作業定義名

cc....cc：振り分けルール名

要因

作業に指定された振り分けルールに，使用できる定義がありません。
次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義が登録されていません。
- 振り分けルール定義が「非活性」状態です。
- 振り分けルール定義が有効期間外です。

対処

次に示す対処をしてください。

- **振り分けルール定義が登録されていない場合**
  振り分けルール定義を新規に登録するか，またはすでに登録している「活性」状態で有効期間内の振り分けルール定義を指定してください。
- **振り分けルール定義が「非活性」状態の場合**
  振り分けルール定義の状態を「活性」状態に変更してください。
- **振り分けルール定義が有効期間外の場合**
  振り分けルール定義の有効期間を変更してください。

7.6 KDIW40500～KDIW40599

KDIW40501-E

An attempt to parse the casting rule definition has failed. details = *aa....aa*
振り分けルール定義の解析に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- 振り分けルール定義ではないデータがあります。
- 不正な形式の振り分けルール定義があります。
- 不正な文字列を含む振り分けルール定義があります。
- WorkCoordinator Definer Version 6 より前のバージョン，または CSCIW-Definer 以外で作成した振り分けルール定義があります。

対処

Eclipse を再起動し，定義の読み込みを再実行してください。

それでも問題が解決しない場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

7.7 KDIW40600～KDIW40699

KDIW40600-E

The name of the specified process definition file does not match the format of a file name that has been transformed by BPNN Business Process Editor or the ciwtransbpmn command. file ＝*aa....aa*

指定したビジネスプロセス定義ファイルが BPMN エディタまたは`ciwtransbpmn` コマンドで変換済みのビジネスプロセス定義ファイル名のフォーマットと一致しません。ファイル名 ＝*aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

BPMN エディタまたは`ciwtransbpmn` コマンドを使用して変換していないビジネスプロセス定義ファイルが指定されたおそれがあります。

対処

BPMN エディタまたは`ciwtransbpmn` コマンドを使用して変換したビジネスプロセス定義ファイルを指定して，ビジネスプロセス定義登録メニューを再実行してください。

KDIW40601-E

A BPMN definition file of the same name and version as the specified process definition file could not be found in the same directory. file ＝*aa....aa*

指定されたビジネスプロセス定義ファイルと同一名・同一バージョンの BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが同一ディレクトリに存在しません。ファイル名 ＝*aa....aa*

aa....aa：ファイル名

要因

指定されたビジネスプロセス定義ファイルと同一名・同一バージョンの BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが同一ディレクトリに存在しません。

対処

BPMN エディタまたは`ciwtransbpmn` コマンドで変換済みの CSCIW のビジネスプロセス定義ファイルと BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを同一ディレクトリに配置したあと，ビジネスプロセス定義登録メニューを再実行してください。

KDIW40602-E

An attempt to read the CSCIW process definition file or the BPMN definition file failed. details = *aa....aa*

CSCIW のビジネスプロセス定義ファイル，または BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの読み込みに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

CSCIW のビジネスプロセス定義ファイル，または BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの読み込みに失敗しました。

対処

詳細情報を参照し，エラーの要因を取り除いたあと，ビジネスプロセス定義登録メニューを再実行してください。

KDIW40603-E

A process definition of the same name and version already exists. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*

同一名・同一バージョンのビジネスプロセス定義が既に存在します。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

同一名・同一バージョンのビジネスプロセス定義がすでに存在します。

対処

ビジネスプロセス定義を確認してから，ビジネスプロセス定義登録メニューを再実行してください。

KDIW40604-E

The size of the specified BPMN definition file exceeds the maximum size. file = *aa....aa*, file-size = *bb....bb*, maximum-size = *cc....cc*

指定した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが規定値を超えています。ファイル名 = *aa....aa*, ファイルサイズ = *bb....bb*, 最大サイズ = *cc....cc*

aa....aa：ファイル名

bb....bb：ファイルサイズ（バイト）

cc....cc：規定された最大サイズ（バイト）

要因

指定したBPMNビジネスプロセス定義ファイルのファイルサイズが4メガバイト（4,194,304バイト）を超えました。

対処

`-bpmnf`オプションを指定しないで`ciwmngbp`コマンドを実行して，ビジネスプロセス定義を登録してください。

8

KDIW50000～KDIW59999

この章では，システムの監査で使用するメッセージについて説明します。

8.1 KDIW50000～KDIW50999

KDIW50000-I

aa....aa successfully logged in to uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer.

aa....aa が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer のログインに成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50000-I
ctgry	監査事象の種別	Authentication
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Login
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* successfully logged in to uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer. *aa....aa* が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer のログインに成功しました。 **説明** *aa....aa* が CSCIWManagementServer にログインしました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

CSCIWManagementServer へのログイン

出力ポイント

CSCIWManagementServer へのログインの成功時

KDIW50001-E

An attempt by *aa....aa* to log in to uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer has failed.

aa....aa が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer のログインに失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50001-E
ctgry	監査事象の種別	Authentication
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Login
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to log in to uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer has failed. *aa....aa* が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer のログインに失敗しました。 **説明** *aa....aa* が CSCIWManagementServer のログインに失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

CSCIWManagementServer へのログイン

出力ポイント

CSCIWManagementServer へのログインの失敗時

KDIW50002-I

aa....aa successfully logged out of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer.

aa....aa が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer のログアウトに成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50002-I
ctgry	監査事象の種別	Authentication
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Logout
msg	自由記述	メッセージ本文 *aa....aa* successfully logged out of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer. *aa....aa* が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow ManagementServer のログアウトに成功しました。 説明 *aa....aa* が CSCIWManagementServer からログアウトしました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

CSCIWManagementServer からのログアウト

出力ポイント

CSCIWManagementServer からのログアウトの成功時

KDIW50003-I

aa....aa executed the operation (*bb....bb*).

aa....aa がオペレーション (*bb....bb*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50003-I

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the operation (*bb....bb*). *aa....aa* がオペレーション (*bb....bb*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がオペレーション（*bb....bb*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- BP_REGISTER：ビジネスプロセス定義の新規登録
- BP_OVERWRITE：ビジネスプロセス定義の上書き登録
- BP_CHANGE：ビジネスプロセス定義の属性変更
- BP_DELETE：ビジネスプロセス定義の削除
- CR_REGISTER：振り分けルール定義の新規登録
- CR_OVERWRITE：振り分けルール定義の上書き登録
- CR_CHANGE：振り分けルール定義の属性変更
- CR_DELETE：振り分けルール定義の削除

出力ポイント

オペレーションの開始時

KDIW50004-I

The operation (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful.
dd....dd が実行したオペレーション (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50004-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** The operation (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful. *dd....dd* が実行したオペレーション (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*) は成功しました。 **説明** *dd....dd* が実行したオペレーション（*aa....aa*，PDN：*bb....bb*，PDV：*cc....cc*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したオペレーション

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン

dd....dd：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- BP_REGISTER：ビジネスプロセス定義の新規登録
- BP_OVERWRITE：ビジネスプロセス定義の上書き登録
- BP_CHANGE：ビジネスプロセス定義の属性変更
- BP_DELETE：ビジネスプロセス定義の削除

出力ポイント

オペレーションの成功時

KDIW50005-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) has failed.

aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50005-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*，PDN：*cc....cc*，PDV：*dd....dd*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- BP_CHANGE：ビジネスプロセス定義の属性変更
- BP_DELETE：ビジネスプロセス定義の削除

出力ポイント

オペレーションの失敗時

KDIW50006-I

aa....aa executed the operation (*bb....bb*).
aa....aa がオペレーション (*bb....bb*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50006-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the operation (*bb....bb*). *aa....aa* がオペレーション (*bb....bb*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がオペレーション（*bb....bb*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID
bb....bb：実行したオペレーション

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- BP_GET：ビジネスプロセス定義の情報取得
- CR_GET：振り分けルール定義の情報取得

出力ポイント

オペレーションの開始時

KDIW50007-I

The operation (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful.
dd....dd が実行したオペレーション (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50007-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** The operation (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful. *dd....dd* が実行したオペレーション (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*) は成功しました。 **説明** *dd....dd* が実行したオペレーション（*aa....aa*，PDN：*bb....bb*，PDV：*cc....cc*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したオペレーション

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン

dd....dd：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

BP_GET：ビジネスプロセス定義の情報取得

出力ポイント

オペレーションの成功時

KDIW50008-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) has failed.

aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50008-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*，PDN：*cc....cc*，PDV：*dd....dd*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

BP_GET：ビジネスプロセス定義の情報取得

出力ポイント

オペレーションの失敗時

KDIW50010-I

The operation (*aa....aa*, CRN:*bb....bb*, CRV:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful.
dd....dd が実行したオペレーション (*aa....aa*, CRN:*bb....bb*, CRV:*cc....cc*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50010-I

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** The operation (*aa....aa*, CRN:*bb....bb*, CRV:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful. *dd....dd* が実行したオペレーション (*aa....aa*, CRN:*bb....bb*, CRV:*cc....cc*) は成功しました。 **説明** *dd....dd* が実行したオペレーション（*aa....aa*，CRN：*bb....bb*，CRV：*cc....cc*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したオペレーション

bb....bb：振り分けルール名

cc....cc：振り分けルール定義のバージョン

dd....dd：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- CR_REGISTER：振り分けルール定義の新規登録
- CR_OVERWRITE：振り分けルール定義の上書き登録
- CR_CHANGE：振り分けルール定義の属性変更
- CR_DELETE：振り分けルール定義の削除

出力ポイント

オペレーションの成功時

KDIW50011-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) has failed.

aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*, CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50011-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*, CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*，CRN：*cc....cc*，CRV：*dd....dd*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：振り分けルール名

dd....dd：振り分けルール定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- CR_CHANGE：振り分けルール定義の属性変更
- CR_DELETE：振り分けルール定義の削除

出力ポイント

オペレーションの失敗時

KDIW50013-I

The operation (*aa....aa*, CRN:*bb....bb*, CRV:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful.

dd....dd が実行したオペレーション (*aa....aa*, CRN:*bb....bb*, CRV:*cc....cc*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW500013-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** The operation (*aa....aa*, CRN:*bb....bb*, CRV:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful. *dd....dd* が実行したオペレーション (*aa....aa*, CRN:*bb....bb*, CRV:*cc....cc*) は成功しました。 **説明** *dd....dd* が実行したオペレーション（*aa....aa*，CRN：*bb....bb*，CRV：*cc....cc*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したオペレーション

bb....bb：振り分けルール名

cc....cc：振り分けルール定義のバージョン

dd....dd：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

CR_GET：振り分けルール定義の情報取得

出力ポイント

オペレーションの成功時

KDIW50014-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) has failed.

aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*, CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50014-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*, CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*，CRN：*cc....cc*，CRV：*dd....dd*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：振り分けルール名

dd....dd：振り分けルール定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

CR_GET：振り分けルール定義の情報取得

出力ポイント

オペレーションの失敗時

KDIW50015-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*) has failed.

aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50015-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- BP_REGISTER：ビジネスプロセス定義の新規登録
- BP_OVERWRITE：ビジネスプロセス定義の上書き登録

出力ポイント

オペレーションの失敗時

KDIW50016-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*) has failed.
aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW50016-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- CR_REGISTER：振り分けルール定義の新規登録
- CR_OVERWRITE：振り分けルール定義の上書き登録

出力ポイント

オペレーションの失敗時

8.2 KDIW51000～KDIW51999

KDIW51000-I

aa....aa executed the command (*bb....bb*).
aa....aa がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51000-I
ctgry	監査事象の種別	ConfigurationAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the command (*bb....bb*). *aa....aa* がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がコマンド（*bb....bb*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID
bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciwchgenv`
- `ciwcleanup`
- `ciwreuseid`
- `ciwsetenv`

注

コマンドに-fileオプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの実行時

KDIW51001-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful.

bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51001-I
ctgry	監査事象の種別	ConfigurationAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。 **説明** *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド

bb....bb：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- ciwchgenv

- ciwcleanup
- ciwreuseid
- ciwsetenv

注

コマンドに-fileオプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51002-E

An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed.

aa....aa が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51002-E
ctgry	監査事象の種別	ConfigurationAccess
result	監査事象の結果	Failure
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed. *aa....aa* が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したコマンド（*bb....bb*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- ciwchgenv
- ciwcleanup
- ciwreuseid
- ciwsetenv

注

コマンドに-fileオプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの失敗時

KDIW51003-I

aa....aa executed the command (*bb....bb*).

aa....aa がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51003-I
ctgry	監査事象の種別	ConfigurationAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the command (*bb....bb*). *aa....aa* がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がコマンド（*bb....bb*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciwchgenv`
- `ciwlistsid`
- `ciwreuseid`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの実行時

KDIW51004-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful.
bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51004-I
ctgry	監査事象の種別	ConfigurationAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。 **説明** *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド

bb....bb：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciwchgenv`
- `ciwlistsid`
- `ciwreuseid`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51005-E

An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed.

aa....aa が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51005-E
ctgry	監査事象の種別	ConfigurationAccess
result	監査事象の結果	Failure
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed. *aa....aa* が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したコマンド（*bb....bb*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciwchgenv`
- `ciwlistsid`
- `ciwreuseid`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの失敗時

KDIW51006-I

aa....aa executed the command (*bb....bb*).

aa....aa がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51006-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update • Delete
msg	自由記述	メッセージ本文 *aa....aa* executed the command (*bb....bb*). *aa....aa* がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msg	自由記述	説明 *aa....aa* がコマンド（*bb....bb*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciwdelpi`
- `ciweditbp`
- `ciwmngbp`
- `ciwmngcr`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの実行時

KDIW51007-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful.

bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51007-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Delete

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msg	自由記述	メッセージ本文 The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。 説明 *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド

bb....bb：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

`ciwdelpi`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51008-E

An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed.

aa....aa が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51008-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
op	動作情報	• Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed. *aa....aa* が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したコマンド（*bb....bb*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciwdelpi`
- `ciweditbp`
- `ciwmngbp`
- `ciwmngcr`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの失敗時

KDIW51009-I

aa....aa executed the command (*bb....bb*).

aa....aa がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51009-I

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the command (*bb....bb*). *aa....aa* がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がコマンド（*bb....bb*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciweditbp`
- `ciwexpwcodef`
- `ciwmngbp`
- `ciwmngcr`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの実行時

KDIW51010-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful.

bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51010-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。 **説明** *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド

bb....bb：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

`ciwexpwcodef`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51011-E

An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed.

aa....aa が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51011-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed. *aa....aa* が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したコマンド（*bb....bb*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciweditbp`
- `ciwexpwcodef`
- `ciwmngbp`
- `ciwmngcr`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの失敗時

KDIW51012-I

aa....aa executed the command (*bb....bb*).

aa....aa がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51012-I
ctgry	監査事象の種別	Maintenance
result	監査事象の結果	Occurrence
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the command (*bb....bb*). *aa....aa* がコマンド (*bb....bb*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がコマンド（*bb....bb*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

`ciwsetenv`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの実行時

KDIW51013-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful.

bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51013-I
ctgry	監査事象の種別	Maintenance
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。 **説明** *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド

bb....bb：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

`ciwsetenv`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51014-E

An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed.

aa....aa が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51014-E
ctgry	監査事象の種別	Maintenance
result	監査事象の結果	Failure
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the command (*bb....bb*) has failed. *aa....aa* が実行したコマンド (*bb....bb*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したコマンド（*bb....bb*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したコマンド

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

`ciwsetenv`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの失敗時

KDIW51015-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*)
bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*).

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51015-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Add • Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*). **説明** *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。(PDN：*cc....cc*, PDV：*dd....dd*)

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド

bb....bb：ユーザ ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciweditbp`
- `ciwmngbp`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51016-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*)
bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*).

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51016-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*). **説明** *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。(PDN：*cc....cc*, PDV：*dd....dd*)

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド
bb....bb：ユーザ ID
cc....cc：ビジネスプロセス定義名
dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

- `ciweditbp`
- `ciwmngbp`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r
・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51017-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*)
bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*).

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51017-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Refer • Add • Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*). **説明** *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。（CRN：*cc....cc*, CRV：*dd....dd*）

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド
bb....bb：ユーザ ID
cc....cc：振り分けルール名
dd....dd：振り分けルール定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

```
ciwmngcr
```

注

コマンドに-fileオプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51018-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*)

bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*).

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51018-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Refer
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*) *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(CRN:*cc....cc*, CRV:*dd....dd*). **説明** *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。（CRN：*cc....cc*, CRV：*dd....dd*）

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド

bb....bb：ユーザ ID

cc....cc：振り分けルール名

dd....dd：振り分けルール定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

`ciwmngcr`

注

コマンドに-fileオプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51019-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*, DefType:*ee....ee*, DefName:*ff....ff*)

bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*, DefType:*ee....ee*, DefName:*ff....ff*).

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51019-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*, DefType:*ee....ee*, DefName:*ff....ff*) *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*, DefType:*ee....ee*, DefName:*ff....ff*). **説明** *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。(PDN：*cc....cc*, PDV：*dd....dd*，DefType：*ee....ee*，DefName：*ff....ff*)

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド

bb....bb：ユーザ ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義バージョン

ee....ee：定義種別

ff....ff：定義名

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

`ciwchgdef`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

KDIW51020-I

The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (PDN:*cc....cc*, DefType:*dd....dd*, DefName:*ee....ee*)

bb....bb が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(PDN:*cc....cc*, DefType:*dd....dd*, DefName:*ee....ee*).

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW51020-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** The command (*aa....aa*) executed by *bb....bb* was successful. (PDN:*cc....cc*, DefType:*dd....dd*, DefName:*ee....ee*) *bb....bb* が実行したコマンド (*aa....aa*) は成功しました。(PDN:*cc....cc*, DefType:*dd....dd*, DefName:*ee....ee*).

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msg	自由記述	説明 *bb....bb* が実行したコマンド（*aa....aa*）は成功しました。（PDN：*cc....cc*，DefType：*dd....dd*，DefName：*ee....ee*）

（凡例）

aa....aa：実行したコマンド

bb....bb：ユーザ ID

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：定義種別

ee....ee：定義名

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

コマンド

`ciwchgdef`

注

コマンドに`-file`オプションを指定している場合，ファイルの内容が出力されます。なお，ファイルの内容に改行コード（「CR」または「LF」）が含まれているときは，次に示す文字列に置換されます。

・CR：¥r

・LF：¥n

出力ポイント

コマンドの成功時

8.3 KDIW52000～KDIW52999

KDIW52000-I

aa....aa successfully logged in to uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator.

aa....aa が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作のログインに成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52000-I
ctgry	監査事象の種別	Authentication
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Login
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* successfully logged in to uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator. *aa....aa* が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作のログインに成功しました。 **説明** *aa....aa* が案件運用操作のログインに成功しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

案件運用操作へのログイン

出力ポイント

案件運用操作へのログインの成功時

KDIW52001-E

An attempt by *aa....aa* to log in to uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator has failed.

aa....aa が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作のログインに失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52001-E
ctgry	監査事象の種別	Authentication
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Login
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to log in to uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator has failed. *aa....aa* が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作のログインに失敗しました。 **説明** *aa....aa* が案件運用操作のログインに失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

案件運用操作へのログイン

出力ポイント

案件運用操作へのログインの失敗時

KDIW52002-I

aa....aa successfully logged out of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator.

aa....aa が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作のログアウトに成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52002-I
ctgry	監査事象の種別	Authentication
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Logout
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* successfully logged out of uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Process Instance Administrator. *aa....aa* が uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow 案件運用操作のログアウトに成功しました。 **説明** *aa....aa* が案件運用操作のログアウトに成功しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

案件運用操作からのログアウト

出力ポイント

案件運用操作からのログアウトの成功時

KDIW52003-I

aa....aa executed the operation (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*).

aa....aa がオペレーション (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52003-I

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Add
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the operation (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*). *aa....aa* がオペレーション (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がオペレーション（*bb....bb*，PDN：*cc....cc*，PDV：*dd....dd*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- PI_CREATE：案件の生成
- PI_CREATE_AND_START：案件の生成と開始

出力ポイント

オペレーションの開始時

KDIW52004-I

The operation (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*, PIID:*dd....dd*) executed by *ee....ee* was successful.

ee....ee が実行したオペレーション (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*, PIID:*dd....dd*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52004-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Add
msg	自由記述	**メッセージ本文** The operation (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*, PIID:*dd....dd*) executed by *ee....ee* was successful. *ee....ee* が実行したオペレーション (*aa....aa*, PDN:*bb....bb*, PDV:*cc....cc*, PIID:*dd....dd*) は成功しました。 **説明** *ee....ee* が実行したオペレーション（*aa....aa*，PDN：*bb....bb*，PDV：*cc....cc*，PIID：*dd....dd*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したオペレーション

bb....bb：ビジネスプロセス定義名

cc....cc：ビジネスプロセス定義のバージョン

dd....dd：案件 ID

ee....ee：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- PI_CREATE：案件の生成
- PI_CREATE_AND_START：案件の生成と開始

出力ポイント

オペレーションの成功時

KDIW52005-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) has failed.

aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52005-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Add
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*, PDN:*cc....cc*, PDV:*dd....dd*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*，PDN：*cc....cc*，PDV：*dd....dd*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：ビジネスプロセス定義名

dd....dd：ビジネスプロセス定義のバージョン

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- PI_CREATE：案件の生成
- PI_CREATE_AND_START：案件の生成と開始

出力ポイント

オペレーションの失敗時

KDIW52006-I

aa....aa executed the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*).

aa....aa がオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52006-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*). *aa....aa* がオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がオペレーション（*bb....bb*，PIID：*cc....cc*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：案件 ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- PI_START：案件の開始
- PI_SUSPEND：案件の中断
- PI_RESUME：案件の再開
- PI_TERMINATE：案件の強制終了
- PI_DELETE：案件の削除

出力ポイント

オペレーションの開始時

KDIW52007-I

The operation (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*) executed by *cc....cc* was successful.

cc....cc が実行したオペレーション (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52007-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** The operation (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*) executed by *cc....cc* was successful. *cc....cc* が実行したオペレーション (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*) は成功しました。 **説明** *cc....cc* が実行したオペレーション（*aa....aa*，PIID：*bb....bb*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したオペレーション

bb....bb：案件 ID

cc....cc：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- PI_START：案件の開始
- PI_SUSPEND：案件の中断
- PI_RESUME：案件の再開
- PI_TERMINATE：案件の強制終了
- PI_DELETE：案件の削除

出力ポイント

オペレーションの成功時

KDIW52008-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb,* PIID:*cc....cc*) has failed.
aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52008-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	• Update • Delete
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*，PIID：*cc....cc*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：案件 ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- PI_START：案件の開始
- PI_SUSPEND：案件の中断
- PI_RESUME：案件の再開
- PI_TERMINATE：案件の強制終了
- PI_DELETE：案件の削除

出力ポイント

オペレーションの失敗時

KDIW52009-I

aa....aa executed the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, AIID:*dd....dd*).

aa....aa がオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, AIID:*dd....dd*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52009-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, AIID:*dd....dd*). *aa....aa* がオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, AIID:*dd....dd*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がオペレーション（*bb....bb*，PIID：*cc....cc*，AIID：*dd....dd*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：案件 ID

dd....dd：業務ステップ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- AI_ACTIVATE：業務ステップの活性化
- AI_SUSPEND：業務ステップの中断
- AI_RESUME：業務ステップの再開
- AI_COMPLETE：業務ステップの完了
- AI_TERMINATE：業務ステップの強制終了

出力ポイント

オペレーションの開始時

KDIW52010-I

The operation (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, AIID:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful.
dd....dd が実行したオペレーション (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, AIID:*cc....cc*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52010-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	メッセージ本文 The operation (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, AIID:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful. *dd....dd* が実行したオペレーション (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, AIID:*cc....cc*) は成功しました。 説明 *dd....dd* が実行したオペレーション（*aa....aa*，PIID：*bb....bb*，AIID：*cc....cc*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したオペレーション

bb....bb：案件 ID

cc....cc：業務ステップ ID

dd....dd：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- AI_ACTIVATE：業務ステップの活性化
- AI_SUSPEND：業務ステップの中断
- AI_RESUME：業務ステップの再開
- AI_COMPLETE：業務ステップの完了
- AI_TERMINATE：業務ステップの強制終了

出力ポイント

オペレーションの成功時

KDIW52011-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, AIID:*dd....dd*) has failed.

aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, AIID:*dd....dd*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52011-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, AIID:*dd....dd*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, AIID:*dd....dd*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*，PIID：*cc....cc*，AIID：*dd....dd*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：案件 ID

dd....dd：業務ステップ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- AI_ACTIVATE：業務ステップの活性化
- AI_SUSPEND：業務ステップの中断
- AI_RESUME：業務ステップの再開
- AI_COMPLETE：業務ステップの完了
- AI_TERMINATE：業務ステップの強制終了

出力ポイント

オペレーションの失敗時

KDIW52012-I

aa....aa executed the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*).

aa....aa がオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*) を実行しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52009-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Occurrence
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** *aa....aa* executed the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*). *aa....aa* がオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*) を実行しました。 **説明** *aa....aa* がオペレーション（*bb....bb*，PIID：*cc....cc*，WIID：*dd....dd*）を実行しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：案件 ID

dd....dd：作業 ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- WI_PERFORM：作業の着手
- WI_SUSPEND：作業の中断
- WI_RESUME：作業の再開
- WI_COMPLETE：作業の完了

- WI_BACK_OR_READY：作業の返却または作業準備済み
- WI_TERMINATE：作業の強制終了
- WI_REASSIGN：作業の作業者再割り当て

出力ポイント

オペレーションの開始時

KDIW52013-I

The operation (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, WIID:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful.
dd....dd が実行したオペレーション (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, WIID:*cc....cc*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52013-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** The operation (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, WIID:*cc....cc*) executed by *dd....dd* was successful. *dd....dd* が実行したオペレーション (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, WIID:*cc....cc*) は成功しました。 **説明** *dd....dd* が実行したオペレーション（*aa....aa*，PIID：*bb....bb*，WIID：*cc....cc*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したオペレーション
bb....bb：案件 ID
cc....cc：作業 ID
dd....dd：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- WI_PERFORM：作業の着手
- WI_SUSPEND：作業の中断
- WI_RESUME：作業の再開
- WI_COMPLETE：作業の完了
- WI_BACK_OR_READY：作業の返却または作業準備済み
- WI_TERMINATE：作業の強制終了
- WI_REASSIGN：作業の作業者再割り当て

出力ポイント

オペレーションの成功時

KDIW52014-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*) has failed.

aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52014-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update
msg	自由記述	メッセージ本文 An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*) は失敗しました。 説明 *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*，PIID：*cc....cc*，WIID：*dd....dd*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：案件 ID

dd....dd：作業 ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

- WI_PERFORM：作業の着手
- WI_SUSPEND：作業の中断
- WI_RESUME：作業の再開
- WI_COMPLETE：作業の完了
- WI_BACK_OR_READY：作業の返却または作業準備済み
- WI_TERMINATE：作業の強制終了
- WI_REASSIGN：作業の作業者再割り当て

出力ポイント

オペレーションの失敗時

KDIW52016-I

The operation (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, WIID:*cc....cc*, PARTICIPANT:*dd....dd*) executed by *ee....ee* was successful.

ee....ee が実行したオペレーション (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, WIID:*cc....cc* , PARTICIPANT:*dd....dd*) は成功しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52016-I
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Success
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID
op	動作情報	Update

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msg	自由記述	メッセージ本文 The operation (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, WIID:*cc....cc*, PARTICIPANT:*dd....dd*) executed by *ee....ee* was successful. *ee....ee* が実行したオペレーション (*aa....aa*, PIID:*bb....bb*, WIID:*cc....cc* , PARTICIPANT:*dd....dd*) は成功しました。 説明 *ee....ee* が実行したオペレーション（*aa....aa*，PIID：*bb....bb*，WIID：*cc....cc*，PARTICIPANT：*dd....dd*）は成功しました。

（凡例）

aa....aa：実行したオペレーション

bb....bb：案件 ID

cc....cc：作業 ID

dd....dd：作業者 ID

ee....ee：ユーザ ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

WI_REASSIGN：作業の作業者再割り当て

出力ポイント

オペレーションの成功時

KDIW52017-E

An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*, PARTICIPANT:*ee....ee*) has failed.

aa....aa が実行したオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*, PARTICIPANT:*ee....ee*) は失敗しました。

メッセージの内容

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
msgid	メッセージ ID	KDIW52017-E
ctgry	監査事象の種別	ContentAccess
result	監査事象の結果	Failure
subj:euid	サブジェクト識別情報	ユーザ ID
obj	システム ID	システム ID

出力項目名	出力項目の意味	出力内容
op	動作情報	Update
msg	自由記述	**メッセージ本文** An attempt by *aa....aa* to execute the operation (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*, PARTICIPANT:*ee....ee*) has failed. *aa....aa* が実行したオペレーション (*bb....bb*, PIID:*cc....cc*, WIID:*dd....dd*, PARTICIPANT:*ee....ee*) は失敗しました。 **説明** *aa....aa* が実行したオペレーション（*bb....bb*，PIID：*cc....cc*，WIID：*dd....dd*，PARTICIPANT：*ee....ee*）は失敗しました。

（凡例）

aa....aa：ユーザ ID

bb....bb：実行したオペレーション

cc....cc：案件 ID

dd....dd：作業 ID

ee....ee：作業者 ID

「メッセージの内容」以外の出力項目については，「2.2.3　メッセージの出力項目」を参照してください。

オペレーション

WI_REASSIGN：作業の作業者再割り当て

出力ポイント

オペレーションの失敗時

9 KDIW60000～KDIW69999

この章では，BPMN 連携機能に関するメッセージについて説明します。

9.1 KDIW60000～KDIW60499

KDIW60001-E

The BPMN XML is not well-formed.Error Message: '*aa....aa*'.
BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの形式が不正です。エラーメッセージ: '*aa....aa*'

- *aa....aa*
  パーサによる具体的なメッセージ

対処

エラーメッセージに従って，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正してください。

KDIW60002-E

The BPMN XML contains one or more non-supported elements/XML tags '*aa....aa*'.
BPMN ビジネスプロセス定義ファイルに 1 つまたは複数のサポートされていない要素，または XML タグ'*aa....aa*'が含まれています。

- *aa....aa*
  サポートされていない要素，または XML タグの名前

対処

エラーメッセージに従って，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正してください。

KDIW60003-E

A validation error occurred: '*aa....aa*'.
検証エラーが発生しました: '*aa....aa*'

- *aa....aa*
  エラーメッセージ

対処

エラーメッセージに従って，適切な値を入力してください。

KDIW60005-I

Validation of the BPMN business process definition will now start.
BPMN ビジネスプロセス定義の検証を開始します。

KDIW60006-I

Validation of the BPMN business process definition is complete. number-of-error = *aa....aa*
BPMN ビジネスプロセス定義の検証が終了しました。エラー件数 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  エラー件数

KDIW60007-E

Multiple StartEvents have the same messageRef value. process-id = *aa....aa*, process-name = *bb....bb*, messageRef-value = *cc....cc*, start-event-ids = *dd....dd*, start-event-names = *ee....ee*
messageRef の値が同じである開始イベントが複数配置されています。プロセス ID = *aa....aa*, プロセス名 = *bb....bb*, messageRef 値 = *cc....cc*, 開始イベント Id 値 = *dd....dd*, 開始イベント Name 値 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  Process タグの Id 値，またはイベント・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  Process タグの Name 値，またはイベント・サブプロセスの Id 値※1
- *cc....cc*
  messageRef 値
- *dd....dd*
  エラー原因開始イベント要素の Id 値※2
- *ee....ee*
  エラー原因開始イベント要素の Name 値※1※2

注※1
Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。
出力例

```
Multiple StartEvents have the same messageRef value. process-id = process1,
process-name = , messageRef-value = msgref001, start-event-ids = [event1,event2],
start-event-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

対処

エラー要因になっている開始イベントの messageRef 値を正しく指定するか，またはエラー原因 BPMN 要素を削除してください。

KDIW60008-E

The process includes multiple Top-LevelStartEvents. process-id = *aa....aa*, process-name = *bb....bb*, start-event-ids = *cc....cc*, start-event-names = *dd....dd*

開始イベント（タイプなし）がプロセスに複数配置されています。プロセス ID = *aa....aa*, プロセス名 = *bb....bb*, 開始イベント Id 値 = *cc....cc*, 開始イベント Name 値 = *dd....dd*

- *aa....aa*

  Process タグの Id 値

- *bb....bb*

  Process タグの Name 値※1

- *cc....cc*

  エラー原因開始イベント要素の Id 値※2

- *dd....dd*

  エラー原因開始イベント要素の Name 値※1※2

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The process includes multiple Top-LevelStartEvents. process-id = process1,
process-name = , start-event-ids = [event1,event2], start-event-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

要因

複数のタイプなし開始イベントは非サポートです。

対処

用途に応じて，次に示すどちらかの方法でビジネスプロセスを修正してください。

- メッセージタイプの開始イベントに変更してください。
- 1 つのタイプなし開始イベントから並列ゲートウェイで分岐してください。

KDIW60009-E

In the scope of the EventSubProcess, there is an element that has the same messageRef value as the StartEvent. event-subprocess-id = *aa....aa*, event-subprocess-name = *bb....bb*, messageRef-value = *cc....cc*, element-ids = *dd....dd*, element-names = *ee....ee*

イベント・サブプロセスが動作するスコープ内に，開始イベントと同一の messageRef の値を持つ要素が存在しています。イベント・サブプロセス Id 値 = *aa....aa*, イベント・サブプロセス要素 Name 値 = *bb....bb*, messageRef 値 = *cc....cc*, 要素 Id 値 = *dd....dd*, 要素 Name 値 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  イベント・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  イベント・サブプロセスの Name 値※1
- *cc....cc*
  messageRef の値
- *dd....dd*
  エラー原因要素の Id 値※2
- *ee....ee*
  エラー原因要素の Name 値※1※2

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
In the scope of the EventSubProcess, there is an element that has the same messageRef
value as the StartEvent. event-subprocess-id = subprocess1, event-subprocess-name = ,
messageRef-value = msgref001, element-ids = [element1,element2], element-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

対処

ビジネスプロセスの，次に示す BPMN 要素の messageRef の値を正しく指定するか，または BPMN 要素を削除してください。

- イベント・サブプロセスに配置したイベント・サブプロセス非中断開始（メッセージ）イベント
- イベント・サブプロセスに配置したイベント・サブプロセス中断開始（メッセージ）イベント
- エラー原因 BPMN 要素

KDIW60010-E

In the scope of the EventSubProcess, there is an element that has the same errorRef value as the StartEvent. event-subprocess-id = *aa....aa*, event-subprocess-name = *bb....bb*, errorRef-value = *cc....cc*, element-ids = *dd....dd*, element-names = *ee....ee*

イベント・サブプロセスが動作するスコープ内に，開始イベントと同一の errorRef の値を持つ要素が存在しています。イベント・サブプロセス Id 値 = *aa....aa*, イベント・サブプロセス要素 Name 値 = *bb....bb*, errorRef 値 = *cc....cc*, 要素 Id 値 = *dd....dd*, 要素 Name 値 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  イベント・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  イベント・サブプロセスの Name 値※1
- *cc....cc*
  errorRef の値
- *dd....dd*
  エラー原因要素の Id 値※2
- *ee....ee*
  エラー原因要素の Name 値※1※2

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
In the scope of the EventSubProcess, there is an element that has the same errorRef
value as the StartEvent. event-subprocess-id = subprocess1, event-subprocess-name = ,
errorRef-value = errorRef001, element-ids = [element1,element2], element-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

対処

ビジネスプロセスの，次に示す BPMN 要素の errorRef の値を正しく指定するか，または BPMN 要素を削除してください。

- イベント・サブプロセスに配置したイベント・サブプロセス中断開始（エラー）イベント
- エラー原因 BPMN 要素

KDIW60011-E

A Multi-Instance SubProcess includes one or more Multi-Instance BPMN elements. subprocess-id = *aa....aa*, subprocess-name = *bb....bb*, element-ids = *cc....cc*, element-names = *dd....dd*

マルチインスタンス化した BPMN 要素が，サブプロセス（マルチインスタンス）内に配置されています。サブプロセス Id 値 = *aa....aa*, サブプロセス Name 値 = *bb....bb*, 要素 Id 値 = *cc....cc*, 要素 Name 値 = *dd....dd*

- *aa....aa*

  サブプロセスの Id 値

- *bb....bb*

  サブプロセスの Name 値※1

- *cc....cc*

  エラー原因要素の Id 値※2

- *dd....dd*

  エラー原因要素の Name 値※1※2

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
A Multi-Instance SubProcess includes one or more Multi-Instance BPMN elements.
subprocess-id = subprocess1, subprocess-name = , element-ids = [element1,element2],
element-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

要因

マルチインスタンス化したBPMN要素の，サブプロセス（マルチインスタンス）内への配置は，サポートしていません。

対処

次の手順で，マルチインスタンス化したコールアクティビティを使用する構成に変更してください。

1. プールを新規作成する
2. 1.で作成したプールに，サブプロセス（マルチインスタンス）内に配置したBPMN要素を移動する
3. サブプロセス（マルチインスタンス）を削除する
4. 1.で作成したプールを呼び出すコールアクティビティ（マルチインスタンス）を作成する

KDIW60012-E

Multiple IntermediateEvents that are the transition destinations of the Event-BasedGateway have the same messageRef value. gateway-id = *aa....aa*, gateway-name = *bb....bb*, messageRef-value = *cc....cc*, intermediate-event-ids = *dd....dd*, intermediate-event-names = *ee....ee*
排他イベントゲートウェイの遷移先に，同じmessageRefの値を持つ中間イベントが存在します。
ゲートウェイId値 = *aa....aa*, ゲートウェイName値 = *bb....bb*, messageRef値 = *cc....cc*, 中間イベントId値 = *dd....dd*, 中間イベントName値 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  排他イベントゲートウェイId値
- *bb....bb*
  排他イベントゲートウェイName値※1
- *cc....cc*
  messageRefの値
- *dd....dd*
  エラー原因中間イベントのId値※2
- *ee....ee*
  エラー原因中間イベントのName値※1※2

注※1

Name値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
Multiple IntermediateEvents that are the transition destinations of the
Event-BasedGateway have the same messageRef value. gateway-id  = gateway1,
gateway-name = , messageRef-value = msgRef001, intermediate-event-ids
= [event1,event2], intermediate-event-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

対処

ビジネスプロセスのエラー原因 BPMN 要素の messageRef の値を正しく指定するか，またはエラー原因 BPMN 要素を削除してください 。

KDIW60013-E

There is at least one other input SequenceFlow at the transition-destination element of the Event-BasedGateway. gateway-id = *aa....aa*, gateway-name = *bb....bb*, element-id = *cc....cc*, element-name = *dd....dd*

排他イベントゲートウェイから遷移する要素に，その他の入力シーケンスフローが存在しています。排他イベントゲートウェイ Id 値 = *aa....aa*, 排他イベントゲートウェイ Name 値 = *bb....bb*, 要素 Id 値 = *cc....cc*, 要素 Name 値 = *dd....dd*

- *aa....aa*

  遷移元の排他イベントゲートウェイ Id 値

- *bb....bb*

  遷移元の排他イベントゲートウェイ Name 値※

- *cc....cc*

  エラー原因 BPMN 要素の Id 値

- *dd....dd*

  エラー原因 BPMN 要素の Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
There is at least one other input SequenceFlow at the transition-destination element
of the Event-BasedGateway. gateway-id = gateway1, gateway-name = ,
element-id = element1, element-name =
```

対処

排他イベントゲートウェイから遷移する BPMN 要素が，その排他イベントゲートウェイだけから遷移するように修正してください。

KDIW60014-E

The Event-BasedGateway transitioned to an invalid element. gateway-id = *aa....aa*, gateway-name = *bb....bb*, element-id = *cc....cc*, element-name = *dd....dd*

排他イベントゲートウェイから不正な要素に遷移しています。排他イベントゲートウェイ Id 値 = *aa....aa*, 排他イベントゲートウェイ Name 値 = *bb....bb*, 要素 Id 値 = *cc....cc*, 要素 Name 値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  遷移元の排他イベントゲートウェイ Id 値
- *bb....bb*
  遷移元の排他イベントゲートウェイ Name 値※
- *cc....cc*
  エラー原因 BPMN 要素の Id 値
- *dd....dd*
  エラー原因 BPMN 要素の Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The Event-BasedGateway transitioned to an invalid element.
gateway-id = gateway1, gateway-name = , element-id = element1, element-name =
```

対処

排他イベントゲートウェイからの遷移先が，キャッチ（メッセージ）イベント，またはキャッチ（タイマー）イベントになるように修正してください。

KDIW60015-E

The number of CatchingLinkEvents that correspond to the ThrowingLinkEvents is either 0 or greater than 1. link-event-id = *aa....aa*, link-event-name = *bb....bb*

スロー（リンク）イベントに対応するキャッチ（リンク）イベントがひとつではありません。スロー（リンク）イベント Id 値＝*aa....aa*，スロー（リンク）イベント Name 値＝*bb....bb*

- *aa....aa*

  スロー（リンク）イベント Id 値

- *bb....bb*

  スロー（リンク）イベント Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The number of CatchingLinkEvents that correspond to the ThrowingLinkEvents is
either 0 or greater than 1. link-event-id = event1, link-event-name =
```

対処

次に示す対処をしてください。

- スロー（リンク）イベントおよびキャッチ（リンク）イベントの`LinkEventDefinition name`の値を見直して，スロー（リンク）イベントに対応するキャッチ（リンク）イベントが 1 つだけであることを確認してください。
- スロー（リンク）イベントに対応するキャッチ（リンク）イベントが，プール，サブプロセス，イベント・サブプロセス，またはアドホック・サブプロセスの境界を越えて配置されていないかを確認してください。

KDIW60016-E

No ThrowingLinkEvents exist that correspond to the CatchingLinkEvent. link-event-id = *aa....aa*, link-event-name = *bb....bb*

キャッチ（リンク）イベントに対応するスロー（リンク）イベントがありません。キャッチ（リンク）イベント Id 値＝*aa....aa*，キャッチ（リンク）イベント Name 値＝*bb....bb*

- *aa....aa*

  キャッチ（リンク）イベント Id 値

- *bb....bb*

  キャッチ（リンク）イベント Name 値※

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No ThrowingLinkEvents exist that correspond to the CatchingLinkEvent.
link-event-id = event1, link-event-name =
```

対処

次に示す対処をしてください。

- スロー（リンク）イベントおよびキャッチ（リンク）イベントのLinkEventDefinition name の値を見直して，キャッチ（リンク）イベントに対応するスロー（リンク）イベントが 1 つ以上存在することを確認してください。
- キャッチ（リンク）イベントに対応するスロー（リンク）イベントが，プール，サブプロセス，イベント・サブプロセス，またはアドホック・サブプロセスの境界を越えて配置されていないかを確認してください。

KDIW60017-E

Within the scope of an element to which a BoundaryMessageEvent is attached, there is an element that has the same messageRef value as the BoundaryMessageEvent. boundary-event-id = *aa....aa*, boundary-event-name = *bb....bb*, messageRef-value = *cc....cc*, element-ids = *dd....dd*, element-names = *ee....ee*

境界（メッセージ）イベントが付けられた要素のスコープ内に，境界（メッセージ）イベントと同一の messageRef の値を持つ要素が存在します。境界イベント Id 値 = *aa....aa*, 境界イベント Name 値 = *bb....bb*, messageRef 値 = *cc....cc*, 要素 Id 値 = *dd....dd*, 要素 Name 値 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  境界イベントの Id 値
- *bb....bb*
  境界イベントの Name 値※1
- *cc....cc*
  messageRef の値
- *dd....dd*
  エラー原因要素の Id 値※2
- *ee....ee*
  エラー原因要素の Name 値※1※2

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
Within the scope of an element to which a BoundaryMessageEvent is attached,
there is an element that has the same messageRef value as the BoundaryMessageEvent.
boundary-event-id = event1, boundary-event-name = , messageRef-value = msgref001,
element-ids = [element1,element2], element-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

対処

ビジネスプロセスの，次に示す BPMN 要素の messageRef の値を正しく指定するか，または BPMN 要素を削除してください。

- サブプロセスに配置した境界非中断（メッセージ）イベント
- サブプロセスに配置した境界中断（メッセージ）イベント
- アドホック・サブプロセスに配置した境界非中断（メッセージ）イベント
- アドホック・サブプロセスに配置した境界中断（メッセージ）イベント
- エラー原因 BPMN 要素

KDIW60018-E

Multiple elements at the boundary of one Activity have the same messageRef value. id = *aa....aa*, name = *bb....bb*, messageRef-value = *cc....cc*, element-ids = *dd....dd*, element-names = *ee....ee*

ひとつのアクティビティの境界に，同じ messageRef の値を持つ要素が複数存在します。Id 値 = *aa....aa*, Name 値 = *bb....bb*, messageRef 値 = *cc....cc*, 要素 Id 値 = *dd....dd*, 要素 Name 値 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  タスク，サブプロセス，またはアドホック・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  タスク，サブプロセス，またはアドホック・サブプロセスの Name 値※1
- *cc....cc*
  messageRef の値
- *dd....dd*
  エラー原因要素の Id 値※2
- *ee....ee*
  エラー原因要素の Name 値※1※2

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
Multiple elements at the boundary of one Activity have the same messageRef value.
id = id1, name = , messageRef-value = msgRef001,
element-ids = [element1,element2], element-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

対処

エラー原因 BPMN 要素に関連する messageRef の値を正しく指定してください。または，エラー原因 BPMN 要素を削除してください。

KDIW60019-E

Within the scope of an element to which a BoundaryErrorEvent is attached, there is an element that has the same errorRef value as the BoundaryErrorEvent. boundary-event-id = *aa....aa*, boundary-event-name = *bb....bb*, errorRef-value = *cc....cc*, element-ids = *dd....dd*, element-names = *ee....ee*

境界（エラー）イベントが付けられた要素のスコープ内に，境界（エラー）イベントと同一の errorRef の値を持つ要素が存在します。境界イベント Id 値 = *aa....aa*, 境界イベント Name 値 = *bb....bb*, errorRef 値 = *cc....cc*, 要素 Id 値 = *dd....dd*, 要素 Name 値 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  境界イベントの Id 値
- *bb....bb*
  境界イベントの Name 値※1
- *cc....cc*
  errorRef の値
- *dd....dd*
  エラー原因要素の Id 値※2
- *ee....ee*
  エラー原因要素の Name 値※1※2

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
Within the scope of an element to which a BoundaryErrorEvent is attached,
there is an element that has the same errorRef value as the BoundaryErrorEvent.
boundary-event-id = event1, boundary-event-name = , errorRef-value = errorRef001,
element-ids = [element1,element2], element-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

対処

ビジネスプロセスの，次に示す BPMN 要素の errorRef の値を正しく指定するか，または BPMN 要素を削除してください。

- サブプロセスに配置した境界中断（エラー）イベント
- アドホック・サブプロセスに配置した境界中断（エラー）イベント
- エラー原因 BPMN 要素

KDIW60020-E

Multiple elements at the boundary of one Activity have the same errorRef value. id = *aa....aa*, name = *bb....bb*, errorRef-value = *cc....cc*, element-ids = *dd....dd*, element-names = *ee....ee*

ひとつのアクティビティの境界に，同じ errorRef の値を持つ要素が複数存在します。Id 値 = *aa....aa*, Name 値 = *bb....bb*, errorRef 値 = *cc....cc*, 要素 Id 値 = *dd....dd*, 要素 Name 値 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  タスク，サブプロセス，またはアドホック・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  タスク，サブプロセス，またはアドホック・サブプロセスの Name 値※1
- *cc....cc*
  errorRef の値
- *dd....dd*
  エラー原因要素の Id 値※2
- *ee....ee*
  エラー原因要素の Name 値※1※2

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
Multiple elements at the boundary of one Activity have the same errorRef value.
id = id1, name = , errorRef-value = errorRef001,
element-ids = [element1,element2], element-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

対処

エラー原因 BPMN 要素に関連する messageRef の値を正しく指定してください。または，エラー原因 BPMN 要素を削除してください。

KDIW60021-E

The pool does not include any executable Events or Tasks. process-id = *aa....aa*, process-name = *bb....bb*

プール内に，実行可能なイベントまたはタスクがありません。プロセス ID = *aa....aa* ，プロセス名 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  Process タグの Id プロパティ値

- *bb....bb*

  Process タグの Name プロパティ値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The pool does not include any executable Events or Tasks. process-id = process1,
process-name =
```

対処

次に示す BPMN 要素のうち，どれかをプールの中に配置してください。

- ユーザタスク
- サービスタスク
- ビジネスルールタスク

- コールアクティビティ
- サブプロセス
- アドホック・サブプロセス
- キャッチ（メッセージ）イベント
- スロー（メッセージ）イベント
- キャッチ（タイマー）イベント

KDIW60022-E

The SubProcess does not include any executable Events or Tasks. subprocess-id = *aa....aa*, subprocess-name = *bb....bb*
サブプロセス内に，実行可能なイベントまたはタスクがありません。サブプロセス Id 値 = *aa....aa*，サブプロセス Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  サブプロセスの Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The SubProcess does not include any executable Events or Tasks.
subprocess-id = subprocess1, subprocess-name =
```

対処

次に示す BPMN 要素のうち，どれかをサブプロセスの中に配置してください。

- ユーザタスク
- サービスタスク
- ビジネスルールタスク
- コールアクティビティ
- サブプロセス
- アドホック・サブプロセス
- キャッチ（メッセージ）イベント
- スロー（メッセージ）イベント

- キャッチ（タイマー）イベント

KDIW60023-E

No Pools exist.
プールがひとつも存在しません。

対処

プールを配置してください。

KDIW60024-E

No conditional expressions are specified for the outgoing SequenceFlow of the Exclusive-Gateway. gateway-id = *aa....aa*, gateway-name = *bb....bb*, sequence-flow-ids = *cc....cc*, sequence-flow-names = *dd....dd*
排他ゲートウェイから遷移するシーケンスフローに条件式が設定されていません。排他ゲートウェイ Id 値 = *aa....aa*, 排他ゲートウェイ Name 値 = *bb....bb*, シーケンスフロー Id 値 = *cc....cc*, シーケンスフロー Name 値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  排他ゲートウェイ Id 値
- *bb....bb*
  排他ゲートウェイ Name 値※1
- *cc....cc*
  シーケンスフロー Id 値※2
- *dd....dd*
  シーケンスフロー Name 値※1※2

注※1

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No conditional expressions are specified for the outgoing SequenceFlow of the
Exclusive-Gateway. gateway-id = gateway1, gateway-name = ,
sequence-flow-ids = [flow1,flow2], sequence-flow-names = [,]
```

注※2

値が複数ある場合，次の形式で出力します。

```
[値1,値2,値3…,値n]
```

対処

排他ゲートウェイから遷移するシーケンスフローのCondition の値を見直してください。

また，デフォルトシーケンスフローを使用する場合は，排他ゲートウェイのDefault flow の値を設定してください。

KDIW60025-E

The date specified for "Periodic date and time" is invalid. timer-event-id = *aa....aa*, timer-event-name = *bb....bb*

「Periodic date and time」は存在しない日付です。タイマーイベント Id 値 = *aa....aa*, タイマーイベント Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  タイマーイベント Id 値

- *bb....bb*

  タイマーイベント Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The date specified for ”Periodic date and time” is invalid. timer-event-id = event1,
timer-event-name =
```

対処

タイマーイベントのPeriodic date and time に指定した値を見直してください。

KDIW60026-E

No value is selected for the "Type" field of the TimerEvent. timer-event-id = *aa....aa*, timer-event-name = *bb....bb*

タイマーイベントの「Type」が選択されていません。タイマーイベント Id 値 = *aa....aa*, タイマーイベント Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  タイマーイベント Id 値

- *bb....bb*

  タイマーイベント Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No value is selected for the ”Type” field of the TimerEvent. timer-event-id = event1,
timer-event-name =
```

対処

タイマーイベントのType を選択してください。

KDIW60027-E

No value is specified for the "Process data key name" field of "Process data". element-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*

「Process data」の「Process data key name」が空です。要素 Id 値 = *aa....aa*, 要素 Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  エラー原因要素の Id 値

- *bb....bb*

  エラー原因要素の Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No value is specified for the ”Process data key name” field of ”Process data”.
element-id = element1, element-name =
```

対処

エラー原因要素のProcess data のProcess data key name を入力してください。

KDIW60028-E

The value specified for the "Process data key name" field of "Process data" does not begin with "$S". timer-event-id = *aa....aa*, timer-event-name = *bb....bb*

「Process data」の「Process data key name」が「$S」から開始していません。タイマーイベントId 値 = *aa....aa*, タイマーイベント Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  タイマーイベント Id 値

- *bb....bb*

  タイマーイベント Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The value specified for the ”Process data key name” field of ”Process data” does not
begin with ”$S”. timer-event-id = event1, timer-event-name =
```

対処

タイマーイベントのProcess data のProcess data key name の値を，「$S」から始まる文字列に変更してください。

KDIW60029-E

No value is specified for "Message ref". message-event-id = *aa....aa*, message-event-name = *bb....bb*

「Message ref」の値が空です。メッセージイベント Id 値 = *aa....aa*, メッセージイベント Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  メッセージイベント Id 値

- *bb....bb*

  メッセージイベント Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No value is specified for ”Message ref”. message-event-id = event1, message-event-name =
```

対処

メッセージイベントのMessage ref プロパティを選択してください。

KDIW60030-E

No value is specified for "Signal ref". signal-event-id = *aa....aa*, signal-event-name = *bb....bb*
「Signal ref」の値が空です。シグナルイベント Id 値 = *aa....aa*, シグナルイベント Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  シグナルイベント Id 値
- *bb....bb*
  シグナルイベント Name 値※

注※
Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。
出力例

```
No value is specified for ”Signal ref”. signal-event-id = event1, signal-event-name =
```

対処

シグナルイベントの`Signal ref` プロパティを選択してください。

KDIW60031-E

No value is specified for "Error ref". error-event-id = *aa....aa*, error-event-name = *bb....bb*
「Error ref」の値が空です。エラーイベント Id 値 = *aa....aa*, エラーイベント Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  エラーイベント Id 値
- *bb....bb*
  エラーイベント Name 値※

注※
Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。
出力例

```
No value is specified for ”Error ref”. error-event-id = event1, error-event-name =
```

対処

エラーイベントの`Error ref` プロパティを選択してください。

KDIW60032-E

No value is specified for "Operation ref" of the ServiceTask. service-task-id = *aa....aa*, service-task-name = *bb....bb*

サービスタスクの「Operation ref」の値が空です。サービスタスク Id 値 = *aa....aa*, サービスタスク Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  サービスタスク Id 値

- *bb....bb*

  サービスタスク Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No value is specified for ”Operation ref” of the ServiceTask. service-task-id = task1,
service-task-name =
```

対処

サービスタスクの`Operation ref` プロパティを入力してください。

KDIW60033-E

No value is specified for "Called element" of the CallActivity-Collapsed. call-activity-id = *aa....aa*, call-activity-name = *bb....bb*

コールアクティビティの「Called element」の値が空です。コールアクティビティ Id 値 = *aa....aa*, コールアクティビティ Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  コールアクティビティ Id 値

- *bb....bb*

  コールアクティビティ Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No value is specified for ”Called element” of the CallActivity-Collapsed.
call-activity-id = activity1, call-activity-name =
```

対処

コールアクティビティの`Called element`プロパティを入力してください。

KDIW60034-E

The incoming SequenceFlow is not connected to the Gateway in the Ad-HocSubProcess. adhoc-subprocess-id = *aa....aa*, adhoc-subprocess-name = *bb....bb*, gateway-id = *cc....cc*, gateway-name = *dd....dd*

アドホック・サブプロセスに配置されているゲートウェイに，入力シーケンスフローが接続されていません。アドホック・サブプロセス Id 値 = *aa....aa*, アドホック・サブプロセス Name 値 = *bb....bb*, ゲートウェイ Id 値 = *cc....cc*, ゲートウェイ Name 値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  アドホック・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  アドホック・サブプロセスの Name 値※
- *cc....cc*
  ゲートウェイの Id 値
- *dd....dd*
  ゲートウェイの Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The incoming SequenceFlow is not connected to the Gateway in the Ad-HocSubProcess.
adhoc-subprocess-id = adhocsubprocess1, adhoc-subprocess-name = ,
gateway-id = gateway1, gateway-name =
```

対処

アドホック・サブプロセスに配置されているゲートウェイに，入力シーケンスフローを接続してください。

KDIW60035-E

The outgoing SequenceFlow is not connected to the Event-BasedGateway in the Ad-HocSubProcess. adhoc-subprocess-id = *aa....aa*, adhoc-subprocess-name = *bb....bb*, event-based-gateway-id = *cc....cc*, event-based-gateway-name = *dd....dd*

アドホック・サブプロセスに配置されている排他イベントゲートウェイに，出力シーケンスフローが接続されていません。 アドホック・サブプロセス Id 値 = *aa....aa*, アドホック・サブプロセス Name 値 = *bb....bb*, 排他イベントゲートウェイ Id 値 = *cc....cc*, 排他イベントゲートウェイ Name 値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  アドホック・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  アドホック・サブプロセスの Name 値※
- *cc....cc*
  排他イベントゲートウェイの Id 値
- *dd....dd*
  排他イベントゲートウェイの Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The outgoing SequenceFlow is not connected to the Event-BasedGateway in the Ad-HocSubProc
ess.
adhoc-subprocess-id = adhocsubprocess1, adhoc-subprocess-name = ,
event-based-gateway-id = gateway1, event-based-gateway-name =
```

対処

アドホック・サブプロセスに配置されている排他イベントゲートウェイに，出力シーケンスフローを接続してください。

KDIW60036-E

No value is specified for "LinkEventDefinition name". link-event-id = *aa....aa*, link-event-name = *bb....bb*

「LinkEventDefinition name」の値が空です。リンクイベント Id 値 = *aa....aa*, リンクイベント Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  リンクイベントの Id 値
- *bb....bb*
  リンクイベントの Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No value is specified for ”LinkEventDefinition name”.
link-event-id = event1, link-event-name =
```

対処

リンクイベントのLinkEventDefinition name を入力してください。

KDIW60037-E

No value is specified for "Loop cardinality" for a Multi-Instance BPMN element. element-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*

マルチインスタンス化した BPMN 要素の「Loop cardinality」の値が空です。要素 Id 値 = *aa....aa*，要素 Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  マルチインスタンス化した BPMN 要素の Id 値

- *bb....bb*

  マルチインスタンス化した BPMN 要素の Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No value is specified for ”Loop cardinality” for a Multi-Instance BPMN element.
element-id = element1, element-name =
```

対処

マルチインスタンス化した BPMN 要素のLoop cardinality プロパティを入力してください。

KDIW60038-E

An element that cannot be placed at the beginning of a workflow is placed at the beginning of a workflow within an Ad-HocSubProcess. adhoc-subprocess-id = *aa....aa*, adhoc-subprocess-name = *bb....bb*, element-id = *cc....cc*, element-name = *dd....dd*

アドホック・サブプロセス内のワークフローの先頭に配置不可な要素が配置されています。アドホック・サブプロセス Id 値 = *aa....aa*, アドホック・サブプロセス Name 値 = *bb....bb*, 要素 Id 値 = *cc....cc*, 要素 Name 値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  アドホック・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  アドホック・サブプロセスの Name 値※
- *cc....cc*
  エラー原因要素の Id 値
- *dd....dd*
  エラー原因要素の Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
An element that cannot be placed at the beginning of a workflow is placed at the beginnin
g of a workflow within an Ad-HocSubProcess.
adhoc-subprocess-id = adhocsubprocess1, adhoc-subprocess-name = ,
element-id = element1, element-name =
```

対処

アドホック・サブプロセス内のワークフローの先頭に，中間イベント（キャッチリンクを除く）またはゲートウェイを配置しないでください。

KDIW60039-E

An element that cannot be placed at the end of a workflow is placed at the end of a workflow within an Ad-HocSubProcess. adhoc-subprocess-id = *aa....aa*, adhoc-subprocess-name = *bb....bb*, element-id = *cc....cc*, element-name = *dd....dd*

アドホック・サブプロセス内のワークフローの末尾に配置不可な要素が配置されています。アドホック・サブプロセス Id 値 = *aa....aa*, アドホック・サブプロセス Name 値 = *bb....bb*, 要素 Id 値 = *cc....cc*, 要素 Name 値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  アドホック・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  アドホック・サブプロセスの Name 値※

- *cc....cc*
  エラー原因要素の Id 値
- *dd....dd*
  エラー原因要素の Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
An element that cannot be placed at the end of a workflow is placed at the end of a workf
low within an Ad-HocSubProcess.
adhoc-subprocess-id = adhocsubprocess1, adhoc-subprocess-name = ,
element-id = element1, element-name =
```

対処

アドホック・サブプロセス内のワークフローの末尾に，中間イベント（スロー（リンク）イベントは除く）または排他ゲートウェイを配置しないでください。

KDIW60040-E

The Ad-HocSubProcess does not include any executable Tasks. adhoc-subprocess-id = *aa....aa*, adhoc-subprocess-name = *bb....bb*

アドホック・サブプロセス内に，実行可能なタスクがありません。アドホック・サブプロセス Id 値 = *aa....aa*, アドホック・サブプロセス Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  アドホック・サブプロセスの Id 値
- *bb....bb*
  アドホック・サブプロセスの Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
The Ad-HocSubProcess does not include any executable Tasks.
adhoc-subprocess-id = adhocsubprocess1, adhoc-subprocess-name =
```

対処

次に示す BPMN 要素のうち，どれかをアドホック・サブプロセスの中に配置してください。

- ユーザタスク

- サービスタスク
- ビジネスルールタスク
- コールアクティビティ

KDIW60041-E

No value is specified for "Operation ref" of the BusinessRuleTask. business-rule-task-id = *aa....aa*, business-rule-task-name = *bb....bb*

ビジネスルールタスクの「Operation ref」の値が空です。ビジネスルールタスク Id 値 = *aa....aa*, ビジネスルールタスク Name 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスルールタスク Id 値
- *bb....bb*
  ビジネスルールタスク Name 値※

注※

Name 値を入力していない場合，空文字になります。出力例を次に示します。

出力例

```
No value is specified for ”Operation ref” of the BusinessRuleTask.
business-rule-task-id = task1, business-rule-task-name =
```

対処

ビジネスルールタスクの「Operation ref」プロパティを入力してください。

KDIW60042-I

The CSV export operation will now start. file = *aa....aa*

CSV エクスポートを開始します。ファイル = *aa....aa*

- *aa....aa*
  エクスポートする CSV ファイルのファイルパス

対処

必要ありません。

KDIW60043-I

The CSV export operation is complete.
CSV エクスポートが終了しました。

対処

必要ありません。

KDIW60044-E

An attempt to export the CSV file has failed. file = *aa....aa*, details = *bb....bb*
CSV ファイルのエクスポートに失敗しました。ファイル = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  エクスポートする CSV ファイルのファイルパス
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

エクスポートに失敗した CSV ファイルの状態を確認し，書き込み可能な状態にしてください。

KDIW60058-E

An attempt to execute the process definition transformation command has failed. details = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義変換コマンドの実行に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

詳細情報を確認して，原因を取り除いてください。uCosminexus Business Process Developer を再インストールしてインストールディレクトリを変更した場合，BPMN エディタの再インストールを実行してからビジネスプロセス定義変換コマンドを再実行してください。

9.2 KDIW60500～KDIW60999

KDIW60501-E

The *aa....aa* XML is not well-formed. Error Message: '*bb....bb*'.

- *aa....aa*
  "BPMN"または"workflow status"
- *bb....bb*
  パーサによる具体的なメッセージ

要因

BPMN ビジネスプロセス定義の内容，またはステータス情報が，正しい XML 形式ではありません。

対処

エラーメッセージを基に BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正し，ワーク管理データベースに BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを再登録してください。

KDIW60502-E

The business process definition file contains a non-supported element and/or subelement. Tag name: '*aa....aa*'.

- *aa....aa*
  XML タグの名前

要因

BPMN ビジネスプロセス定義にサポートされない要素が含まれています。

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルから，サポートされていない BPMN 要素を削除してください。

KDIW60503-E

The input parameter value of BPMN path or Status path is invalid.

要因

open()関数のパラメタ（BPMN path およびStatus path）の値が，設定されていない，null，または空文字列です。

対処

BPMN path およびStatus path が適切にopen()関数に渡されたか確認してください。

KDIW60504-E

The '*aa....aa*' attribute value of the '*bb....bb*' element must not be empty.

- *aa....aa*
  属性名
- *bb....bb*
  要素名

要因

BPMN ビジネスプロセス定義のアドホック・サブプロセス，タスクまたはイベントの id 属性の値が，空文字列です。

対処

エラーメッセージを基に BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正し，ワーク管理データベースに BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを再登録してください。

KDIW60505-E

The workflow status data is not found for path '*aa....aa*'.

- *aa....aa*
  ステータスデータのパス※

  注※

  03-10 以降のバージョンで，案件運用操作から直接ビジネスプロセスモニタを表示した場合，*aa....aa* には，「piid=案件 ID」の形式で，案件 ID だけが表示されます。

要因

BPMN ビジネスプロセス定義のステータス情報が取得できませんでした。

対処

エラーメッセージを基に，ビジネスプロセスモニタの表示対象となる案件の状態を確認してください。

KDIW60506-E

The BPMN data is not found for path '*aa....aa*'.

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義データのパス

要因

BPMN ビジネスプロセス定義の内容が取得できませんでした。

対処

- BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが，ワーク管理データベースに登録されているか確認してください。
- `open()`関数の入力パラメタ`BPMN path`が適切か確認してください。

KDIW60507-E

A validation error occurred: '*aa....aa*'.

- *aa....aa*
  エラーメッセージ

要因

BPMN ビジネスプロセス定義の内容に問題があります。

対処

エラーメッセージを基に BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正し，ワーク管理データベースに BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを再登録してください。

KDIW60508-E

An HTTP error occurred: '*aa....aa*'.

- *aa....aa*

エラーメッセージ

要因

HTTP エラーが発生しました。

対処

エラーメッセージに示された HTTP ステータスコードを基に問題を解決してください。

KDIW60509-E

The function openMonitorStatus is not supported.

要因

`StatusMonitor.openMonitorStatus()`関数はサポートしていません。

対処

`CIWBusinessProcessMonitor.open()`関数を使用してください。

KDIW60801-E

The input value of '*aa....aa*' must not be empty.
指定された検索条件'*aa....aa*'の値が空文字列です。

- *aa....aa*
  入力項目名

対処

検索画面で，指定された項目の値を入力してください。

KDIW60802-E

The input value of '*aa....aa*' must be numeric.
指定された検索条件'*aa....aa*'の値が数値ではありません。

- *aa....aa*
  入力項目名

対処

検索画面で，指定された項目の値を数値で入力してください。

KDIW60803-E

An HTTP error occurred: '*aa....aa*'.
HTTP エラーが発生しました: '*aa....aa*'

- *aa....aa*
  エラーの詳細情報

対処

アプリケーションサーバのログを確認し，エラーの原因を調査してください。

KDIW60804-I

The status has been updated successfully. Process Instance ID = '*aa....aa*'.
状態の更新に成功しました。案件 ID = '*aa....aa*'

- *aa....aa*
  案件 ID

KDIW60805-I

The message has been sent successfully. Process Instance ID = '*aa....aa*'.
メッセージの送信に成功しました。案件 ID = '*aa....aa*'

- *aa....aa*
  案件 ID

KDIW60806-I

The process data has been updated successfully. Process Instance ID = '*aa....aa*'.
プロセスデータの更新に成功しました。案件 ID = '*aa....aa*'

- *aa....aa*
  案件 ID

9.3 KDIW61000～KDIW61999

KDIW61000-E

An attempt to access a file has failed. file-path = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ファイルのアクセス処理に失敗しました。ファイルパス = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ファイルパス，またはディレクトリパス
- *bb....bb*
  詳細情報

要因

ファイルアクセスの例外が発生しました。

対処

アクセスに失敗したファイルパスが入出力可能であることを確認してください。

KDIW61001-I

Conversion processing is complete. source-file-path = *aa....aa*, destination-directory-path = *bb....bb*
変換処理が完了しました。入力ファイルパス = *aa....aa*, 出力ディレクトリパス = *bb....bb*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルパス
- *bb....bb*
  出力ディレクトリパス

要因

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルに対する変換が完了しました。

対処

出力ディレクトリ以下のファイルを確認してください。出力ファイル（.hbx および.bpmn）は複数存在することがあります。

KDIW61002-E

Conversion processing failed. source-file-path = *aa....aa*
変換処理に失敗しました。入力ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルパス

対処

先に出力されたエラーメッセージの内容を参照して，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正してください。

KDIW61003-E

An exception occurred while a file was being read as XML data. source-file-path = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ファイルを XML として読み込む際に例外が発生しました。入力ファイルパス = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルパス
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが正しいかどうか見直してください。

KDIW61004-E

The BPMN definition file was not found in the specified directory. directory-path = *aa....aa*
指定されたディレクトリに BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが見つかりませんでした。ディレクトリパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  ディレクトリパス

要因

指定されたディレクトリ内に.bpmn ファイルが見つかりませんでした。

対処

指定したディレクトリが正しいかどうか確認してください。

KDIW61005-E

The contents of the specified CSCIW business process definition file are incorrect. file-path = *aa....aa*
指定された CSCIW のビジネスプロセス定義ファイルが正しくありません。ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  ファイルパス

要因

指定されたファイルが正しくありません。

対処

運用環境で`ciwmngbp` コマンドの`-get` オプションで取得したファイルを指定してください。

KDIW61006-E

The CSCIW business process definition name is not included among the process names that were obtained from the BPMN business process definition file. BPMN process names = *aa....aa*, CSCIW business process definition name = *bb....bb*
BPMN ビジネスプロセス定義ファイルから取得したプロセス名に，ビジネスプロセス定義名が含まれません。BPMN プロセス名群 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルから取得したプロセス名一覧
- *bb....bb*
  CSCIW のビジネスプロセス定義ファイルから取得したビジネスプロセス定義名

要因

指定されたファイルが正しくありません。

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルに対応した CSCIW のビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

KDIW61007-E

Validation by BPMN Business Process Editor resulted in an error. source-file-path = *aa....aa*
BPMN エディタでの検証結果がエラーとなっています。入力ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルパス

要因

BPMN エディタでの検証が実行されていません。または，BPMN エディタでの検証でエラーになっています。

対処

BPMN エディタでファイルを開き，検証を実施してエラーに対処したファイルを指定してください。

KDIW61008-W

Validation by BPMN Business Process Editor resulted in a warning. source-file-path = *aa....aa*
BPMN エディタでの検証結果が警告となっています。入力ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルパス

要因

BPMN エディタでの検証で警告があります。

対処

BPMN エディタでファイルを開き，検証を実施して，警告の内容が問題ないことを確認してください。

KDIW61009-E

The directory path specified in the environment variable is invalid.
環境変数で指定したディレクトリパスが不正です。

要因

必要な環境変数が未定義，または誤っています。

対処

Cosminexus を使用している場合，環境変数COSMINEXUS_HOME を正しく定義して再実行してください。

Red Hat JBoss Enterprise Application Platform を使用している場合，環境変数JAVA_HOME を正しく定義して再実行してください。

KDIW61010-E

An attempt to load uCosminexus Business Process Developer property file has failed. details = *aa....aa*

uCosminexus Business Process Developer 設定ファイルの読み込みに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細

要因

uCosminexus Business Process Developer 設定ファイル（ciwbpdev.properties）の読み込みに失敗しました。

対処

詳細を参照して障害を取り除き，ciwtransbpmn コマンドを再実行してください。

KDIW61100-E

An unsupported element is connected by the sequence-flow. BPMN-element-id = *aa....aa*, sequence-flow-id = *bb....bb*

未サポートの要素がシーケンスフローから接続されています。BPMN 要素 id 属性値 = *aa....aa*，シーケンスフローの id 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  例外原因 BPMN 要素の id 属性値
- *bb....bb*
  シーケンスフロー要素の id 属性値

対処

サポートする BPMN 要素だけ使用するように，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを見直してください。

また，同一プロセスレベルでシーケンスフローを接続するように，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを見直してください。

KDIW61101-E

An intermediate event element is unsupported. intermediate-event-id = *aa....aa*, intermediate-event-name = *bb....bb*

未サポートの中間イベントが存在します。中間イベント id 属性値 = *aa....aa*, 中間イベント name 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  例外原因中間イベント要素の id 属性値
- *bb....bb*
  例外原因中間イベント要素の name 属性値

対処

サポートする BPMN 要素だけ使用するように，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを見直してください。

KDIW61102-E

Multiple none start events exist at the top-level process. process-id = *aa....aa*, process-name = *bb....bb*, start-event-ids = *cc....cc*, start-event-names = *dd....dd*

トップレベルプロセスに複数のタイプなし開始イベントが存在します。プロセス要素 id 属性値 = *aa....aa*, プロセス要素 name 属性値 = *bb....bb*, 開始イベント id 属性値群 = *cc....cc*, 開始イベント name 属性値群 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  プロセス要素の id 属性値
- *bb....bb*
  プロセス要素の name 属性値
- *cc....cc*
  例外原因開始イベント要素の id 属性値群
- *dd....dd*
  例外原因開始イベント要素の name 属性値群

対処

複数のタイプなし開始イベントは非サポートです。用途に応じて，次のどちらかで BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正してください。

- メッセージタイプの開始イベントに変更する
- 1 つのタイプなし開始イベントから並列ゲートウェイで分岐する

KDIW61103-E

An invalid element transitioned from the exclusive event gateway. gateway-id = *aa....aa*, gateway-name = *bb....bb*, BPMN-element-id = *cc....cc*, BPMN-element-name = *dd....dd*

排他イベントゲートウェイから不正な要素に遷移しています。排他イベントゲートウェイ id 属性値 = *aa....aa*, 排他イベントゲートウェイ name 属性値 = *bb....bb*, BPMN 要素 id 属性値 = *cc....cc*, BPMN 要素 name 属性値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  遷移元の排他イベントゲートウェイ要素の id 属性値
- *bb....bb*
  遷移元の排他イベントゲートウェイ要素の name 属性値
- *cc....cc*
  例外原因 BPMN 要素の id 属性値
- *dd....dd*
  例外原因 BPMN 要素の name 属性値

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの排他イベントゲートウェイからの遷移を見直してください。

KDIW61104-E

An id attribute value or name attribute value starts with IW. attribute-type = *aa....aa*, attribute-value = *bb....bb*

id 属性値または name 属性値が，IW から開始されています。タイプ = *aa....aa*, 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ID または NAME
- *bb....bb*
  属性値

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイル中のエラー原因となった要素の id 属性値または name 属性値を，「IW」で始まらない値に修正してください。

KDIW61107-E

There are multiple start events that have the same attribute value at the same level process. process-id = *aa....aa*, process-name = *bb....bb*, start-event-type = *cc....cc*, attribute-value = *dd....dd*, start-event-ids = *ee....ee*, start-event-names = *ff....ff*

同一プロセスレベルに同一の属性値を持つ開始イベントが複数存在します。プロセス id 属性値 = *aa....aa*, プロセス name 属性値 = *bb....bb*, タイプ = *cc....cc*, 属性値 = *dd....dd*, 開始イベント id 属性値群 = *ee....ee*, 開始イベント name 属性値群 = *ff....ff*

- *aa....aa*
  プロセス要素またはサブプロセス要素の id 属性値
- *bb....bb*
  プロセス要素またはサブプロセス要素の name 属性値
- *cc....cc*
  MESSAGE または ERROR
- *dd....dd*
  messageRef 属性値または errorRef 属性値
- *ee....ee*
  例外原因開始イベント要素の id 属性値群
- *ff....ff*
  例外原因開始イベント要素の name 属性値群

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイル中にある，エラー原因となった開始イベントを見直してください。

KDIW61108-E

There are intermediate events that have the same attribute value that transition from the exclusive event gateway. gateway-id = *aa....aa*, gateway-name = *bb....bb*, intermediate-event-type = *cc....cc*, attribute-value = *dd....dd*, intermediate-event-ids = *ee....ee*, intermediate-event-names = *ff....ff*

排他イベントゲートウェイから遷移する，同一の属性値を持つ中間イベントが存在します。ゲートウェイ id = *aa....aa*, ゲートウェイ name = *bb....bb*, タイプ = *cc....cc*, 属性値 = *dd....dd*, 中間イベント id 属性値群 = *ee....ee*, 中間イベント name 属性値群 = *ff....ff*

- *aa....aa*
  排他イベントゲートウェイ要素の id 属性値
- *bb....bb*

排他イベントゲートウェイ要素の name 属性値

- *cc....cc*
  MESSAGE
- *dd....dd*
  messageRef 属性値
- *ee....ee*
  例外原因中間イベント要素の id 属性値群
- *ff....ff*
  例外原因中間イベント要素の name 属性値群

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイル中にある，エラー原因となった排他イベントゲートウェイおよび中間イベントを見直してください。

KDIW61110-E

There is another input transition in an element that transitions from the exclusive event gateway. gateway-id = *aa....aa*, gateway-name = *bb....bb*, BPMN-element-id = *cc....cc*, BPMN-element-name = *dd....dd*

排他イベントゲートウェイから遷移する要素に，その他の入力遷移が存在しています。排他イベントゲートウェイ id 属性値 = *aa....aa*, 排他イベントゲートウェイ name 属性値 = *bb....bb*, BPMN 要素 id 属性値 = *cc....cc*, BPMN 要素 name 属性値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  遷移元の排他イベントゲートウェイ要素の id 属性値
- *bb....bb*
  遷移元の排他イベントゲートウェイ要素の name 属性値
- *cc....cc*
  例外原因 BPMN 要素の id 属性値
- *dd....dd*
  例外原因 BPMN 要素の name 属性値

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイル中にある，排他イベントゲートウェイから遷移する BPMN 要素が，その排他イベントゲートウェイからだけ遷移するように修正してください。

KDIW61111-E

A boundary event is unsupported. boundary-event-id = *aa....aa*, boundary-event-name = *bb....bb*

未サポートのアクティビティ境界イベントが使用されています。アクティビティ境界イベント id 属性値 = *aa....aa*, アクティビティ境界イベント name 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  例外原因アクティビティ境界イベント要素の id 属性値
- *bb....bb*
  例外原因アクティビティ境界イベント要素の name 属性値

対処

サポートするタイプのアクティビティ境界イベントだけ使用するように，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを見直してください。

KDIW61112-E

A subprocess has a typed start event. subprocess-id = *aa....aa*, subprocess-name = *bb....bb*, start-event-id = *cc....cc*, start-event-name = *dd....dd*

サブプロセス内にタイプありの開始イベントが存在します。サブプロセス id 属性値 = *aa....aa*, サブプロセス name 属性値 = *bb....bb*, 開始イベント id 属性値 = *cc....cc*, 開始イベント name 属性値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  例外原因サブプロセス要素の id 属性値
- *bb....bb*
  例外原因サブプロセス要素の name 属性値
- *cc....cc*
  例外原因開始イベント要素の id 属性値
- *dd....dd*
  例外原因開始イベント要素の name 属性値

対処

サブプロセス内にはタイプなしの開始イベントだけ定義できます。BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正してください。

KDIW61113-E

A start event is unsupported. start-event-id = *aa....aa*, start-event-name = *bb....bb*
未サポートの開始イベントが存在します。開始イベント id 属性値 = *aa....aa*, 開始イベント name 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  例外原因開始イベント要素の id 属性値
- *bb....bb*
  例外原因開始イベント要素の name 属性値

対処

サポートする BPMN 要素だけ使用するように，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを見直してください。

KDIW61114-E

An end event is unsupported. end-event-id = *aa....aa*, end-event-name = *bb....bb*
未サポートの終了イベントが存在します。終了イベント id 属性値 = *aa....aa*, 終了イベント name 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  例外原因終了イベント要素の id 属性値
- *bb....bb*
  例外原因終了イベント要素の name 属性値

対処

サポートする BPMN 要素だけ使用するように，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを見直してください。

KDIW61115-E

There are no process elements.
プロセス要素が存在しません。

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルにプロセス要素を追加してください。

KDIW61116-E

No elements transition from the exclusive event gateway. gateway-id = *aa....aa*, gateway-name = *bb....bb*

排他イベントゲートウェイから遷移する要素が存在しません。排他イベントゲートウェイ id 属性値 = *aa....aa*, 排他イベントゲートウェイ name 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  排他イベントゲートウェイ要素の id 属性値
- *bb....bb*
  排他イベントゲートウェイ要素の name 属性値

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの排他イベントゲートウェイからの遷移を見直してください。

KDIW61117-E

The attribute is not specified. BPMN-element-id = *aa....aa*, BPMN-element-name = *bb....bb*, type = *cc....cc*

属性が指定されていません。BPMN 要素 id 属性値 = *aa....aa*, BPMN 要素 name 属性値 = *bb....bb*, タイプ = *cc....cc*

- *aa....aa*
  例外原因 BPMN 要素の id 属性値
- *bb....bb*
  例外原因 BPMN 要素の name 属性値
- *cc....cc*
  タイプ

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルにある例外原因 BPMN 要素に関連する次の属性値を正しく指定してください。

- タイプが`MESSAGE` の場合：messageRef 属性値
- タイプが`OPERATION` の場合：operationRef 属性値
- タイプが`ERROR` の場合：errorRef 属性値
- タイプが`CALLED_ELEMENT` の場合：calledElement 属性値

KDIW61118-E

A condition is configured in a sequence flow which transitioned from elements other than exclusive gateway. BPMN-element-id = *aa....aa*, BPMN-element-name = *bb....bb*, sequence-flow-id = *cc....cc*, condition-expression = *dd....dd*

排他ゲートウェイ以外の要素から遷移するシーケンスフローに条件式が設定されています。BPMN 要素 id 属性値 = *aa....aa*, BPMN 要素 name 属性値 = *bb....bb*, シーケンスフローの id 属性値 = *cc....cc*, シーケンスフローの conditionExpression 要素値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  例外原因 BPMN 要素の id 属性値
- *bb....bb*
  例外原因 BPMN 要素の name 属性値
- *cc....cc*
  例外原因シーケンスフロー要素の id 属性値
- *dd....dd*
  例外原因シーケンスフロー要素の conditionExpression 要素値

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルにある，例外原因 BPMN 要素から遷移するシーケンスフローを見直してください。

分岐条件を使用する場合は，排他ゲートウェイを定義してください。

KDIW61119-E

The condition is not configured in the sequence flow which transitioned from an exclusive gateway. gateway-id = *aa....aa*, gateway-name = *bb....bb*, sequence-flow-id = *cc....cc*

排他ゲートウェイから遷移するシーケンスフローに条件式が設定されていません。排他ゲートウェイ要素 id 属性値 = *aa....aa*, 排他ゲートウェイ要素 name 属性値 = *bb....bb*, シーケンスフローの id 属性値 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  例外原因排他ゲートウェイ要素の id 属性値
- *bb....bb*
  例外原因排他ゲートウェイ要素の name 属性値
- *cc....cc*
  例外原因シーケンスフロー要素の id 属性値

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの排他ゲートウェイから遷移するシーケンスフローの conditionExpression 要素値を見直してください。また，デフォルトシーケンスフローを使用している場合は，排他ゲートウェイの default 属性値を設定してください。

KDIW61121-E

The loopCardinality was not configured for the multi-instance activity. id = *aa....aa*, name = *bb....bb*

マルチインスタンスのアクティビティに，loopCardinality が設定されていません。要素 id 属性値 = *aa....aa*, 要素 name 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  例外原因要素の`id` 属性値
- *bb....bb*
  例外原因要素の`name` 属性値

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのマルチインスタンスの定義をしている BPMN 要素の `loopCardinality` 要素値を設定してください。

KDIW61122-E

In the scope of the event sub-process, some elements have the same attribute value as the start event. event-subprocess-id = *aa....aa*, event-subprocess-name = *bb....bb*, type = *cc....cc*, attribute-value = *dd....dd*, element-ids = *ee....ee*, element-names = *ff....ff*

イベント・サブプロセスが動作するスコープ内に，開始イベントと同一の属性値を持つ要素が存在します。イベント・サブプロセス要素 id 属性値 = *aa....aa*, イベント・サブプロセス要素 name 属性値 = *bb....bb*, タイプ = *cc....cc*, 属性値 = *dd....dd*, 要素 id 属性値群 = *ee....ee*, 要素 name 属性値群 = *ff....ff*

- *aa....aa*
  イベント・サブプロセスの`id` 属性値
- *bb....bb*
  イベント・サブプロセスの`name` 属性値
- *cc....cc*
  タイプ

- *dd....dd*
  属性値
- *ee....ee*
  例外原因要素のid 属性値群
- *ff....ff*
  例外原因要素のname 属性値群

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルにある例外原因 BPMN 要素に関連する次の属性値を正しく指定するか，例外原因 BPMN 要素を削除してください。

- タイプがMESSAGE の場合
  messageRef 属性値
- タイプがERROR の場合
  errorRef 属性値

KDIW61123-E

In the scope of an element to which a boundary event is attached, some elements have the same attribute value as the boundary event. boundary-event-id = *aa....aa*, boundary-event-name = *bb....bb*, type = *cc....cc*, attribute-value = *dd....dd*, element-ids = *ee....ee*, element-names = *ff....ff*

アクティビティ境界イベントがアタッチしている要素のスコープ内に，アクティビティ境界イベントと同一の属性値を持つ要素が存在します。アクティビティ境界イベント要素 id 属性値 = *aa....aa*, アクティビティ境界イベント要素 name 属性値 = *bb....bb*, タイプ = *cc....cc*, 属性値 = *dd....dd*, 要素 id 属性値群 = *ee....ee*, 要素 name 属性値群 = *ff....ff*

- *aa....aa*
  アクティビティ境界イベントのid 属性値
- *bb....bb*
  アクティビティ境界イベントのname 属性値
- *cc....cc*
  タイプ
- *dd....dd*
  属性値
- *ee....ee*
  例外原因要素のid 属性値群

- *ff....ff*
  例外原因要素のname 属性値群

対処

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルにある例外原因 BPMN 要素に関連する次の属性値を正しく指定するか，例外原因 BPMN 要素を削除してください。

- タイプがMESSAGE の場合
  messageRef 属性値
- タイプがERROR の場合
  errorRef 属性値

KDIW61124-E

The specified XPath expression is invalid. element-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*, XPath-element = *cc....cc*, expression = *dd....dd*, details = *ee....ee*

指定された XPath 式の構文が不正です。要素 id 属性値 = *aa....aa*, 要素 name 属性値 = *bb....bb*, XPath 指定先要素名 = *cc....cc*, 式 = *dd....dd*, 詳細 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  id 属性値
- *bb....bb*
  name 属性値
- *cc....cc*
  XPath 指定先要素名
- *dd....dd*
  指定された式
- *ee....ee*
  詳細情報

対処

XPath を正しく修正してください。なお，マルチインスタンスのプロセスデータを指定する際は，次の形式となっていることを確認してください。

```
プロセスデータキー名{MIIndex}
```

KDIW61125-E

The timer rule specified in the timer event definition is invalid. event-id = *aa....aa*, event-name = *bb....bb*

指定されたタイマールールが不正です。イベント要素 id 属性値 = *aa....aa*, イベント要素 name 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  イベントid 属性値

- *bb....bb*

  イベントname 属性値

対処

例外原因となった開始イベント，キャッチ中間イベント，または境界イベントのタイマールールを 1 つだけ指定してください。

KDIW61126-W

A dynamic value was specified for loopCardinality of the multi-instance subprocess, but the -mimax option was not specified. subprocess-id = *aa....aa*, subprocess-name = *bb....bb*, loop-cardinality = *cc....cc*

繰り返し回数が不定なマルチインスタンスのサブプロセスが存在しますが，-mimax オプションが指定されていません。サブプロセス id 属性値 = *aa....aa*, サブプロセス name 属性値 = *bb....bb*, 繰り返し回数 = *cc....cc*

- *aa....aa*

  マルチインスタンスのサブプロセスid 属性値

- *bb....bb*

  マルチインスタンスのサブプロセスname 属性値

- *cc....cc*

  マルチインスタンスのサブプロセスのloopCardinality 要素値

対処

loopCardinality の XPath 式が妥当か確認してください。実行環境での XPath 式評価結果が，-mimax オプションのデフォルト値 10 を超過する場合，実行環境でエラーになることがあります。-mimax オプションに，XPath 式の評価結果以上の値を設定することを推奨します。

KDIW61127-E

The specified process-data-key name is invalid. element-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*, process-data-key-name = *cc....cc*

プロセスデータキー名を正しく指定してください。要素 id 属性値 = *aa....aa*, 要素 name 属性値 = *bb....bb*, プロセスデータキー名 = *cc....cc*

- *aa....aa*

  id 属性値

- *bb....bb*

  name 属性値

- *cc....cc*

  プロセスデータキー名

対処

プロセスデータキー名を正しく指定してください。前後に空白文字がある場合は削除してください。なお，マルチインスタンスのプロセスデータを指定する際は，次の形式になっていることを確認してください。

```
プロセスデータキー名{MIIndex}
```

KDIW61128-E

A multi-instance ad-hoc subprocess is not supported. element-id = *aa....aa*, element-name = *bb....bb*

マルチインスタンスのアドホック・サブプロセスは非サポートです。要素 id 属性値 = *aa....aa*, 要素 name 属性値 = *bb....bb*

- *aa....aa*

  id 属性値

- *bb....bb*

  name 属性値

対処

BPMN エディタでファイルを開き，エラーに対処してください。検証結果を反映するためには，BPMN エディタでファイルを保存してください。

KDIW61200-I

The check of business process definitions was successfully completed. source-file-path = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義のチェックが正常に完了しました。入力ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルパス

KDIW61201-W

A warning occurred while business process definitions were being checked. source-file-path = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義のチェックで警告が発生しました。入力ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルパス

対処

コマンドのメッセージファイルを確認して，必要に応じて BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正してください。

KDIW61202-E

An error occurred while business process definitions were being checked. source-file-path = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義のチェックでエラーが発生しました。入力ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルパス

対処

コマンドのメッセージファイルを確認して，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを修正してください。

KDIW61203-E

The value of the specified property key is invalid. property-key = *aa....aa*, value = *bb....bb*

指定されているプロパティキーの値が不正です。プロパティキー = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  プロパティキー
- *bb....bb*
  指定された値

対処

`ciwtransbpmn.properties` で指定したプロパティを修正してください。

9.4 KDIW62000～KDIW62999

KDIW62000-E

An attempt to initialize the REST service has failed. details = *aa....aa*
REST サービスの初期化に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- CSCIWManagementServer が起動していません。
- ネーミングサービスが開始していません。
- CSCIW の API または BPMN 連携ライブラリの実行中にエラーが発生しました。

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてください。

KDIW62001-W

The URL parameter is invalid. parameter name = *aa....aa*, value = *bb....bb*
URL のパラメタが不正です。パラメタ名 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  不正なパラメタ名
- *bb....bb*
  不正なパラメタの値

対処

パラメタを確認して，操作を再実行してください。

KDIW62002-E

An attempt to acquire the CIWServer has failed. details = *aa....aa*

CIWServer の取得に失敗しました。詳細 ＝*aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてください。

次に示す要因が考えられます。

- CSCIWManagementServer が起動していません。
- CSCIW の API の実行中にエラーが発生しました。CSCIW の API のログを確認して，原因を取り除いてください。

KDIW62003-E

An attempt to begin UserTransaction has failed. details ＝*aa....aa*
トランザクションの開始に失敗しました。詳細 ＝*aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

次に示す要因が考えられます。

- ネーミングサービスが開始していません。

KDIW62004-E

An attempt to acquire a process instance has failed. details ＝*aa....aa*
案件の取得に失敗しました。詳細 ＝*aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62005-W

The request parameter is invalid. parameter name = *aa....aa*, value = *bb....bb*
リクエストパラメタが不正です。パラメタ名 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  不正なパラメタ名
- *bb....bb*
  不正なパラメタの値

対処

パラメタを確認して，操作を再実行してください。

KDIW62006-E

An attempt to complete the UserTransaction has failed. details = *aa....aa*
トランザクションの決着に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62007-E

An attempt to acquire an activity instance has failed. details = *aa....aa*
業務ステップの取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62008-E

An attempt to acquire a work item has failed. details = *aa....aa*
作業の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62009-E

An attempt to acquire a process definition has failed. details = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62010-W

The user description is invalid. user description = *aa....aa*
ユーザ記述子が不正です。ユーザ記述子 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  ユーザ記述子

対処

ユーザ記述子が適切かどうか確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62011-W

An attempt to perform roll-back processing failed, but processing will continue. details = *aa....aa*

ロールバック処理の実行に失敗しましたが，処理は続行します。詳細 ＝*aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認してください。

KDIW62012-W

An attempt to close the connection has failed, but processing will continue. details ＝*aa....aa*
コネクションのクローズに失敗しましたが，処理は続行します。詳細 ＝*aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認してください。

KDIW62013-E

An attempt to acquire a work definition has failed. details ＝*aa....aa*
作業定義の取得に失敗しました。詳細 ＝*aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62014-W

The process instance does not exist. process-instance-ID ＝*aa....aa*
案件が存在しません。案件 ID ＝*aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

対処

指定された案件 ID を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62015-W

The activity instance does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*
業務ステップが存在しません。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID

対処

指定された案件 ID と業務ステップ ID を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62016-W

The work item does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*
作業が存在しません。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID

対処

指定された案件 ID と作業 ID を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62017-W

The process definition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*

ビジネスプロセス定義 ID

対処

指定されたビジネスプロセス定義 ID を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62018-W

The work definition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*, work-definition-ID = *bb....bb*

作業定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 作業定義 ID = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  作業定義 ID

対処

指定されたビジネスプロセス定義 ID と作業定義 ID を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62020-W

The BPMN definition file does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが存在しません。案件 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義の名称 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義のバージョン = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  ビジネスプロセス定義の名称
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義のバージョン

対処

指定された案件 ID を確認してから，操作を再実行してください。

ワーク管理データベースに BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを登録していない場合は，登録して操作を再実行してください。

03-00 以前のバージョンからバージョンアップしている場合は，BPMN 連携ライブラリのログを確認して，原因を取り除いてください。

KDIW62021-E

An attempt to make backward transition an activity instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

業務ステップの差し戻しまたは引き戻しが失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62022-E

Message send processing has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, messageRef = *bb....bb*, details = *cc....cc*

メッセージのキャッチ処理に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, messageRef = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  messageRef
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62023-E

An attempt to perform and complete a work item has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

作業を着手して完了する処理が失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62024-E

An attempt to reassign a work item has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

作業の割り当てが失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62025-E

An attempt to create and start a process instance has failed. details = *aa....aa*

案件の生成と開始が失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62026-E

An attempt to delete a process instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*
案件の削除が失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62027-E

An attempt to terminate a process instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*
案件の強制終了が失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62028-I

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow REST Service has started.
REST サービスが起動しました。

KDIW62029-I

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow REST Service has stopped.
REST サービスが停止しました。

KDIW62030-E

An attempt to initialize the BPMN cooperation library has failed. details = *aa....aa*
BPMN 連携ライブラリの初期化に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- CSCIWManagementServer が起動していません。
- BPMN 連携ライブラリの実行中にエラーが発生しました。

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてください。

BPMN 連携ライブラリの実行中にエラーが発生した場合は，BPMN 連携ライブラリのログを確認してください。

KDIW62031-W

The process-data specified in the request parameter is invalid. process-data key = *aa....aa*, process-data value = *bb....bb*
リクエストパラメタに指定されたプロセスデータが不正です。プロセスデータキー名 = *aa....aa*, プロセスデータ値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  プロセスデータキー名
- *bb....bb*
  プロセスデータ値

対処

指定したプロセスデータを確認して，操作を再実行してください。

KDIW62032-W

An invalid number of parameters are specified in the request parameter. parameter name = *aa....aa*
リクエストパラメタに指定されたパラメタの数が不正です。パラメタ名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  パラメタ名

対処

パラメタの数を確認して，操作を再実行してください。必須な項目は設定するよう見直してください。

リクエストパラメタが JSON 形式の場合，すべてのパラメタの値が「"」（半角ダブルクォーテーション）で囲まれているかを見直してください。

KDIW62033-E

An attempt to acquire a BPMN definition file has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*
BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62034-W

An attempt to acquire a process instance has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. details = *aa....aa*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，案件の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*

  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62035-W

An attempt to acquire an activity instance has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. details = *aa....aa*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，業務ステップの取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*

  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62036-W

An attempt to acquire a work item has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. details = *aa....aa*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，作業の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*

  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62037-W

An attempt to acquire a process definition has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. details = *aa....aa*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，ビジネスプロセス定義の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62038-W

An attempt to acquire a work definition has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. details = *aa....aa*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，作業定義の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62039-W

An attempt to make backward transition an activity instance has failed because a warning occurred during an execution of the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，業務ステップの差し戻しまたは引き戻しが失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*

詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62040-W

Message send processing has failed because a warning occurred during an execution of the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, messageRef = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，メッセージのキャッチ処理に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, messageRef = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  messageRef
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62041-W

An attempt to perform and complete a work item has failed because a warning occurred during an execution of the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，作業を着手して完了する処理が失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62042-W

An attempt to reassign a work item has failed because a warning occurred during an execution of the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，作業の割り当てが失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

リクエストパラメタが JSON 形式の場合，すべてのパラメタの値が「"」（半角ダブルクォーテーション）で囲まれているかを見直してください。

KDIW62043-W

An attempt to create and start a process instance has failed because a warning occurred during an execution of the BPMN cooperation library. details = *aa....aa*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，案件の生成と開始が失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62044-W

An attempt to delete a process instance has failed because a warning occurred during an execution of the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*
BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，案件の削除が失敗しました。案件 ID = *aa....aa*，詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62045-W

An attempt to terminate a process instance has failed because a warning occurred during an execution of the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*
BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，案件の強制終了が失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62046-E

An attempt to create process-data has failed. details = *aa....aa*
プロセスデータの生成に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62047-E

Finalization processing within the BPMN cooperation library has failed. details = *aa....aa*
BPMN 連携ライブラリの終了処理に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- BPMN 連携ライブラリの実行中にエラーが発生しました。

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてください。

KDIW62048-E

An error occurred during an execution call to the REST API. details = *aa....aa*
REST API の実行中にエラーが発生しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。再実行後も同様のエラーが発生する場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW62049-E

An attempt to acquire connection has failed. details = *aa....aa*
コネクションの取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62050-W

The format of the request parameter that was sent is not supported. request parameter = *aa....aa*
送信されたリクエストパラメタの形式はサポートされていません。リクエストパラメタ = *aa....aa*

- *aa....aa*
  送信されたリクエストパラメタの形式

対処

送信されたリクエストパラメタの形式が正しいかどうか確認してください。

KDIW62051-W

The event awaiting the reception of the message does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*, messageRef = *bb....bb*
メッセージの受信を待っているイベントが存在しません。案件 ID = *aa....aa*, messageRef = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  messageRef

対処

指定された案件 ID と messageRef を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62052-E

An attempt to acquire a process instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

案件の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62053-W

An attempt to acquire a process instance has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，案件の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62054-E

An attempt to acquire an activity instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

業務ステップの取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62055-W

An attempt to acquire an activity instance has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，業務ステップの取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62056-E

An attempt to acquire a work item has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

作業の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62057-W

An attempt to acquire a work item has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，作業の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62058-E

An attempt to acquire a process definition has failed. process-definition-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

ビジネスプロセス定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62059-W

An attempt to acquire a process definition has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. process-definition-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，ビジネスプロセス定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62060-E

An attempt to acquire a work definition has failed. process-definition-ID = *aa....aa*, work-definition-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

作業定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 作業定義 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  作業定義 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62061-W

An attempt to acquire a work definition has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. process-definition-ID = *aa....aa*, work-definition-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，作業定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 作業定義 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*

ビジネスプロセス定義 ID

- *bb....bb*
  作業定義 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62062-E

An attempt to acquire a process instance of the specified process definition has failed. process-definition-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

指定されたビジネスプロセス定義の案件の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62063-W

An attempt to acquire a process instance of the specified process definition has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. process-definition-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，指定されたビジネスプロセス定義の案件の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62064-W

The parent process instance does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*
親案件が存在しません。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

対処

指定された案件 ID を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62065-W

The child process instance does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*
子案件が存在しません。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID

対処

指定された案件 ID と作業 ID を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62066-W

The parent work item does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*
親の作業が存在しません。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

対処

指定された案件 ID を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62067-E

An attempt to acquire a parent process instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

親案件の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62068-W

An attempt to acquire a parent process instance has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，親案件の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62069-E

An attempt to acquire a child process instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

子案件の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62070-W

An attempt to acquire a child process instance has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，子案件の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62071-E

An attempt to acquire a parent work item has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

親の作業の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62072-W

An attempt to acquire a parent work item has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，親の作業の取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62073-E

An attempt to acquire a resource count has failed. resource = *aa....aa*, details = *bb....bb*

リソース数の取得に失敗しました。リソース= *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  リソース
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62074-W

An attempt to acquire a resource count has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. resource = *aa....aa*, details = *bb....bb*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，リソース数の取得に失敗しました。リソース = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  リソース
- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62075-E

An attempt to perform a work item has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

作業の着手に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*,詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62076-W

An attempt to perform a work item has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，作業の着手に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62077-E

An attempt to complete a work item has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

作業の完了に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*,詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62078-W

An attempt to complete a work item has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，作業の完了に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62079-E

An attempt to reassign and perform a work item has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

作業者を割り当てて着手に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*,詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62080-W

An attempt to reassign and perform a work item has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，作業者を割り当てて着手に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

リクエストパラメタが JSON 形式の場合，すべてのパラメタの値が「"」（半角ダブルクォーテーション）で囲まれているかを見直してください。

KDIW62081-E

An attempt to change the state of a work item has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, state = *cc....cc*, details = *dd....dd*

作業の状態変更に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  状態
- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62082-W

An attempt to change the state of a work item has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, state = *cc....cc*, details = *dd....dd*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，作業の状態変更に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  状態
- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62083-E

An attempt to ad hoc request of the create and make transition an activity instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, activity-definition-name = *cc....cc*, details = *dd....dd*

業務ステップの強制遷移に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 遷移先業務ステップ定義名 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  遷移先の業務ステップ定義名
- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62084-W

An attempt to ad hoc request of the create and make transition an activity instance has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, activity-definition-name = *cc....cc*, details = *dd....dd*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，業務ステップの強制遷移に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 遷移先業務ステップ定義名 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  遷移先の業務ステップ定義名
- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62085-E

An attempt to change the state of an activity instance has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, state = *cc....cc*, details = *dd....dd*

業務ステップの状態変更に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*

状態

- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62086-W

An attempt to change the state of an activity instance has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, state = *cc....cc*, details = *dd....dd*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，業務ステップの状態変更に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  状態
- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62087-E

An attempt to acquire a process-data has failed. details = *aa....aa*

プロセスデータの取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62088-W

An attempt to acquire a process-data has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. details = *aa....aa*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，プロセスデータの取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62089-E

An attempt to set a process-data has failed. details = *aa....aa*

プロセスデータの登録に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62090-W

An attempt to set a process-data has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. details = *aa....aa*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，プロセスデータの登録に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62091-E

An attempt to assign and perform work items which match the condition has failed. details = *aa....aa*

条件に一致する作業の作業者割り当てと着手に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62092-W

An attempt to assign and perform work items which match the condition has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. details = *aa....aa*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，条件に一致する作業の作業者割り当てと着手に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62093-E

An attempt to return a work item has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

作業の返却に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*

詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62094-W

An attempt to return a work item has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，作業の返却に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62095-E

An attempt to acquire a flow node instance has failed. process-definition-name = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb....bb*, flow-node-ID = *cc....cc*, flow-node-name = *dd....dd*, statecode = *ee....ee*, miindex = *ff....ff*, details = *gg....gg*

フローノードインスタンスの取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, 案件 ID = *bb....bb*, フローノード ID = *cc....cc*, フローノード名 = *dd....dd*, 状態 = *ee....ee*, マルチインスタンスインデクス = *ff....ff*, 詳細 = *gg....gg*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義名
- *bb....bb*
  案件 ID
- *cc....cc*

フローノード ID

- *dd....dd*
  フローノード名
- *ee....ee*
  状態
- *ff....ff*
  マルチインスタンスインデクス
- *gg....gg*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62096-W

An attempt to acquire a flow node instance has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-definition-name = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb....bb*, flow-node-ID = *cc....cc*, flow-node-name = *dd....dd*, statecode = *ee....ee*, miindex = *ff....ff*, details = *gg....gg*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，フローノードインスタンスの取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, 案件 ID = *bb....bb*, フローノード ID = *cc....cc*, フローノード名 = *dd....dd*, 状態 = *ee....ee*, マルチインスタンスインデクス = *ff....ff*, 詳細 = *gg....gg*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義名
- *bb....bb*
  案件 ID
- *cc....cc*
  フローノード ID
- *dd....dd*
  フローノード名
- *ee....ee*
  状態
- *ff....ff*
  マルチインスタンスインデクス
- *gg....gg*

詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62097-E

An attempt to acquire a flow node definition has failed. process-definition-name = *aa....aa*, flow-node-ID = *bb....bb*, flow-node-name = *cc....cc*, details = *dd....dd*

フローノード定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*,フローノード ID = *bb....bb*, フローノード名 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義名
- *bb....bb*
  フローノード ID
- *cc....cc*
  フローノード名
- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62098-W

An attempt to acquire a flow node definition has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-definition-name = *aa....aa*, flow-node-ID = *bb....bb*, flow-node-name = *cc....cc*, details = *dd....dd*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，フローノード定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, フローノード ID = *bb....bb*, フローノード名 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義名
- *bb....bb*
  フローノード ID

- *cc....cc*
  フローノード名
- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62099-E

An attempt to initialize the REST service has failed because a logger is not initialized.
ログが初期化されていないため，REST サービスの初期化に失敗しました。

対処

REST サービスのデプロイでエラーになっていないかを確認してください。エラーになっている場合は，REST サービスをデプロイし直してから，操作を再実行してください。

KDIW62100-E

An attempt to attach database connection failed. details = *aa....aa*
データベースのコネクションのアタッチに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62101-W

An attempt to detach database connection failed, but processing will continue. details = *aa....aa*
データベースのコネクションのデタッチに失敗しましたが，処理は続行します。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認してください。

KDIW62102-E

An attempt to set the deadline for timer has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, Deadline= *cc....cc*, details = *dd....dd*

タイマーの処理期限の設定に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 処理期限 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  処理期限
- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62103-W

An attempt to set the deadline for timer has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，タイマーの処理期限の設定に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62104-E

An attempt to acquire an index of list type process-data has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, process-data key = *bb....bb*, process-data value = *cc....cc*, details = *dd....dd*

リスト型プロセスデータのインデクスの取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, プロセスデータキー名= *bb....bb*, プロセスデータ値 = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  プロセスデータキー名
- *cc....cc*
  プロセスデータ値
- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62105-W

An attempt to acquire an index of list type process-data has failed because a warning occurred during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, process-data key = *bb....bb*, process-data value = *cc....cc*, details = *dd....dd*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，リスト型プロセスデータのインデクスの取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, プロセスデータキー名= *bb....bb*, プロセスデータ値= *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  プロセスデータキー名
- *cc....cc*

プロセスデータ値

- *dd....dd*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62106-W

The work item which match the condition does not exist.
条件に一致する作業が存在しません。

対処

指定された条件を確認してから，操作を再実行してください。

KDIW62107-E

The request body is set. request body = *aa....aa*
リクエストボディが設定されています。リクエストボディ = *aa....aa*

- *aa....aa*
  リクエストボディ

対処

`Content-Type` ヘッダに適切なパラメタを設定するか，またはリクエストボディを省略してから，操作を再実行してください。

KDIW62108-E

An attempt to create a flow node instance failed. process-instance-ID = *aa....aa*, flow-node-ID = *bb....bb*, flow-node-name = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*, details = *ee....ee*
フローノードの生成に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, フローノード ID = *bb....bb*, フローノード名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*, 詳細 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID

- *bb....bb*
  フローノード ID
- *cc....cc*
  フローノード名
- *dd....dd*
  マルチインスタンスインデクス
- *ee....ee*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62109-W

An attempt to create a flow node instance failed because a warning was issued during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, flow-node-ID = *bb....bb*, flow-node-name = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*, details = *ee....ee*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，フローノードの生成に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, フローノード ID = *bb....bb*, フローノード名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*, 詳細 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  フローノード ID
- *cc....cc*
  フローノード名
- *dd....dd*
  マルチインスタンスインデクス
- *ee....ee*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62110-E

An attempt to change the state of an ad-hoc subprocess failed. process-instance-ID = *aa....aa*, ad-hoc-subprocess-ID = *bb....bb*, ad-hoc-subprocess-name = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*, state = *ee....ee*, details = *ff....ff*

アドホック・サブプロセスの状態変更に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, アドホック・サブプロセス ID = *bb....bb*, アドホック・サブプロセス名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*, 状態 = *ee....ee*, 詳細 = *ff....ff*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  アドホック・サブプロセス ID
- *cc....cc*
  アドホック・サブプロセス名
- *dd....dd*
  マルチインスタンスインデクス
- *ee....ee*
  状態
- *ff....ff*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62111-W

An attempt to change the state of an ad-hoc subprocess failed because a warning was issued during an execution call to the BPMN cooperation library. process-instance-ID = *aa....aa*, ad-hoc-subprocess-ID = *bb....bb*, ad-hoc-subprocess-name = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*, state = *ee....ee*, details = *ff....ff*

BPMN 連携ライブラリの実行中に警告が発生したため，アドホック・サブプロセスの状態変更に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, アドホック・サブプロセス ID = *bb....bb*, アドホック・サブプロセス名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*, 状態 = *ee....ee*, 詳細 = *ff....ff*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*

アドホック・サブプロセス ID

- *cc....cc*
  アドホック・サブプロセス名
- *dd....dd*
  マルチインスタンスインデクス
- *ee....ee*
  状態
- *ff....ff*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62112-E

The specified request body or Content-Type header is invalid.
リクエストボディまたは Content-Type ヘッダに指定された値が不正です。

要因

次の要因が考えられます。

- リクエストボディが指定されていません。
- Content-Type ヘッダに REST サービスがサポートしていない値が指定されています。

対処

リクエストボディと Content-Type ヘッダに指定した値を確認して，操作を再実行してください。

KDIW62113-W

An attempt to acquire a BPMN definition file failed because a warning was issued. process-instance-ID = *aa....aa*, details = *bb....bb*
警告が発生したため，BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの取得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*，詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID

- *bb....bb*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62114-E

An attempt to acquire an activity definition has failed. details = *aa....aa*
業務ステップ定義の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62115-W

An attempt to acquire an activity definition has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. details =*aa....aa*
CSCIW API の実行中に警告が発生したため，業務ステップ定義の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62116-E

An attempt to acquire an activity definition has failed. process-definition-ID = *aa....aa*, activity-definition-ID =*bb....bb*, details = *cc....cc*
業務ステップ定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 業務ステップ定義 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*

ビジネスプロセス定義 ID

- *bb....bb*
  業務ステップ定義 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62117-W

An attempt to acquire an activity definition has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. process-definition-ID = *aa....aa*, activity-definition-ID = *bb....bb*, details = *cc....cc*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，業務ステップ定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 業務ステップ定義 ID = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ定義 ID
- *cc....cc*
  詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW62118-W

The activity definition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*, activity-definition-ID = *bb....bb*

業務ステップ定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 業務ステップ定義 ID = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*

業務ステップ定義 ID

対処

指定されたビジネスプロセス定義 ID と業務ステップ定義 ID を確認してから，操作を再実行してください。

9.5 KDIW63000～KDIW63199

KDIW63000-I

Initialization processing of the BPMN cooperation library is complete.
BPMN 連携ライブラリの初期化処理が完了しました。

要因

BPMN 連携ライブラリの初期化処理が完了しました。

KDIW63001-I

BPMN cooperation library termination processing is complete.
BPMN 連携ライブラリの終了処理が完了しました。

要因

BPMN 連携ライブラリの終了処理が完了しました。

KDIW63002-I

Initialization processing of the BPMN cooperation library for the REST service is complete.
REST サービス用の BPMN 連携ライブラリの初期化処理が完了しました。

要因

REST サービス用の BPMN 連携ライブラリの初期化処理が完了しました。

KDIW63003-I

Initialization processing of the BPMN cooperation library for the Application-call Service is complete.
アプリケーション呼び出しサービス用の BPMN 連携ライブラリの初期化処理が完了しました。

要因

アプリケーション呼び出しサービス用の BPMN 連携ライブラリの初期化処理が完了しました。

KDIW63004-E

An attempt to initialize the BPMN cooperation library has failed.
BPMN 連携ライブラリの初期化処理が失敗しました。

要因

BPMN 連携ライブラリの初期化処理が失敗しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照して対処してください。

KDIW63005-E

CSCIWManagementServer is not available at the moment.
CSCIWManagementServer は現在利用できません。

要因

CSCIWManagementServer が起動していません。

対処

CSCIWManagementServer の起動後，BPMN 連携ライブラリの初期化処理を実行してください。

- Java アプリケーションの場合
  初期化する前に`CIWAdmin` クラスの`initializeCIWFactory` メソッドを実行してください。
- J2EE アプリケーションの場合
  初期化する前に CSCIWManagementServer を起動してください。
- REST サービス，およびアプリケーション呼び出しサービスの場合
  開始する前に CSCIWManagementServer を起動してください。

KDIW63006-E

MultiSinkMode has not been configured.
マルチシンクモードが設定されていません。

要因

CSCIW のセットアッププロパティファイルの MultiSinkMode が false になっています。

対処

CSCIW のセットアッププロパティファイルの MultiSinkMode のパラメタを true に変更してください。

KDIW63007-E

The BPMN cooperation library has not been initialized.
BPMN 連携ライブラリが初期化されていません。

要因

BPMN 連携ライブラリが初期化されていません。

対処

BPMN 連携ライブラリの初期化処理を実行してください。

KDIW63008-E

The value specified for the environment variable *aa....aa* is invalid. value = *bb....bb*
環境変数 *aa....aa* に指定した値が有効な値ではありません。値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  環境変数名
- *bb....bb*
  環境変数指定値

要因

環境変数の指定値が次のどちらかの要因で不正です。

- 指定値が使用可能なディレクトリではありません。
- 指定値が絶対パスではありません。

対処

指定の環境変数の設定値から該当する要因を取り除き再実行してください。

KDIW63009-E

An attempt to read the system BPMN global setting property file has failed. details = *aa....aa*

共通設定ファイルの読み込みに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細

要因

共通設定ファイル(csciwbpmnconf.properties)の読み込みに失敗しました。

対処

詳細に示された障害を取り除いたあと，再実行してください。

次のどちらかに該当する場合は，uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow を上書きで再インストールしてください。

- 共通設定ファイルが存在しない場合
- 再実行後に同じエラーが発生する場合

KDIW63010-E

The content of the specified property key is invalid. property-key = *aa....aa*, value = *bb....bb*
指定されているプロパティキーの内容が不正です。プロパティキー = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  プロパティキー
- *bb....bb*
  指定値

要因

共通設定ファイルのプロパティキーに指定した値に誤りがあります。

対処

プロパティキーに指定できる値をマニュアル『uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow BPMN 連携機能　使用の手引』で確認してから，正しい値を指定してください。

継続して同様のエラーとなる場合は，環境変数 CSCIW_CONF_DIR の定義を確認し，意図した共通設定ファイルを参照しているかどうか確認してから実行してください。

ディレクトリを指定するプロパティキーの場合は，ディレクトリのアクセス権限を確認してください。

KDIW63011-E

An attempt to acquire database column information has failed.
データベースのカラム情報の取得に失敗しました。

要因

データベースアクセス処理でエラーが発生しました。

対処

事前に出力される DB アクセスのメッセージに従って要因を取り除いてください。

KDIW63012-W

An attempt to initialize the trace file has failed.
トレースファイルの初期化処理に失敗しました。

要因

トレースファイルのパス名が正しくありません。

対処

共通設定ファイルに指定したログ出力先ディレクトリのパス名を見直してください。

KDIW63013-W

An attempt to initialize the message file has failed.
メッセージファイルの初期化処理に失敗しました。

要因

メッセージファイルのパス名が正しくありません。

対処

共通設定ファイルに指定したログ出力先ディレクトリのパス名を見直してください。

KDIW63014-W

An attempt to start trace output has failed. cause = *aa....aa*

トレース出力の開始に失敗しました。要因 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  エラー理由

要因

トレース出力を開始できませんでした。

対処

エラー理由を基に要因を取り除いてください。

KDIW63015-W

An attempt to start message output has failed. cause = *aa....aa*
メッセージ出力の開始に失敗しました。要因 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  エラー理由

要因

メッセージ出力を開始できませんでした。

対処

エラー理由を基に要因を取り除いてください。

KDIW63016-W

An attempt to delete the trace file has failed. cause = *aa....aa*
トレースファイルの削除に失敗しました。要因 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  エラー理由

要因

古いトレースファイルの削除に失敗しました。

対処

エラー理由を基に要因を取り除いてください。

KDIW63017-W

An attempt to delete the message file has failed. cause = *aa....aa*
メッセージファイルの削除に失敗しました。要因 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  エラー理由

要因

古いメッセージファイルの削除に失敗しました。

対処

エラー理由を基に要因を取り除いてください。

KDIW63018-E

An attempt to read the BPMN definition file has failed. file-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの読み込みに失敗しました。ファイル名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ファイル名
- *bb....bb*
  詳細情報

要因

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの読み込みエラーが発生しました。

対処

ワーク管理データベースに BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを登録して，操作を再実行してください。

03-00 以前のバージョンからバージョンアップしている場合は，詳細に示された障害を取り除いたあと，再実行してください。

KDIW63019-E

A BPMN definition name is invalid.
ビジネスプロセス定義名が不正です。

要因

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの取得において，ビジネスプロセス定義名が指定されていないか，誤ったファイル名が指定されています。

対処

適切なビジネスプロセス定義名を指定して，操作を再実行してください。

KDIW63020-E

A BPMN definition version is not specified.
ビジネスプロセス定義バージョンが指定されていません。

要因

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルの取得において，ビジネスプロセス定義バージョンが指定されていません。

対処

適切なビジネスプロセス定義バージョンを指定して，操作を再実行してください。

KDIW63021-E

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow BPMN Library is not available at the moment.
uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow BPMN 連携ライブラリは現在利用できません。

要因

BPMN 連携ライブラリの初期化処理が実行されていません。

対処

CIWBPMNLibAdmin クラスの initializeCIWBPMNLib メソッドを実行してください。

KDIW63022-W

The BPMN definition file does not exist. file-path = *aa....aa*
BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが存在しません。ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  BPMN ビジネスプロセス定義ファイルのパス

要因

BPMN ビジネスプロセス定義ファイルが見つかりません。

対処

ワーク管理データベースに BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを登録して，操作を再実行してください。

03-00 以前のバージョンからバージョンアップしている場合は，BPMN ビジネスプロセス定義ファイル格納先ディレクトリに指定した BPMN ビジネスプロセス定義ファイルを配置して，再実行してください。

KDIW63023-E

An error occurred while conditions were being evaluated. details = *aa....aa*, condition-name = *bb....bb*, condition-expression = *cc....cc*
条件評価に失敗しました。詳細 = *aa....aa*, 条件名 = *bb....bb*, 条件式 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  詳細情報
- *bb....bb*
  評価した条件名
- *cc....cc*
  条件に定義された文字列

要因

指定した分岐条件の評価に失敗しました。

なお，詳細情報に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- `Not Found` の場合
  案件内に，条件式に記述されたプロセスデータキー名が存在しません。
- `Invalid Process Data Format` の場合
  条件式に記述されたプロセスデータキー名のフォーマットが誤っています。XPath 拡張関数に指定されたプロセスデータの値の型が誤っています。
- `Invalid Process Data Value` の場合
  条件式に記述されたプロセスデータキー名のプロセスデータの値が null です。
- `Invalid Expression Format` の場合

条件式に記述された XPath 式が不正です。条件式に定義された文字列に"null"が出力されている場合，対象の案件のビジネスプロセス定義が 02-20 より古いバージョンのciwtransbpmn コマンドで変換されたビジネスプロセス定義であることがあります。

- SQL Transient Failure の場合

  プロセスデータ取得時に DBMS で一時的例外が発生しました。

- SQL Failure の場合

  プロセスデータ取得時に SQL 例外が発生しました。

- Other Reason の場合

  上記以外のエラーが発生しました。

対処

詳細情報を基に，関連するエラー情報を参照して対処してください。

なお，「SQL Transient Failure」，「SQL Failure」および「Other Reason」の場合は，このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。「Invalid Expression Format」の場合で，条件式に定義された文字列に"null"が出力されているときは，02-20 以降のバージョンのciwtransbpmn コマンドで変換されたビジネスプロセス定義を再登録してください。

KDIW63024-E

An attempt to initialize the BPMN cooperation library for Rest Service has failed.
REST サービス用の BPMN 連携ライブラリの初期化処理が失敗しました。

要因

REST サービス用の BPMN 連携ライブラリの初期化処理が失敗しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照して対処してください。

KDIW63025-E

An attempt to initialize the BPMN cooperation library for Application-call Service has failed.
アプリケーション呼び出しサービス用の BPMN 連携ライブラリの初期化処理が失敗しました。

要因

アプリケーション呼び出しサービス用の BPMN 連携ライブラリの初期化処理が失敗しました。

対処

このメッセージの前に出力されたメッセージを参照して対処してください。

KDIW63026-E

The reference of process-data table has failed.
プロセスデータテーブルの参照に失敗しました。

要因

プロセスデータテーブルが見つかりません。

プロセスデータテーブルが作成されていないか，またはテーブル名とカラム名が間違っているおそれがあります。

対処

プロセスデータテーブルが存在しない場合は，SQL スクリプトファイルを実行してテーブルを作成してください。

KDIW63027-E

The content of the specified property key is invalid. file-path = *aa....aa*, property-key = *bb....bb*
指定されているプロパティキーの内容が不正です。ファイルパス = *aa....aa*, プロパティキー = *bb....bb*

- *aa....aa*
  プロパティファイルのファイルパス
- *bb....bb*
  プロパティキー

要因

プロパティのキーとしてサポートしていない値が設定されています。

対処

該当するプロパティファイルの仕様を確認し，プロパティキーを修正してください。

KDIW63028-E

The content of the specified property value is invalid. file-path = *aa....aa*, property-key = *bb....bb*, property-value = *cc....cc*

指定されているプロパティ値の内容が不正です。ファイルパス = *aa....aa*, プロパティキー = *bb....bb*, プロパティ値 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  プロパティファイルのファイルパス
- *bb....bb*
  プロパティキー
- *cc....cc*
  プロパティ値

要因

プロパティ値に，プロパティキーで定められた指定できる値以外の値が設定されています。

対処

該当するプロパティファイルの仕様を確認し，プロパティキーまたはプロパティ値を修正してください。

KDIW63029-E

The contents of the property file are invalid. file-path = *aa....aa*

プロパティファイルの内容が不正です。ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  プロパティファイルのファイルパス

要因

プロパティファイルの静的解析に失敗しました。

対処

先行するメッセージ（KDIW63027-E，KDIW63028-E）の対処を実行してください。

KDIW63030-E

Evaluation of the loopCardinality of the multi-instance activity failed. details = *aa....aa*, work-definition-name = *bb....bb*, loopCardinality = *cc....cc*

マルチインスタンスのアクティビティに設定された loopCardinality の評価に失敗しました。詳細 = *aa....aa*, 作業定義名 = *bb....bb*, loopCardinality = *cc....cc*

- *aa....aa*
  詳細情報
- *bb....bb*
  loopCardinality が定義された作業定義名
- *cc....cc*
  loopCardinality に定義された文字列

要因

マルチインスタンスのアクティビティに設定されたloopCardinality の評価に失敗しました。

なお，詳細情報に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- Not Found の場合
  案件内に，loopCardinality に記述されたプロセスデータキー名が存在しません。
- Invalid Process Data Format の場合
  loopCardinality に記述されたプロセスデータキー名のフォーマットが誤っています。XPath 拡張関数に指定されたプロセスデータの値の型が誤っています。
- Invalid Process Data Value の場合
  loopCardinality に記述されたプロセスデータキー名のプロセスデータ値が null です。
- Invalid Expression Format の場合
  loopCardinality に記述された XPath 式が不正です。loopCardinality に定義された文字列に"null"が出力されている場合，対象の案件のビジネスプロセス定義が 02-20 より古いバージョンのciwtransbpmn コマンドで変換されたビジネスプロセス定義であることがあります。
- Invalid Expression Result の場合
  loopCardinality に記述された XPath 式の評価結果が不正です。loopCardinality の評価結果は 0 以上の数値である必要があります。
- SQL Transient Failure の場合
  プロセスデータの取得時，またはマルチインスタンス管理用情報の取得時に，DBMS で一時的例外が発生しました。
- SQL Failure の場合
  プロセスデータの取得時，またはマルチインスタンス管理用情報の取得時に，SQL 例外が発生しました。
- Other Reason の場合
  上記以外のエラーが発生しました。

対処

詳細情報を基に，関連するエラー情報を参照して対処してください。

なお，「SQL Transient Failure」，「SQL Failure」および「Other Reason」の場合は，このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。「Invalid Expression Format」の場合で，loopCardinality に定義された文字列に"null"が出力されているときは，02-20 以降のバージョンの ciwtransbpmn コマンドで変換されたビジネスプロセス定義を再登録してください。

KDIW63031-E

Evaluation of the completionCondition of the multi-instance activity failed. details = *aa....aa*, work-definition-name = *bb....bb*, completionCondition = *cc....cc*

マルチインスタンスのアクティビティに設定された completionCondition の評価に失敗しました。詳細 = *aa....aa*, 作業定義名 = *bb....bb*, completionCondition = *cc....cc*

- *aa....aa*

  詳細情報

- *bb....bb*

  completionCondition が定義された作業定義名

- *cc....cc*

  completionCondition に定義された文字列

要因

マルチインスタンスのアクティビティに設定されたcompletionCondition の評価に失敗しました。

なお，詳細情報に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- Not Found の場合

  案件内に，completionCondition に記述されたプロセスデータキー名が存在しません。

- Invalid Process Data Format の場合

  completionCondition に記述されたプロセスデータキー名のフォーマットが誤っています。XPath 拡張関数に指定されたプロセスデータの値の型が誤っています。

- Invalid Process Data Value の場合

  completionCondition に記述されたプロセスデータキー名のプロセスデータ値が null です。

- Invalid Expression Format の場合

  completionCondition に記述された XPath 式が不正です。completionCondition に記述された文字列に"null"が出力されている場合，対象の案件のビジネスプロセス定義が 02-20 より古いバージョンの ciwtransbpmn コマンドで変換されたビジネスプロセス定義であることがあります。

- SQL Transient Failure の場合
  プロセスデータの取得時，またはマルチインスタンス管理用情報の取得時に，DBMS で一時的例外が発生しました。
- SQL Failure の場合
  プロセスデータの取得時，またはマルチインスタンス管理用情報の取得時に，SQL 例外が発生しました。
- Other Reason の場合
  上記以外のエラーが発生しました。

対処

詳細情報を基に，関連するエラー情報を参照して対処してください。

なお，「SQL Transient Failure」，「SQL Failure」および「Other Reason」の場合は，このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。「Invalid Expression Format」の場合で，completionCondition に定義された文字列に"null"が出力されているときは，02-20 以降のバージョンの ciwtransbpmn コマンドで変換されたビジネスプロセス定義を再登録してください。

KDIW63032-E

The system is set not to use the BPMN cooperation function.
BPMN 連携機能を使用しない設定になっています。

要因

セットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定されたBpmnMode がfalse になっています。

対処

環境変数CSCIW_HOME またはCSCIW_CONF_DIR の設定を基に，実行環境で使用しているセットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定されているBpmnMode の設定値を確認してから，再実行してください。

KDIW63033-E

The system is set not to use the Application-call Service
アプリケーション呼び出しサービスを使用しない設定になっています。

要因

セットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定されたUseApplicationCallService が false になっています。

対処

- BPMN 連携機能を使用する場合

  アプリケーション呼び出しサービスを使用するときは，環境変数CSCIW_HOME またはCSCIW_CONF_DIR の設定を基に，実行環境で使用しているセットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定されているBpmnMode の設定値を確認してから，再実行してください。

- BPMN 連携機能を使用しない場合

  アプリケーション呼び出しサービスを使用するときは，環境変数CSCIW_HOME またはCSCIW_CONF_DIR の設定を基に，実行環境で使用しているセットアッププロパティファイル（csciwsetup.properties）に指定されているUseApplicationCallService の設定値を確認してから，再実行してください。

KDIW63034-E

Evaluation of the completionCondition of the ad-hoc subprocess failed. details = *aa....aa*, work-definition-name = *bb....bb*, completionCondition = *cc....cc*

アドホック・サブプロセスに設定された completionCondition の評価に失敗しました。詳細情報 = *aa....aa*, 作業定義名 = *bb....bb*, completionCondition = *cc....cc*

- *aa....aa*

  詳細情報

- *bb....bb*

  completionCondition が定義された作業定義名

- *cc....cc*

  completionCondition に定義された文字列

要因

アドホック・サブプロセスに設定されたcompletionCondition の評価に失敗しました。

なお，詳細情報に表示される内容によって，次に示す要因が考えられます。

- Not Found の場合

  案件内に，completionCondition に記述されたプロセスデータキー名が存在しません。

- Invalid Process Data Format の場合

  completionCondition に記述されたプロセスデータキー名のフォーマットが誤っています。XPath 拡張関数に指定されたプロセスデータ値の型が誤っています。

- Invalid Process Data Value の場合

  completionCondition に記述されたプロセスデータキー名のプロセスデータ値がnull です。

- Invalid Expression Format の場合

  completionCondition に記述された XPath 式が不正です。

- SQL Transient Failure の場合
  プロセスデータの取得時，またはマルチインスタンス管理用情報の取得時に，DBMS で一時的例外が発生しました。
- SQL Failure の場合
  プロセスデータの取得時，またはマルチインスタンス管理用情報の取得時に，SQL 例外が発生しました。
- Other Reason の場合
  上記以外のエラーが発生しました。

対処

詳細情報を基に，関連するエラー情報を参照して対処してください。

なお，「SQL Transient Failure」，「SQL Failure」および「Other Reason」の場合は，このメッセージの前に出力されたメッセージを参照し，対処してください。

9.6 KDIW63200～KDIW63399

KDIW63200-E

The specified process instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*
指定された案件が不正です。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

要因

指定された案件は，BPMN 連携ライブラリを使用しないで投入された案件です。

対処

BPMN 連携ライブラリを使用して投入した案件を指定してください。

KDIW63201-E

The specified connection is invalid.
指定されたコネクションが不正です。

要因

BPMN 連携ライブラリのメソッドの引数に指定したコネクションが null です。

対処

BPMN 連携ライブラリのメソッドの引数に適切な（null でない）コネクションを指定してください。

KDIW63202-E

The specified CIWServer is invalid.
指定された CIWServer が不正です。

要因

BPMN 連携ライブラリのメソッドの引数に指定した CIWServer が null です。

対処

BPMN 連携ライブラリのメソッドの引数に適切な（null でない）CIWServer を指定してください。

KDIW63203-E

The value specified for the process definition name is invalid. process-definition-name = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義名に不正な値が指定されました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- null が指定されました。
- ワーク管理データベースにて使用している文字コードに変換した場合に定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定したビジネスプロセス定義名を確認してください。

ビジネスプロセス定義名の文字列長は，<SYSTEMID>_PROCESS_DEF テーブルの Name カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW63204-E

The value specified for the ref-identifier is invalid. ref-identifier = *aa....aa*
ref 識別子に不正な値が指定されました。ref 識別子 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  ref 識別子

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- null が指定されました。

対処

指定した ref 識別子を確認してください。

KDIW63205-E

An error occurred while the event was being caught. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, work-definition-ID = *dd....dd*, work-definition-name = *ee....ee*, ref-identifier = *ff....ff*

イベントのキャッチ中にエラーが発生しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*, 作業定義 ID = *dd....dd*, 作業定義名 = *ee....ee*, ref 識別子 = *ff....ff*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *dd....dd*
  作業定義 ID
- *ee....ee*
  作業定義名
- *ff....ff*
  ref 識別子

要因

作業定義の説明が変更されています。

対処

`ciwtransbpmn` コマンドで変換したビジネスプロセス定義を使用してください。

KDIW63206-E

An error occurred while the event was being caught. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, process-definition-name = *dd....dd*, ref-identifier = *ee....ee*

イベントのキャッチ中にエラーが発生しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*, ビジネスプロセス定義名 = *dd....dd*, ref 識別子 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *dd....dd*
  ビジネスプロセス定義名
- *ee....ee*
  ref 識別子

要因

同じ ref 識別子が同じ範囲に複数指定されています。

- キャッチ（メッセージ）と境界中断（メッセージ）
- 境界中断（メッセージ）と境界中断（メッセージ）
- キャッチ（メッセージ）と境界非中断（メッセージ）
- 境界中断（メッセージ）と境界非中断（メッセージ）
- 境界非中断（メッセージ）と境界非中断（メッセージ）
- 境界中断（エラー）と境界中断（エラー）

対処

ビジネスプロセス定義で ref 識別子を設定している個所を確認してください。

KDIW63207-E

An error occurred while the event was being caught. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, work-definition-ID = *dd....dd*, work-definition-name = *ee....ee*
イベントのキャッチ中にエラーが発生しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*, 作業定義 ID = *dd....dd*, 作業定義名 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID

- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *dd....dd*
  作業定義 ID
- *ee....ee*
  作業定義名

要因

境界中断（メッセージ），境界非中断（メッセージ），境界中断（エラー）の受信用の作業定義の作業定義名が変更されています。

対処

`ciwtransbpmn` コマンドで変換したビジネスプロセス定義を使用してください。

KDIW63208-E

An error occurred while the event was being caught. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, work-definition-ID = *dd....dd* work-definition-name = *ee....ee*
イベントのキャッチ中にエラーが発生しました。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*, 作業定義 ID = *dd....dd*, 作業定義名 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *dd....dd*
  作業定義 ID
- *ee....ee*
  作業定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 境界中断（メッセージ），境界非中断（メッセージ），境界中断（エラー）の作業定義が削除されたか，作業定義名が変更されています。
- 境界中断（メッセージ），境界非中断（メッセージ），境界中断（エラー）と同じ作業定義名の作業定義が複数存在します。

対処

`ciwtransbpmn` コマンドで変換したビジネスプロセス定義を使用してください。

KDIW63209-W

The status of the activity instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, status = *cc....cc*
業務ステップの状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  状態

要因

業務ステップが実行中以外の状態になっています。

対処

業務ステップの状態を見直してください。実行停止状態の場合は再開して実行中状態にしてから，更新 API を再実行してください。

KDIW63210-W

The type of the work item does not match the condition. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, type = *cc....cc*
作業の種類が条件に合っていません。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 種類 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*

作業 ID

- *cc....cc*

  種類

  - USER_TASK：ユーザタスク
  - SERVICE_TASK：サービスタスク
  - BUSINESS_RULE_TASK：ビジネスルールタスク
  - STARTEVENT_TOP_MESSAGE：開始（メッセージ）
  - STARTEVENT_SUB_MESSAGE：イベント・サブプロセス非中断開始（メッセージ）
  - CATCH_MSG：キャッチ（メッセージ）
  - BOUNDARYEVENT_MESSAGE：境界中断（メッセージ）
  - BOUNDARYCATCH_MESSAGE：境界中断（メッセージ）[受信用]
  - THROW_MESSAGE：スロー（メッセージ）または終了（メッセージ）
  - EXCLUSIVEEVENTBASEDGATEWAY_MESSAGE：排他イベントゲートウェイ[キャッチ（メッセージ）]
  - CALL_ACTIVITY：コールアクティビティ
  - STARTEVENT_SUB_INTERRUPT_MESSAGE：イベント・サブプロセス中断開始（メッセージ）
  - BOUNDARYEVENT_NONINTERRUPT_MESSAGE：境界非中断（メッセージ）
  - BOUNDARYCATCH_NONINTERRUPT_MESSAGE：境界非中断（メッセージ）[受信用]
  - STARTEVENT_SUB_INTERRUPT_ERROR：イベント・サブプロセス中断開始（エラー）
  - BOUNDARYEVENT_ERROR：境界中断（エラー）
  - BOUNDARYCATCH_ERROR：境界中断（エラー）[受信用]
  - THROW_ERROR：終了（エラー）
  - MULTI_INSTANCE_USER_TASK：ユーザタスク（マルチインスタンス）
  - MULTI_INSTANCE_SERVICE_TASK：サービスタスク（マルチインスタンス）
  - MULTI_INSTANCE_BUSINESS_RULE_TASK：ビジネスルールタスク（マルチインスタンス）
  - MULTI_INSTANCE_CALL_ACTIVITY：コールアクティビティ（マルチインスタンス）
  - BUILTIN_CONCURRENT_WORK：組み込み作業
  - STARTEVENT_TOP_TIMER：開始（タイマー）
  - CATCH_TIMER：キャッチ（タイマー）
  - BOUNDARYEVENT_INTERRUPT_TIMER：境界中断（タイマー）
  - BOUNDARYCATCH_INTERRUPT_TASK_TIMER：境界中断（タイマー）[受信用]（タスク用）
  - BOUNDARYCATCH_INTERRUPT_SUBPRO_TIMER：境界中断（タイマー）[受信用]（サブプロセス用）
  - BOUNDARYEVENT_NONINTERRUPT_TIMER：境界非中断（タイマー）

- BOUNDARYCATCH_NONINTERRUPT_TASK_TIMER：境界非中断（タイマー）[受信用]（タスク用）
- BOUNDARYCATCH_NONINTERRUPT_SUBPRO_TIMER：境界非中断（タイマー）[受信用]（サブプロセス用）
- STARTEVENT_SUB_INTERRUPT_TIMER：イベントサブプロセス中断開始（タイマー）
- STARTEVENT_SUB_LIMIT_INTERRUPT_TIMER：イベントサブプロセス中断開始（タイマー）[受信用]
- STARTEVENT_SUB_NONINTERRUPT_TIMER：イベントサブプロセス非中断開始（タイマー）
- STARTEVENT_SUB_LIMIT_NONINTERRUPT_TIMER：イベントサブプロセス非中断開始（タイマー）[受信用]
- EXCLUSIVEEVENTBASEDGATEWAY_TIMER：排他イベントゲートウェイ[キャッチ（タイマー）]
- ADHOCSUBPROCESS_DISPLAY：アドホック・サブプロセス[状態表示用]
- OTHER：その他

要因

更新 API の操作対象外の BPMN 要素から変換された作業に対して，更新 API を実行しています。

BUILTIN_CONCURRENT_WORK の場合は，マルチインスタンスの制御用の組み込み作業に対して更新 API を実行しています。

対処

更新 API の操作対象の BPMN 要素から変換された作業に対して実行してください。

KDIW63211-W

The type of the activity instance does not match the condition. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, type = *cc....cc*

業務ステップの種類が条件に合っていません。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 種類 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  種類
  - USER_TASK：ユーザタスク
  - SERVICE_TASK：サービスタスク
  - BUSINESS_RULE_TASK：ビジネスルールタスク
  - STARTEVENT_TOP_MESSAGE：開始（メッセージ）

- STARTEVENT_SUB_MESSAGE：イベント・サブプロセス非中断開始（メッセージ）
- CATCH_MSG：キャッチ（メッセージ）
- BOUNDARYEVENT_MESSAGE：境界中断（メッセージ）
- BOUNDARYCATCH_MESSAGE：境界中断（メッセージ）[受信用]
- THROW_MESSAGE：スロー（メッセージ）または終了（メッセージ）
- EXCLUSIVEEVENTBASEDGATEWAY_MESSAGE：排他イベントゲートウェイ[キャッチ（メッセージ）]
- CALL_ACTIVITY：コールアクティビティ
- STARTEVENT_SUB_INTERRUPT_MESSAGE：イベント・サブプロセス中断開始（メッセージ）
- BOUNDARYEVENT_NONINTERRUPT_MESSAGE：境界非中断（メッセージ）
- BOUNDARYCATCH_NONINTERRUPT_MESSAGE：境界非中断（メッセージ）[受信用]
- STARTEVENT_SUB_INTERRUPT_ERROR：イベント・サブプロセス中断開始（エラー）
- BOUNDARYEVENT_ERROR：境界中断（エラー）
- BOUNDARYCATCH_ERROR：境界中断（エラー）[受信用]
- THROW_ERROR：終了（エラー）
- MULTI_INSTANCE_USER_TASK：ユーザタスク（マルチインスタンス）
- MULTI_INSTANCE_SERVICE_TASK：サービスタスク（マルチインスタンス）
- MULTI_INSTANCE_BUSINESS_RULE_TASK：ビジネスルールタスク（マルチインスタンス）
- MULTI_INSTANCE_CALL_ACTIVITY：コールアクティビティ（マルチインスタンス）
- STARTEVENT_TOP_TIMER：開始（タイマー）
- CATCH_TIMER：キャッチ（タイマー）
- BOUNDARYEVENT_INTERRUPT_TIMER：境界中断（タイマー）
- BOUNDARYCATCH_INTERRUPT_TASK_TIMER：境界中断（タイマー）[受信用]（タスク用）
- BOUNDARYCATCH_INTERRUPT_SUBPRO_TIMER：境界中断（タイマー）[受信用]（サブプロセス用）
- BOUNDARYEVENT_NONINTERRUPT_TIMER：境界非中断（タイマー）
- BOUNDARYCATCH_NONINTERRUPT_TASK_TIMER：境界非中断（タイマー）[受信用]（タスク用）
- BOUNDARYCATCH_NONINTERRUPT_SUBPRO_TIMER：境界非中断（タイマー）[受信用]（サブプロセス用）
- STARTEVENT_SUB_INTERRUPT_TIMER：イベントサブプロセス中断開始（タイマー）
- STARTEVENT_SUB_LIMIT_INTERRUPT_TIMER：イベントサブプロセス中断開始（タイマー）[受信用]
- STARTEVENT_SUB_NONINTERRUPT_TIMER：イベントサブプロセス非中断開始（タイマー）
- STARTEVENT_SUB_LIMIT_NONINTERRUPT_TIMER：イベントサブプロセス非中断開始（タイマー）[受信用]
- EXCLUSIVEEVENTBASEDGATEWAY_TIMER：排他イベントゲートウェイ[キャッチ（タイマー）]
- ADHOCSUBPROCESS_DISPLAY：アドホック・サブプロセス[状態表示用]

- OTHER：その他

要因

更新 API の操作対象外の BPMN 要素から変換された業務ステップに対して実行しています。

対処

更新 API の操作対象の BPMN 要素から変換された業務ステップに対して実行してください。

KDIW63212-W

The specified process definition does not exist. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*

指定されたビジネスプロセス定義が存在しません。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義名
- *bb....bb*
  ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定されたビジネスプロセス定義名およびビジネスプロセス定義バージョンで案件投入可能なビジネスプロセス定義がありません。

対処

指定されたビジネスプロセス定義が登録されているかどうか確認してください。

登録されている場合は状態と案件投入可能開始日と案件投入可能終了日を確認してください。

KDIW63213-W

The specified work definition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*, activity-definition-ID = *bb....bb*, work-definition-name = *cc....cc*

指定された作業定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 業務ステップ定義 ID = *bb....bb*, 作業定義名 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID

- *bb....bb*
  業務ステップ定義 ID
- *cc....cc*
  作業定義名

要因

業務ステップ定義内に同じ定義名の作業定義が存在しません。

ciwtransbpmn コマンドで変換したビジネスプロセス定義から次が変更されています。

- 業務ステップ定義名または作業定義名が変更された。
- 作業定義が削除された。

対処

`ciwtransbpmn` コマンドで変換したビジネスプロセス定義を使用してください。

KDIW63214-W

The specified work definition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, messageRef = *dd....dd*
指定された作業定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, messageRef = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  ビジネスプロセス定義名
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義バージョン
- *dd....dd*
  messageRef

要因

指定されたビジネスプロセス定義に，指定された messageRef の開始(メッセージ)から変換された作業定義が存在しません。

対処

ビジネスプロセス定義または messageRef を見直してください。

KDIW63215-E

An error occurred while the event was being caught. process-definition-ID = *aa....aa*, work-definition-ID = *bb....bb*, work-definition-name = *cc....cc*

イベントのキャッチ中にエラーが発生しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 作業定義 ID = *bb....bb*, 作業定義名 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  作業定義 ID
- *cc....cc*
  作業定義名

要因

次のどれかの作業定義の説明が変更されています。

- イベント・サブプロセス非中断開始（メッセージ）
- イベント・サブプロセス中断開始（メッセージ）
- イベント・サブプロセス中断開始（エラー）

対処

ciwtransbpmn コマンドで変換したビジネスプロセス定義を使用してください。

KDIW63216-W

The activity definition specified as the transition destination does not exist. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-definition-name = *bb....bb*

業務ステップが存在しない業務ステップ定義が遷移先に指定されました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ定義名 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ定義名

要因

業務ステップが存在しない業務ステップ定義が指定されました。

対処

正しい業務ステップ定義を指定して，更新 API を再実行してください。

KDIW63217-E

The value specified for the ID is invalid. type = *aa....aa*
ID に不正な値が指定されました。ID 種別 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  ID 種別
  PROCESS_INSTANCE_ID:案件 ID
  ACTIVITY_INSTANCE_ID:業務ステップ ID
  WORK_ITEM_ID:作業 ID

要因

BPMN 連携ライブラリのメソッドの引数に指定した ID が null です。

対処

BPMN 連携ライブラリのメソッドの引数に適切な（null でない）ID を指定してください。

KDIW63218-E

The value specified for the activity definition name is invalid. activity-definition-name = *aa....aa*
業務ステップ定義名に不正な値が指定されました。業務ステップ定義名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  業務ステップ定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- null が指定されました。
- ワーク管理データベースにて使用している文字コードに変換した場合に定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定した業務ステップ定義名を確認してください。

業務ステップ定義名の文字列長は，<SYSTEMID>_ACTIVITY_DEF テーブルの Name カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW63219-W

The status of the process instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, status = *bb....bb*
案件の状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 状態 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  案件の状態

要因

案件が実行中以外の状態になっています。

対処

案件の状態を見直してください。実行停止状態の場合は再開して実行中状態にしてから，エラーになった更新 API を再実行してください。

KDIW63220-W

An attempt to read the callActivity-information file failed. calledElement = *aa....aa*, details = *bb....bb*
コールアクティビティ情報ファイルが読み込めませんでした。calledElement = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  calledElement
- *bb....bb*
  詳細情報

要因

コールアクティビティ情報ファイルが読み込めませんでした。

対処

詳細に示された障害を取り除いたあと，再実行してください。

KDIW63221-W

The content of the specified property value is invalid. calledElement = *aa....aa*, property-key = *bb....bb*, property-value = *cc....cc*
指定されているプロパティ値の内容が不正です。calledElement = *aa....aa*, プロパティキー = *bb....bb*, プロパティ値 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  calledElement
- *bb....bb*
  プロパティキー
- *cc....cc*
  プロパティ値

要因

calledElement のコールアクティビティ情報ファイルに指定しているプロパティ値が不正です。

次に示す要因が考えられます。

- プロパティ値に指定されたプロセスデータキー名が子案件に登録されていない
- ビジネスプロセス定義テスト機能が有効な場合，プロパティ値に指定されたプロセスデータキー名や組み込み変数名がテスト動作定義ファイルに指定されていない

対処

該当するコールアクティビティ情報ファイルを確認し，プロパティキーまたはプロパティ値を修正してください。

コールアクティビティ情報ファイルに指定しているプロセスデータを登録してください。

コールアクティビティ情報ファイルに指定しているプロセスデータキー名や組み込み変数名を，テスト動作定義ファイルに指定してください。

KDIW63222-W

The content of the specified property is invalid. calledElement = *aa....aa*

指定されているプロパティの内容が不正です。calledElement = *aa....aa*

- *aa....aa*
  calledElement

要因

calledElement のコールアクティビティ情報ファイルに指定している内容が不正です。

次に示す要因が考えられます。

- コールアクティビティがマルチインスタンスではないが，プロセスデータキー名{@MIIndex}形式で指定している

対処

該当するコールアクティビティ情報ファイルを確認し，プロパティキーまたはプロパティ値を修正してください。

KDIW63223-W

A required property key has not been set. calledElement = *aa....aa*, property-key = *bb....bb*
必須指定のプロパティキーが指定されていません。calledElement = *aa....aa*, プロパティキー = *bb....bb*

- *aa....aa*
  calledElement
- *bb....bb*
  プロパティキー

要因

calledElement のコールアクティビティ情報ファイルに指定している内容が不正です。

次に示す要因が考えられます。

- 必須指定のプロパティキーが指定されていない

対処

該当するコールアクティビティ情報ファイルを確認し，必須指定のプロパティキーを指定してください。

KDIW63224-W

The content of the specified property value is invalid. calledElement = *aa....aa*, property-key = *bb....bb*, property-value = *cc....cc*, value = *dd....dd*

指定されているプロパティ値の内容が不正です。calledElement = *aa....aa*, プロパティキー = *bb....bb*, プロパティ値 = *cc....cc*, プロパティ値に指定された変数に設定されている値 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  calledElement
- *bb....bb*
  プロパティキー
- *cc....cc*
  プロパティ値
- *dd....dd*
  プロパティ値に指定された変数に設定されている値

要因

calledElement のコールアクティビティ情報ファイルに指定しているプロパティ値に指定された，変数に設定されている値が不正です。

次に示す要因が考えられます。

- プロパティキーがビジネスプロセス定義名の場合に，プロパティ値に null が設定されている
- プロパティキーがビジネスプロセス定義のバージョンの場合に，プロパティ値に Short に変換できない文字列が設定されている

対処

該当するコールアクティビティ情報ファイルを確認し，プロパティキーまたはプロパティ値を修正してください。

プロパティ値に指定された変数に設定されている値を修正してください。

KDIW63225-W

The specified process instance cannot be deleted. process-instance-ID = *aa....aa*

指定された案件が削除できません。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

要因

指定された案件はルート案件でないため削除できません。

対処

ルート案件に対して実行してください。

KDIW63226-W

An attempt to lock the database row for the root-process-instance failed. root-process-instance-ID = *aa....aa*, process-instance-ID = *bb....bb*
ルート案件の行ロックの獲得に失敗しました。ルート案件 ID = *aa....aa*, 案件 ID = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ルート案件 ID
- *bb....bb*
  案件 ID

要因

案件 ID で指定した案件のルート案件のデータベースのロックに失敗しました。

対処

このメッセージの前に出力されるメッセージに従って対処してください。

KDIW63228-W

The specified activity definition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*, activity-definition-name = *bb....bb*
指定された業務ステップ定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 業務ステップ定義名 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ定義名

要因

対象となる案件のビジネスプロセス定義内に存在しない業務ステップ定義名が指定されました。

対処

対象となる案件のビジネスプロセス定義内に存在する業務ステップ定義名を指定してください。

KDIW63229-E

An illegal value was specified for the post change status. type = *aa....aa*, post-change-status = *bb....bb*

変更後の状態に不正な値が指定されました。状態の種別 = *aa....aa*, 変更後の状態 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  状態の種別
- *bb....bb*
  変更後の状態

要因

次に示す要因が考えられます。

- 変更後の状態に null が指定されました。

対処

指定した変更後の状態を確認してください。

KDIW63230-W

An illegal value was specified for the post change status. type = *aa....aa*, post-change-status = *bb....bb*

変更後の状態に不正な値が指定されました。状態の種別 = *aa....aa*, 変更後の状態 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  状態の種別
- *bb....bb*
  変更後の状態

要因

次に示す要因が考えられます。

- 変更後の状態として指定できない状態が指定されました。

対処

指定した変更後の状態を確認してください。

KDIW63231-E

An invalid status is specified for the work item. status = *aa....aa*
無効な作業の状態が指定されました。状態 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  作業の状態

要因

指定できない作業の状態が指定されました。

対処

指定した作業の状態を確認してください。

KDIW63232-E

An invalid attribute name is specified for the flow node instance. attribute-name = *aa....aa*
無効なフローノードの属性名が指定されました。属性名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  フローノードの属性名

要因

指定できないフローノードの属性名が指定されました。

対処

指定したフローノードの属性名を確認してください。

KDIW63233-E

An invalid attribute name is specified for the flow node definition. attribute-name = *aa....aa*
無効なフローノード定義の属性名が指定されました。属性名 = *aa....aa*

- *aa....aa*

フローノード定義の属性名

要因

指定できないフローノード定義の属性名が指定されました。

対処

指定したフローノード定義の属性名を確認してください。

KDIW63234-E

The specified flow node ID is invalid. flow-node-ID = *aa....aa*
フローノード ID が不正です。フローノード ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  フローノード ID

要因

指定できないフローノード ID が指定されました。

対処

指定したフローノード ID を確認してください。

KDIW63235-E

The process instance name is invalid. process-instance-name = *aa....aa*
案件名が不正です。案件名= *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件名

要因

BPMN 検索 API のメソッドの引数に指定できない案件名が指定されました。

対処

BPMN 検索 API のメソッドに指定した案件名を確認してください。

KDIW63236-E

The specified status of the process instance is invalid. status = *aa....aa*
無効な案件の状態が指定されました。状態 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件の状態

要因

指定できない案件の状態が指定されました。

対処

指定した案件の状態を確認してください。

KDIW63237-E

An attempt to acquire an attribute has failed. attribute-name = *aa....aa*
属性の取得に失敗しました。属性名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  取得しようとした属性名

要因

オブジェクトの取得時に，取得する属性に指定しなかった属性を取得しようとしました。

対処

エラーが発生した属性名を取得する属性に指定して，再度オブジェクトの取得を実行したあとで，属性を取得してください。

KDIW63238-E

The specified work item is invalid.
指定された作業が不正です。

要因

引数に指定した作業が null です。

対処

適切な（null でない）作業を指定してください。

KDIW63239-E

The specified date is invalid.
指定された日付が不正です。

要因

引数に指定した日付が null です。

対処

適切な（null でない）日付を指定してください。

KDIW63240-E

The value specified for the work definition name is invalid. work-definition-name = *aa....aa*
作業定義名に不正な値が指定されました。作業定義名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  作業定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- null が指定されました。
- ワーク管理データベースで使用している文字コードに変換した場合に，定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定した作業定義名を確認してください。

作業定義名の文字列長は，`<SYSTEMID>_WORK_DEF` テーブルの`Name` カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW63241-E

The specified process-data key name is invalid. process-definition-ID = *aa....aa*, work-definition-name = *bb....bb*, process-data key = *cc....cc*

指定されたプロセスデータキー名は不正です。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 作業定義名 = *bb....bb*,プロセスデータキー名 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  作業定義名
- *cc....cc*
  プロセスデータキー名

要因

文字列型またはリスト型（文字列）の 1 要素以外のプロセスデータキー名が指定されました。

対処

文字列型またはリスト型（文字列）の 1 要素のプロセスデータキー名を再指定してください。

KDIW63242-E

An error occurred during the evaluation. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, work-definition-name = *dd....dd*, timer-rule = *ee....ee*, miindex = *ff....ff*

タイマールールの評価に失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 作業定義名 = *dd....dd*, タイマールール = *ee....ee*, マルチインスタンスインデクス = *ff....ff*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  ビジネスプロセス定義名
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義バージョン
- *dd....dd*
  作業定義名
- *ee....ee*
  タイマールール
- *ff....ff*
  マルチインスタンスインデクス

要因

タイマールールの評価に失敗しました。次に示す要因が考えられます。

- タイマールールに指定されたプロセスデータキー名が不正です。
- タイマールールに指定されたプロセスデータキー名が，文字列型またはリスト型（文字列）の 1 要素ではありません。
- タイマールールに指定されたプロセスデータの値が，タイマールールの文字列フォーマットに当てはまりません。

対処

次に示す名称または値を見直してください。

- タイマールールに指定されたプロセスデータキー名
- タイマールールに指定されたプロセスデータキー名で登録されているプロセスデータ値

KDIW63243-W

The specified work item is invalid. process-instance-ID = *aa....aa* , work-item-ID = *bb....bb*, participant = *cc....cc*
指定された作業が不正です。 案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 作業者 ID = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  作業者 ID

要因

タイマー以外の作業（作業者 ID が`IWTTIM_IWTransit` 以外）が指定されました。

対処

タイマーの作業（作業者 ID が`IWTTIM_IWTransit`）を指定してください。

KDIW63244-W

The status of the transition-destination multi-instance-subprocess is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, hierarchy-definition-ID = *bb....bb*, hierarchy-definition-name = *cc....cc*

遷移先のマルチインスタンスサブプロセスの状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 階層定義 ID = *bb....bb*, 階層定義名 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  階層定義 ID
- *cc....cc*
  階層定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 実行中のマルチインスタンスサブプロセスに遷移しました。
- 途中で強制終了したマルチインスタンスサブプロセスに遷移しました。

対処

マルチインスタンスサブプロセスが完了してから遷移し直してください。なお，途中で強制終了したマルチインスタンスサブプロセスには遷移しないでください。

KDIW63245-E

The value of the specified loopCardinality is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, hierarchy-definition-ID = *bb....bb*, hierarchy-definition-name = *cc....cc*, loopCardinality = *dd....dd*

loopCardinality の値が不正です。案件 ID = *aa....aa*, 階層定義 ID = *bb....bb*, 階層定義名 = *cc....cc*, loopCardinality = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  階層定義 ID
- *cc....cc*
  階層定義名
- *dd....dd*
  `loopCardinality` の値

要因

loopCardinality の値に，ciwtransbpmn コマンドで変換した際に指定したサブプロセス（マルチインスタンス）に対応する階層定義の生成数より大きい値が指定されています。

対処

loopCardinality の値に，ciwtransbpmn コマンドで変換する際に指定したサブプロセス（マルチインスタンス）に対応する階層定義の生成数より小さいを指定してください。

KDIW63246-E

The specified record does not exist. process-instance-ID = *aa....aa* , hierarchy-definition-ID = *bb....bb*, hierarchy-definition-name = *cc....cc*
サブプロセス用マルチインスタンス管理テーブルにレコードが存在しません。 案件 ID = *aa....aa*, 階層定義 ID = *bb....bb*, 階層定義名 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  階層定義 ID
- *cc....cc*
  階層定義名

要因

サブプロセス用マルチインスタンス管理テーブルに，対象となる階層定義のレコードが存在しません。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW63247-W

The specified work definition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, work-definition-name = *dd....dd*
指定された作業定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 作業定義名 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID

- *bb....bb*
  ビジネスプロセス定義名
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義バージョン
- *dd....dd*
  作業定義名

要因

指定されたビジネスプロセス定義に，指定された作業定義名の開始（タイマー）から変換された作業定義がありません。

対処

ビジネスプロセス定義，または作業定義名を見直してください。

KDIW63248-E

The specified participant ID is invalid. participant = *aa....aa*
作業者 ID に不正な値が指定されました。作業者 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  作業者 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- 空文字列が指定されました。
- null が指定されました。
- ワーク管理データベースで使用している文字コードに変換した場合に，定義長よりも長い文字列が指定されました。

対処

指定した作業者 ID を確認してください。作業者 ID の文字列長は，`<SYSTEMID>_WORK_ITEM` テーブルの `Participant` カラムで定義したバイト数以内で指定してください。

KDIW63249-W

The work definition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*, work-definition-ID = *bb....bb*

作業定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, 作業定義 ID = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  作業定義 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- 作業定義が存在しません。
- 作業定義に作業アプリケーションが定義されていません。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW63250-W

Transition between the activity definitions specified as the source and destination is not permitted. process-instance-ID = *aa....aa*, source-activity-definition-name = *bb....bb*, destination-activity-definition-name = *cc....cc*

指定された遷移元の業務ステップ定義から遷移先の業務ステップ定義への遷移は許可されていません。案件 ID = *aa....aa*, 遷移元の業務ステップ定義名 = *bb....bb*, 遷移先の業務ステップ定義名 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  遷移元の業務ステップ定義名
- *cc....cc*
  遷移先の業務ステップ定義名

要因

次に示す要因が考えられます。

- 遷移元または遷移先に，マルチインスタンスサブプロセスの中の業務ステップが指定されました。
- 遷移元または遷移先に，次に示すタイマー受信用の業務ステップが指定されました。
  ・境界中断（タイマー）[受信用]（サブプロセス用）
  ・境界非中断（タイマー）[受信用]（サブプロセス用）
  ・イベントサブプロセス中断開始（タイマー）[受信用]

・イベントサブプロセス非中断（タイマー）[受信用]

- 遷移元または遷移先に，アドホック・サブプロセスの中の業務ステップが指定されました。

対処

次に示す対処をしてください。

- マルチインスタンスサブプロセスの中ではない業務ステップを指定してください。
- タイマー受信用ではない業務ステップを指定してください。
- アドホック・サブプロセスの中ではない業務ステップを指定してください。

KDIW63251-E

The timer rule specified by the process-data is invalid. process-data key = *aa....aa*, process-data value = *bb....bb*
プロセスデータで指定されたタイマールールが不正です。

- *aa....aa*
  プロセスデータキー名
- *bb....bb*
  プロセスデータ値

要因

プロセスデータ値が，タイマールールの文字列フォーマットに当てはまりません。

対処

タイマーイベントのタイマールール動的変更で使用できる文字列フォーマットに当てはまるように，プロセスデータ値を設定してください。

KDIW63252-E

The status specified for the process instance is invalid.
指定された案件の状態が不正です。

要因

次に示す要因が考えられます。

- BPMN 検索 API のメソッド引数に指定した案件の状態のセットが null です。
- BPMN 検索 API のメソッド引数に指定した案件の状態のセットが空です。

対処

指定した案件の状態のセットを確認してください。

KDIW63253-E

The status specified for the work item is invalid.
指定された作業の状態が不正です。

要因

次に示す要因が考えられます。

- BPMN 検索 API のメソッド引数に指定した作業の状態のセットが null です。
- BPMN 検索 API のメソッド引数に指定した作業の状態のセットが空です。
- BPMN 検索 API のメソッド引数に指定した作業の状態のセットに含まれている状態が，すべて指定できない状態です。

対処

指定した作業の状態のセットを確認してください。

KDIW63254-E

The specified execution-count is invalid. timer-rule = *aa....aa*, execution-count = *bb....bb*
指定された実行回数は不正です。タイマールール = *aa....aa*, 実行回数 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  タイマールール
- *bb....bb*
  実行回数

要因

タイマールールの実行回数に不正な値が指定されました。

対処

実行回数に 1 以上の値を指定してください。

KDIW63255-W

The flow node definition which match the condition does not exist. process-definition-ID = *aa....aa*, flow-node-ID = *bb....bb*, flow-node-name = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*

条件に一致するフローノード定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, フローノード ID = *bb....bb*, フローノード名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  フローノード ID
- *cc....cc*
  フローノード名
- *dd....dd*
  マルチインスタンスインデクス

要因

指定した条件に一致するフローノード定義がありません。

アドホック・サブプロセスのフローノードを生成する API で，生成できないフローノード定義が指定されました。

対処

指定した条件を見直してください。

KDIW63256-W

There are multiple flow node definitions that match the conditions. process-definition-ID = *aa....aa*, flow-node-ID = *bb....bb*, flow-node-name = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*

条件に一致するフローノード定義が複数存在します。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, フローノード ID = *bb....bb*, フローノード名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  フローノード ID
- *cc....cc*
  フローノード名
- *dd....dd*

マルチインスタンスインデクス

要因

指定した条件に一致するフローノード定義が複数あります。

対処

条件に一致するフローノード定義が 1 つになるように，条件を指定してください。

また，フローノード定義がサブプロセス（マルチインスタンス）に含まれる場合は，マルチインスタンスインデクスを指定してください。

KDIW63257-W

There are no flow node definitions (of ad-hoc subprocesses) that match the conditions. process-definition-ID = *aa....aa*, ad-hoc-subprocess-ID = *bb....bb*, ad-hoc-subprocess-name = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*

条件に一致するアドホック・サブプロセスのフローノード定義が存在しません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, アドホック・サブプロセス ID = *bb....bb*, アドホック・サブプロセス名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  アドホック・サブプロセス ID
- *cc....cc*
  アドホック・サブプロセス名
- *dd....dd*
  マルチインスタンスインデクス

要因

指定した条件に一致するアドホック・サブプロセスのフローノード定義がありません。

対処

指定した条件を見直してください。

KDIW63258-W

There are multiple flow node definitions (of ad-hoc subprocesses) that match the conditions. process-definition-ID = *aa....aa*, ad-hoc-subprocess-ID = *bb....bb*, ad-hoc-subprocess-name = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*

条件に一致するアドホック・サブプロセスのフローノード定義が複数存在します。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, アドホック・サブプロセス ID = *bb....bb*, アドホック・サブプロセス名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  アドホック・サブプロセス ID
- *cc....cc*
  アドホック・サブプロセス名
- *dd....dd*
  マルチインスタンスインデクス

要因

指定した条件に一致するアドホック・サブプロセスのフローノード定義が複数あります。

対処

条件に一致するアドホック・サブプロセスのフローノード定義が 1 つになるように，条件を指定してください。

また，アドホック・サブプロセスのフローノード定義がサブプロセス（マルチインスタンス）に含まれる場合は，マルチインスタンスインデクスを指定してください。

KDIW63259-W

The state of the ad-hoc subprocess is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, hierarchy-definition-ID = *bb....bb*, hierarchy-definition-name = *cc....cc*

アドホック・サブプロセスの状態が不正です。案件 ID = *aa....aa*, 階層定義 ID = *bb....bb*, 階層定義名 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  階層定義 ID

- *cc....cc*
  階層定義名

要因

アドホック・サブプロセスに遷移していません。

対処

アドホック・サブプロセスに遷移してから，API を再実行してください。

KDIW63260-W

The state of the ad-hoc subprocess is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, status = *cc....cc*
アドホック・サブプロセスの状態が不正です。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 状態 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  アドホック・サブプロセスに対応する作業 ID
- *cc....cc*
  状態

要因

アドホック・サブプロセスが「生成可」（アドホック・サブプロセスに対応する作業は「実行開始可能」）以外の状態です。

対処

アドホック・サブプロセスを「生成可」（アドホック・サブプロセスに対応する作業は「実行開始可能」）状態にしてから，API を再実行してください。

KDIW63261-W

The ad-hoc subprocess contains a flow node instance that is running. process-instance-ID = *aa....aa*, hierarchy-definition-ID = *bb....bb*, hierarchy-definition-name = *cc....cc*
アドホック・サブプロセス内に実行中のフローノードが存在します。案件 ID = *aa....aa*, 階層定義 ID = *bb....bb*, 階層定義名 = *cc....cc*

- *aa....aa*

案件 ID

- *bb....bb*
  階層定義 ID
- *cc....cc*
  階層定義名

要因

アドホック・サブプロセス内に実行中のフローノードが存在します。アドホック・サブプロセスの実行方式に`Sequential`を指定した場合，実行中のフローノードインスタンスが存在するときは，フローノードを生成できません。

対処

アドホック・サブプロセス内に存在する実行中のフローノードが，すべて「終了」状態に遷移してから，API を再実行してください。

KDIW63262-E

The specified flow node instance cannot be created. process-definition-ID = *aa....aa*, flow-node-ID = *bb....bb*, flow-node-name = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*

指定したフローノードは生成できません。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, フローノード ID = *bb....bb*, フローノード名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  フローノード ID
- *cc....cc*
  フローノード名
- *dd....dd*
  マルチインスタンスインデクス

要因

指定したフローノードは API で生成できません。

対処

アドホック・サブプロセス内に存在するフロー先端のフローノード（入力シーケンスフローが付与されていないフローノード）を指定してください。

KDIW63263-E

The specified ad-hoc subprocess ID is invalid. ad-hoc-subprocess-ID = *aa....aa*
アドホック・サブプロセス ID が不正です。アドホック・サブプロセス ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  アドホック・サブプロセス ID

要因

指定できないアドホック・サブプロセス ID が指定されました。

対処

指定したアドホック・サブプロセス ID を確認してください。

KDIW63264-E

The specified flow node ID and flow node name are invalid.
指定されたフローノード ID とフローノード名が不正です。

要因

フローノード ID およびフローノード名が`null` です。

対処

フローノード ID およびフローノード名の両方に`null` を指定しないでください。

KDIW63265-E

The specified ad-hoc subprocess ID and ad-hoc subprocess name are invalid.
指定されたアドホック・サブプロセス ID とアドホック・サブプロセス名が不正です。

要因

アドホック・サブプロセス ID およびアドホック・サブプロセス名が`null` です。

対処

アドホック・サブプロセス ID およびアドホック・サブプロセス名の両方に`null` を指定しないでください。

KDIW63266-W

The state of the transition-destination ad-hoc subprocess is incorrect. process-instance-ID = *aa....aa*, hierarchy-definition-ID = *bb....bb*, hierarchy-definition-name = *cc....cc*

遷移先のアドホック・サブプロセスの状態が不適切です。案件 ID = *aa....aa*, 階層定義 ID = *bb....bb*, 階層定義名 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  階層定義 ID
- *cc....cc*
  階層定義名

要因

実行中のアドホック・サブプロセスに遷移しました。

対処

アドホック・サブプロセスが完了してから遷移し直してください。

KDIW63267-E

The specified record does not exist in the table used to manage ad-hoc subprocesses. process-instance-ID = *aa....aa* , hierarchy-definition-ID = *bb....bb*, hierarchy-definition-name = *cc....cc*

アドホック・サブプロセス管理テーブルにレコードが存在しません。 案件 ID = *aa....aa*, 階層定義 ID = *bb....bb*, 階層定義名 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  階層定義 ID
- *cc....cc*
  階層定義名

要因

アドホック・サブプロセス管理テーブルに，対象となる階層定義のレコードが存在しません。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW63268-E

An error occurred during the assignment of participant. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc....cc*, work-definition-name = *dd....dd*, process-data key = *ee....ee*, miindex = *ff....ff*

作業者の割り当てに失敗しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc....cc*, 作業定義名 = *dd....dd*, プロセスデータキー = *ee....ee*, マルチインスタンスインデクス = *ff....ff*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  ビジネスプロセス定義名
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義バージョン
- *dd....dd*
  作業定義名
- *ee....ee*
  プロセスデータキー
- *ff....ff*
  マルチインスタンスインデクス

要因

プロセスデータによる作業者の割り当てに失敗しました。次に示す要因が考えられます。

- ユーザタスクに指定されたプロセスデータキー名が不正です。
- ユーザタスクに指定されたプロセスデータキー名が，文字列型またはリスト型（文字列）の 1 要素ではありません。
- ユーザタスクに指定されたプロセスデータキー名のプロセスデータ値が null です。

対処

次の内容を見直してください。

- ユーザタスクに指定されたプロセスデータキー名
- ユーザタスクに指定されたプロセスデータキー名のプロセスデータ値

KDIW63269-W

An error occurred during the assignment of participant. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, process-data key = *cc....cc*, miindex = *dd....dd*, process-data value = *ee....ee*
作業者の割り当てに失敗しました。案件 ID = *aa....aa*,作業 ID = *bb....bb*, プロセスデータキー名 = *cc....cc*, マルチインスタンスインデクス = *dd....dd*, プロセスデータ値 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  プロセスデータキー名
- *dd....dd*
  マルチインスタンスインデクス
- *ee....ee*
  プロセスデータ値

要因

プロセスデータによる作業者の割り当てに失敗しました。次に示す要因が考えられます。

- ユーザタスクに指定されたプロセスデータキー名が不正です。
- ユーザタスクに指定されたプロセスデータキー名のプロセスデータ値が null です。

対処

次の内容を見直してください。

- ユーザタスクに指定されたプロセスデータキー名
- ユーザタスクに指定されたプロセスデータキー名のプロセスデータ値

KDIW63270-E

An attempt to load the business-process-test-definition file has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, calledElement = *bb....bb*, test-id = *cc....cc*, error-code = *dd....dd*, details = *ee....ee*
テスト動作定義ファイルの読み込みに失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, calledElement = *bb....bb*, テスト ID = *cc....cc*, エラーコード = *dd....dd*, 詳細 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID

- *bb....bb*
  calledElement
- *cc....cc*
  テスト ID
- *dd....dd*
  エラーコード※1
- *ee....ee*
  エラーコードごとの詳細情報※2

注※1

エラーコードと意味を次に示します。

- FILE_OPEN_FAILED：テスト動作定義ファイルを開けない
- INVALID_PROPERTY_KEY：テストデータのキーが不正
- DUPLICATE_PROPERTY_KEY：テストデータのキーが重複している
- INVALID_PROPERTY_VALUE：テストデータの値が不正
- CANNOT_USE_XML：テストデータの形式に XML が指定された
- INVALID_TEST_ID：テスト ID の値が不正

注※2

出力される詳細情報をエラーコードごとに示します。

- FILE_OPEN_FAILED：テスト動作定義ファイルのパス
- INVALID_PROPERTY_KEY：テストデータのキー
- DUPLICATE_PROPERTY_KEY：テストデータのキー
- INVALID_PROPERTY_VALUE：テストデータのキーと値
- CANNOT_USE_XML：呼び出し元の種別
- INVALID_TEST_ID：テスト ID の値

要因

エラーコードが FILE_OPEN_FAILED の場合，テスト動作定義ファイルが読み込めませんでした。

エラーコードが INVALID_TEST_ID の場合，テスト ID の値が不正です。

エラーコードが上記以外の場合，テスト動作定義ファイルに指定したプロパティが不正です。

対処

エラーコードが INVALID_TEST_ID の場合，テスト ID を修正して案件を再投入してください。

エラーコードが上記以外の場合，テスト動作定義ファイルを見直してください。

KDIW63271-I

The call activity processing will be skipped, because the business Process definition test is enabled. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, calledElement = *cc....cc*, test-ID = *dd....dd*, file-path = *ee....ee*

ビジネスプロセス定義テストが有効であるためコールアクティビティの処理を省略します。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, calledElement = *cc....cc*, テスト ID = *dd....dd*, ファイルパス = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  calledElement
- *dd....dd*
  ビジネスプロセス定義テストのテスト ID
- *ee....ee*
  使用したテスト動作定義ファイルのパス

要因

対象の calledElement のコールアクティビティはビジネスプロセス定義テストの対象であるため，処理を省略しました。

9.7 KDIW63400～KDIW63599

KDIW63400-E

An incorrect process-data type prefix is specified. process-data key = *aa....aa*
不正なプロセスデータ種別接頭辞が指定されています。プロセスデータキー名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  プロセスデータキー名

要因

正しくないプロセスデータキー名を引数として渡されました。

対処

プロセスデータキー名の種別接頭辞を見直してから再指定してください。

KDIW63401-E

The specified process-data key name is invalid. process-data key = *aa....aa*
指定されたプロセスデータキー名は不正です。プロセスデータキー名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  プロセスデータキー名

要因

次に示す要因が考えられます。

- null のプロセスデータキー名が指定されました。
- プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定したプロセスデータキー名の型は，サポートしていません。

対処

次に示す対処をしてください。

- 正しいプロセスデータキー名を再指定してください。
- プロセスデータ処理 API がサポートしている型のプロセスデータキー名を指定してください。

KDIW63402-E

The process-data key name without a type prefix is invalid. process-data key name without process-data type prefix = *aa....aa*
接頭辞なしのプロセスデータキー名が不正です。種別接頭辞なしのプロセスデータキー名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  種別接頭辞なしのプロセスデータキー名

要因

- 空の文字列が指定されました。
- プロセスデータキー名の文字列長が，文字列型またはリスト型（文字列）の場合は<SYSTEMID>_PROCESS_DATA_S テーブル，数値型またはリスト型（数値）の場合は<SYSTEMID>_PROCESS_DATA_N テーブルの ProcessDataName カラムで定義したバイト数以内で指定されていません。
  なお，リスト型の場合，テーブルに格納されるプロセスデータキー名のバイト長は，「<指定したプロセスデータキー名のバイト長>＋<リスト内識別子のバイト数>」です。
- 指定した種別接頭辞なしのプロセスデータキー名に，許可していない文字が使用されています。

対処

種別接頭辞なしのプロセスデータキー名の長さおよび書式を見直してください。

KDIW63403-E

The type of the process-data value is invalid. process-data key = *aa....aa*
プロセスデータ値の型は不正です。プロセスデータキー名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  プロセスデータキー名

要因

- 数値型またはリスト型（数値）の 1 要素のプロセスデータの場合，Integer と String 以外の型が指定されています。
- 文字列型またはリスト型（文字列）の 1 要素のプロセスデータの場合，String 以外の型が指定されています。
- リスト型（数値）の全要素のプロセスデータの場合，java.util.List<Integer>と java.util.List<String>以外の型が指定されています。

- リスト型（文字列）の全要素のプロセスデータの場合，java.util.List<String>以外の型が指定されています。
- リスト型の全要素のプロセスデータの場合，null または空のリストが指定されています。

対処

プロセスデータキー名に対応するプロセスデータ値の型を見直してください。

KDIW63404-E

The process-data value is invalid. process-data key = *aa....aa*, process-data value = *bb....bb*
プロセスデータ値は不正です。プロセスデータキー名= *aa....aa*, プロセスデータ値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  プロセスデータキー名
- *bb....bb*
  プロセスデータ値

要因

- 数値型またはリスト型（数値）のプロセスデータの作成時に，数値型に変換できない不正な文字列が指定されています。
- 文字列型またはリスト型（文字列）のプロセスデータの作成時に，空の文字列が指定されています。
- 文字列型またはリスト型（文字列）プロセスデータ値の文字列長は，`<SYSTEMID>_PROCESS_DATA_S` テーブルの`ProcessDataValue` カラムで定義したバイト数以内で指定されていません。

対処

プロセスデータ値またはプロセスデータ値の長さを見直してください。

KDIW63405-E

The specified process instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*
指定された案件が不正です。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された案件は，BPMN 連携ライブラリを使用しないで投入された案件です。
- 指定された案件が削除されました。

対処

BPMN 連携ライブラリを使用して投入した案件を指定してください。

案件が削除されている場合，対処は必要ありません。

KDIW63410-E

The specified DB Connection is invalid. DB Connection = *aa....aa*
指定された DB コネクションが不正です。DB コネクション = *aa....aa*

- *aa....aa*
  DB コネクション

要因

プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定した DB コネクションが null です。

対処

適切な（null でない）コネクションを指定してください。

KDIW63411-E

The specified process-instance-ID is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*
指定された案件 ID が不正です。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

要因

プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定した案件 ID が null です。

対処

適切な（null でない）案件 ID を指定してください。

KDIW63412-E

The specified process-data is invalid. process-data = *aa....aa*
指定されたプロセスデータが不正です。プロセスデータ = *aa....aa*

- *aa....aa*
  プロセスデータ

要因

- プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定したプロセスデータが null です。
- プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定したプロセスデータコレクションの中に，null のプロセスデータが存在します。

対処

- 適切な（null でない）プロセスデータを指定してください。
- プロセスデータのコレクション指定時に，null の要素を含まないように指定してください。

KDIW63413-W

The specified process-data object does not exist in the process-data table. process-instance-ID = *aa....aa* process-data key = *bb....bb*
指定されたプロセスデータはプロセスデータテーブル上に存在しません。案件 ID = *aa....aa*，プロセスデータキー名 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  プロセスデータキー名（種別接頭辞付き）

要因

指定されたプロセスデータはプロセスデータテーブル上に存在しないため，取得できません。

対処

指定した案件 ID およびプロセスデータキー名を見直してください。

KDIW63414-E

The specified offset value is outside the valid range. offset-value = *aa....aa*

オフセット値に範囲外の値が指定されました。オフセット値 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  オフセット値

要因

オフセット値に 0 より小さい値が指定されました。

対処

オフセット値に 0 以上の値を指定してください。

KDIW63415-E

The specified max count is outside the valid range. max-count = *aa....aa*
最大取得数に範囲外の値が指定されました。最大取得数 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  最大取得数

要因

-1 より小さい値が指定されました。

対処

最大取得数に-1 以上の値を指定してください。

特記事項

すべてを取得する場合は-1 を指定します。

KDIW63416-E

The specified process-instance-ID collection is invalid.
指定された案件 ID のコレクションは不正です。

要因

次に示す要因が考えられます。

- プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定した案件 ID のコレクションが null です。
- プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定した案件 ID のコレクションが空です。

対処

適切な（null または空でない）案件 ID のコレクションを指定してください。

KDIW63417-E

The specified process-data collection is invalid.
指定されたプロセスデータのコレクションは不正です。

要因

次に示す要因が考えられます。

- プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定したプロセスデータのコレクションが null です。
- プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定したプロセスデータのコレクションが空です。

対処

適切な（null または空でない）プロセスデータのコレクションを指定してください。

KDIW63418-E

The specified process-data is invalid. process-data key = *aa....aa*
指定されたプロセスデータが不正です。プロセスデータキー名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  プロセスデータキー名

要因

プロセスデータ処理 API のメソッド引数に指定したプロセスデータの型はサポートしていません。

対処

プロセスデータ処理 API がサポートしている型のプロセスデータを指定してください。

KDIW63419-E

A duplicate process-data key name is specified. process-data key = *aa....aa*
重複したプロセスデータキー名が指定されています。プロセスデータキー名 = *aa....aa*

- *aa....aa*

プロセスデータキー名

要因

- 重複したプロセスデータキー名が指定されました。
- プロセスデータキー名のリスト型の全要素，および 1 要素のプロセスデータが重複して指定されました。

対処

重複しないプロセスデータキー名を再指定してください。

KDIW63420-W

The specified process instance is invalid. process-instance-ID = *aa....aa*
指定された案件が不正です。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定された案件は存在しません。
- 指定された案件は，BPMN 連携ライブラリを使用しないで投入された案件です。

対処

- 指定した案件 ID を見直してください。
- BPMN 連携ライブラリを使用して投入した案件の案件 ID を指定してください。

KDIW63421-E

The type of the process-data value is invalid. process-data key = *aa....aa*
プロセスデータ値の型は不正です。プロセスデータキー名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  プロセスデータキー名

要因

プロセスデータ値に Integer と String 以外の型が指定されています。指定したプロセスデータ値の型はサポートしていません。

対処

プロセスデータ値の型を見直してください。

9.8 KDIW63600～KDIW63799

KDIW63600-I

Application-call Service has started.
アプリケーション呼び出しサービスが起動しました。

要因

アプリケーション呼び出しサービスが起動しました。

KDIW63601-I

Application-call Service has stopped.
アプリケーション呼び出しサービスが停止しました。

要因

アプリケーション呼び出しサービスが停止しました。

KDIW63602-W

Skip application-call processing. participant = *aa....aa*
アプリケーション呼び出し処理を省略します。作業者 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  処理を省略した作業者 ID

要因

対象の作業者 ID のアプリケーション呼び出しがほかのプロセスによって実行中のため，処理を省略しました。

KDIW63603-I

The REST application was called successfully. ref-identifier = *aa....aa*, status-code = *bb....bb*, method = *cc....cc*, URL = *dd....dd*

REST アプリケーションの呼び出しに成功しました。ref 識別子 = *aa....aa*, ステータスコード = *bb....bb*, メソッド = *cc....cc*, URL = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ref 識別子
- *bb....bb*
  ステータスコード
- *cc....cc*
  メソッド
- *dd....dd*
  URL

要因

REST アプリケーションの呼び出しに成功しました。

KDIW63604-I

The application call was initiated. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*, participant = *dd....dd*

アプリケーション呼び出しを開始しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*, 作業者 ID = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  作業 ID
- *dd....dd*
  作業者 ID の値

要因

アプリケーション呼び出しを開始しました。

KDIW63605-I

The application call was successful. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*, participant = *dd....dd*

アプリケーション呼び出しに成功しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*, 作業者 ID = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  作業 ID
- *dd....dd*
  作業者 ID の値

要因

アプリケーション呼び出しに成功しました。

KDIW63606-I

The application-call processing will be skipped, because the business process definition test is enabled. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, participant = *cc....cc*, test-ID = *dd....dd*, file-path = *ee....ee*

ビジネスプロセス定義テストが有効であるためアプリケーション呼び出し処理を省略します。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, 作業者 ID = *cc....cc*, テスト ID = *dd....dd*, ファイルパス = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  処理を省略した作業者 ID
- *dd....dd*
  ビジネスプロセス定義テストのテスト ID
- *ee....ee*
  使用したテスト動作定義ファイルのパス

要因

対象の作業者 ID のアプリケーション呼び出しはビジネスプロセス定義テストの対象であるため，呼び出し処理を省略しました。

KDIW63608-E

The application call has failed. The work item retries have finished. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*, participant = *dd....dd*
アプリケーション呼び出しに失敗しリトライアウトになりました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*, 作業者 ID = *dd....dd*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  作業 ID
- *dd....dd*
  作業者 ID の値

要因

アプリケーション呼び出しに失敗し，作業の状態を「作業者実行」に変更しました。

対処

次の情報などを参照して，対処を行ってください。

- このメッセージの前後に出力されているメッセージ
- CSCIW のログ
- アプリケーションサーバのログ

対処後に作業の状態を「実行開始可能」に変更してください。

KDIW63609-E

An exception occurred during execution of the Application-call Service. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*, participant = *dd....dd*, details = *ee....ee*

アプリケーション呼び出しサービスの実行中に例外が発生しました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*, 作業者 ID = *dd....dd*, 詳細 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  例外が発生した案件 ID
- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  例外が発生した作業 ID
- *dd....dd*
  例外が発生した作業者 ID の値
- *ee....ee*
  発生した例外のメッセージ

要因

例外が発生したためアプリケーション呼び出しを中断しました。

対処

次の情報などを参照し，対処してください。

- 詳細（details）として出力している例外のメッセージ
- このメッセージの直前に出力されているメッセージ
- CSCIW のログ
- アプリケーションサーバのログ

KDIW63610-E

An attempt to initialize WorkManager has failed. JNDI-name = *aa....aa*
WorkManager の初期化に失敗しました。 JNDI 名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  ルックアップに使用した JNDI 名

要因

次に示す要因が考えられます。

- ネーミングサービスが開始していません。
- WorkManager の JNDI 名のルックアップに失敗しました。

対処

ネーミングサービスが開始していることを確認してください。

また，web.xml に記載したルックアップ名がアプリケーション呼び出しサービスのルックアップ名と一致していることを確認してください。

KDIW63611-E

An attempt to assign a work item to WorkManager failed.
WorkManager への作業登録に失敗しました。

要因

WorkManager への作業登録に失敗しました。

対処

アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。再起動後も同様のメッセージが出力される場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW63612-E

An attempt to start the Application-call Service failed.
アプリケーション呼び出しサービスの起動に失敗しました。

要因

アプリケーション呼び出しサービスの起動に失敗しました。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照して対処してください。

KDIW63613-E

An attempt to start the timer failed. polling-interval = *aa....aa*, timer-name = *bb....bb*
タイマーの開始に失敗しました。 ポーリング間隔 = *aa....aa*, タイマー名 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ポーリング間隔（秒単位）

- *bb....bb*
  タイマー名

要因

タイマーの開始に失敗しました。

対処

ポーリング間隔の設定を確認してください。

KDIW63614-W

An application call was stopped because the call could not be completed within the failure recovery interval. participant = *aa....aa*, fault-recovery-time = *bb....bb*

アプリケーション呼び出しの実行時間が障害復旧間隔を超えたため呼び出しを中止しました。作業者 ID = *aa....aa*, 障害復旧時間 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  作業者 ID の値
- *bb....bb*
  障害復旧間隔（秒単位）

要因

アプリケーション呼び出し制御情報に設定された障害復旧間隔が経過してもアプリケーション呼び出しが完了しなかったため，呼び出しを中止しました。

対処

次のどれかの対処をしてください。

- アプリケーション呼び出し制御情報の障害復旧間隔および最大作業件数を確認または再設計してください。
- 呼び出し対象が REST アプリケーションの場合，REST アプリケーションの応答時間を確認してください。
- Connector 属性ファイルの MaxPoolSize が不足していないかどうか確認してください。
- Cosminexus を使用している場合，J2EE サーバ用ユーザプロパティファイル（usrconf.properties）に記載した WorkManager の最大スレッド数の指定（ejbserver.commonj.WorkManager.non_daemon_work_threads パラメタの値）が適切かどうか確認してください。

- Red Hat JBoss Enterprise Application Platform を使用している場合，アプリケーション呼び出しサービスが使用する ManagedExecutorService のスレッド数の指定値が適切かどうか確認してください。

KDIW63615-W

The event was not caught. type = *aa....aa*, source-process-instance-ID = *bb....bb*, target-process-instance-ID = *cc....cc*, ref-identifier = *dd....dd*

イベントのキャッチ処理が行われませんでした。type = *aa....aa*, 呼び出し元案件 ID = *bb....bb*, 呼び出し先案件 ID = *cc....cc*, ref 識別子 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  アプリケーション呼び出し情報ファイルの type プロパティの値
- *bb....bb*
  呼び出し元の案件 ID
- *cc....cc*
  呼び出し先の案件 ID
- *dd....dd*
  ref 識別子

要因

呼び出し先の案件にキャッチできるイベントが存在しません。

対処

意図した動作でない場合，ビジネスプロセス定義を見直してください。また，必要に応じてビジネスプロセス定義を修正してください。

特記事項

アプリケーション呼び出し情報ファイルの type プロパティの値（*aa....aa*）が ERROR の場合，呼び出し先の案件 ID（*cc....cc*）には親案件やルート案件の案件 ID は出力されません。

KDIW63620-E

An attempt to initialize a connect to database has failed.

データベース接続の初期化に失敗しました。

要因

データベース接続の初期化に失敗しました。

対処

ネーミングサービスが開始していることを確認してください。

また，ワーク管理データベースの状態を確認してください。

KDIW63621-E

An attempt to connect to the database failed.
データベースへの接続に失敗しました。

要因

データベース接続に失敗しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

KDIW63622-E

An attempt to perform commit processing has failed.
データベースのコミットに失敗しました。

要因

ワーク管理データベースのコミットに失敗しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

KDIW63623-E

An attempt to perform rollback processing failed.
データベースのロールバックに失敗しました。

要因

ワーク管理データベースのロールバックに失敗しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

KDIW63624-E

An attempt to obtain the ref-identifier list failed. date = *aa....aa*
ref 識別子一覧の取得に失敗しました。date = *aa....aa*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた現在時刻（1970/01/01 00:00:00 GMT から現在時刻（GMT）までの通算秒）

要因

ワーク管理データベースの参照に失敗しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

KDIW63625-E

An attempt to lock the database row for the participant ID failed. participant = *aa....aa*, date = *bb....bb*
作業者 ID をキーとした行ロックの獲得に失敗しました。作業者 ID = *aa....aa*, date = *bb....bb*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた作業者 ID
- *bb....bb*
  検索キーに用いた現在時刻（1970/01/01 00:00:00 GMT から現在時刻（GMT）までの通算秒）

要因

ワーク管理データベースの参照と行のロックに失敗しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

KDIW63626-E

An attempt to update the record of the most recent database lock time failed. participant = *aa....aa*, date = *bb....bb*
最終ロック時刻の更新に失敗しました。作業者 ID = *aa....aa*, date = *bb....bb*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた作業者 ID
- *bb....bb*
  更新に用いようとした現在時刻（1970/01/01 00:00:00 GMT から現在時刻（GMT）までの通算秒）

要因

ワーク管理データベースの更新に失敗しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

KDIW63627-E

An attempt to obtain the work list failed. participant = *aa....aa*, date = *bb....bb*
作業一覧の取得に失敗しました。作業者 ID = *aa....aa*, date = *bb....bb*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた作業者 ID
- *bb....bb*
  検索キーに用いた現在時刻（1970/01/01 00:00:00 GMT から現在時刻（GMT）までの通算秒）

要因

ワーク管理データベースの参照に失敗しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

KDIW63628-E

An attempt to change a work item to PERFORM status failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*

作業を PERFORM 状態に変更できませんでした。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた案件 ID
- *bb....bb*
  検索キーに用いた作業 ID

要因

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中にエラーが発生しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW63629-E

An attempt to update the retry status of a work item failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, date = *cc....cc*, priority = *dd....dd*

作業のリトライ状態を更新できませんでした。案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, date = *cc....cc*, 優先度 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた案件 ID
- *bb....bb*
  検索キーに用いた作業 ID
- *cc....cc*
  更新に用いようとした現在時刻（1970/01/01 00:00:00 GMT から現在時刻（GMT）までの通算秒）
- *dd....dd*
  更新に用いようとしたリトライ回数(優先度列の値)。データベースから優先度列の値を取得する前に例外が発生した場合は-1 を表示する。

要因

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中にエラーが発生しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW63630-E

An attempt to access the process-instance table failed. process-instance-ID = *aa....aa*
案件テーブルの参照に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた案件 ID

要因

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中にエラーが発生しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW63631-E

An attempt to access the work-item table failed. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*
作業テーブルの参照に失敗しました。 案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた案件 ID
- *bb....bb*
  検索キーに用いた作業 ID

要因

次に示す要因が考えられます。

- アプリケーション呼び出しの実行中に，対象となる作業の Participant カラムまたは Statecode カラムの値が変更されました。
- アプリケーション呼び出しの実行中に，対象となる案件または作業が削除されました。
- uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow の API 実行中にエラーが発生しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

次に示す場合は，対処は不要です。

- 対象となる案件または作業が削除された場合
- 対象となる作業の Participant カラムまたは Statecode カラムの値が変更された場合

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow のエラーメッセージが出力されている場合は，エラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW63632-E

An attempt to access the process-data table failed. process-instance-ID = *aa....aa*, process-data key = *bb....bb*
プロセスデータテーブルの参照に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, プロセスデータキー = *bb....bb*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた案件 ID
- *bb....bb*
  検索キーに用いたプロセスデータテーブルのキー名（要因となるキーが複数ある場合はコンマ区切りで表示します）

要因

次に示す要因が考えられます。

- 指定されたキー名に対応する行がプロセスデータテーブルに格納されていません。
- BPMN 連携ライブラリの API 実行中にエラーが発生しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

BPMN 連携ライブラリのエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW63633-E

An attempt to update the process-data table failed. process-instance-ID = *aa....aa*, process-data key = *bb....bb*, process-data value = *cc....cc*

プロセスデータテーブルの更新に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*, プロセスデータキー = *bb....bb*, プロセスデータ値 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた案件 ID。案件が未定の場合は null。
- *bb....bb*
  検索キーに用いたプロセスデータテーブルのキー名
- *cc....cc*
  更新に用いようとしたプロセスデータ値

要因

BPMN 連携ライブラリの API 実行中にエラーが発生しました。

対処

ワーク管理データベースの状態を確認してください。

BPMN 連携ライブラリのエラーメッセージに従って，対処してください。

KDIW63634-E

The value specified for the participant ID is invalid. participant = *aa....aa*
作業者 ID に不正な値が指定されています。作業者 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた作業者 ID の値

要因

作業者 ID に不正な情報が格納されています。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW63635-E

An attempt to update the database lock status failed. participant = *aa....aa*, lock status = *bb....bb*
データベースのロック状態を更新できませんでした。作業者 ID = *aa....aa*, ロック状態 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  検索キーに用いた作業者 ID
- *bb....bb*
  更新に用いようとしたロック状態の値

要因

ワーク管理データベースの更新に失敗しました。

次に示す要因が考えられます。

- データベースアクセスで SQL 例外が発生しました。
- アプリケーション呼び出しの実行中に，ほかのプロセスが同じ ref 識別子のアプリケーション呼び出しを開始しました。

対処

SQL 例外が発生している場合は，次に示す内容を参照して，対処してください。

- BPMN 連携ライブラリのエラーメッセージ
- DBMS のエラーメッセージ
- システムログ
- DBMS 関連のエラー情報

BPMN 連携ライブラリおよび DBMS にエラーメッセージが出力されていない場合，ほかのプロセスが同じ ref 識別子のアプリケーション呼び出しを開始した可能性があります。このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照して対処してください。

KDIW63636-E

An attempt to lock the database row corresponding to the process instance failed. process-instance-ID = *aa....aa*
案件の行ロックの獲得に失敗しました。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

要因

案件 ID で指定した案件のデータベースのロックに失敗しました。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照して対処をしてください。

KDIW63637-E

CIWUserException occurred at Java object execution. class-name = *aa....aa*, arguments = *bb....bb*, CIWUserException message = *cc....cc*

Java オブジェクトの実行で CIWUserException が発生しました。クラス名 = *aa....aa*, 引数 = *bb....bb*, CIWUserException エラーメッセージ = *cc....cc*

- *aa....aa*
  Java クラス名
- *bb....bb*
  Java オブジェクト呼び出しに使用した引数
- *cc....cc*
  CIWUserException エラーメッセージ

要因

Java オブジェクトの実行で，CIWUserException が発生しました。

対処

CIWUserException のエラーメッセージを基に対処してください。アプリケーション呼び出し情報ファイルを修正した場合，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

KDIW63638-E

An unknown exception occurred at a Java object execution. class-name = *aa....aa*, arguments = *bb....bb*, details = *cc....cc*

Java オブジェクトの実行で CIWUserException 以外の予期しない例外が発生しました。クラス名 = *aa....aa*, 引数= *bb....bb*, 詳細情報 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  Java クラス名
- *bb....bb*
  Java オブジェクト呼び出しに使用した引数
- *cc....cc*
  詳細情報

要因

Java オブジェクトの実行で，想定外の例外が発生しました。

対処

Java オブジェクトの内容とアプリケーション呼び出し情報ファイルを見直してください。アプリケーション呼び出し情報ファイルを修正した場合，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

KDIW63639-E

An attempt to instantiate the specified Java class has failed. class-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*

指定された Java クラスのインスタンス化に失敗しました。Java クラス名 = *aa....aa*, 詳細情報 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  Java クラス名
- *bb....bb*
  詳細情報

要因

Java クラスのインスタンス化に失敗しました。次に示す要因が考えられます。

- 指定した Java クラスがコンテナ拡張ライブラリに存在していません。
- 指定した Java クラスが，CSCIW が規定するインタフェースを実装していません。
- 指定した Java クラスが`abstract` クラスで定義されています。
- 指定した Java クラスに引数なし`public` コンストラクタ以外のコンストラクタが定義されています。

対処

Java オブジェクトの内容とアプリケーション呼び出し情報ファイルを見直し，Java クラスがコンテナ拡張ライブラリに含まれることを確認してください。アプリケーション呼び出し情報ファイルを修正した場合，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

KDIW63640-E

The Java object was called successfully, but an attempt to update the process-data failed. class-name = *aa....aa*, key = *bb....bb*

Java オブジェクトの呼び出しに成功しましたが、プロセスデータの更新に失敗しました。Java クラス名 = *aa....aa*, キー = *bb....bb*

- *aa....aa*

Java クラス名

- *bb....bb*
  「java.return.key.<key要素>」プロパティのkey 要素の値（戻り値が null の場合は"null"）

要因

次に示す要因が考えられます。

- Java オブジェクトのメソッドの戻り値またはアプリケーション呼び出し情報ファイルが不正です。
  「java.return.key.<key要素>」に指定したkey 要素が，戻り値の Map のキーに含まれていません。
- 戻り値に null が指定されました。

対処

Java オブジェクトの内容とアプリケーション呼び出し情報ファイルを見直してください。アプリケーション呼び出し情報ファイルを修正した場合，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

ビジネスプロセス定義テスト機能が有効な場合，アプリケーション呼び出し情報ファイルの「java.return.key.<key要素>」に指定したすべてのkey 要素を，テスト動作定義ファイルに指定してください。

KDIW63641-E

The Java object was called successfully, but an attempt to set a process-data has failed. class-name = *aa....aa*, key = *bb....bb*, value = *cc....cc*, class-of-value = *dd....dd*

Java オブジェクトの呼び出しに成功しましたが、プロセスデータの更新に失敗しました。Java クラス名 = *aa....aa*, キー = *bb....bb*, 値 = *cc....cc*, 値のクラス = *dd....dd*

- *aa....aa*
  Java クラス名
- *bb....bb*
  キー
- *cc....cc*
  値
- *dd....dd*
  値のクラス

要因

Java オブジェクトのメソッドの戻り値またはアプリケーション呼び出し情報ファイルが不正です。
「java.return.key.<key要素>」に対応する戻り値の Map の値の型と，更新するプロセスデータの種類が異なっています。次に示す要因が考えられます。

- Map の値に String 型，Integer 型，List<String>型，List<Integer>型以外の型が使用されました。
- 単一型プロセスデータまたはリスト型プロセスデータの 1 要素に，List 型の値を格納しようとしました。
- リスト型プロセスデータに List 型以外の値を格納しようとしました。
- 文字列型のプロセスデータに，String 型以外の値または空文字を格納しようとしました。

対処

Java オブジェクトの内容とアプリケーション呼び出し情報ファイルを見直し，要因を取り除いてください。アプリケーション呼び出し情報ファイルを修正した場合，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

ビジネスプロセス定義テスト機能が有効な場合，アプリケーション呼び出し情報ファイルとテスト動作定義ファイルを見直し，要因を取り除いてください。

KDIW63650-E

An attempt to read the application-call-information file has failed. file-path = *aa....aa*
アプリケーション呼び出し情報ファイルが読み込めませんでした。ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  アプリケーション呼び出し情報ファイルのパス

要因

アプリケーション呼び出し情報ファイルが読み込めませんでした。

対処

アプリケーション呼び出し情報ファイルの格納位置とアクセス権を確認し，アプリケーション呼び出しサービスが参照できる状態に変更してください。

KDIW63651-E

A required parameter within the application-call information is not specified. file-path = *aa....aa*, key = *bb....bb*
アプリケーション呼び出し情報の必須パラメタが指定されていません。ファイルパス = *aa....aa*, key = *bb....bb*

- *aa....aa*
  アプリケーション呼び出し情報ファイルのパス
- *bb....bb*

指定されていないパラメタのキー名

要因

アプリケーション呼び出し情報ファイルに必ず指定するパラメタが記載されていません。

対処

アプリケーション呼び出し情報ファイルにパラメタを追加してください。

KDIW63652-E

A parameter within the application-call information is invalid. file-path = *aa....aa*, key = *bb....bb*, value = *cc....cc*

アプリケーション呼び出し情報のパラメタが不正です。ファイルパス = *aa....aa*, key = *bb....bb*, value = *cc....cc*

- *aa....aa*
  アプリケーション呼び出し情報ファイルのパス
- *bb....bb*
  不正なパラメタのキー名
- *cc....cc*
  不正なパラメタの値（プロセスデータキー名および組み込み変数の解決前）

要因

次に示す要因が考えられます。

- 値域外の値が指定されています。
- 整数だけ指定できるパラメタに，整数以外の値が指定されています。
- 未定義のキー名が指定されています。

対処

アプリケーション呼び出し情報ファイルに正しいパラメタを記載してください。

特記事項

このメッセージはアプリケーション呼び出し情報ファイルをキャッシュに保持する前に発生します。このため，アプリケーション呼び出しサービスを再起動しなくても，次回のアプリケーション呼び出しの実行時にアプリケーション呼び出し情報ファイルが再読み込みされます。

KDIW63653-E

A parameter within the application-call information is invalid. file-path = *aa....aa*, key = *bb....bb*, value = *cc....cc*

アプリケーション呼び出し情報のパラメタが不正です。ファイルパス = *aa....aa*, key = *bb....bb*, value = *cc....cc*

- *aa....aa*
  アプリケーション呼び出し情報ファイルのパス
- *bb....bb*
  不正なパラメタのキー名
- *cc....cc*
  不正なパラメタの値（プロセスデータキー名および組み込み変数の解決後）

要因

次に示す要因が考えられます。

- 値域外の値が指定されています。
- 整数だけ指定できるパラメタに整数以外が指定されています。
- プロセスデータキー名で指定したパラメタに対応する行がプロセスデータテーブルに格納されていません。

対処

アプリケーション呼び出し情報ファイルに正しいパラメタを記載してください。

そのあと，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

特記事項

このメッセージはアプリケーション呼び出し情報ファイルをキャッシュに保持したあとで発生します。このため，アプリケーション呼び出しサービスを再起動するまでは，アプリケーション呼び出し情報ファイルを修正しても再読み込みされません。

KDIW63654-E

A text variable has the same value as a key name within the application-call information. file-path = *aa....aa*, key = *bb....bb*

アプリケーション呼び出し情報のキー名と値に同じプロセスデータキー名が使用されています。ファイルパス = *aa....aa*, key = *bb....bb*

- *aa....aa*

アプリケーション呼び出し情報ファイルのパス

- *bb....bb*
  重複して使用されているプロセスデータキー名

要因

アプリケーション呼び出し情報のプロパティキーに指定したプロセスデータキー名が，プロパティの値にも指定されています。

誤った記載例（エラーが発生）

```
rest.request.body.key.offset=$Skey1
rest.response.pi.$Skey1=rest.response.body.key.result
```

対処

アプリケーション呼び出し情報のプロパティキーに指定した呼び出し元案件のプロセスデータキー名を，同じアプリケーション呼び出し情報ファイルのプロパティの値に指定しないよう修正してください。

KDIW63655-E

An invalid built-in variable was used in the application-call information. file-path = *aa....aa*, key = *bb....bb*
アプリケーション呼び出し情報に不正な組み込み変数が使用されています。ファイルパス = *aa....aa*, key = *bb....bb*

- *aa....aa*
  アプリケーション呼び出し情報ファイルのファイルパス
- *bb....bb*
  組み込み変数名

要因

アプリケーション呼び出し情報に不正な組み込み変数名が指定されています。

対処

正しい組み込み変数名を指定してください。

KDIW63656-E

An invalid variable process-data key is used in the application-call information. process-data key = *aa....aa*, details = *bb....bb*

アプリケーション呼び出し情報に不正なプロセスデータキー名が使用されています。プロセスデータキー = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  プロセスデータキー名
- *bb....bb*
  詳細情報

要因

"{@MIIndex}"を含むプロセスデータキー名を使用したアプリケーション呼び出し情報ファイルを，次のどれかの BPMN 要素で使用しました。

- メッセージイベント
- エラーイベント
- サービスタスク（マルチインスタンス以外）

対処

"{@MIIndex}"を含むプロセスデータキー名を使用したアプリケーション呼び出し情報ファイルは，サービスタスク（マルチインスタンス）だけが使用するように修正してください。

そのあとで，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

KDIW63657-E

A process-data key is used in the application-call information. file-path = *aa....aa*
アプリケーション呼び出し情報にプロセスデータキー名を使用しています。ファイルパス = *aa....aa*

- *aa....aa*
  アプリケーション呼び出し情報ファイルのパス

要因

アプリケーション呼び出し情報ファイルにプロセスデータキー名が指定されています。

BPMN 連携機能を使用しないでアプリケーション呼び出しサービスを使用する場合，プロセスデータは非サポートです。

対処

プロセスデータキー名を含まないアプリケーション呼び出し情報ファイルを使用してください。

KDIW63658-E

Business Process definition test is enabled.
ビジネスプロセス定義テスト機能が有効になっています。

要因

ビジネスプロセス定義テスト機能が有効になっています。

BPMN 連携機能を使用しないでアプリケーション呼び出しサービスを使用する場合，ビジネスプロセス定義テスト機能は非サポートです。

対処

ビジネスプロセス定義テスト機能を無効にして，J2EE サーバを再起動してください。

KDIW63660-E

An execution call to the API for the BPMN cooperation library failed. API = *aa....aa*, details = *bb....bb*
BPMN 連携ライブラリの API の実行に失敗しました。 API = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  BPMN 連携ライブラリの API 名
- *bb....bb*
  詳細情報

要因

BPMN 連携ライブラリの API 呼び出しに失敗しました。

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照し対処してください。

KDIW63661-E

Execution of the REST application call failed. ref-identifier = *aa....aa*, status-code = *bb....bb*, method = *cc....cc*, URL = *dd....dd*
REST アプリケーションの呼び出しに失敗しました。ref 識別子 = *aa....aa*, ステータスコード = *bb....bb*, メソッド = *cc....cc*, URL = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ref 識別子
- *bb....bb*
  ステータスコード
- *cc....cc*
  メソッド
- *dd....dd*
  URL

要因

REST アプリケーションの呼び出しに失敗しました。

対処

アプリケーションサーバのログや REST アプリケーションのログなどを参照し対処してください。

KDIW63662-E

Changing the request or response style for the REST application failed. ref-identifier = *aa....aa*, method = *bb....bb*, URL = *cc....cc*, stylesheet-file-path = *dd....dd*, details = *ee....ee*
REST アプリケーションのリクエストまたはレスポンスのスタイル変更に失敗しました。ref 識別子 = *aa....aa*, メソッド = *bb....bb*, URL = *cc....cc*, スタイルシートのファイルパス = *dd....dd*, 詳細 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  ref 識別子
- *bb....bb*
  メソッド
- *cc....cc*
  URL
- *dd....dd*
  エラーが発生したスタイルシートのパス
- *ee....ee*
  詳細情報

要因

スタイルシートの内容が不正です。スタイルシートの内容と REST アプリケーションが送受信するデータの整合性が取れていないおそれがあります。

対処

スタイルシートファイルを正しい内容に変更してください。

REST アプリケーションが送受信するデータとスタイルシートの整合性が取れていることを確認してください。

そのあと，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

KDIW63663-E

The URL for the REST application is invalid. ref-identifier = *aa....aa*, method = *bb....bb*, URL = *cc....cc*
REST アプリケーションの URL が不正です。ref 識別子 = *aa....aa*, メソッド = *bb....bb*, URL = *cc....cc*

- *aa....aa*
  ref 識別子
- *bb....bb*
  メソッド
- *cc....cc*
  URL

要因

アプリケーション呼び出し情報ファイルに記載した REST アプリケーションの URL が不正です。

対処

アプリケーション呼び出し情報ファイルに正しい REST アプリケーションの URL を記載してください。

そのあと，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

KDIW63664-E

The header file for the REST application could not be read. ref-identifier = *aa....aa*, header-file-path = *bb....bb*
REST アプリケーションのヘッダファイルが読み込めませんでした。ref 識別子 = *aa....aa*, ヘッダファイルパス = *bb....bb*

- *aa....aa*
  ref 識別子

- *bb....bb*
  REST アプリケーションのヘッダファイルのパス

要因

REST ヘッダファイルが読み込めませんでした。

対処

ヘッダファイルの格納位置とアクセス権を確認し，アプリケーション呼び出しサービスが参照できる状態に変更してください。

KDIW63665-E

An attempt to read the style sheet file for the REST application failed. ref-identifier = *aa....aa*, stylesheet-file-path = *bb....bb*, details = *cc....cc*
REST アプリケーションのスタイルシートファイルの読み込みに失敗しました。ref 識別子 = *aa....aa*, スタイルシートファイルパス = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

- *aa....aa*
  ref 識別子
- *bb....bb*
  エラーが発生したスタイルシートのパス
- *cc....cc*
  詳細情報

要因

スタイルシートファイルが読み込めませんでした。またはスタイルシートファイルの内容が不正です。

対処

スタイルシートファイルを正しい内容に変更してください。スタイルシートファイルの格納位置とアクセス権を確認し，アプリケーション呼び出しサービスが参照できる状態に変更してください。

KDIW63666-E

An exception occurred by the REST client API. API-method-name = *aa....aa*, details = *bb....bb*
REST クライアント API でエラーが発生しました。API メソッド名 = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  クラス名およびメソッド名

- *bb....bb*
  詳細情報

要因

REST アプリケーションへのアクセス，または，レスポンスの処理が不正です。次のような要因が考えられます。

- URL が不正
- ヘッダの指定が不正
- レスポンスの`Content-Type`が規定の形式ではない
- レスポンスボディが規定の XML 形式ではない

対処

詳細情報を参照して，アプリケーション呼び出し情報ファイルを修正してください。そのあとで，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

または，接続先 REST アプリケーションの状態を確認してください。

KDIW63668-E

Reception of a response from the REST application failed. process-data key = *aa....aa*, key-element = *bb....bb*

REST アプリケーションのレスポンスの受信に失敗しました。プロセスデータキー = *aa....aa*, key 要素の値 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  格納先プロセスデータキー名
- *bb....bb*
  `key`要素の値

要因

レスポンスボディまたはアプリケーション呼び出し情報ファイルが不正です。次の要因が考えられます。

- `key`要素の値がレスポンスボディに含まれていませんでした。
- `key`要素の値が同一である複数の`data`要素を，単一型プロセスデータまたはリスト型プロセスデータの 1 要素に格納しようとしました。

対処

レスポンスボディの形式またはアプリケーション呼び出し情報ファイルを確認してください。レスポンスボディに含まれる`key`要素の値をアプリケーション呼び出し情報ファイルの「`rest.response.body.key.<key`

要素>」に指定してください。key 要素の値が同一である複数のdata 要素は，リスト型プロセスデータの全要素に格納してください。アプリケーション呼び出し情報ファイルを修正した場合，アプリケーション呼び出しサービスを再起動してください。

ビジネスプロセス定義テスト機能が有効な場合，アプリケーション呼び出し情報ファイルの「rest.response.body.key.<key要素>」に指定したすべてのkey 要素を，テスト動作定義ファイルまたはテストデータ XML ファイルに指定してください。

KDIW63669-W

The REST application or Java object was called successfully, but processing to update the procecss data was skipped. process-instance-ID = *aa....aa*, work-item-ID = *bb....bb*, ref-identifier = *cc....cc*

REST アプリケーションまたは Java オブジェクトの呼び出しに成功しましたが、呼び出し元案件のプロセスデータの登録は行いませんでした。 案件 ID = *aa....aa*, 作業 ID = *bb....bb*, ref 識別子= *cc....cc*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業 ID
- *cc....cc*
  ref 識別子

要因

REST アプリケーションまたは Java オブジェクトの呼び出し中に作業が「終了」状態に遷移しました。次に示す要因が考えられます。

- パラレルマルチインスタンスの完了条件（completionCondition）が成立しました。
- 業務アプリケーションによって作業の状態が変更されました。
- 案件が強制終了イベントに遷移しました。

対処

意図した動作でない場合，ビジネスプロセス定義を見直してください。また，必要に応じてビジネスプロセス定義を修正してください。

KDIW63690-E

An exception occurred during internal processing. details = *aa....aa*

内部処理中にエラーが発生しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  エラーの詳細

要因

予期しない例外が発生しました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW63691-E

An attempt to load the business-process-test-definition file has failed. process-instance-ID = *aa....aa*, participant = *bb....bb*, test-id = *cc....cc*, error-kind = *dd....dd*, details = *ee....ee*

テスト動作定義ファイルの読み込みに失敗しました。案件 ID= *aa....aa*, 作業者 ID = *bb....bb*, テスト ID = *cc....cc*, エラー種別 = *dd....dd*, 詳細 = *ee....ee*

- *aa....aa*
  案件 ID
- *bb....bb*
  作業者 ID
- *cc....cc*
  テスト ID
- *dd....dd*
  エラー種別※1
- *ee....ee*
  エラー種別ごとの詳細情報※2

注※1

エラー種別と意味を次に示します。

- FILE_OPEN_FAILED：テスト動作定義ファイルを開けない
- INVALID_PROPERTY_KEY：テストデータのキーが不正
- INVALID_PROPERTY_VALUE：テストデータの値が不正
- DUPLICATE_PROPERTY_KEY：テストデータのキーが重複している
- INVALID_TEST_ID：テスト ID の値が不正

注※2

出力される詳細情報をエラー種別ごとに示します。

- FILE_OPEN_FAILED：テスト動作定義ファイルのパス
- INVALID_PROPERTY_KEY：テストデータのキー
- INVALID_PROPERTY_VALUE：テストデータのキーと値
- DUPLICATE_PROPERTY_KEY：テストデータのキー
- INVALID_TEST_ID：テスト ID の値

要因

エラー種別が FILE_OPEN_FAILED の場合，テスト動作定義ファイルが読み込めませんでした。

エラー種別が INVALID_TEST_ID の場合，テスト ID の値が不正です。

エラー種別が上記以外の場合，テスト動作定義ファイルに指定したプロパティが不正です。

対処

エラー種別が INVALID_TEST_ID の場合，テスト ID を修正して案件を再投入してください。

エラー種別が上記以外の場合，テスト動作定義ファイルを見直してください。

KDIW63692-E

An attempt was made to use a test-data XML file in processing other than processing to call a REST application.
REST アプリケーション呼び出し以外でテストデータ XML ファイルを使用しようとしました。

要因

REST アプリケーション呼び出し以外でテスト動作定義ファイルに「`@IW.Format=XML`」が指定されました。

対処

テスト動作定義ファイルを見直し「`@IW.Format=XML`」を削除してください。

KDIW63693-E

An attempt to read the test-data XML file failed. details = *aa....aa*
テストデータ XML ファイルが読み込めませんでした。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*

詳細情報

要因

テストデータ XML ファイルが読み込めませんでした。

対処

テストデータ XML ファイルを見直し，テスト動作定義ファイルと同じディレクトリに格納してください。

KDIW63694-E

An attempt to change the style of the test-data XML file failed. file-path = *aa....aa*, details = *bb....bb*

テストデータ XML ファイルのスタイル変更に失敗しました。 ファイルパス = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

- *aa....aa*
  使用したテストデータ XML ファイルのパス
- *bb....bb*
  詳細情報

要因

テストデータ XML ファイルまたはスタイルシートの内容が不正です。スタイルシートの内容とテストデータ XML ファイルの内容の整合性が取れていないおそれがあります。

対処

スタイルシートファイルおよびテストデータ XML ファイルを正しい内容に変更してください。

KDIW63700-I

Processing to create a process instance by using a timer started. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*, process-definition-ID = *cc....cc*, work-definition-ID = *dd....dd*

タイマーによる案件投入を開始しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義 ID = *cc....cc*, 作業定義 ID = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義名
- *bb....bb*
  ビジネスプロセス定義バージョン

- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *dd....dd*
  作業定義 ID

要因

アプリケーション呼び出しを開始しました。

KDIW63701-I

Processing to create a process instance by using a timer succeeded. process-instance-ID = *aa....aa*
タイマーによる案件投入に成功しました。案件 ID = *aa....aa*

- *aa....aa*
  案件 ID

要因

アプリケーション呼び出しに成功しました。

KDIW63702-E

An exception occurred in the processing to create a process instance by using a timer. process-definition-ID = *aa....aa*, process-definition-name = *bb....bb*, process-definition-version = *cc...cc*, details = *dd....dd*
タイマーによる案件投入の実行中に例外が発生しました。ビジネスプロセス定義 ID = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義名 = *bb....bb*, ビジネスプロセス定義バージョン = *cc...cc*, 詳細 = *dd....dd*

- *aa....aa*
  ビジネスプロセス定義 ID
- *bb....bb*
  ビジネスプロセス定義名
- *cc....cc*
  ビジネスプロセス定義バージョン
- *dd....dd*
  発生した例外のメッセージ

要因

例外が発生したためアプリケーション呼び出しを中断しました。

対処

次の情報などを参照し，対処をしてください。

- 詳細（details）として出力している例外のメッセージ
- このメッセージの直前に出力されているメッセージ
- CSCIW のログ
- アプリケーションサーバのログ

特記事項

ビジネスプロセス定義の情報を取得する前に例外が発生した場合，ビジネスプロセス定義名（*bb....bb*）およびビジネスプロセス定義バージョン（*cc....cc*）は null になります。

KDIW63703-E

An attempt to access the application-call-start-timer table failed. details = *aa....aa*
アプリケーション呼び出し開始タイマーテーブルの参照に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  詳細情報

要因

データベースアクセスで SQL 例外が発生しました。

対処

データベースの状態を確認してください。

BPMN 連携ライブラリのエラーメッセージ，DBMS のエラーメッセージ，システムログおよび DBMS 関連のエラー情報を参照し，対処してください。

KDIW63704-E

An attempt to update the application-call-start-timer table failed. details = *aa....aa*
アプリケーション呼び出し開始タイマーテーブルの更新に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

- *aa....aa*

詳細情報

要因

データベースアクセスで SQL 例外が発生しました。

対処

データベースの状態を確認してください。

BPMN 連携ライブラリのエラーメッセージ，DBMS のエラーメッセージ，システムログおよび DBMS 関連のエラー情報を参照し，対処してください。

KDIW63710-E

An attempt to initialize ManagedExecutorService has failed. JNDI-name = *aa....aa*
ManagedExecutorService の初期化に失敗しました。 JNDI 名 = *aa....aa*

- *aa....aa*
  ルックアップに使用した JNDI 名

要因

次に示す要因が考えられます。

- ネーミングサービスが開始していません。
- JNDI 名のルックアップに失敗しました。

対処

ネーミングサービスが開始していることを確認してください。

また，ManagedExecutorService の JNDI 名がルックアップに使用した JNDI 名と一致していることを確認してください。

KDIW63711-E

The REST application call failed. The work item has been excluded from the processing. process-instance-ID = *aa....aa*, activity-instance-ID = *bb....bb*, work-item-ID = *cc....cc*, participant = *dd....dd*
REST アプリケーション呼び出しに失敗し，作業は処理の対象から外れました。案件 ID = *aa....aa*, 業務ステップ ID = *bb....bb*, 作業 ID = *cc....cc*, 作業者 ID = *dd....dd*

- *aa....aa*

案件 ID

- *bb....bb*
  業務ステップ ID
- *cc....cc*
  作業 ID
- *dd....dd*
  作業者 ID の値

要因

REST アプリケーション呼び出しに失敗したため，作業はアプリケーション呼び出しの処理の対象から外れました。作業の状態は「作業者実行」になりました。

対処

次の情報などを参照して，対処してください。

- このメッセージの前後に出力されているメッセージ
- CSCIW のログ
- アプリケーションサーバのログ
- 呼び出し先の REST アプリケーションのログ

対処後に作業の状態を「実行開始可能」または「実行済」に変更してください。

10 KDIW70000～KDIW79999

この章では，運用管理 REST API のメッセージとその要因，および対処方法について説明します。

10.1 KDIW70000～KDIW70999

KDIW70000-E

An attempt to initialize the Management REST service has failed. details = *aa....aa*
運用管理 REST サービスの初期化に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- CSCIWManagementServer が起動していません。
- ネーミングサービスが開始していません。
- CSCIW の API の実行中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてください。

KDIW70001-W

The URL parameter is invalid. parameter name = *aa....aa*, value = *bb....bb*
URL のパラメタが不正です。パラメタ名 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：不正なパラメタ名

bb....bb：不正なパラメタの値

対処

パラメタを確認して，操作を再実行してください。

KDIW70002-E

An attempt to acquire the CIWServer has failed. details = *aa....aa*
CIWServer の取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- CSCIWManagementServer が起動していません。
- CSCIW の API の実行中にエラーが発生しました。

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてください。

KDIW70003-E

An attempt to register a process definition has failed. details = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義の登録に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70004-W

An attempt to register a process definition failed, because a warning was issued. details = *aa....aa*
ビジネスプロセス定義の登録の実行中に警告が発生したため，ビジネスプロセス定義の登録に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70005-W

The request parameter is invalid. parameter name = *aa....aa*, value = *bb....bb*
リクエストパラメタが不正です。パラメタ名 = *aa....aa*, 値 = *bb....bb*

aa....aa：不正なパラメタ名

bb....bb：不正なパラメタの値

対処

パラメタを確認して，操作を再実行してください。

KDIW70006-E

An attempt to complete the UserTransaction has failed. details = *aa....aa*
トランザクションの決着に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70007-E

An attempt to acquire a process definition has failed. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*, details = *cc....cc*
ビジネスプロセス定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

cc....cc：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70008-W

An attempt to acquire a process definition has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*, details = *cc....cc*
CSCIW API の実行中に警告が発生したため，ビジネスプロセス定義の取得に失敗しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

cc....cc：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70009-W

The process definition does not exist. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*

ビジネスプロセス定義が存在しません。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

対処

指定したビジネスプロセス定義名とビジネスプロセス定義バージョンを確認してから，操作を再実行してください。

KDIW70010-W

The user description is invalid. user description = *aa....aa*

ユーザ記述子が不正です。ユーザ記述子 = *aa....aa*

aa....aa：ユーザ記述子

対処

ユーザ記述子が適切かどうか確認してから，操作を再実行してください。

KDIW70011-E

An attempt to delete a process definition has failed. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*, details = *cc....cc*

ビジネスプロセス定義の削除に失敗しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

cc....cc：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70012-W

An attempt to delete a process definition has failed because a warning occurred during an execution of the deletion a process definition. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*, details = *cc....cc*

ビジネスプロセス定義の削除の実行中に警告が発生したため，ビジネスプロセス定義の削除に失敗しました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

cc....cc：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70013-E

An attempt to register a casting rule definition has failed. details = *aa....aa*

振り分けルール定義の登録に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70014-W

An attempt to register a casting rule definition has failed because a warning occurred during an execution of the registration a casting rule definition. details = *aa....aa*

振り分けルール定義の登録の実行中に警告が発生したため，振り分けルール定義の登録に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70015-W

The casting rule definition does not exist. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*

振り分けルール定義が存在しません。振り分けルール定義名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：振り分けルール定義名

bb....bb：振り分けルール定義バージョン

対処

指定した振り分けルール定義名，振り分けルール定義バージョンを確認してから，操作を再実行してください。

KDIW70016-E

An attempt to acquire a casting rule definition has failed. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*, details = *cc....cc*

振り分けルール定義の取得に失敗しました。振り分けルール定義名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義バージョン = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：振り分けルール定義名

bb....bb：振り分けルール定義バージョン

cc....cc：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70017-W

An attempt to acquire a casting rule definition has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*, details = *cc....cc*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，振り分けルール定義の取得に失敗しました。振り分けルール定義名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義バージョン = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：振り分けルール定義名

bb....bb：振り分けルール定義バージョン

cc....cc：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70018-E

An attempt to delete a casting rule definition has failed. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*, details = *cc....cc*

振り分けルール定義の削除に失敗しました。振り分けルール定義名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義バージョン = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：振り分けルール定義名

bb....bb：振り分けルール定義バージョン

cc....cc：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70019-W

An attempt to delete a casting rule definition failed, because a warning was issued. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*, details = *cc....cc*

振り分けルール定義の削除の実行中に警告が発生したため，振り分けルール定義の削除に失敗しました。振り分けルール定義名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義バージョン = *bb....bb*, 詳細 = *cc....cc*

aa....aa：振り分けルール定義名

bb....bb：振り分けルール定義バージョン

cc....cc：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70020-W

An invalid number of parameters are specified in the request parameter. parameter name = *aa....aa*

リクエストパラメタに指定されたパラメタの数が不正です。パラメタ名 = *aa....aa*

aa....aa：パラメタ名

対処

パラメタの数を確認して，操作を再実行してください。必須の項目は設定するよう見直してください。

リクエストパラメタが JSON 形式の場合，すべてのパラメタの値が「"」（半角ダブルクォーテーション）で囲まれているかを見直してください。

KDIW70021-E

An error occurred during an execution call to the Management REST API. details = *aa....aa*

運用管理 REST API の実行中にエラーが発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。再実行後も同様のエラーが発生する場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW70022-W

The format of the request parameter that was sent is not supported. request parameter = *aa....aa*

送信されたリクエストパラメタの形式はサポートされていません。リクエストパラメタ = *aa....aa*

aa....aa：送信されたリクエストパラメタの形式

対処

送信されたリクエストパラメタの形式が正しいかどうかを確認してください。

KDIW70023-E

An attempt to initialize the manegement REST service has failed because a logger is not initialized.

ログが初期化されていないため，運用管理 REST サービスの初期化に失敗しました。

対処

運用管理 REST サービスのデプロイでエラーになっていないかを確認してください。エラーになっている場合は，運用管理 REST サービスをデプロイし直してから，操作を再実行してください。

KDIW70024-I

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Management REST Service has started.

運用管理 REST サービスが起動しました。

対処

必要ありません。

KDIW70025-I

uCosminexus Service Coordinator Interactive Workflow Management REST Service has stopped.

運用管理 REST サービスが停止しました。

対処

必要ありません。

KDIW70026-E

An attempt to initialize the Management REST service has failed. details = *aa....aa*
運用管理 REST サービスの初期化に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

ジョブのスレッド管理の初期化に失敗しました。

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，運用管理 REST サービスを再起動してください。

再起動後も同様のエラーが発生する場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW70027-E

An attempt to begin UserTransaction has failed. details = *aa....aa*
トランザクションの開始に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

ネーミングサービスが開始していません。

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70028-W

An attempt to perform roll-back processing failed, but processing will continue. details = *aa....aa*
ロールバック処理の実行に失敗しましたが，処理は続行します。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認してください。

KDIW70029-W

An attempt to close the connection has failed, but processing will continue. details = *aa....aa*
コネクションのクローズに失敗しましたが，処理は続行します。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認してください。

KDIW70030-E

An attempt to initialize the BPMN cooperation library has failed. details = *aa....aa*
BPMN 連携ライブラリの初期化に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

次に示す要因が考えられます。

- CSCIWManagementServer が起動していません。
- BPMN 連携ライブラリの実行中にエラーが発生しました。

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてください。

KDIW70031-E

Finalization processing Management REST Service has failed. details = *aa....aa*
運用管理 REST サービスの終了処理に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

運用管理 REST サービスの終了処理の実行中にエラーが発生しました。

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認して，原因を取り除いてください。

KDIW70032-E

An exception occurred during internal processing. details = *aa....aa*
内部処理中にエラーが発生しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：エラーの詳細

要因

予期しない例外が発生しました。

対処

メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW70033-E

An attempt to get a job record has failed. job-id = *aa....aa*, details = *bb....bb*
ジョブレコードの取得に失敗しました。ジョブ ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70034-W

An attempt to get a job record has failed, because a warning was issued during the execution of a CSCIW API call. job-id = *aa....aa*, details = *bb....bb*
CSCIW API の実行中に警告が発生したため，ジョブレコードの取得に失敗しました。ジョブ ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70035-E

An attempt to get a list of job records has failed. function-name = *aa....aa*, state = *bb....bb*, creator = *cc....cc*, sort = *dd....dd*, offset = *ee....ee*, maxcount = *ff....ff*, details = *gg....gg*

ジョブレコードの一覧取得に失敗しました。機能名 = *aa....aa*, 状態 = *bb....bb*, 投入者 = *cc....cc*, ソート条件 = *dd....dd*, オフセット = *ee....ee*, 最大取得件数 = *ff....ff*, 詳細 = *gg....gg*

aa....aa：機能名

bb....bb：状態

cc....cc：投入者

dd....dd：ソート条件

ee....ee：オフセット

ff....ff：最大取得件数

gg....gg：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70036-W

An attempt to get job record list has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. function-name = *aa....aa*, state = *bb....bb*, creator = *cc....cc*, sort = *dd....dd*, offset = *ee....ee*, maxcount = *ff....ff*, details = *gg....gg*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，ジョブレコードの一覧取得に失敗しました。機能名 = *aa....aa*, 状態 = *bb....bb*, 投入者 = *cc....cc*, ソート条件 = *dd....dd*, オフセット = *ee....ee*, 最大取得件数 = *ff....ff*, 詳細 = *gg....gg*

aa....aa：機能名

bb....bb：状態

cc....cc：投入者

dd....dd：ソート条件

ee....ee：オフセット

ff....ff：最大取得件数

gg....gg：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70037-E

An attempt to create a job failed. function-name = *aa....aa*, creator = *bb....bb*, argument-data = *cc....cc*, details = *dd....dd*

ジョブの投入に失敗しました。機能名 = *aa....aa*, 投入者 = *bb....bb*, 引数データ = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

aa....aa：機能名

bb....bb：投入者

cc....cc：引数データ

dd....dd：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70038-W

An attempt to create a job has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. function-name = *aa....aa*, creator = *bb....bb*, argument-data = *cc....cc*, details = *dd....dd*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，ジョブの投入に失敗しました。機能名 = *aa....aa*, 投入者 = *bb....bb*, 引数データ = *cc....cc*, 詳細 = *dd....dd*

aa....aa：機能名

bb....bb：投入者

cc....cc：引数データ

dd....dd：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70039-W

The value specified for the key of the ArgumentData parameter is invalid. key parameter = *aa....aa*
引数データの Key に指定した値が不正です。Key = *aa....aa*

aa....aa：引数データの`Key` に指定した値

対処

引数データに指定した値が適切か確認してから，操作を再実行してください。

KDIW70040-W

The key of ArgumentData parameter is invalid. key parameter = *aa....aa*, value parameter = *bb....bb*
引数データの Value に指定した値が不正です。key = *aa....aa*,value = *bb....bb*

aa....aa：引数データの`Key` 値

bb....bb：引数データの`Value` 値

対処

引数データに指定した値が適切か確認してから，操作を再実行してください。

KDIW70041-E

An attempt to start the Management Rest Service failed. details = *aa....aa*
運用管理 REST サービスの起動に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

運用管理 REST サービスの起動に失敗しました。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照して対処をしてください。

KDIW70042-W

An attempt to automatically delete job records failed. details = *aa....aa*
ジョブレコードの自動削除処理に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

ジョブレコードの自動削除処理に失敗しました。

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてください。

KDIW70043-I

The job was created. job-id = *aa....aa*, creator = *bb....bb*, function-name = *cc....cc*, argument-data = *dd....dd*
ジョブの投入を実施しました。ジョブ ID = *aa....aa*, 投入者 = *bb....bb*, 機能名 = *cc....cc*, 引数データ = *dd....dd*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：投入者

cc....cc：機能名

dd....dd：引数データ

要因

ジョブの投入に成功しました。

KDIW70044-E

An attempt to acquire connection has failed. details = *aa....aa*
コネクションの取得に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70045-E

An attempt to attach database connection failed. details = *aa....aa*
データベースのコネクションのアタッチに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70046-W

An attempt to detach database connection failed, but processing will continue. details = *aa....aa*
データベースのコネクションのデタッチに失敗しましたが、処理は続行します。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認してください。

KDIW70047-E

Job submission was interrupted, because processing to stop the Management REST service is in progress. job-id = *aa....aa*
運用管理 REST サービスが終了処理中なので，ジョブの投入は中断されました。ジョブ ID = *aa....aa*

aa....aa：ジョブ ID

要因

運用管理 REST サービスが終了処理中のため，ジョブの投入を中断しました。

対処

投入に失敗したジョブを実行したい場合は，運用管理 REST サービスの起動後に操作を再実行してください。

KDIW70048-E

An attempt to delete job record of the Job that submission has been interrupted has failed. job-id = *aa....aa*, details = *bb....bb*

投入が中断されたジョブのジョブレコードの削除に失敗しました。ジョブ ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：詳細情報

要因

投入が中断されたジョブのジョブレコードの削除処理で例外が発生したため，ジョブレコードを削除できませんでした。

対処

このメッセージの前後に出力されたメッセージを参照して対処してください。

特記事項

このメッセージに出力されているジョブ ID のジョブは実行されません。ワーク管理テーブルにメッセージに出力されたジョブ ID のジョブレコードがあっても，そのジョブは実行されないので注意してください。

KDIW70049-E

An attempt to delete a job record failed. job-id = *aa....aa*, details = *bb....bb*

ジョブレコードの削除に失敗しました。ジョブ ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70050-W

An attempt to delete job record has failed because a warning occurred during an execution call to the CSCIW API. job-id = *aa....aa*, details = *bb....bb*

CSCIW API の実行中に警告が発生したため，ジョブレコードの削除に失敗しました。ジョブ ID = *aa....aa*, 詳細 = *bb....bb*

aa....aa：ジョブ ID

bb....bb：詳細情報

対処

詳細情報および CSCIW のメッセージを参照して，原因を取り除いてから，操作を再実行してください。

KDIW70051-E

Job submission was interrupted, because processing to stop the Management REST service is in progress.

運用管理 REST サービスが終了処理中なので，ジョブの投入は中断されました。

要因

運用管理 REST サービスが終了処理中のため，ジョブ投入を中断しました。

対処

投入に失敗したジョブを実行したい場合は，運用管理 REST サービスの起動後に操作を再実行してください。

KDIW70052-E

A process definition file that cannot be processed normally is specified.

正常に処理ができないビジネスプロセス定義ファイルが指定されました。

要因

不正なビジネスプロセス定義を登録しようとしました。

対処

- BPMN 連携機能を使用する場合

  `ciwtransbpmn` コマンドで変換したビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

- BPMN 連携機能を使用しない場合

CSCIW-Definer でビジネスプロセス定義のチェックを実施し，エラーがないビジネスプロセス定義ファイルを指定してください。

KDIW70053-W

The process definition with warning was registered. process-definition-name = *aa....aa*, process-definition-version = *bb....bb*
警告があるビジネスプロセス定義が登録されました。ビジネスプロセス定義名 = *aa....aa*, ビジネスプロセス定義バージョン = *bb....bb*

aa....aa：ビジネスプロセス定義名

bb....bb：ビジネスプロセス定義バージョン

要因

指定されたビジネスプロセス定義に警告があります。

対処

CSCIW のメッセージファイルに出力されたメッセージを参照して対処してください。

KDIW70054-E

An attempt to perform roll-back processing failed. details = *aa....aa*
ロールバック処理の実行に失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認してください。

KDIW70055-E

An attempt to close the connection has failed. details = *aa....aa*
コネクションのクローズに失敗しました。詳細 = *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

対処

CSCIW のログを参照し，詳細情報を確認してください。

KDIW70056-E

An attempt to decode a process definition encoded in base64 failed.
base64 形式でエンコードされたビジネスプロセス定義のデコードに失敗しました。

要因

base64 形式のビジネスプロセス定義のデコードに失敗しました。

対処

ビジネスプロセス定義が正しく base64 形式でエンコードされていていることを確認して，操作を再実行してください。

KDIW70057-E

An attempt to decode a casting rule definition encoded in base64 failed.
base64 形式でエンコードされた振り分けルール定義のデコードに失敗しました。

要因

base64 形式の振り分けルール定義のデコードに失敗しました。

対処

振り分けルール定義が正しく base64 形式でエンコードされていていることを確認して，操作を再実行してください。

KDIW70058-E

An attempt to initialize the Management REST service has failed. details = *aa....aa*
運用管理 REST サービスの初期化に失敗しました。詳細= *aa....aa*

aa....aa：詳細情報

要因

ジョブの自動削除で，予期しない例外が発生しました。

対処

運用管理 REST サービスを再起動してください。再起動後も同様のメッセージが出力される場合は，メッセージファイルおよびトレースファイルを保存し，サポートサービスに連絡してください。

KDIW70059-W

The value specified for the user description is invalid. user description = *aa....aa*
ユーザ記述子に指定した値が不正です。ユーザ記述子 = *aa....aa*

aa....aa：ユーザ記述子

対処

ユーザ記述子に指定した値が適切なことを確認してから，操作を再実行してください。

KDIW70060-W

An attempt to modify an attribute of the casting rule definition has failed. casting-rule-name = *aa....aa*, casting-rule-version = *bb....bb*
振り分けルール定義の属性を変更できません。振り分けルール名 = *aa....aa*, 振り分けルール定義のバージョン = *bb....bb*

aa....aa：振り分けルール名

bb....bb：振り分けルール定義のバージョン

要因

属性の値を変更する振り分けルール定義の状態が不正です。
次に示す要因が考えられます。

- 指定した振り分けルール定義がビジネスプロセス定義で使用されています。
- ほかのバージョンの振り分けルール定義で使用できるものがありません。

対処

ほかのバージョンの振り分けルール定義を活性状態で登録し，操作を再実行してください。

KDIW70061-E

The specified request body or Content-Type header is invalid.
リクエストボディまたは Content-Type ヘッダに指定された値が不正です。

要因

次に示す要因が考えられます。

- リクエストボディが指定されていません。
- Content-Type ヘッダに運用管理 REST サービスがサポートしていない値が指定されています。

対処

リクエストボディと Content-Type ヘッダに指定した値を確認して，操作を再実行してください。

付録

付録 A　各バージョンの変更内容

付録 A.1　03-10 での変更内容

- ciwmovepi（案件乗せ替え）コマンドのメッセージを追加しました。
  KDIW23000-I～KDIW23009-E，KDIW23011-E～KDIW23017-W，KDIW23019-E
- ciwevaluate（再評価）コマンドのメッセージを追加しました。
  KDIW23100-I～KDIW23112-W
- BPMN エディタからのビジネスプロセス定義登録のメッセージを追加しました。
  KDIW40600-E～KDIW40604-E
- 次のメッセージを追加しました。
  KDIW00638-E，KDIW04641-W，KDIW04642-W，KDIW04706-W，KDIW05012-E，KDIW21405-E，KDIW21407-E，KDIW21408-E，KDIW21410-E，KDIW21411-E，KDIW30243-E～KDIW30253-W，KDIW60058-E，KDIW62113-W
- 次のメッセージに和文のメッセージテキストを追加しました。
  KDIW60001-E～KDIW60003-E，KDIW60801-E～KDIW60806-I
- 次のメッセージの説明個所（対処方法など）を変更しました。
  KDIW60001-E，KDIW60002-E，KDIW60501-E～KDIW60509-E，KDIW62020-W，KDIW63010-E，KDIW63018-E，KDIW63022-W
- 次のメッセージのメッセージテキストを変更しました。
  KDIW60005-I，KDIW60006-I，KDIW62088-W

付録 A.2　03-00 での変更内容

- ジョブのメッセージを追加しました。
  KDIW05600-E～KDIW05609-I
- 運用管理 REST API のメッセージを追加しました。
  KDIW70000-E～KDIW70061-E
- 次のメッセージを追加しました。
  KDIW30229-W～KDIW30242-E，KDIW60041-E～KDIW60044-E，KDIW61010-E，KDIW62112-E，KDIW63270-E，KDIW63271-I，KDIW63606-I，KDIW63637-E～KDIW63641-E，KDIW63658-E，KDIW63691-E～KDIW63694-E
- 次のメッセージの説明個所（対処方法など）を変更しました。

KDIW03005-E，KDIW04202-W，KDIW04203-W，KDIW04205-W，KDIW04206-W，KDIW04640-W，KDIW05011-E，KDIW05203-E，KDIW40103-E，KDIW40111-E，KDIW40209-W，KDIW60021-E，KDIW60022-E，KDIW60040-E，KDIW63210-W，KDIW63211-W，KDIW63221-W，KDIW63668-E

- 次のメッセージのメッセージテキスト，および説明個所（対処方法など）を変更しました。

  KDIW40110-E，KDIW63669-W

付録 A.3　02-30 での変更内容

- Firefox および Chrome に対応しました。
- 次のメッセージを追加しました。

  KDIW05011-E，KDIW20010-E，KDIW20124-E，KDIW40108-W～KDIW40112-E，KDIW40304-E，KDIW60034-E～KDIW60040-E，KDIW61009-E，KDIW61128-E，KDIW62107-E～KDIW62111-W，KDIW63034-E，KDIW63255-W～KDIW63269-W，KDIW63669-W，KDIW63710-E

- 次のメッセージの説明個所（対処方法など）を変更しました。

  KDIW02200-E，KDIW02201-W，KDIW02211-W，KDIW05414-E，KDIW05419-E，KDIW05420-E，KDIW05422-E，KDIW22609-W，KDIW40102-E，KDIW40106-E，KDIW60009-E，KDIW60015-E～KDIW60022-E，KDIW60027-E，KDIW62000-E，KDIW62002-E～KDIW62004-E，KDIW62006-E～KDIW62009-E，KDIW62011-W～KDIW62013-E，KDIW62021-E～KDIW62027-E，KDIW62030-E，KDIW62033-E～KDIW62049-E，KDIW62052-E～KDIW62063-W，KDIW62067-E～KDIW62098-W，KDIW62100-E～KDIW62105-W，EKDIW63010-E，KDIW63033-E，KDIW63210-W，KDIW63211-W，KDIW63250-W，KDIW63604-I，KDIW63608-E，KDIW63609-E，KDIW63614-W，KDIW63615-W，KDIW63654-E，KDIW63657-E，KDIW63661-E，KDIW63665-E，KDIW63666-E，KDIW63702-E

付録 A.4　02-20 での変更内容

- 次の，`ciwchgapwork`（アプリケーション呼び出し作業の状態変更）コマンドのメッセージを追加しました。

  KDIW22900～KDIW22910

- 次のメッセージを追加しました。

  KDIW00637-E，KDIW60005-I～KDIW60033-E，KDIW60509-E，KDIW60806-I，KDIW61007-E，KDIW61008-W，KDIW61124-E～KDIW61127-E，KDIW62088-W～KDIW62106-W，KDIW63032-E，KDIW63033-E，KDIW63231-E～KDIW63254-E，KDIW63420-W，KDIW63421-E，KDIW63615-W，KDIW63636-E，KDIW63657-E，KDIW63700-I～KDIW63704-E

- 次のメッセージの説明個所（対処方法など）を変更しました。

  KDIW60503-E，KDIW60506-E，KDIW61201-W，KDIW61202-E，KDIW62032-W，KDIW62042-W，KDIW62080-W，KDIW63023-E，KDIW63030-E，KDIW63031-E，KDIW63210-W，KDIW63211-W，KDIW63405-E，KDIW63419-E

- 次のメッセージを削除しました。

  KDIW60004-I

付録 A.5　02-10 での変更内容

- 次のciwmngap（アプリケーション呼び出し制御情報の管理）コマンドおよびciwmngapgrp（アプリケーション呼び出しグループの管理）コマンドのメッセージを追加しました。

  KDIW22800-I～KDIW22809-E

- 次のメッセージを追加しました。

  KDIW20806-I，KDIW60003-E，KDIW60004-I，KDIW60801-E～KDIW60805-I，KDIW61005-E，KDIW61006-E，KDIW61121-E～KDIW61123-E，KDIW61200-I～KDIW61203-E，KDIW62064-W～KDIW62087-E，KDIW63027-E～KDIW63031-E，KDIW63220-W～KDIW63226-W，KDIW63228-W～KDIW63230-W，KDIW63414-E～KDIW63419-E，KDIW63655-E，KDIW63656-E，KDIW63668-E

- 次のメッセージの説明個所（対処方法など）を変更しました。

  KDIW60001-E，KDIW60002-E，KDIW60501-E～KDIW60508-E，KDIW61107-E，KDIW61108-E，KDIW61117-E，KDIW62021-E，KDIW62022-E，KDIW62034-W～KDIW62045-W，KDIW62053-W，KDIW62055-W，KDIW62057-W，KDIW62059-W，KDIW62061-W，KDIW62063-W，KDIW63023-E，KDIW63204-E～KDIW63211-W，KDIW63215-E，KDIW63216-W，KDIW63219-W，KDIW63401-E～KDIW63404-E，KDIW63614-W，KDIW63631-E，KDIW63634-E，KDIW63652-E～KDIW63654-E

- 次のメッセージを削除しました。

  KDIW61105-E，KDIW61106-E，KDIW61109-E，KDIW61120-E，KDIW62019-E

付録 A.6　02-00 での変更内容

- 次の BPMN 連携機能に関するメッセージを追加しました。

  KDIW60001-E，KDIW60002-E，KDIW60501-E～KDIW60508-E，KDIW61000-E～KDIW61004-E，KDIW61100-E～KDIW61120-E，KDIW62000-E～KDIW62063-W，KDIW63000-I～KDIW63026-E，KDIW63200-E～KDIW63219-W，KDIW63400-E～KDIW63405-E，KDIW63410-E～KDIW63413-W，KDIW63600-I～KDIW63605-I，KDIW63608-E～KDIW63614-W，KDIW63620-E～KDIW63635-E，KDIW63650-E～KDIW63654-E，KDIW63660-E～KDIW63666-E，KDIW63690-E

- 次の更新系 API のメッセージを追加しました。

KDIW00632-E～KDIW00636-E

- 次のメッセージの説明個所（対処方法など）を変更しました。

  KDIW01834-E，KDIW04640-W，KDIW05407-E，KDIW40209-W

付録 A.7　01-95 での変更内容

メッセージの追加，変更，および削除はありません。

付録 A.8　01-70-02 での変更内容

- KDIW03207-E メッセージの説明個所（対処方法）を変更しました。

付録 A.9　01-70 での変更内容

- Cosminexus V8 に対応しました。
- 日本語のメッセージテキストを追加しました。
- 次のメッセージを追加しました。

  KDIW02500-E，KDIW02502-E，KDIW02503-E，KDIW03019-E，KDIW04403-E，KDIW05010-E，KDIW05300-E～KDIW05303-E，KDIW05422-E，KDIW20118-E～KDIW20121-E，KDIW22600-W～KDIW22612-I，KDIW22614-E，KDIW22615-E，KDIW40302-E，KDIW40303-E，KDIW51019-I，KDIW51020-I

- 次のメッセージの説明個所（対処方法など）を変更しました。

  KDIW04622-E，KDIW04702-E，KDIW04703-E，KDIW04704-E，KDIW05200-E，KDIW05201-E，KDIW05202-E，KDIW05203-E，KDIW05400-W，KDIW05411-E，KDIW05414-E，KDIW05415-E，KDIW05416-E，KDIW05419-E，KDIW05420-E，KDIW40000-E，KDIW40106-E，KDIW40301-E

- 監査事象の種別の表に`ciwchgdef` コマンドを対象とする監査事象 ContentAccess の説明を追加しました。

付録 A.10　01-60 での変更内容

- 次のメッセージを追加しました。

  KDIW03018-E，KDIW03207-E，KDIW03410-E，KDIW04207-W，KDIW04402-E，KDIW04635-E，KDIW04636-E，KDIW04637-E，KDIW04638-E，KDIW04639-E，KDIW04640-W，KDIW04821-E，KDIW04822-E，KDIW04823-E，KDIW20008-W，KDIW22008-E，KDIW22009-E，KDIW22010-E，KDIW22011-E，KDIW22012-E，KDIW30227-E，KDIW30228-E

- 次のビジネスプロセス定義運用サーバのメッセージを追加しました。
  KDIW05000-E～KDIW05008-E
- 次の定義チェックのメッセージを追加しました。
  KDIW05400-W～KDIW05421-E
- 次のビジネスプロセス管理（CSCIW-Definer）のメッセージを追加しました。
  KDIW40000-E～KDIW40501-E
- 次のシステムの監査で使用するメッセージを追加しました。
  KDIW50000-I～KDIW52017-E
- 次のメッセージの説明個所（対処方法など）を変更しました。
  KDIW03009-E，KDIW04610-E，KDIW04611-E，KDIW04612-E，KDIW04613-E，KDIW04614-E，KDIW04615-E，KDIW04616-E，KDIW04617-E，KDIW04618-E，KDIW04619-E，KDIW04620-E，KDIW04621-E，KDIW04622-E，KDIW04623-E，KDIW04624-E，KDIW04625-E，KDIW04626-E，KDIW04627-E，KDIW04628-E，KDIW04630-E，KDIW04631-E，KDIW04632-E，KDIW04633-E，KDIW04634-E，KDIW04705-E，KDIW04807-E，KDIW04808-E，KDIW04809-E，KDIW04810-E，KDIW04811-E，KDIW04812-E，KDIW04813-E，KDIW04817-E，KDIW04818-E，KDIW04819-E，KDIW04820-E，KDIW21000-E，KDIW21403-E，KDIW22002-E
- 次のメッセージを削除しました。
  KDIW01849-E，KDIW04629-E，KDIW04815-E

索引

B

BPMN エディタからのビジネスプロセス定義登録のメッセージ　17

BPMN エディタのメッセージ　18

BPMN ビジネスプロセス定義の変換に関するメッセージ　18

BPMN 連携機能共通のメッセージ　18

BPMN 連携機能に関するメッセージ　18

BPMN 連携機能の BPMN 連携ライブラリのメッセージ　18

C

ciwchgapwork（アプリケーション呼び出し作業の状態変更）コマンドのメッセージ　16

ciwchgdef（条件，ルール，および作業アプリケーションの変更）コマンドのメッセージ　16

ciwcleanup（プロセス情報の正常化）コマンドのメッセージ　16

ciwdelpi（案件の削除）コマンドのメッセージ　16

ciweditbp（ビジネスプロセス定義の変更）コマンドのメッセージ　16

ciwevaluate（再評価）コマンドのメッセージ　16

ciwlistsid（システム ID 情報の表示）コマンドのメッセージ　16

ciwmngap（アプリケーション呼び出し制御情報の管理）コマンドのメッセージ　16

ciwmngapgrp（アプリケーション呼び出しグループの管理）コマンドのメッセージ　16

ciwmngbp（ビジネスプロセス定義の管理）コマンドのメッセージ　16

ciwmngcr（振り分けルール定義の管理）コマンドのメッセージ　16

ciwmovepi（案件乗せ替え）コマンドのメッセージ　16

ciwreuseid（ID の再利用）コマンドのメッセージ 16

ciwsetenv（環境の構築または削除）コマンドのメッセージ　16

ciwstartpi（任意の位置から開始する）コマンドのメッセージ　16

CSCIWManagementServer のメッセージ〔システムの監査で使用するメッセージ〕　22

D

DB アクセスのメッセージ　15

I

ID 管理のメッセージ　15

R

REST API のメッセージ　18

あ

アプリケーション呼び出しサービスのメッセージ　18

案件運用操作のメッセージ〔システムの監査で使用するメッセージ〕　22

案件運用操作のメッセージ〔システムの構築・運用・保守で使用するメッセージ〕　17

う

運用管理 REST API のメッセージ　18

え

エンジンのメッセージ　15

お

オプションチェックのメッセージ　16

き

記述形式〔システムの監査で使用するメッセージ〕　28

記述形式〔システムの構築・運用・保守で使用するメッセージ〕　19

共通機能のメッセージ　15

共通の注意事項〔システムの監査で使用するメッセージ〕　29

共通の注意事項〔システムの構築・運用・保守で使用するメッセージ〕　20

共通のメッセージ　15

く

組み込み作業のメッセージ　15

け

検索処理のメッセージ　15

こ

公開インターフェースのメッセージ　15
更新系 API のメッセージ　15
コマンド共通のメッセージ　16
コマンド初期化のメッセージ　16
コマンドのメッセージ〔システムの監査で使用するメッセージ〕　22
コマンドのメッセージ〔システムの構築・運用・保守で使用するメッセージ〕　16

さ

作業アプリケーション呼び出しのメッセージ　15
参照系 API のメッセージ　15

し

システムの監査で使用するメッセージの概要　21
システムの監査で使用するメッセージの記述形式　28
システムの監査で使用するメッセージの出力形式　23
システムの監査で使用するメッセージの種類　22
システムの構築・運用・保守で使用するメッセージの概要　14
システムの構築・運用・保守で使用するメッセージの記述形式　19
システムの構築・運用・保守で使用するメッセージの種類　15
実行基盤のメッセージ　15
初期化・終了処理のメッセージ　15
ジョブのメッセージ　15

せ

製品内共通のメッセージ　15
設定情報管理処理のメッセージ　15

て

定義チェックのメッセージ　15

と

登録定義一覧処理のメッセージ　17
トレース初期化処理のメッセージ　15

ひ

ビジネスプロセスオペレータおよびビジネスプロセスモニタのメッセージ　18
ビジネスプロセス管理（CSCIW-Definer）のメッセージ　17
ビジネスプロセス管理共通のメッセージ　17
ビジネスプロセス管理の設定情報管理のメッセージ 17
ビジネスプロセス遷移エディタのメッセージ　17
ビジネスプロセス定義アクセスのメッセージ　15
ビジネスプロセス定義運用クライアントのメッセージ　17
ビジネスプロセス定義運用サーバのメッセージ　15
ビジネスプロセス定義操作系 API のメッセージ　15

ふ

振り分けルール定義エディタのメッセージ　17
振り分けルール定義操作系 API のメッセージ　15
プロセス情報管理処理のメッセージ　15
プロセスデータのメッセージ　18

め

メッセージの出力形式〔システムの監査で使用するメッセージ〕　23
メッセージの出力項目〔システムの監査で使用するメッセージ〕　23
メッセージの出力先〔システムの監査で使用するメッセージ〕　23

り

リクエスト・イベントのメッセージ　15

る

ルール評価のメッセージ　15

株式会社 日立製作所
〒 100-8280　東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号